

授業計画

経済学部

2006
(平成18)
年度

授 業 計 画

目 次

経済学科フレックス A・商学科

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	25
3	外国語科目	113
4	保健体育科目	239

II	専門教育科目	297
----	--------	-----

III	他学部履修科目	461
-----	---------	-----

IV	「日本語」・「日本事情」科目	489
----	----------------	-----

経済学科フレックス B

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	515
2	教養教育科目	523
3	外国語科目	553
4	保健体育科目	589

II	専門教育科目	611
----	--------	-----

III	他学部履修科目	707
-----	---------	-----

経済学科フレックス A・商学科	全学共通科目	宗教教育
	全学共通科目	教養教育
	全学共通科目	外国語
	全学共通科目	保健体育
経済学科フレックス B	専門教育科目	「日本語」
	専門教育科目	「日本事情」
	他学部履修科目	他学部履修科目
	他学部履修科目	他学部履修科目

経済学科フレックスA

商 学 科

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	経A1必	通年	4	程正	11
仏教と人間	経A1必	通年	4	金沢篤	11
仏教と人間	経A1必	通年	4	松田陽志	12
仏教と人間	経A1必	通年	4	永井政之	12
仏教と人間	商1必	通年	4	松田陽志	13
仏教と人間	商1必	通年	4	石井修道	13
仏教と人間	商1必	通年	4	片山一良	14
仏教と人間〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	4	晴山俊英	14
仏教と人間〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	4	岡本一平	15
仏教と人間〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	4	古山健一	15
仏教と人間〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	4	吉津宜英	16
文化と宗教	経A・商選	通年	4	長谷部八朗	16
社会と宗教	経A・商選	通年	4	池上良正	17
自然と宗教	経A・商選	通年	4	小川順敬	17
坐禅	経A・商選	半期	2	佐藤秀孝 熊本英人	18

科目名	担当者名
仏教と人間	てい 程 せい 正

講義のねらい

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
 宗教について・世界の三大宗教・ブッダの生涯・ブッダの悟りと教え・部派仏教の思想・大乘仏教思想の展開・仏教東漸(インドから中国へ)・中国仏教の展開・中国禪宗の成立と展開・日本への仏教伝来とその展開・道元禅の成立と展開・現代中国における仏教の諸相

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出席点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間	かな ざわ かつし 篤

講義のねらい

ほぼ2,500年前に遥か遠隔の地インドで成立をみた仏教の基本と、それが持つ多様な側面を易しく概説する。人間にとっての大事な資源たる仏教にとにかくも関心を持つことから始めたい。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の成立と展開を歴史的なパースペクティブの下に捕えた後に、順次、仏教の諸相について概説する。

履修上の留意点

仏教への関心を読書習慣を培う形で醸成すると共に、読み書き等の日本語力を高めてほしい。

成績評価の方法

成績評価は、夏・冬の年2回実施するレポート課題と年度末の定期試験によって行うが、出席状況に基づく平常点を考慮する場合もある。

教科書

渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間	まつだ ようし 松田陽志

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。インドに生まれた仏教はアジア各地にさまざまに変容しながら伝えられた。釈尊の生涯を仏伝の記述などによってたどりながら、インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉え、それによって、今日における日本の仏教の性格について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に本学が禅・曹洞宗を母胎として創立されたことを概観したあと、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。釈尊は何を求めて出家し、成道において何をさとり、伝道の旅の中で広く人々に説法したこととは何かといった問題について、釈尊以後の仏伝などがどのように捉えてきたかということをも具体的に講義する。

特に、インドの宗教風土の中で釈尊の求めたものと、現在の日本や各国での仏教とに違いがあることを踏まえ、日本における仏教がどのような特質を持っているのかということを考える。

履修上の留意点

仏教は、葬送儀礼をはじめとして日本人の生活の中に深く根付いているが、その仏教観に必ずしも基づくことなく、あえて白紙に戻して、釈尊の生涯が示す仏教とは何であったかということを理解してもらいたい。

成績評価の方法

出席点に加えて、前期末のレポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。配布するプリントにしたがって講義する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間	なが いまさし 永井政之

講義のねらい

入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件——オウム真理教にせよ宗教法人法の改正にせよ——は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2,500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといつてよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容・授業スケジュール

広い意味での「宗教」を考えることから、「仏教」はなにをめぐしているか、「禅」の立場はいかなるものかを、歴史に生きた人々を具体的に挙げつつ見ていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

成績評価の方法

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教科書

必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

科目名	担当者名
仏教と人間	まつ だ よう じ 松 田 陽 志

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。インドに生まれた仏教はアジア各地にさまざまに変容しながら伝えられた。釈尊の生涯を仏伝の記述などによってたどりながら、インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉え、それによって、今日における日本の仏教の性格について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に本学が禅・曹洞宗を母胎として創立されたことを概観したあと、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。釈尊は何を求めて出家し、成道において何をさとり、伝道の旅の中で広く人々に説法したこととは何かといった問題について、釈尊以後の仏伝などがどのように捉えてきたかということを具体的に講義する。

特に、インドの宗教風土の中で釈尊の求めたものと、現在の日本や各国での仏教とに違いがあることを踏まえ、日本における「仏教」がどのような特質を持っているのかということを考える。

履修上の留意点

仏教は、葬送儀礼をはじめとして日本人の生活の中に深く根付いているが、その仏教観に必ずしも基づくことなく、あえて白紙に戻して、釈尊の生涯が示す仏教とは何であったかということを理解してもらいたい。

成績評価の方法

出席点に加えて、前期末のレポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。配布するプリントにしたがって講義する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間	いし い しゅう どう 石 井 修 道

講義のねらい

「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禅師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禅師は、中国の禅者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにして行きたい。

特に道元禅師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 宗教と自己との関係。(2) 釈尊の伝記と教え(七回)。(3) 中国禅者の個性と特色(六回)。(4) 日中交流と仏教(三回)。(5) 道元の伝記と思想(五回)。(6) 坐禅。(7) 曹洞宗(二回)。

履修上の留意点

「仏道をならうとは、自己をならうなり」(道元)をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

成績評価の方法

レポート(夏休み後に提出)20点と学年末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。

教科書

鎌田茂雄『仏陀の観たもの』(講談社学術文庫)273円

科目名	担当者名
仏教と人間	かたやま いちろう 片山 一良

講義のねらい	人間にとって宗教とは何かを考える。宗教としての仏教とは何かを考える。
講義の内容・授業スケジュール	前期は宗教一般について、すなわち宗教と呪術、神話と儀礼、民族宗教と世界宗教などについて講じる。後期は仏教の基本的な教えについて、すなわち縁起と四諦、智慧と慈悲、戒と禪などについて講じる。いずれも現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。
履修上の留意点	「人間学」として把握し、学ぶことが望ましい。
成績評価の方法	レポート（夏期）および年度末テストによる。
教科書	とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	はれやま しゅんえい 晴山 俊英

講義のねらい	仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。
講義の内容・授業スケジュール	釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。
履修上の留意点	仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。
成績評価の方法	期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
参考書等	授業において適宜指示する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	岡本 一平

講義のねらい

仏教は、約2500年前のインドにおいて、釈尊を開祖として成立した宗教です。その後、中国・韓国・日本・チベット・スリランカ・タイ・カンボジアなどに伝播し、現在では世界各国の仏教徒たちによっても信仰されています。本年度は、仏教の思想と歴史の基本的概要について、現代社会における宗教事情との関連を念頭におきながら講義します。そして、受講生自身が仏教に関する知識を深め、仏教について考えるための材料を多く手にすることが出来るようになります。

講義の内容・授業スケジュール

前期：仏教の思想と歴史に関する概論
 ①宗教とは何か ②仏教の開祖の伝記 ③仏教の聖典 ④仏教の伝播 ⑤仏教の思想
 後期：日本における仏教について
 ①日本と仏教 ②仏教公伝 ③古代の仏教 ④中世の仏教 ⑤近代の仏教

履修上の留意点

講義形式で行います。筆記用具とノートは必ず準備して下さい。私語は厳禁で、場合によっては退席してもらいます。質疑は大歓迎です。

成績評価の方法

出席と学年末試験により評価します。場合によって小テストを実施します。

教科書

プリントを配布します。

参考書等

袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）2003年
 袴谷憲昭『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	古山 健一

講義のねらい

仏教は今から約二千六百年前にインドで興起した宗教である。仏教の開祖である釈尊（ゴータマブツダ）は、いきとし生けるものすべての幸福に関する普遍的で絶対的な道理を「教え」として説いた。そして、その教えは、今日までの長い時間に、様ざまに変容・発展しつつ、アジアの広範な地域に伝播した。本講義では、仏教の出発点とその後の展開についてを学び、かつ、その仏教が現代の人間社会と人間生活において持ちうる意義を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯、釈尊の説いた重要な教え、その後の仏教の伝播と歴史についてを概論的に学び、仏教の現代における意義について、特に現代タイの開発僧における「開発」の思想を取りあげて、これを見てゆきたい。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

授業への出席状況と、夏休みの提出課題及び学年末試験により評価する。

教科書

プリント随時配布する。

参考書等

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）2,100円 ISBN4393106040
 中野元・三枝充恵『パウッタ・佛教』（小学館）3,262円 ISBN4095580011
 西川潤・野田真里編『仏教・開発・NGO タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』（新評論）3,465円 ISBN4794805365

科目名

担当者名

仏教と人間〔再クラス〕

よし づ よし ひで
吉 津 宜 英

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名

担当者名

文化と宗教

はせ べ はち ろう
長谷部 八 朗

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名
社会と宗教	池上良正

講義のねらい	宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論、グローバル化と宗教などの問題を検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解をふまえて、近代国家と宗教との関係について考える。近年の「靖国問題」を考える手がかりなども探ってみたい。
成績評価の方法	年度末に筆記試験を行なう。
教科書	特に指定しない。
参考書等	授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名
自然と宗教	小川順敬

講義のねらい	人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。 この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。
成績評価の方法	評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。
教科書	原則として教科書は用いません。
参考書等	講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名

担当者名

坐禅

さとう しゅうこう くまもと えいじん
佐藤 秀孝・熊本 英人

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」（坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得）

4～13「坐禅実習」（1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です）

（道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます）

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅—講本—』（更生社）2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.523)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学〔日本文学「古典」〕	経A・商・経B選	通年	4	八島由香	25
文学〔日本文学「古典」〕	経A・商選	通年	4	伴野英一	25
歴史学〔西洋中世史〕	経A・商・経B選	通年	4	舟橋倫子	26
芸術学(1)〔日本美術〕	経A・商選	通年	4	北野良枝	27
芸術学(2)〔西洋美術〕	経A・商選	通年	4	矢野陽子	27
芸術学(3)〔音楽〕	経A・商選	通年	4	浦本裕子	28
哲学〔現代文明と人間〕	経A・商・経B選	通年	4	黒崎剛	28
哲学〔現代文明と人間〕	経A・商・経B選	通年	4	滝沢正之	29
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	経A・商・経B選	通年	4	鈴木聡	29
論理学〔知の技法〕	経A・商選	通年	4	伊古田理	30
論理学〔知の技法〕	経A・商選	通年	4	植野公稔	31
科学史〔科学と技術〕	経A・商選	通年	4	高橋秀裕	32
倫理学(1)〔人間観〕	経A・商選	通年	4	古田知章	33
倫理学(2)(7)〔応用倫理学〕	経A・商選	通年	4	黒崎剛	34
倫理学(3)〔価値観〕	経A・商選	通年	4	滝沢正之	34
倫理学(4)〔応用倫理学〕	経A・商選	通年	4	麻生享志	35
倫理学(5)〔制度とモラル〕	経A・商選	通年	4	滝口清栄	35
倫理学(6)〔東洋倫理〕	経A・商選	通年	4	末木恭彦	36
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	経A・商・経B選	通年	4	池上良正	36
宗教学(2)〔聖と俗〕	経A・商・経B選	通年	4	田中かの子	37
宗教学(3)〔世界観と儀礼〕	経A・商・経B選	通年	4	小川順敬	37
宗教学(4)〔日本人の宗教〕	経A・商・経B選	通年	4	矢野秀武	38
宗教学(5)〔生活と宗教〕	経A・商・経B選	通年	4	菅原壽清	38
宗教学(6)〔民俗宗教の諸相〕	経A・商・経B選	通年	4	浅川泰宏	39
人文地理学(1)〔風土と文化〕	経A・商選	通年	4	山口太郎	40
人文地理学(2)〔風土と文化〕	経A・商選	通年	4	高橋健太郎	41
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	経A・商選	通年	4	伊藤修一	42
教育の思想	経A・経B 2選	半期	2	伊藤茂樹	42
教育の思想	経A・商・経B 2選	半期	2	萩原建次郎	43
教育の思想	商・経B 2選	半期	2	坂本信昭	44
教育の思想	経B 2選	半期	2	豊田千代子	44
教育の思想	経B 2選	半期	2	北村三子	45
教育と社会	経A・経B 2選	半期	2	伊藤茂樹	45
教育と社会	経A・商・経B 2選	半期	2	萩原建次郎	46
教育と社会	商・経B 2選	半期	2	坂本信昭	47
教育と社会	経B 2選	半期	2	豊田千代子	47
教育と社会	経B 2選	半期	2	北村三子	48
発達と学習の心理学	経A・商・経B 2選	半期	2	小倉康仁	48
発達と学習の心理学	経B 2選	半期	2	大浜幾久子	49
発達と学習の心理学	経A・商・経B 2選	半期	2	三國隆子	49
発達と学習の心理学	経A・商・経B 2選	半期	2	飯田都	50

発達と学習の心理学	経B 2選	半期	2	角野善司	51
カリキュラムと学習	12以降入学生/経A・商・経B 2選	半期	2	小倉康仁	52
カリキュラムと学習	12以降入学生/経B 2選	半期	2	大浜幾久子	52
カリキュラムと学習	12以降入学生/経A・商・経B 2選	半期	2	三國隆子	53
カリキュラムと学習	12以降入学生/経A・商・経B 2選	半期	2	杉山二季	53
カリキュラムと学習	12以降入学生/経B 2選	半期	2	角野善司	54

(2) 社会分野

科目名	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	経A・商・経B選	通年	4	呉炳三	55
社会学〔社会生活を考える〕	経A・商選	通年	4	小畑和	56
統計学〔社会現象の統計的決定〕	経A・商・経B選	通年	4	新行内康慈	57
文化人類学〔社会変化と価値観〕	経A・商・経B選	通年	4	小川順敬	58
文化人類学〔社会変化と価値観〕	経A・商・経B選	通年	4	内山明子	59
法学・憲法〔法と国家〕	経A・商・経B選	通年	4	新田浩司	60
法学・憲法〔法と社会生活〕	経A・商・経B選	通年	4	沼田雅之	61
法学・憲法〔法と権利〕	経A・商・経B選	通年	4	沼田雅之	62
法学・憲法〔法と権利〕	経A・商・経B選	夏季集中	4	池田実	63
政治学〔政治システムと政治参加〕	経A・商・経B選	通年	4	水戸克典	63
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	経A・商・経B選	通年	4	佐藤綾野	64
社会科学論〔社会認識の思想〕	経A・商・経B選	通年	4	大石雄爾	65
教育学〔アス・エデュケーション〕	経A・商選	通年	4	柳堀素雅子	66
教育心理〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から-〕	経A・商選	通年	4	小田切紀子	67

(3) 自然分野

科目名	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学〔生態と進化〕	経A・商・経B選	通年	4	清水善和	68
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	経A・商・経B選	通年	4	加藤潔	69
自然環境論〔生命と環境〕	経A・商・経B選	通年	4	中村敏枝	69
自然環境論〔生命と環境〕	経A・商・経B選	通年	4	持丸真里	70
自然誌〔現代の自然像〕	経A・商選	通年	4	清水善和 篠原正雄 持丸真里	71
数学(1)〔微積分学入門〕	経A・商選	通年	4	小沢誠	72
数学(2)〔線型代数学入門〕	経A・商選	通年	4	小沢誠	72
数学(3)〔現代数学入門〕	経A・商選	通年	4	福田賢一	73
情報数学〔情報と論理〕	経A・商・経B選	通年	4	坂野井和代	73
物理学〔光と物質〕	経A・商選	通年	4	篠原正雄	74
化学〔衣食住の化学〕	経A・商選	通年	4	持丸真里	75
宇宙科学〔星と銀河〕	経A・商選	通年	4	篠原正雄	75
コンピュータ基礎(1)(6) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	半期	2	小沢誠	76
コンピュータ基礎(4)(9) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	半期	2	小沢誠	77
コンピュータ基礎(2)(7) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	半期	2	山本博信	77

コンピュータ基礎(3)(8) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	半期	2	小川健次郎	78
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	半期	2	澤口隆	79
コンピュータ基礎(10) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	半期	2	澤口隆	80
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	夏季集中	2	元木光雄	81
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	夏季集中	2	坂野井和代	82
コンピュータ基礎(13) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	夏季集中	2	山本博信	83
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	夏季集中	2	長坂浩史	84
コンピュータ基礎(15)(16) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	夏季集中	2	小川健次郎	85
コンピュータ基礎(17) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	夏季集中	2	塚本達也	85
コンピュータ基礎(18) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	夏季集中	2	小沢誠	86
コンピュータ基礎(19)(20) 〔コンピュータの実際〕	経A・商選	半期	2	坂野井和代	87
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	経A・商選	通年	4	坂野井和代	88
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	経A・商選	通年	4	篠田謙一	88
心理学〔人間関係を考える〕	経A・商・経B選	通年	4	鈴木順一	89
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	経A・商・経B選	通年	4	加藤博己	90
心理学〔心を科学する〕	経A・商・経B選	夏季集中	4	深堀友寛	91

(4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	経A・商選	通年	4	四津谷孝道	92
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	経A・商選	通年	4	熊本英人	93
総合Ⅰ(3)〔仏教と芸術〕	経A・商選	通年	4	村松哲文	93
総合Ⅱ	経A・商選	通年	4	休講	
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	経A・商選	通年	4	ピアス, D. M.	94
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	経A・商選	通年	4	岡崎寿一郎	95
総合Ⅲ(3)〔ドイツの森林〕	経A・商選	通年	4	野島利彰	95
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	経A・商選	通年	4	林明人	96
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	経A・商選	通年	4	西村祐子	96
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	経A・商選	通年	4	丸小哲雄	97
総合Ⅴ(1)〔イギリスの歴史と文化〕	経A・商選	通年	4	石原孝哉	98
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	経A・商選	通年	4	大野祐二	98
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	経A・商選	通年	4	青柳かおる	99
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	経A・商選	通年	4	早川紀代	100
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	経A・商選	通年	4	高橋洋城 他	101
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	経A・商選	通年	4	内海麻利 他	102

総合Ⅷ				休講	
-----	--	--	--	----	--

教養教育

科 目 名	担 当 者 名
文学〔日本文学「古典」〕	八 島 由 香

講義のねらい	平安後期物語を〈読む〉
講義の内容・ 授業スケジュール	『源氏物語』の影響を多大に受けながらも、独自のストーリー展開をさせていこうと、趣向をこらしているのが、一般的に「平安後期物語」と称される『狭衣物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』『とりかへばや物語』『堤中納言物語』といった、『源氏物語』以後の物語です。これらの作品の場面をいくつか取り上げ、実際にその本文に触れながら解説を加えることによって内容・特色を理解し、その上で物語文学における平安後期物語のあり方について考えたい。
履修上の留意点	出席に関して。出席数が年間を通じて講義数の3分の2に達しない場合、単位を認定しません。また、講義開始時間から、15分以上の遅刻は出席としません。15分以内の遅刻は2回で欠席1回と数え、遅刻が前・後期各4回を数えた時点で単位を認定しません。事前に届け出があり、なおかつその理由が認めうる早退に関しては、遅刻同様の扱いとします。
成績評価の方法	出席状況と講義時間内で度々行う小レポートによって評価します。期末レポートや期末テストの実施はいたしません。小レポートは、講義が終了した後、講義内容に関する設問をし、それについて10～15分程度の時間で答えていただくものです。A、B、C、Dの4段階で評価をします。また、時には小レポートで感想・意見を求めることもあります。こちらは評価の対象とはしません。なお、評価をした小レポート並びに感想・意見を求めた小レポートに関しては、できるかぎりコメントを付けた上で、講義時間内に返却することを考えています。
教 科 書	大概修編『平安後期物語撰』（和泉書院）1,545円
参 考 書 等	適宜、教場で指示します。
そ の 他	教科書を用いての講義形式です。必ず教科書を購入して下さい。また、必要に応じてプリントを配布いたします。講義の初回は講義内容や評価方法の説明をするため、2回目の講義から出席をとります。ただし、講義内容や評価方法、並びに履修上の留意点（出席）などの詳しい説明は、以後繰り返して説明しません。なお、受講を希望する4年生は、別に出席に関する説明がありますので、3回目までには必ず出席をして下さい。

科 目 名	担 当 者 名
文学〔日本文学「古典」〕	八 島 由 香

講義の内容・ 授業スケジュール	いわゆる文運東漸期前後から、洒落本を中心として近世戯作文芸を概観する。実際に作品を読むことで、文芸における「滑稽」がどのように表現されるのかを考察する。また、当時の風俗など、作品成立の時代的背景についても適宜触れてゆく。
成績評価の方法	出席点と年度末試験を重視する。受講態度も評価に加味する。出席数が年間を通じての講義数の3分の2に達しないものは単位を認定しない。及び、年度末試験の得点が六十点に満たないものも単位を認定しない。また、時に臨みレポートを課し、それも評価する。
教 科 書	必要に応じてプリントを配布する。
参 考 書 等	その都度、講義中に指示する。

科目名

担当者名

歴史学(西洋中世史)

ふな ぼし みち こ
舟 橋 倫 子

講義のねらい

ヨーロッパの理解に必要な基礎知識と考えるヒントを提示し、各人の問題意識をかきたてることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はローマ帝国滅亡からルネサンスまでの中世と呼ばれる時代のヨーロッパを対象とする。前期はヨーロッパの地理的・文化的大綱をつかむため、ある程度基礎的な解説を行う。各人が自分なりに中世ヨーロッパのイメージを作り上げられるよう、食文化や宗教、祭り等の身近な話題も取り挙げ説明を行う。後期は都市と農村、森、修道院といった具体的な場を設定し、人々をとりまく社会について多面的な検討を行う。最終的にヨーロッパ中世社会に共通するものは何なのかについて考え、解説を行うことで結論とする。

履修上の留意点

試験で世界史を選択しなかった学生への配慮から、ある程度基礎的な説明は行うが、高校の歴史地図帳を用意し、復習しておくことが望ましい。

成績評価の方法

学期末に行う試験によって評価を決定する。試験に際してはノートを持ち込みを許可するが、全て論述形式とするため、出席して自分なりにノートをとってまとめておかないと良い成績は期待できない。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考書は授業中に内容に応じて指示する。

その他

必要に応じてプリントを配布するが、原則として講義形式で授業を行う。

科目名	担当者名
芸術学(1)〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝

教養教育

講義のねらい	室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期 室町から桃山時代の絵画</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派 (11) 狩野正信・元信 (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇 <p>後期 江戸時代の絵画</p> <ol style="list-style-type: none"> (14) 江戸時代の狩野派 (15) ～ (18) 琳派 (19) ～ (20) 浮世絵 (21) 南蘋派 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白 (26) 江戸から明治へ
履修上の留意点	ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。
成績評価の方法	学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。
参考書等	<p>スライドで映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒澤大学図書館に所蔵されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『原色日本の美術』(小学館) 『日本美術全集』(学習研究社) 『日本美術絵画全集』(集英社) 『日本美術全集』(講談社)

科目名	担当者名
芸術学(2)〔西洋美術〕	やのようこ 矢野陽子

講義のねらい	ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀まで、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの絵画を主たる対象とします。まず美術の主要な流れを把握し、それから作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期 15世紀から18世紀までの西洋美術の流れ／絵画のジャンルについて／物語画</p> <p>後期 物語画以外の諸ジャンル／様式概念と様式分析／芸術庇護者と美術収集・美術館</p>
履修上の留意点	初回にガイダンスを行うので必ず出席すること。スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。
成績評価の方法	夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験と出席率および授業態度を合わせて評価します。

参考書等

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円
三浦篤著『まなごしのレッスン①西洋伝統絵画』（東京大学出版会）2,625円

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名

芸術学（3）〔音楽〕

担当者名

浦本裕子

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

音楽は、本来は、生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：ヨーロッパの音楽
（民族音楽とクラシック音楽）
後期：諸民族の音楽（アジアを中心に）

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

参考書等

藤井知昭他編『民族音楽概論』（東京書籍）

科目名

哲学〔現代文明と人間〕

担当者名

黒崎剛

講義のねらい

近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下のテーマを取り上げる予定
1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか
 2. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
 3. 近代的自由：自己決定。自律、労働
 4. 労働の哲学的意義
 5. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
 6. 二十世紀の人間解放論
 7. 歴史哲学

履修上の留意点

近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。教科書、参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名
哲学〔現代文明と人間〕	滝沢正之

講義のねらい	現代哲学における重要な哲学者たちのうちから何人かをとりあげ、本人が書いたテキストの一部を実際に読みつつ、その思想を紹介していきたい。 我々が現在生きているこの時代がさまざまな問題を抱えていることは誰でも知っていることである。哲学者たちの思考をたどることで、それらの問題を根本にまで立ち戻って考え直すことができる。この現代で我々は人間としてどう生きるべきか、を考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典引用部分を丁寧に読み、解説していく。受講者の問題関心に応じて扱う哲学者を選択したい。とくに要望がない場合は、現代哲学と題された部分を順に読んでいくことになる。適宜プリントで内容の補足を行う。
履修上の留意点	教科書を必ず入手しておくこと。
成績評価の方法	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書	久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社） 授業中に適宜プリントを配布する予定。
参考書等	講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木聡

講義のねらい	論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。
講義の内容・授業スケジュール	講義内容は次のものを予定している。 1. 文論理 (a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論 2. 第一階量化論理 (a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論 3. メタ論理 (a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義
履修上の留意点	毎回の出席が要求される。
成績評価の方法	成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。
教科書	配布プリント
参考書等	本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う

科目名	担当者名
論理学[知の技法]	伊古田 理 <small>いこた まさき</small>
講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。 教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版） 副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）
参考書等	そのつど指示する。
その他	上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名

担当者名
うえの 野 きみとし 公 稔

論理学〔知の技法〕

教養教育

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいてほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてってくれるのならば、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名

担当者名

科学史〔科学と技術〕

たかほししゅうゆう
高橋秀裕

講義のねらい

今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」に眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代日本の科学・技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点

いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、不明な点は質問してほしい。

成績評価の方法

講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に適宜紹介する。

その他

講義形式、随時プリント配布。

科目名

担当者名

倫理学（1）〔人間観〕

ふる た とも あき
古 田 知 章

教養教育

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
 2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
 3. 中世キリスト教思想における人間観
 4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―新しい時代の人間観
1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
 2. 自己の内面性と他者の問題
 3. 人格 ―ロックを手がかりに―
 4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（2）（7）〔応用倫理学〕	黒崎 剛 <small>くろ さき つよし</small>

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（3）〔価値観〕	滝沢 正之 <small>たき ざわ まさゆき</small>

講義のねらい

ねらいは二つある。
 第一に、近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を丁寧に紹介すること。我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることがわかってくる。カントを手がかりに、倫理学の基本的な問題を体系的に考えてみたい。たとえば、他人の幸せのために嘘をついてもいいのだろうか。
 第二に、現代に我々が生きる際に考えなければならない問題を、できるだけ多く紹介すること。カントの検討だけでは提示しきれない論点を挙げていきたい。たとえば、戦争、差別、宗教原理主義、少年犯罪など。難しい問題が多いので解決を提示するのは無理であろうが、考え方の方向性くらいは示したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期にカント倫理学の紹介を行い、後期に現代の諸問題の検討を行う予定。細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）
 また、講義中に適宜指定する。

科目名	担当者名
倫理学（４）〔応用倫理学〕	あさ 麻 生 享 志

講義のねらい

応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。現在、東大文学部21世紀COE「死生学の構築」に研究員として参加している関係で、生命倫理的内容が多く含まれるでしょうが、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を”楽しんで”もらえたらいいと思います。

成績評価の方法

前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%）
前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3-4枚程度を予定

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）

参考書等

特になし

その他

初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名
倫理学（５）〔制度とモラル〕	たき ぐち きよ えい 滝 口 清 栄

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか、いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名

倫理学（6）〔東洋倫理〕

担当者名

末木 恭彦

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。

教科書

浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名

宗教学（1）〔比較宗教文化〕

担当者名

池上 良正

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

『岩波講座・宗教』（全10巻）岩波書店。『エリアーデ著作集』せりか書房。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』筑摩書房。脇本平也『宗教学入門』講談社学術文庫。加藤隆『新約聖書の誕生』講談社。ランジュ『ユダヤ教とはなにか』青土社。

科 目 名	担 当 者 名
宗教学（2）〔聖と俗〕	たなか のこ 田 中 かの子

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート（後期中に提出）と学年末試験。

教 科 書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2004年

そ の 他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科 目 名	担 当 者 名
宗教学（3）〔世界観と儀礼〕	おがわ としゆま 小 川 順 敬

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

未定。授業開始後、紹介します。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名
宗教学（４）〔日本人の宗教〕	矢野秀武

講義のねらい	宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期に日本宗教史ならびに外国に渡った日本宗教、現代日本に入ってきた外国の宗教などをとりあげる。後半では、現代日本において冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教がどのように変容しているのか、また現代の社会制度において宗教はどのように位置づけられているのかといった点を紹介する。また単なる事実の紹介だけではなく、宗教学（宗教人類学・宗教社会学）的な視点に基づいて解説を加える。
成績評価の方法	レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。
教科書	なし
参考書等	授業時に随時紹介する。

科目名	担当者名
宗教学（５）〔生活と宗教〕	菅原 壽清

講義のねらい	人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。 授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教学・宗教人類学とは 2. 日本とアジア、その多様な姿 3. アジアの人々の生活と宗教 4. 日本の人々の生活と宗教
成績評価の方法	試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）
教科書	指定なし
参考書等	『宗教学ハンドブック』（世界書院）
その他	授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名**担当者名**

宗教学（6）〔民俗宗教の諸相〕

あさ かわ やす ひろ
浅 川 泰 宏

教養教育

講義のねらい

宗教学の概念や方法を、現代社会における人々の関係性を読み解くツールとして活用する能力の獲得を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

世俗化が進んだ現代の日本社会においては、一般論としての無宗教性と、その背後に依然として蓄えられている豊かな宗教性を両眼的に捉えることが重要となっています。本講義では、民俗宗教という観点から、我々の身近な日常生活に表出される宗教現象に着目します。

前期は、祖先祭祀や祭り、新宗教などをテーマに宗教学・宗教民俗学の基本的な視点や知識を学びます。後期には、ヒトやモノの移動が活発化し、様々な境界が溶け崩れていくなかで、着目が集まっている「巡礼」を中心に、民俗宗教を通して構築される関係性或当事者の意識の変化といった問題を考えます。

なお、講義では、毎回具体的なトピックをあげ、それについての講義と討論を行います。そのため授業中は皆さんの積極的な参加を期待します。

履修上の留意点

- ・講義中の私語は厳禁とします。
- ・受講生の理解度を確認し、講義内容に皆さんの意見を反映させるために、毎回コメントカードへの記入を求めます。御協力を御願い致します。

成績評価の方法

- 配点：レポート60点＋平常点40点＝合計100点
- ・平常点は、授業時に配布するコメントカードなどを参考に採点します。
 - ・レポートは、特に理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は講義中に随時指示します。

科目名

担当者名

人文地理学(1) [風土と文化]

山口太郎

教養教育

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理
東京年表、同潤会(アパート)の歴史、東京の都市化・都市計画史、東京論の系譜
- 3 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、シカゴ学派、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、三浦展、泉麻人、吉見俊哉、森川嘉一郎、石井實、奥田道大、水内俊雄

(後期)

- 4 都市の中の差異
時間地理学、認知地図、空間と権力、空間から場所へ
- 5 商品としての都市
選好地図、場所のイメージ(軽井沢、湘南、代官山、下北沢、歴史的町並み)、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱
故郷、原風景、郊外に住むということ、まちづくりの系譜

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』(青春出版社) 1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著(高野・神谷・岩瀬訳)『都市景観の20世紀』(筑摩書房)
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市/建築フィールドワークメソッド』(INAX 出版)
若林幹夫『都市への/からの視線』(青弓社)
吉見俊哉・若林幹夫編『東京スタディーズ』(紀伊国屋書店)

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科目名

担当者名

人文地理学（2）〔風土と文化〕

たかほしけんたろう
高橋健太郎

教養教育

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1)人文地理学からみた文化、(2)大衆文化と文化景観、(3)日本の基層文化の地域性、(4)照葉樹林文化とブナ帯文化、(5)環境決定論と環境可能論、(6)地域文化と観光、(7)地図、(8)地名、(9)空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

- 高橋伸夫ほか『文化地理学入門』(東洋書林)
- 鈴木秀夫『風土の構造』、講談社(講談社学術文庫)
- 佐々木高明『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)
- 田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)
- 市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)
- 中島峰広『日本の棚田』(古今書院)
- 溝尾良隆『観光学』(古今書院)
- 若林幹夫『地図の想像力』、講談社(講談社選書メチエ)

その他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科 目 名	担 当 者 名
人文地理学 (3) (4) [空間と行動]	伊 藤 修 一 <small>い どう しゅう いち</small>

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。それでは、その限られた場所や空間に人々はなぜ集まるのか？この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。(1) イントロダクション、(2) 地図、(3～7) 都市の分布と立地、(8・9) 都市や地域の結びつき、(10) 都市の内部構造
後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。(11・12) 人口変動と分布・人口移動、(13～18) 都市の居住構造の形成過程とその変化－郊外化・再都市化、(19) 都市と余暇活動、(20) 都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。

教 科 書

教科書は用いない。

参 考 書 等

北川建次編『現代都市地理学』(古今書院) 2,730円 ISBN4-7722-3044-0
富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』(古今書院) 2,730円 ISBN4-7722-4027-6
ノックス、P.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』(古今書院) 6,090円、ISBN4-7722-5103-0
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

そ の 他

講義ではプリントを随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名
教育の思想	伊 藤 茂 樹 <small>い どう しげ き</small>

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。
・学校教育の本質と機能
・近代日本における学校教育

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育の思想	はぎ わら けん じろう 萩 原 建次郎

講義のねらい	この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ① 自らの教育・学習体験をふりかえる—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる ② 自己と他者との体験知の交流—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流 <ul style="list-style-type: none"> (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ (2) 発達の思想を学ぶ (3) 学習の思想を学ぶ
履修上の留意点	この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。
成績評価の方法	小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。
教科書	特に使用しない。
参考書等	そのつど紹介する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	坂本信昭

講義のねらい	<p>民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。</p> <p>20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理想と目的 ・わが国の教育目的の変遷 ・現代・社会の変化と教育目的 ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）
履修上の留意点	授業の出欠は厳密にとる。
成績評価の方法	課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。
参考書等	<p>西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円</p> <p>デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円</p>
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	豊田千代子

講義のねらい	<p>この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている「コルチャック先生」（ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）の子ども観について学ぶ。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの受けてきた教育のふり返り ・教育をめぐる子どもたちの現状 ・コルチャック先生の思想（子ども観） ・子どもの権利条約とコルチャック先生
成績評価の方法	出席状況、レポート等により成績評価を行なう。
教科書	教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育の思想	北 村 三 子 <small>きたむらみつこ</small>

講義のねらい	日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
そ の 他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育と社会	伊 藤 茂 樹 <small>いとうしげき</small>

講義のねらい	学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。 ・現代の教育問題 ・教育改革の動向
履修上の留意点	ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教 科 書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
そ の 他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名**担当者名**

教育と社会

萩原 建次郎

教養教育

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わりの場」へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育と社会	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭

講義のねらい	人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。
講義の内容・授業スケジュール	<p>講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育のあゆみ ・学校の社会的機能 ・学校教育の現実と課題 ・その他（教師論等）
履修上の留意点	授業の出欠は厳密にとる。
成績評価の方法	課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。
参考書等	西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
教育と社会	とよ た ちよこ 豊 田 千代子

講義のねらい	教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・学習体験のふり返し 自分たちが受けてきた教育をふり返し、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。 ・教育と人権 障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。
成績評価の方法	出席状況、レポート等により成績評価を行なう。
教科書	教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。
参考書等	適宜紹介する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	北村三子

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	小倉康仁

講義のねらい

人間の教育活動や教育問題に対して心理学的にアプローチする教育心理学の主要な関心事として、発達および学習に関する様々なトピックスがあります。この発達と学習の問題を中心に、教育者が理解しておくべき事柄を取り上げて授業を進めていきます。つまり、「人はどのようにして育ち学んでいくのか?」、「そのプロセスにおいて親や教師や友人等からの働きかけはどのようにかかわってくるのか?」といったことについて分析・考察していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達の定義
- ②発達の規定因（遺伝と環境）
- ③発達のメカニズム（成熟と経験）
- ④発達観と教育可能性
- ⑤レディネス、臨界期と早期教育
- ⑥発達の様子（発達時期・発達段階）
- ⑦学習のメカニズム（学習理論）
- ⑧学習と動機づけ（学びを支える意欲）
- ⑨教授-学習過程
- ⑩個性・個人差と教授法（適性-処遇相互作用）

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績によって評価を行う予定です。

教科書

未定（配布プリントを中心に授業を進める予定ですが、教科書を併用する場合には、開講時に指示します）。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	おおはま きくこ 大 浜 幾久子

講義のねらい	子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。
成績評価の方法	定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。
教科書	参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	みくに りょうこ 三 國 隆 子

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。 ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。 ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・発達とは何か ・発達の特徴と発達理論 ・発達観の変遷と教育 ・学習とは何か ・学習と評価 ・意欲と学習（1）動機づけ理論 ・意欲と学習（2）自己効力感
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。 ・学期末にレポート試験を行う。 ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。
教科書	教科書、参考資料等は、授業中に配布する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

担当者名

発達と学習の心理学

飯田 都

講義のねらい

発達心理学・学習心理学は、教育現場で子どもを理解する際の基本的な視座を示す学問である。本授業では、そのトピックの中から、発達初期の愛着形成・学齢期の学習・思春期の自我発達の3つに主に焦点を当てて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達初期：子どもの愛着形成
- 2) 学齢期の学習：認知発達と動機付け
- 3) 思春期の自我発達：自我発達の特徴と友人関係の変化など

履修上の留意点

- ・自身の学校体験やこれまでの成長を振り返って記載してもらう機会があります。
- ・ディスカッションやディベート、もしくは一つのトピックを定めた調べ学習などのワークを取り入れる可能性があります。

成績評価の方法

定期試験・レポート（授業の際の小レポート）出席を取ります。講義の半数以上欠席の方は単位取得を認めません。

教科書

資料は必要に応じて配布します。

参考書等

高野清純監修『図で読む心理学「学習」』（福村出版）2,060円
川島一夫『図でよむ心理学「発達」』（福村出版）2,060円
他は授業の中で適宜紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
発達と学習の心理学	すみ の ぜん じ 角 野 善 司

講義のねらい

教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因
 (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ
 (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属
 (12) 学習目標と遂行目標 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教 科 書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参 考 書 等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	おぐら やすよし 小倉 康 仁

講義のねらい

カリキュラムの基本的な構成原理を把握したうえで、日本の現行教育課程を理解し、児童・生徒の発達と学習のしくみを踏まえながら、教育効果を上げるための適切な教授法や評価法について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①カリキュラムとは？
- ②カリキュラムの構成原理と規定因
- ③様々なタイプ（型）のカリキュラム
- ④カリキュラムと学習の転移
- ⑤学習指導要領の変遷
- ⑥現行学習指導要領の特徴
- ⑦カリキュラムと教授法
- ⑧カリキュラムと評価法

成績評価の方法

平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績によって評価を行う予定です。

教科書

未定（開講時に指示します）。

参考書等

必要な場合は、そのつど授業時に指示します。

その他

原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	おお はま きくこ 大 浜 幾久子

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科 目 名	担 当 者 名
カリキュラムと学習	三 國 隆 子 <small>みくにりゅうこ</small>

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。 ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。 ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の教育課程 ・学習指導要領の変遷 ・教授と学習の効果 ・カリキュラムと学習の効果 ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。 ・学期末にレポート試験を行う。 ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。
教科書	教科書、参考資料等は、授業中に配布する。
その他	原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科 目 名	担 当 者 名
カリキュラムと学習	杉 山 二 季 <small>すぎやまふたき</small>

講義のねらい	カリキュラムという言葉には、学習指導要領に代表されるような、公的な教育計画の枠組みという意味があります。けれどももっと広義に捉えるときには、学習の経験や履歴という意味も持っています。本授業では、このようなカリキュラムの二重の意味に注目し、子どもたちの学習をデザインする方法と課題について検討していきます。この授業を通して、学校や教師が果たしている複数の機能についての理解を深め、望ましいカリキュラムのありかたについて考えていって欲しいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	<p>授業で取り上げるテーマは以下のものを予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①カリキュラムとは何か ②学習指導要領の変遷 ③教育内容の編成と課題 ④かくれたカリキュラムとは何か ⑤カリキュラムのデザインと評価
成績評価の方法	毎回の授業中に課す小レポートと、学期末の試験成績とで総合的に評価します。小レポートの提出は出席を兼ねるので、必ず提出すること。
教科書	教科書は使用せず、資料プリントを適時配布して使用します。
参考書等	授業中に適時紹介します。

科目名**担当者名**

カリキュラムと学習

すみ の ぜん し
角 野 善 司

教養教育

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) カリキュラム（教育課程）とは
- (2) カリキュラムに関する法制
- (3) カリキュラム編成の原則
- (4) 学習指導要領改訂の歴史
- (5-6) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針
- (7-8) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針
- (9) 学習指導要領をめぐるその後の動き
- (10-12) 平成10年改訂学習指導要領（平成15年一部改正）の下での教育評価
- (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 総則編』

講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	担当者名
社会学〔現代社会を考える〕	吳 炳 三 <small>お びよん さん</small>

講義のねらい

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。

また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)社会学の基礎概念：

- I 行為論：(1)社会学における行為、(2)行為者としての個人、(3)日本の行為論
 II 集団論：(1)集団の概念、(2)官僚制理論、(3)小集団論、(4)集団の類型、
 (5)日本的集団論

(後期)現代社会の特徴的な諸相について：

- (1)家族集団、(2)恋愛、(3)結婚、(4)若者文化、IT文化、(5)少年犯罪、(6)ジェンダー、(7)少子・高齢、(8)アダルトチルドレン、摂食障害、(9)就職、転職、リストラ、(10)フリーター、ニート、引きこもり、(11)性同一性障害など

以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名

担当者名

社会学〔社会生活を考える〕

おぼたかず
小 畑 和

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出だし難しい性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- (1) マクロ的要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。)
 - (2) 誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…)
 - (3) 幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)
 - (4) 家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)
 - (5) 消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)
 - (6) 会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)
 - (7) 老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。
- この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

科 目 名	担 当 者 名
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新 行 内 康 慈 <small>しんぎょうち こうじ</small>

講義のねらい	統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値 (10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表 (12) 演習 (13) まとめ (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定 (16) 母平均・母分散の推定 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の推定 (19) 母平均の差の推定・検定 (20) 母比率の推定・検定 (21) その他の推定・検定 (22) 演習 (23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ
履修上の留意点	統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。
成績評価の方法	3回の演習と期末試験を総合的に評価します。
教科書	テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。
参考書等	石村貞夫『すぐわかる統計解析』（東京図書） 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』（日本実業出版） 永田靖『入門 統計解析法』（日科技連出版） 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』（東京大学出版）
その他	配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名

担当者名

文化人類学〔社会変化と価値観〕

小川 順敬
おがわ としゆき

講義のねらい

文化人類学(以下、人類学)とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけでなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書560番 中央公論社)

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

講義のねらい

文化人類学は、研究者が属す世界と正反対の全く異質な世界に属す「他者」、すなわち「未開」に代表される近代文明以外／以前の社会を調査対象とすることで、多様性に富んだ人類の姿を提示したり、全人類に普遍的な特徴を求めたりしてきた学問である。また、そのような「他者」を調べることによって、「他者」の目に映る近代文明の姿を描き批判していく学問としても大きな役割を果たしてきた。実際にはそのような「他者」たちは、私達と同じ近代文明世界の一員として、市場経済に組み込まれ、植民地、そして、その後は国民国家の中で生きてきたのだが、文化人類学はそのことに長いあいだ目をつぶってきたのだ。しかし、1980年代頃からそのような文化人類学に対して、他の学問や、今まで調査対象とされてきた人々の間から厳しい批判の声があがるようになり、文化人類学の側からも学問の基本的な枠組みの見直しが積極的に進められてきた。

本講義では、従来の文化人類学がどのように批判されどう見直されようとしているのかに重点を置くことで、社会変化と価値観をめぐる諸問題を扱っていくことにする。地球規模で人々やモノが移動し、テクノロジーが猛スピードで変化している今日に生きる私達は、それまで当然のこととして受け入れていた諸概念を次々と見直していく必要に迫られている。そのために必要な柔軟なものを見方をしていく切っ掛けとして、文化人類学を学んでくれることを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基本的な考え方（文明と未開、人類の分類と序列、フィールドワークと民族誌） II 親族、家族、ジェンダー III 生態、環境、開発と保護 IV 個人、救済、儀礼、宗教 V 多様性と普遍性、国民国家、少数民族問題

成績評価の方法

学期末の筆記試験を成績評価の中心に据えるが、他に夏休みの課題レポート、及び授業で取り上げるビデオに関する感想文提出なども成績評価のさいに考慮していく。また、授業に関する質問や授業中に紹介する本などを自主的に読みレポートを随時提出するなど積極的な態度に対しては高く評価します。

教 科 書

教科書は指定しない。参考文献を授業中に紹介していく。

そ の 他

プリント配布も行いますが、板書が中心となります。各自工夫してノートを作ってください。

科目名**担当者名**

法学・憲法〔法と国家〕

新田 浩 司
につ た ひろ し

教養教育

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実が発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 第1回目 ガイダンス
- 第2回目 法学の基礎知識①
- 第3回目 法学の基礎知識②
- 第4回目 法学の基礎知識③
- 第5回目 憲法の基礎知識
- 第6回目 日本国憲法の制定過程
- 第7回目 日本国憲法の基本原理
- 第8回目 国家の安全保障（戦争放棄）
- 第9回目 精神的自由権①
- 第10回目 精神的自由権②
- 第11回目 経済的自由権
- 第12回目 社会権
- 第13回目 参政権、国家請求権
- 第14回目 統治機構①
- 第15回目 統治機構②

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

講義のねらい

法学は難しい学問であるけれども（なぜなら法律用語というのは一見難解であるから）、決して堅苦しいものではありません。なぜなら、社会で起きている問題をどのように評価するかという手段の一つに過ぎないからです。つまり法学的アプローチを身につけるには、社会を見る適切な「目」を育てること、「教養」をたくさん身につけることが必要です。この講義では、抽象的で難解な法律用語の解説に終始するのではなく、社会を見渡せる「リアリティ」を大切にしていこうと考えています。したがって、公務員受験などに役立たせようと考えているみなさんには物足りないと感じられるかもしれませんが、物事を「考える」ことに重点をおいているみなさんには、いい刺激となるようなものを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス
2. 法における自由・平等
- 3～4. 憲法の役割
- 5～6. 新しい人権
- 7～8. 契約の自由とその規制
- 9～10. 診療契約と自己決定
- 11～12. 消費者の保護

(後期)

- 13～14. 刑事法の諸原則
- 15～16. 司法制度改革と裁判員制度
- 17～18. 人の生・死と法
19. 企業と法
20. 労働と法
21. 社会保障と法

などを予定しています。

下記のその他も参照してください。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていただきたいと考えています。

成績評価の方法

主として、学年末試験（筆記）のみで評価します。出席はとりませんが、出席している方が成績評価の上で有利になるような配慮はしたいと考えています。

その他、夏季に任意提出のレポート課題を出します。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加算いたします（昨年度は、法廷サスペンスものの映画を観てもらいました。）。

詳しくは、第1回目の講義時に説明いたします。

教科書

テキストとしては、森泉章『法学（第3版）』（2003年有斐閣・2,500円）を指定しますが、それとは別に、講義の中ではプリントを配布します。どちらかといえば、配布プリントを重視しますので、テキストを購入する際には、十分に吟味して決めてください。

参考書等

第1回目の講義時に説明するとともに、講義中にも適宜指示いたします。

その他

前記のスケジュールは、あくまでも予定です。履修者数や教室の状況等をみながら、適宜内容の変更を行います。例えば、履修者が80人以下であれば、後期のいずれかの日に模擬裁判を実施したいと考えています。いずれにしても、第1回の講義で大学発行のシラバスにかわる独自のシラバスを発行します。それを参考にしながら、最終的な履修を考えてください。

また、講義に連動して、サポート・サイトを運用します。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と権利〕

沼田 雅之

教養教育

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じとることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいつても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス
2. 法における自由・平等
- 3～4. 憲法の役割
- 5～6. 新しい人権
- 7～8. 契約の自由とその規制
- 9～10. 診療契約と自己決定
- 11～12. 消費者の保護

(後期)

- 13～14. 刑事法の諸原則
 - 15～16. 司法制度改革と裁判員制度
 - 17～18. 人の生・死と法
 19. 企業と法
 20. 労働と法
 21. 社会保障と法
- などを予定しています。
下記の他にも参照してください。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたきたいと考えています。

成績評価の方法

主として、学年末試験（筆記）のみで評価します。出席はとりませんが、出席している方が成績評価の上で有利になるような配慮はしたいと考えています。その他、夏季に任意提出のレポート課題を出します。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします（昨年度は、法廷サスペンスものの映画を観てもらいました。）。詳しくは、第1回目の講義時に説明いたします。

教科書

テキストとしては、森泉章『法学（第3版）』（2003年有斐閣・2,500円）を指定しますが、それとは別に、講義の中ではプリントを配布します。どちらかといえば、配布プリントを重視しますので、テキストを購入する際には、十分に吟味して決めてください。

参考書等

第1回目の講義時に説明するとともに、講義中にも適宜指示いたします。

その他

前記のスケジュールは、あくまでも予定です。履修者数や教室の状況等をみながら、適宜内容の変更を行います。例えば、履修者が80人以下であれば、後期のいずれかの日に模擬裁判を実施したいと考えています。いずれにしても、第1回の講義で大学発行のシラバスにかわる独自のシラバスを発行します。それを参考にしながら、最終的な履修を考えてください。

また、講義に連動して、サポート・サイトを運用します。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

科 目 名	担 当 者 名
法学・憲法〔法と権利〕	いけ だ 池 田 実

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようににかかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。
 〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限（土、日除く）

科 目 名	担 当 者 名
政治学〔政治システムと政治参加〕	み と かつ のり 水 戸 克 典

講義のねらい

日々ニュースで報道される政治現象の背後には、政治の表舞台・裏舞台において自らの理念や利益を実現しようと活動する多数のアクター（政治家、政党、官僚、利益集団、有権者など）が存在します。それらアクターはといったどのような行動原理に基づいて活動しているのでしょうか？
 本講義では、政治的アクターの組織と活動、及びそれらを取り巻く政治諸制度の基礎について、具体的かつ身近な事例を取り上げながら、検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

概ね以下の点を中心に講義を進めます。

- 1 ガイダンス
- 2 権力、権威
- 3 選挙制度と投票行動
- 4 国会の制度と立法過程
- 5 政党と政党制
- 6 内閣と首相
- 7 官僚制
- 8 利益集団の圧力活動
- 9 地方政治と政策決定
- 10 マス・メディアと世論
- 11 民主主義のモデル
- 12 日本政治の課題と展望

履修上の留意点

履修にあたり、特に予備知識は必要としません。
 但し、現代の政治現象に関心のある学生の履修が望ましいと思われます。

成績評価の方法

定期試験、平常点（小テスト等）、（場合によってはレポート）の結果を総合的に勘案し、評価します。

教科書

授業中に適宜指示します。

参考書等

授業中に適宜指示します。

その他

授業方法一原則として講義形式とする予定です。詳細は初回の授業時に説明します。

科目名

担当者名

経済学〔現代経済理解へのガイド〕

佐藤綾野

講義のねらい

本講義では、基礎的な経済理論をできる限り平易に解説し、また社会的に関心の高いトピックを多く取り上げ経済学の重要性を解説します。また学生の皆さんにも積極的に授業に参加してもらうことを希望します。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は、「社会人の教養」として、あるいは「本格的な経済学へ向かう導入部分」となるよう、経済学全般にわたって解説します。

講義を進めるにあたり、経済学のなかの基本的なテクニカルタームの解説からはじめ、ニュースや新聞などで報道されているような具体的な経済現象を「経済学的視点」から考えていきます。

講義終了後には、学生の皆さんが現代経済事象に関心を持ち、自ら学ぶインセンティブをつけてもらうことを目標としています。

最後に、経済学は学生の皆さんの日常生活においても、とても役に立つ学問です。頑張って習得してください。

成績評価の方法

平常点・レポート・試験を中心に評価します。

教科書

第一回目の講義で指定します。

参考書等

講義のなかで適宜指示します。

科目名	担当者名
社会科学論〔社会認識の思想〕	<small>おお いし めう じ</small> 大石雄爾

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力も高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名

担当者名

教育学〔デス・エデュケーション〕

やなぎ ぼり すがこ
柳 堀 素雅子

講義のねらい

「人間の死」の問題を多角的な視点から考えていく。今日、日本国内においても海外においても、「人間の死」に関する問題が語られない日はないと言ってよい。殺人事件、戦争による死者、医療ミスによる死、環境問題に関わる死の問題など数えればきりがない。これらの問題の原因を追求していくことが、講義のねらいである。明確な答えは出せないが、何らかの解決に向けた取り組みが提案できるようになればある程度の目的は達成されたことになる。最終目標として、人間が人間らしく生きるとはどのようなことかを考えていけるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は「殺人」の問題を哲学的、倫理的、宗教的視点から考え、後半は「バイオエシックス（生命倫理）」の問題を考える。古来から哲学者は人間の死に関する問題を考えてきた。殺人は人間の悪の問題としてもとらえられる。西洋の思想家を中心に、人間は死の問題をどのように考えてきたのかを探っていく（前半の内容）。「バイオエシックス（生命倫理）」とは、1960年代後半から登場してきた医療に関する新しい学問である。「患者の権利」という新しい概念を中心に展開されてきた。バイオエシックスの内容を具体的に説明していく（後半の内容）。

履修上の留意点

前半と後半で講義の内容が大きく変わるので、両方の内容を理解できるようにしてもらいたい。

成績評価の方法

レポートの提出（最低4本は提出してもらう予定。内容を厳密にチェックする）。出席状況も調べる。

教科書

なし。

参考書等

講義中に随時知らせるが、バイオエシックスに関するものだけあけておく。
D. ロスマン『医療倫理の夜明け』（晶文社）
ピーチャム、ナルドレス『生命医学倫理』（成文堂）
Ch. プロス／G. アリ編『人間の価値』（風行社）

その他

講義中心に行ないますが、参加人数によって多少変更するかもしれません。配布した資料は必ず自分で読んで理解すること。

科目名**担当者名**

教育心理〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から-〕

おだぎりのりこ
小田切 紀子

教養教育

講義のねらい

教育現場で出会う思春期の子どもたちを掘り下げて考える。思春期は、人間の一生の中で多様な心身の変化と社会的位置づけの変化、親との関係の変化が起きる時期である。その上、思春期は家庭や社会の影響をまともに受けやすいため、さまざまなストレスや問題行動を呈することもある。このような思春期の子どもたちに対して、教師、教育機関の専門的職業に携わる者、親はどのように向き合って関わっていけばよいのかについて心理学的観点から学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1 思春期とは何か

トピックス：身体の変化(第二次性徴)、親からの精神的自立と親密な仲間関係の形成、自己意識と他者意識の高まり

2 思春期の心の変化と行動の変化

トピックス：学校生活への適応、メディアの影響、性に関する問題、少年犯罪、摂食障害

後期

3 思春期の課題としての進路選択

トピックス：進路選択と職業選択、フリーターの問題

4 思春期と向き合う人々と諸機関

トピックス：親と家族、教師のストレスとバーンアウト、養護教諭、スクールカウンセラー、児童相談所、少年鑑別所

履修上の留意点

思春期ならびに学校現場の問題を扱っていくので、教育現場の仕事(教員、スクールカウンセラーなど)に関心がある学生の履修を希望する。出席を重視する。

成績評価の方法

試験(前期・後期)60%、平常点(出席)40%によって評価を行う。

教科書

菊池武剋監修『思春期・青年期と向き合う人のための心理学』(中央法規)2004年

参考書等

谷冬彦・宮下一博編著『さまよえる青少年の心』(北大路書店)2004年

小田切紀子著『離婚を乗り越える-離婚家庭への支援を目指して』(プレーン出版)2004年

その他

テキストを用いての講義形式とする。

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実態を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類 名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K戦略 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
- (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバルゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加 藤 潔

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に2回ぐらいつつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

教科書

特に定めなし。適宜プリントを配布。

参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名
自然環境論〔生命と環境〕	中 村 敏 枝

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境
 - (1-6) 自然のしくみ
 - (7-12) 自然の改変食をめぐる問題
 - (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 - (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
 - (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円
その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名

担当者名

自然環境論〔生命と環境〕

もち まる まり
持 丸 真 里

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるかを考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1) 生態系の成り立ち (2) 生物とは何か (3) 生命の誕生と地球環境
(4) 地球温暖化 (5) 生態系内の物質循環 (6) 生産者の働きと生態系
(7) 森林破壊 (8) 生態系の浄化作用 (9) 化学物質による生態系汚染
(10) ダイオキシン問題 (11) 環境ホルモン (12) オゾン層破壊
(13) 近代農業の問題

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが学生の理解度にあわせて進度を調整したり途中でニューストピックスを取り上げるなど柔軟に勧めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）
1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は、100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けていかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価を受けること。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名
数学(1)〔微積分学入門〕	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>
講義のねらい	数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,100円(税込)
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名
数学(2)〔線型代数学入門〕	小沢 誠 <small>おざわ まこと</small>
講義のねらい	数学の基礎分野の一つである線型代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメールの公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,100円(税込)
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科 目 名	担 当 者 名
数学（3）〔現代数学入門〕	ふく だ けん いち 福 田 賢 一

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。 本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理分野を充実させる。さらに、経済工学・金融工学の数理的基礎を学びたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期：論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用、 後期：線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、交通・運輸の数理、経済・経営の数理基礎、
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要とともに、基本的な事項の十分理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。
成績評価の方法	前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。
教科書	使用しない。教材、資料等は数時間に一回の割合で配布する。 学生諸君の経済的負担を軽減するため、関連する公的な機関等のサイト等を紹介する。
参考書等	必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。
その他	教材、資料等は数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。 可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

科 目 名	担 当 者 名
情報数学〔情報と論理〕	さかの い かず よ 坂野井 和 代

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された例題や課題を必ず解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと回答することは難しい。
成績評価の方法	評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円

科目名

担当者名

物理学〔光と物質〕

篠原まさお
のほらまお

教養教育

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は15%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気のをさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名
化学〔衣食住の化学〕	もち丸 まるま真里

講義のねらい	現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。
講義の内容・授業スケジュール	前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁 後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染
履修上の留意点	授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。
成績評価の方法	出席点と筆記試験による。
参考書等	講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
宇宙科学〔星と銀河〕	しのはらまさお 篠原正雄

講義のねらい	現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。 観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期は恒星をとりあげます。 太陽： 構造 エネルギー源 恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源 後期は銀河をとりあげます。 銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域 銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造 宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン
履修上の留意点	この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。
成績評価の方法	学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。
教科書	高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円
その他	講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (1) (6) 〔コンピュータの実際〕	お 小 沢 誠 お ざわ まこと

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

㈱シーズ著『改訂第4版オールカラー HTML ポケットリファレンス』定価1,659円

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科 目 名	担 当 者 名
コンピュータ基礎（４）（９） 〔コンピュータの実際〕	お ざわ まこと 小 沢 誠

講義のねらい	シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA 1）に従ってネットワークの基礎を習得することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	ネットワークの概要、ネットワークの基礎、ネットワークメディア、ケーブルのテスト、LANとWANのケーブリング、イーサネットの基礎、イーサネットテクノロジー、イーサネットスイッチング、TCP/IPプロトコルスイートとIPアドレッシング、ルーティングの基礎とサブネット、TCP/IPのアプリケーション層とトランスポート層について学ぶ。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを使用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
成績評価の方法	期末テストで評価します。
教科書	シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA 1）を使用します。教場のパソコンから閲覧可能です。
参考書等	シスコシステムズ『シスコネットワークアカデミーCCNA 1受講ガイド』（ソフトバンククリエイティブ）4,200円 Roads to Node (http://www5e.biglobe.ne.jp/~aji/)
その他	コンピュータの基礎的な知識と、インターネット使用の経験がある方が望ましい。

科 目 名	担 当 者 名
コンピュータ基礎（２）（７） 〔コンピュータの実際〕	やま もと ひろ のぶ 山 本 博 信

講義のねらい	この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーション・ソフトウェアの活用を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、実習だけでなく、練習問題や演習問題なども含みます。 前期では、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザによるコミュニケーションを取り上げます。後期には特に電子メディアの活用やレポートの作成を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	<p>（前学期）（１・２）授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 （３・４）キータッチの基本および確認 （５）Webメーラー（Active Mail）を用いたメールの送受信。パスワードの変更 （６～７）ワープロソフトと日本語変換 （８～１０）ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷 （１１～１２）WWWブラウザを用いたホームページの閲覧、検索、レポート作成 （最終授業）確認試験の実施</p> <p>（後学期）（１・２）授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 （３）Active Mailを用いたメールの送受信・パスワードの変更 （４）ワープロソフトによる文書作成、レポート作成・保存・印刷 （５～６）インターネットの活用（電子メール、WWWサービス） （７～８）表計算ソフトの基本 （９～１０）表計算ソフトの応用 （１１～１２）ホームページの作成 （最終授業）確認試験の実施</p>

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとしします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートの提出、授業最終回で行う実技試験によって行います。ただし、本年度入学生の成績の評価方法は、GPA 制度に基づきます。

教科書

未定。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

実習のために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。毎時間ごとに授業レジュメなどのプリントを配布します。

科目名

担当者名

コンピュータ基礎 (3) (8)

小川 健次郎

[コンピュータの実際]

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（５） [コンピュータの実際]	さわ ぐち 澤 口 隆
講義のねらい	<p>DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。</p> <p>本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。</p>
講義の内容・ 授業スケジュール	<p>コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。</p> <p>その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。</p> <p>Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。</p>
履修上の留意点	<p>コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。</p>
成績評価の方法	<p>授業中に作成した課題と出席状況で評価する。</p>
教科書	<p>使用しない。適宜資料を配付する。</p>
参考書等	<p>同上</p>
その他	<p>計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。</p>

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (10) [コンピュータの実際]	さわぐち 澤口 隆

講義のねらい	本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。 その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。 Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。
履修上の留意点	コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。
成績評価の方法	授業中に作成した課題と出席状況で評価する。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	同上。
その他	計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (11) 〔コンピュータの実際〕	もと き みつ お 元 木 光 雄

講義のねらい	コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>コンピュータの動作原理、特に OS の役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWW などのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。</p> <p>また、Web ページを記述する HTML の基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。</p> <p>8 / 1 コンピュータの基本構造と Windows の基本操作 8 / 2, 3 インターネットの原理と実際の利用 8 / 4, 7 論理的構造を持った文書の HTML による記述</p>
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。
成績評価の方法	評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。
参考書等	参考書は必要に応じて紹介する予定である。
その他	<p>実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。</p> <p>授業日程：8月1日～8月4日・8月7日の1～3時限 予備日：8月8日の1～3時限</p>

科目名

担当者名

コンピュータ基礎 (12)

さかのい かずよ
坂野井 和 代

[コンピュータの実際]

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習で作業をしながら進むので、講義は必ず出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで、1回以上休むことが当初から予想される学生は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

成績評価の方法

評価は2～3回程度の課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限

予備日：8月8日の1～3時限

科目名**担当者名**

コンピュータ基礎 (13)

やまもとひろのぶ
山本博信

〔コンピュータの実際〕

教養教育

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限

予備日：8月8日の4～6時限

科目名

担当者名

コンピュータ基礎 (14)

なが さか ひろ ふみ
長 坂 浩 史

[コンピュータの実際]

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

総合情報センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていることが前提である。そうでなければ、初日・2日目はMO ディスクまたはフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思ってよい。
逆に、1日でも休むと全課題の提出は困難になるので、特別な事情がない限り毎回出席すること。

教科書

使用しない。教材・資料・編集素材は、ファイルの形で配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。
授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限
予備日：8月8日の1～3時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (15) (16) 〔コンピュータの実際〕	おがわ けんじろう 小川 健次郎

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。 なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。
成績評価の方法	評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。
教科書	必要に応じて適宜指定する予定である。
参考書等	必要に応じて紹介する予定である。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：(15) 8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限 : (16) 8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限 予備日：(15) 8月8日の1～3時限 : (16) 8月8日の4～6時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (17) 〔コンピュータの実際〕	つかもと たつや 塚本 達也

講義のねらい	学内や自宅において各自がコンピュータを問題なく扱えるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	メール、インターネット、エクセル、ワードの基礎的なことを学ぶ。
履修上の留意点	教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要。各自履修前に取得のこと。
成績評価の方法	レポートにより行う。
その他	授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限 予備日：8月8日の4～6時限

科目名

担当者名

コンピュータ基礎 (18)

小沢 誠

〔コンピュータの実際〕

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の 3 点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

(株)シーズ著『改訂第 4 版オールカラー HTML ポケットリファレンス』定価 1,659 円

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。
授業日程：8 月 1 日～8 月 4 日・8 月 7 日、4～6 時限
予備日：8 月 8 日の 4～6 時限

科 目 名	担 当 者 名
コンピュータ基礎 (19) (20) 〔コンピュータの実際〕	さかのい かず よ 坂野井 和 代

講義のねらい	主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。
教 科 書	使用しない。適宜資料を配付する。
参 考 書 等	参考書は必要に応じて紹介する。
そ の 他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	まかのい かず よ 坂野井 和 代

講義のねらい	主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。
講義の内容・授業スケジュール	まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。
履修上の留意点	プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作(ウィンドウ操作、電子メール、WWW の利用など)はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』(翔泳社) 1,900円 ISBN4-88135-718-2
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	しの だ けん いち 篠 田 謙 一

講義のねらい	人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。 「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」
履修上の留意点	出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。
成績評価の方法	毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。
教科書	中橋孝博著『日本人の起源』(講談社メチエ) ISBN 4-06-258318-6
参考書等	特に指定しませんが講義の中で紹介します。
その他	本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強する)ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは? 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (7) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の真理 (9~10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達の心理 (12) 親子関係の心理
[後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係
(16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19) 職場の人間関係
(20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席をとります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験、小レポート、グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をとおして学ぶ心理学—』(福村出版)

科目名	担当者名
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤 博己

講義のねらい	この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し120有余年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、歴史と研究法を概観し、基礎知識を習得することを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期：オリエンテーション(講義の目標、形式、内容、評価方法、注意事項の確認等)、記憶、学習・思考、パーソナリティ、動機づけ、情動。 後期：発達、感覚・知覚・認知、社会、臨床、心理学論(心理学の語源、定義、歴史、心理学の分野、心理学の研究法、定期試験。
履修上の留意点	履修希望者は、初回授業のオリエンテーションに必ず出席し、講義の目標、形式、内容、評価方法等をよく理解した上で受講すること。初回のオリエンテーションを欠席した場合は履修を認めない。
成績評価の方法	定期試験期間内に、筆記試験を行う予定である。また、前期試験を行う可能性がある。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。
教科書	鹿取廣人・杉本敏夫『心理学第2版』2004年(東京大学出版会)2,520円(本体2,400円+税) ISBN4-13-012041-7
参考書等	教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。
その他	授業の方法-講義、ゼミ、討論;主に板書を用い、必要に応じて教科書、資料、書画カメラ、ビデオなどを用いるとともに、数回の簡単な心理検査や実験を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークや授業内容についての意見が毎回求められ、心理検査や実験への積極的な参加が望まれる。従って、単に授業に出席しているだけでは、単位取得は困難となるかも知れない。

科目名

心理学〔心を科学する〕

担当者名

ふか ぼり とも なり
深 堀 友 覚

教養教育

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的(心理的)な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・
授業スケジュール

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』(新曜社) 1994年
中村昭二『心理学概説』(八千代出版) 1982年

その他

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限(土、日除く)

科目名	担当者名
総合 I (1) [仏教と自然]	よつや こう どう 四津谷 孝 道

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点をしばりながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

- インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解
- インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解
- 肉食と菜食主義（概観）
- ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義
- 祭式にみる肉食思想と菜食主義
- バラモン教にみる肉食思想と菜食主義
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）
- 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）
- インドの法典に示された肉食と菜食主義
- パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義
- 三種浄肉（1）
- 三種浄肉（2）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）
- 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）
- 植物は生き物か（1）
- 植物は生き物か（2）
- 大乘仏教における非肉食思想（1）
- 大乘経典における非肉食思想（2）
- 如来蔵・仏性思想と非肉食思想
- 慈悲と菜食主義
- 宮沢賢治（1）
- 宮沢賢治（2）
- 聖なる牛と不浄なる豚
- ディーブ・エコロジー（1）
- ディーブ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

授業において適宜に配付する。

参考書等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名
総合Ⅰ（２）〔仏教と社会〕	熊本英人 <small>くまもと えい にん</small>

講義のねらい	日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。
講義の内容・授業スケジュール	<p>社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。</p> <p>仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。</p>
成績評価の方法	適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。
教科書	適宜プリントで配布する。
参考書等	講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
総合Ⅰ（３）〔仏教と芸術〕	村松哲文 <small>むらまつ てつ ふみ</small>

講義のねらい	本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	<p>〔前期〕</p> <p>仏教美術の世界（１～２） インドの仏教美術（３～５） 西域の仏教美術（６～８） 初期の敦煌石窟（９～１１） 後期の敦煌石窟（１２～１５）</p> <p>〔後期〕</p> <p>炳靈寺石窟（１６～１７） 麦積山石窟（１８～２０） 雲岡石窟（２１～２３） 龍門石窟（２４～２７） 朝鮮三国の仏教美術（２８～３０）</p> <p>以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。</p>
履修上の留意点	博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。
成績評価の方法	出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	講義中に適宜参考書を紹介する。

科目名

担当者名

総合Ⅲ（１）〔人権と社会問題〕

ピアス, D. M.

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. An exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅲ（２）〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 寿一郎 <small>おか ぎま としちろう</small>

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、また、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅲ（３）〔ドイツの森林〕	野島 利彰 <small>の じま とし あき</small>

講義のねらい

私たちはドイツ語のWald（ヴァルト）を「森」と訳している。樹木が多数ある場所としてはその訳で間違っていない。しかしそれらの語からイメージされるものはまったく異なっている。自然の違いが樹種の違いを生み、樹種の違いがその利用の違い、さらに生活の違いを生む。この講義ではドイツの森でどのように利用され、そこでどのような生活が行なわれているかを話します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツの森林とその樹種およびその利用について講義し、後期は森林を舞台に行なわれる狩猟について講義します。

履修上の留意点

講義でいろいろな樹木の名が出ます。日本の樹木あるいは動植物の名を知っていることが授業の理解に役立つでしょう。通学路や公園で図鑑を手にして名を調べましょう。また新聞や雑誌で植物や動物関係の記事、あるいは環境問題の記事があつたら必ず目を通し、切り抜き、ファイルを作って下さい。普段から動植物や環境問題に興味を持つことが大切です。

成績評価の方法

樹木の葉とそのスケッチの提出および日本の森林利用や環境問題に関するレポートで成績を評価します。

教科書

授業で内容に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義に直接関係する参考書は
K・ハーゼル著、山縣光晶訳「森が語るドイツの歴史」（築地書館）4, 223頁

その他

森林理解の第一歩として日本の植物図鑑があります。現在、多種多様な図鑑が出版されています。手に取り気に入ったものを是非一冊購入して下さい。

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅳ（１）〔現代アメリカ事情〕	ほやし 林 あき 明 人

講義の内容・ 授業スケジュール	現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。
成績評価の方法	前・後期のレポート、出席の総合評価。
教 科 書	プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅳ（２）〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむらゆうこ 西 村 祐 子

講義のねらい	アメリカのNPO, NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市の自治体とNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。
講義の内容・ 授業スケジュール	<p>授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。</p> <p>前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い コミュニティ・ビルディングとNPO シアトルのまちづくり シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO アメリカにおける移民とNPO 自治体とNPOの協働について：日本との比較 神戸市の事例</p> <p>後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較 日本のまちづくり政策とNPO 世田谷区のまちづくりとNPO まちづくり協議会とNPO 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO 日本における移民政策とNPO 神奈川県下のNPO, MIC かながわとすまいサポートセンターの事例研究</p>
履修上の留意点	インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。
成績評価の方法	平常点（出席率、レポート内容）重視。
教 科 書	『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房
参 考 書 等	教場で指定（インターネットサイトなど。）
そ の 他	ゲストレクチャーとして後期に世田谷区まちづくりセンター所長、およびMIC かながわ所属医療通訳者を2回程度予定している。この授業と2002年制作ビデオをもとにe-learningの教材制作を予定している。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（３）〔ポスト・モダンの世界〕	丸 <small>まる</small> 小 <small>こ</small> 哲 <small>てつ</small> 雄 <small>お</small>

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の合理性批判とその主体性の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は、建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。欧米では依然としてポストモダンを問題としており、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）することあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（他者の他者）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、日常生活における主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、時事的な問題を取り上げ、また事前にテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読む課題もあります。講義の骨子は以下の通りです。講義と課題が有機的にリンクするように指示していきます。

- 1) 総合Ⅳ（人文・社会・自然）の性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックス
- 3) 「モダン」と「ポストモダン」の定義
- 4) ルネッサンス以後の人間観、宇宙観、社会観の変化
- 5) ソシユールの言語観（言語の恣意性、ラングとパロール）と、テキストの遍在性とディスコースの効用
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の差異：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など
- 7) 西洋における理性批判の整理
 - ・モダン：ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス
 - ・ポストモダンの批判的源泉としてのニーチェの思想、ハイデガー、フランクフルト学派、
- 8) マックス・ヴェーバーの合理性と非合理性理の問題（ポストモダンに向けて）
- 9) ミッシェル・フーコーによるモダン批判：外部の力と内部の力
- 10) アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判
- 11) レビュー：ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

科目名	担当者名
総合Ⅴ（１）〔イギリスの歴史と文化〕	いし ほん こう さい 石 原 孝 哉

講義のねらい	今日のイギリスに残された歴史的、文化的な遺産を教材に、その歴史と文化の特徴を様々な方面から考察する。
講義の内容・授業スケジュール	イギリスの歴史は、異民族との相克と調和によって織り成されている。例えば、ローマ、アングロサクソン、デーン、ノルマンといった異民族は、単に一時代を政治的に支配したばかりでなく、言語、習慣、伝統といった様々な文化的な遺産をもたらした。歴史の国イギリスには、このような文化的な遺産が実に豊富に残されている。 本講義では、こうした文化的な遺産を補助教材として、そこからイギリスの実像に迫ってみたい。スライドや映像などを活用するほか、インターネット上のホームページも参照する。
履修上の留意点	イギリスの歴史や文化に関心がある意欲的な学生の受講を望む。インターネットの活用や、メールによるレポート提出なども予定しているの、それに対応できる学生が望ましい。
成績評価の方法	主としてレポートによって評価するが、出席率、発表などの平常点を重視する。
教科書	プリント配布
参考書等	そのつど教場にて指示する。

科目名	担当者名
総合Ⅵ（１）〔民族とは何か〕	おお の ゆう じ 大 野 祐 二

講義のねらい	この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。 後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。
履修上の留意点	講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。
成績評価の方法	前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。
教科書	詳細については授業中にプリントで伝える予定です。
参考書等	原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房） 吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会） 李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

科目名**担当者名**

総合Ⅵ(2)〔イスラム〕

おのやぎ
青柳 かおる

教養教育

講義のねらい

現代の国際社会における平和的共存、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考える上で、13億人以上の信徒を持ち、世界中に広がっているイスラムに関する正しく客観的な理解は必要不可欠です。この講義では、イスラムの宗教的側面、思想について理解を深めることを目標とします。イスラムと関わり深い中東の歴史、政治、思想について基本的知識を持つことも目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容の予定ですが、若干変更する場合があります。

前期

イスラムに関する文献紹介
 イスラム以前のジャーヒリーヤ時代
 預言者ムハンマドの生涯
 イスラムの教義（六信五行とイスラム神学）
 コーランとアラビア語
 メッカ大巡礼
 イスラム法
 イスラム世界のギリシア文明（イスラム哲学）

後期

スーフィズム（イスラム神秘主義）
 シーア派とイランの歴史
 イスラムにおける婚姻、女性、セクシュアリティ
 中東の民族と宗教
 聖地エルサレム
 パレスチナ問題
 イスラム原理主義運動

履修上の留意点

私語厳禁です。

成績評価の方法

期末試験（またはレポート）、出欠を兼ねた講義中の提出物、ビデオの感想文などにより、総合的に評価します。試験（またはレポート）ではイスラムに関して興味のあるテーマを自分で決め、参考文献を読み、調べて明らかになったことに対して、自分の見解を書いていただく予定です。

教科書

使用しません。

参考書等

中村廣治郎『イスラム教入門』（岩波書店 岩波新書538）1998年
 中村廣治郎『イスラムと近代』（岩波書店 叢書現代の宗教13）1997年
 青柳かおる『イスラムの世界観：ガザリーとラーズイー』（明石書店）2005年など。
 詳しくは、第一回目の講義で文献リストを配布します。

その他

講義形式ですが、なるべく皆さんとの対話に努めたいと思っています。教材はプリントを配布します。数回ビデオを上映します。

科目名

担当者名

総合Ⅵ（3）〔フェミニズム・ジェンダー〕

はやかわのりよ
早川紀代

教養教育

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしく生きてゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。

b. 労働とジェンダー

企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

c. 家族とジェンダー

皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。

d. セクシュアリティとジェンダー

今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気を除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅶ（１）〔トラブルと法的解決〕	たかはし ひろき かわぐち ゆきみ 高橋 洋城・川口 幸美
	たけなか ちか はら だ けい いちろう 竹中 智香・原田啓一郎
	ひかさ かんじ まつむら いはる 日笠 完治・松村 格

講義のねらい	<p>日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。</p> <p>法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。</p> <p>担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高橋 洋城 トラブルが法の問題になるとき 2 松村 格 刑事事件と法定手続 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法 4 川口 幸美 現代社会と商法 5 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える 6 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル
履修上の留意点	<p>各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。</p> <p>私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。</p>
成績評価の方法	<p>各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。</p> <p>追試験は、講義の形態上、行わない。</p>
教 科 書	<p>特に指定しない。</p>
参 考 書 等	<p>各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。</p> <p>六法は毎回忘れずに、持参すること。</p>

科 目 名

担 当 者 名

総合Ⅶ（２）〔都市論〕

うちうみ まり うえの じんこ
 内海 麻利・上野 淳子
 浦田 早苗・坂井 文
 早川 純貴

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々6回又は4回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：4月・5月）

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にとまって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

上野淳子「都市再開発の論理と仕組み」（6回：6月・7月）

本講義では、汐留や六本木など都内各地で進行する「都市再生」プロジェクトを題材に、都市再開発を支える論理と仕組みを（1）欲望や競争をあおる言説、（2）グローバル化、産業構造の転換という社会的背景、（3）官民協働、都市経営の思想など行政の変化という3点から考える。

内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ目指すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：11月・12月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外 国 語 科 目

外
国
語

3. 外国語科目

[英 語]

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA	経A1年	通年	2	田中保	113
英語ⅠA	経A1年	通年	2	石原孝哉	113
英語ⅠA	経A1年	通年	2	川崎浩太郎	114
英語ⅠA	経A1年	通年	2	三輪久恵	114
英語ⅠA	経A1年	通年	2	岩屋玉江	115
英語ⅠA	経A1年	通年	2	三芳康義	115
英語ⅠA	商1年	通年	2	相馬美明	115
英語ⅠA	商1年	通年	2	川崎浩太郎	116
英語ⅠA	商1年	通年	2	水崎野里子	116
英語ⅠA	商1年	通年	2	川崎笑佳	116
英語ⅠA	商1年	通年	2	真砂久晃	117
英語ⅠA	商1年	通年	2	桧山晋	117
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	経A・商1年	通年	2	丸小哲雄	118
英語ⅠB	経A1年	通年	2	山田照子	119
英語ⅠB	経A1年	通年	2	大庭直樹	119
英語ⅠB	経A1年	通年	2	伊良部祥子	120
英語ⅠB	経A1年	通年	2	大庭直樹	120
英語ⅠB	経A1年	通年	2	近藤真彫	121
英語ⅠB	商1年	通年	2	石原孝哉	122
英語ⅠB	商1年	通年	2	山田照子	122
英語ⅠB	商1年	通年	2	伊良部祥子	122
英語ⅠB	商1年	通年	2	甲斐捷子	123
英語ⅠB	商1年	通年	2	塚本利男	123
英語ⅠB	商1年	通年	2	濱口真木	123
英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕	経A・商1年	通年	2	石原孝哉	124
英語ⅡA	経A2年	通年	2	伊勢村定雄	125
英語ⅡA	経A2年	通年	2	伊藤幸一	125
英語ⅡA	経A2年	通年	2	吉江正雄	126
英語ⅡA	経A2年	通年	2	岩山義春	126
英語ⅡA	経A2年	通年	2	三幣友行	126
英語ⅡA	経A2年	通年	2	鈴木美貴子	127
英語ⅡA	経A2年	通年	2	足田和人	127
英語ⅡA	商2年	通年	2	伊勢村定雄	128
英語ⅡA	商2年	通年	2	牧野正秀	128
英語ⅡA	商2年	通年	2	牧野輝良	129
英語ⅡA	商2年	通年	2	山口晃	129
英語ⅡA	商2年	通年	2	西田義和	129
英語ⅡB	経A2年	通年	2	吉川直澄	130
英語ⅡB	経A2年	通年	2	市川仁	130
英語ⅡB	経A2年	通年	2	塚本利男	131
英語ⅡB	経A2年	通年	2	渡部孝治	131
英語ⅡB	経A2年	通年	2	植村恵子	132

外国語

英語ⅡB	経A 2年	通年	2	清水雅夫	132
英語ⅡB	経A 2年	通年	2	井出功一	133
英語ⅡB	商2年	通年	2	伊藤美代子	133
英語ⅡB	商2年	通年	2	佐藤孝一	134
英語ⅡB	商2年	通年	2	小布施圭佐三	134
英語ⅡB	商2年	通年	2	本間俊一	135
英語ⅡB	商2年	通年	2	岩原康夫	135

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA	経A・商1年	通年	2	河上和史	136
ドイツ語ⅠB	経A・商1年	通年	2	柴野博子	136
ドイツ語ⅡA	経A 2年	通年	2	柴野博子	136
ドイツ語ⅡA	経A 2年	通年	2	藪下紘一	137
ドイツ語ⅡA	商2年	通年	2	柴野博子	137
ドイツ語ⅡA	商2年	通年	2	飯塚公夫	137
ドイツ語ⅡB	経A 2年	通年	2	飯塚公夫	138
ドイツ語ⅡB	商2年	通年	2	森公成	138
ドイツ語ⅡB	商2年	通年	2	堀内美江	139

〔フランス語〕

フランス語ⅠA	経A・商1年	通年	2	伊藤なお	140
フランス語ⅠB	経A・商1年	通年	2	遠山博雄	140
フランス語ⅡA	経A 2年	通年	2	桑田禮彰	141
フランス語ⅡA	経A 2年	通年	2	沼倉広子	141
フランス語ⅡA	商2年	通年	2	遠山博雄	141
フランス語ⅡA	商2年	通年	2	前田祝一	142
フランス語ⅡB	経A 2年	通年	2	菅谷暁	142
フランス語ⅡB	商2年	通年	2	畑中千晶	142

〔中国語〕

中国語ⅠA	経A・商1年	通年	2	戸張嘉勝	144
中国語ⅠB				三田村圭子	
中国語ⅠA	経A・商1年	通年	2	宮本厚子	144
中国語ⅠB				陳洲拳	
中国語ⅠA	経A・商1年	通年	2	曹泰和	145
中国語ⅠB				福地桂子	
中国語ⅡA	経A 2年	通年	2	秋元翼	145
中国語ⅡA	経A 2年	通年	2	佐藤普美子	145
中国語ⅡA	経A 2年	通年	2	李雲	146
中国語ⅡA	経A 2年	通年	2	岩崎皇	146
中国語ⅡA	商2年	通年	2	橋本幸枝	146
中国語ⅡA	商2年	通年	2	福地桂子	147
中国語ⅡA	商2年	通年	2	李雲	147
中国語ⅡA	商2年	通年	2	弘兼加奈子	147
中国語ⅡB	経A 2年	通年	2	橋本幸枝	148
中国語ⅡB	経A 2年	通年	2	梅田雅子	148
中国語ⅡB	経A 2年	通年	2	弘兼加奈子	148

中国語ⅡB	商2年	通年	2	根岸政子	149
中国語ⅡB	商2年	通年	2	秋元翼	149
中国語ⅡB	商2年	通年	2	岩崎皇	149

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	経A・商1年	通年	2	荻野雅司	150
スペイン語ⅠA	経A・商1年	通年	2	亀山晃一	150
スペイン語ⅠB	経A・商1年	通年	2	上野勝広	150
スペイン語ⅠB	経A・商1年	通年	2	真下祐一	151
スペイン語ⅡA	経A2年	通年	2	大岩功	151
スペイン語ⅡA	経A・商2年	通年	2	真下祐一	152
スペイン語ⅡA	商2年	通年	2	上野勝広	152
スペイン語ⅡB	経A2年	通年	2	大岩功	153
スペイン語ⅡB	商2年	通年	2	大岩功	153

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA	経A・商1年	通年	2	大須賀史和	155
ロシア語ⅠB	経A・商1年	通年	2	木村英明	155
ロシア語ⅡA	経A2年	通年	2	杉山秀子	156
ロシア語ⅡA	商2年	通年	2	木村英明	156
ロシア語ⅡB	経A2年	通年	2	木村英明	157
ロシア語ⅡB	商2年	通年	2	佐野朝子	157

《再履修クラス》

〔英 語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	松堂啓子	158
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	岩井洋美	158
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	牧野輝良	158
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	萩原輝	159
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	埴美智子	159
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	川崎笑佳	159
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	太田由紀子	160
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	桧山晋	160
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	岩原康夫	160
英語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	丸小哲雄	161
英語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	高見陽子	161
英語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	澤田真弓	162
英語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	江田幸子	162
英語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	相馬美明	162
英語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	高柳文江	163
英語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	大淵利春	163
英語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	西村祐子	163
英語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	飯沼好永	164
英語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	菅原典子	164
英語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	太田美智子	164
英語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	佐藤江里子	165
英語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	岡崎寿一郎	165
英語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	吉江正雄	165
英語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	澤田真弓	166
英語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	矢島直子	166
英語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	外池一子	166
英語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	山岸二郎	167
英語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	佐藤江里子	167
英語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	長谷川公一	167
英語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	川手浩一	168
英語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	長谷川公一	168
英語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	前田脩	168
英語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	落合和昭	169
英語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	本間俊一	169
英語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	尾形重政	170
英語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	手島敬子	170

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	本橋右京	171
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	志真斗美恵	171
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	井村行子	171
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	藪下紘一	172
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	南はるつ	172

ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	飯塚公夫	172
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	杉本正俊	173
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	本橋右京	173
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	森公成	173
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	本橋右京	174
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	井村行子	174
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	前田祝一	175
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	芦原脊	175
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	小玉齊夫	176
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	菅原猛	176
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	谷川かおる	177
フランス語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	菅谷暁	177
フランス語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	今関アン	177
フランス語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	伊藤なお	178
フランス語ⅠB〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	谷川かおる	178
フランス語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	小玉齊夫	178
フランス語ⅡB〔再クラス〕					
フランス語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	沼倉広子	179
フランス語ⅡB〔再クラス〕					
フランス語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	前田祝一	179
フランス語ⅡB〔再クラス〕					

〔中国語〕

中国語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	江林英基	180
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	秋元翼	180
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	東映全	180
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	根岸政子	181
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	戸張嘉勝	181
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	本間由香利	182
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	張渭涛	182
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	弘兼加奈子	183
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	蘭明	183
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	梅田雅子	183

外国語

中国語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	岩崎皇	184
中国語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	大久保明男	184
中国語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	李雲	184
中国語ⅡB〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	蘭明	185

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	大岩功	186
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	186
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	亀山晃一	187
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	荻野恵	187
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	佐藤麻里乃	187
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	上野勝広	188
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	大岩功	188
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	亀山晃一	189
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	杉山秀子	190
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	佐野朝子	190
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	木村英明	191
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経A・商2・3・4年	通年	2	安德ニーナ	191
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	クロチコフ, Y.	191
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	大須賀史和	192
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	経A・商3・4年	通年	2	安德ニーナ	192
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					

《選 択 科 目》

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	経A・商1・2・3・4選	通年	4	林明人	193
英文講読	経A・商1・2・3・4選	通年	4	矢島直子	193
英文講読	経A・商1・2・3・4選	通年	4	牧野輝良	193
時事英語研究	経A・商1・2・3・4選	通年	4	竹村恵都子	194
時事英語研究	経A・商1・2・3・4選	通年	4	林明人	194
時事英語研究	経A・商1・2・3・4選	通年	4	岸本茂和	194
時事英語研究	経A・商1・2・3・4選	通年	4	田中保	195
時事英語研究	経A・商1・2・3・4選	通年	4	矢島直子	195
マルチ・メディア	経A・商1・2・3・4選	通年	2	落合和昭	196
マルチ・メディア	経A・商1・2・3・4選	通年	2	大庭直樹	197
マルチ・メディア	経A・商1・2・3・4選	通年	2	西村祐子	197
英会話Ⅰ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	198
英会話Ⅰ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	ウェルズ, J. K.	199
英会話Ⅰ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	200
英会話Ⅰ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	ピアス, D. M.	201
英会話Ⅰ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	ラッセル, S. J.	202
英会話Ⅰ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	ササキ, M.	202
英会話Ⅰ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	レーン, C. M.	203
英会話Ⅱ	経A・商2・3・4選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	204
英会話Ⅱ	経A・商2・3・4選	通年	2	ラッセル, S. J.	205
英会話Ⅱ	経A・商2・3・4選	通年	2	ササキ, M.	205
英会話Ⅲ	経A・商2・3・4選	通年	2	ウェルズ, J. K.	206
英会話Ⅲ	経A・商2・3・4選	通年	2	ピアス, D. M.	207
英語LLⅠ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	太田雅子	208
英語LLⅠ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	甲斐捷子	208
英語LLⅠ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	加藤佐和子	209
英語LLⅠ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	久保ひさ子	209
英語LLⅠ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	西村祐子	209
英語LLⅠ	経A・商1・2・3・4選	通年	2	埴美智子	210
英語LLⅡ	経A・商2・3・4選	通年	2	太田雅子	211
英語LLⅡ	経A・商2・3・4選	通年	2	外池一子	211
英語LLⅡ	経A・商2・3・4選	通年	2	西村祐子	212
英語LLⅢ	経A・商2・3・4選	通年	2	レーン, C. M.	213
英語LLⅢ	経A・商2・3・4選	通年	2	久保ひさ子	214
英語LLⅢ	経A・商2・3・4選	通年	2	西村祐子	214
ドイツ語外国書講読	経A・商3・4選	通年	4	柴野博子	215
時事ドイツ語	経A・商3・4選	通年	4	堀内美江	215
上級ドイツ語	経A・商3・4選	通年	2	柴野博子	215
ドイツ語コミュニケーションⅠ	経A・商2・3・4選	通年	2	小林ゲアリンデ	216
ドイツ語コミュニケーションⅡ	経A・商2・3・4選	通年	2	小林ゲアリンデ	216
ドイツ語ⅠA (選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	藪下紘一	216
ドイツ語ⅠB (選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	野島利彰	217
ドイツ語Ⅱ (選)	経A・商2・3・4選	通年	2	井村行子	217
フランス語外国書講読	経A・商3・4選	通年	4	前田祝一	218

外国語

時事フランス語	経A・商3・4選	通年	4	桑田禮彰	218
上級フランス語	経A・商3・4選	通年	2	小玉齊夫	219
フランス語コミュニケーションⅠ	経A・商2・3・4選	通年	2	ラリア・三倉, M	219
フランス語コミュニケーションⅡ	経A・商2・3・4選	通年	2	ラリア・三倉, M	219
フランス語ⅠA(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	出口雅敏	220
フランス語ⅠA(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	前田祝一	220
フランス語ⅠB(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	菅原猛	220
フランス語Ⅱ(選)	経A・商2・3・4選	通年	2	桑田禮彰	221
中国語外国書講読	経A・商3・4選	通年	4	佐藤普美子	221
時事中国語	経A・商3・4選	通年	4	塩旗伸一郎	222
上級中国語	経A・商3・4選	通年	2	本間由香利	222
中国語コミュニケーションⅠ	経A・商2・3・4選	通年	2	岩崎皇	223
中国語コミュニケーションⅡ	経A・商2・3・4選	通年	2	曹泰和	223
中国語ⅠA(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	吉田建一郎	223
中国語ⅠA(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	宮本厚子	224
中国語ⅠB(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	蘭明	224
中国語Ⅱ(選)	経A・商2・3・4選	通年	2	三田村圭子	224
スペイン語外国書講読	経A・商3・4選	通年	4	上野勝広	225
時事スペイン語	経A・商3・4選	通年	4	真下祐一	225
上級スペイン語	経A・商3・4選	通年	2	上野勝広	225
スペイン語コミュニケーションⅠ	経A・商2・3・4選	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	226
スペイン語コミュニケーションⅡ	経A・商2・3・4選	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	226
スペイン語ⅠA(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	亀山晃一	226
スペイン語ⅠB(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	ナバロ, ホワンJ.	227
スペイン語Ⅱ(選)	経A・商2・3・4選	通年	2	荻野雅司	227
ロシア語外国書講読	経A・商3・4選	通年	4	廣田英靖	228
時事ロシア語	経A・商3・4選	通年	4	木村英明	228
上級ロシア語	経A・商3・4選	通年	2	クロチコフ, Y.	229
ロシア語コミュニケーションⅠ	経A・商2・3・4選	通年	2	安德ニーナ	229
ロシア語コミュニケーションⅡ	経A・商2・3・4選	通年	2	安德ニーナ	229
ロシア語ⅠA(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	クロチコフ, Y.	230
ロシア語ⅠB(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	木村英明	230
ロシア語Ⅱ(選)	経A・商2・3・4選	通年	2	クロチコフ, Y.	231
朝鮮語ⅠA(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	宋美玲	231
朝鮮語ⅠB(選)	経A・商1・2・3・4選	通年	2	宋美玲	232
朝鮮語Ⅱ(選)	経A・商2・3・4選	通年	2	宋美玲	232

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科目名	担当者名
英語 I A	田中保

講義のねらい

英作文の力を養うということは、自分の考えや意見を英文で構築する力を身につけることである。自分自身で日本文から英文を組み立てていくことができるようになれば、大きな知的楽しみでもある。センテンスから徐々にパラグラフへと文章表現運用能力を高めることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めていきますが、プリントによる補助教材も使用する。予習を前提とした発表形式によって行ないます。前期・後期ともプレゼンテーションを行なう。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表、前期・後期の試験、小テスト、出席、プレゼンテーション、レポート等を総合的に検討して評価します。

教科書

『新・語順が身につく英作文 (Writing Step by Step)』(朝日出版社) 1,700円
ISBN4-255-15423-6 C1082

科目名	担当者名
英語 I A	石原孝哉

講義のねらい

英語の基礎力向上を目指します。特に英語の構造を理解することに重点を置き、作文、Listeningも重視します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は教科書中心に授業を進め、後期はプリントを併用して運用力を向上させます。

履修上の留意点

出席、レポートなど提出物を重視します。

成績評価の方法

前期末、後期末に試験をおこないます。出席率、レポートなど提出物、授業態度などを総合的に評価します。

教科書

Looking Backward, Major Events of the 20th Century (南雲堂) 1,800円

参考書等

教場にて指示します。

科目名	担当者名
英語 I A	川崎 浩太郎

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、自分の考えをより効果的に表現できるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	E-mail や日常会話などで使われる口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていきます。また、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それに従ってエッセイライティングも行ってもらいます。TOEIC のリスニングなども行う予定です。
履修上の留意点	毎時間辞書を必ず持つてくること。
成績評価の方法	出席点、発表点40%、レポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。
教科書	黒川裕一著『 <i>Subject: E-Mail</i> — 大学生のEメール英作文』(南雲堂) 1,900円 (税別) ISBN4-523-17396-6

科目名	担当者名
英語 I A	三輪 久恵

講義のねらい	講義のねらい：コミュニケーションにおいて、他文化（異文化）の視点からものを見て問題解決することの重要性を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違いを分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なもの見方を、合わせて養うことをめざします。
履修上の留意点	予習をしていくことが重要です。内容を理解しているかどうかをチェックする質問から始めます。
成績評価の方法	単元が終る毎に30分程度のクイズ・小テストを実施。必然的に、出席及び平常点重視となります。
教科書	In Intercultural Communication Joseph Shaules 他著 <i>Culture Riddles—America</i> (南雲堂) 1,400円 + tax

科目名	担当者名
英語 I A	いわや たま え 岩 屋 玉 江

講義のねらい

これまでに培ってきた基礎知識を確認しながら、ライティングの力を伸ばし、英語でのコミュニケーションに活かす能力を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習復習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

予習をして授業に臨むこと。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

出席および演習への参加状況・小テスト・期末試験の結果を総合しておこないます。

教科書

『*Let's Talk and Communicate !*』（金星堂）1,900円 ISBN4-7647-3802-3

外国語

科目名	担当者名
英語 I A	み よし やす よし 三 芳 康 義

講義のねらい

TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、American Accentの練習をします。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回～6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

編著者金森強、他『Global Ways Introductory』（桐原書店）ISBN4-342-54701-5

科目名	担当者名
英語 I A	そう ま よし あき 相 馬 美 明

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

Hiroko Nishida・William Gudykunst, *American Communication Patterns*（金星堂）1,200円
Mitsuho Sugawara, *10-Minute Listening (Introductory)*（桐原書店）780円

科目名	担当者名
英語 I A	川崎 浩太郎

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、英語運用能力の向上を目的とします。単発の発話、作文ではなく、ある程度まとまった長さを持つ文章の中で、自分の考えをより効果的に表現できるようにすることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	E-mail や日常会話などで使われる口語的な表現を学び、大学生が日常生活で遭遇する様々な場面に対応できるような表現力を身につけていってもらいます。また、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それに従ってエッセイライティングも行ってもらいます。TOEIC のリスニングなども行う予定です。
履修上の留意点	毎時間辞書を必ず持ってくること。
成績評価の方法	出席点、発表点40%、レポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。
教科書	黒川裕一著『 <i>Subject: E-Mail</i> - 大学生のEメール英作文』（南雲堂）1,900円（税別）ISBN4-523-17396-6

科目名	担当者名
英語 I A	水崎 野里子

講義のねらい	日常的な話題を中心に、入学時の英語力を運用し、より高度な英語が書け、話せるようになることを目的とする。一授業ごとに、基礎的な英語表現を確認しつつ、より自由な英語作文能力を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	一授業にテキスト一課を予定としている。具体的には、英語でEメール文が書けるようになって欲しい。また、通年用のテキストであるが、場合に応じては副教材も用いる。
履修上の留意点	授業には出来るだけ積極的に参加して欲しい。成績評価には、平常点(出席)をも加味する。
成績評価の方法	前期後期の二度の試験に平常点を加え、総合評価する。
教科書	『はじめてのEメール英作文』（南雲堂）1,700円 ISBN4-523-17504-7 C0082

科目名	担当者名
英語 I A	川崎 笑佳

講義のねらい	入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFL なども授業に取り入れる予定。
履修上の留意点	毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。
成績評価の方法	3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。
教科書	『 <i>Writing Puls!</i> 』（金星堂）1,950円 ISBN4-7647-3803-1

科目名	担当者名
英語ⅠA	眞砂久晃

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
 前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教科書

『*English Composition Made Easy*』(金星堂) 1,680円
 ISBN4-7647-3758-2c1082

外国語

科目名	担当者名
英語ⅠA	山晋

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名**担当者名**

英語 I A〔基礎英語特別クラス〕

丸小哲雄

外国語

講義のねらい

英文法の基礎をおさらいしながら、発信型のコミュニケーション力を涵養していきます。同時に、リスニング（＝リーディング）によって読込みと思考力の涵養も促進したい。

講義の内容・授業スケジュール

先ずリスニング・タイムとして総合理解（読みと思考）を促進しつつ、その後に、具体的な基礎文法を説明し、そして着実なライティング力を養成していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象になりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題（開講時に指示）、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

リスニングとリーディング・テキスト

1. 『Basic Grammar for College Students』（成美堂） ISBN4-7919-4909-9
2. 『英文法から攻める英作文のための15章』（英宝社） ISBN4-269-33040-6

参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

英 語 I B

<英語 I B の授業内容と履修上の留意点>

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	山 田 照 子 <small>やま だ てる こ</small>

講義のねらい	英語の仕組みを理解し、英文を確実に読みこなせるように学びます。身近で興味を引く話題をとりあげたテキストを使用します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に授業を進めて行きますが、他の資料も使用します。
履修上の留意点	予習が必要です。
成績評価の方法	授業中の発表を重視し、レポート、前期・後期の試験等による総合評価をします。
教 科 書	『A Complete College English Program - 大学英語総合ナビゲーター基本文法総まとめ編 (Book I) - 』(金星堂) 1,750円 ISBN4-7647-3795-7 C1082

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	大 庭 直 樹 <small>おお ば なお き</small>

講義のねらい	このクラスは英文を多読するクラスである。多くの英文を読んで、内容を要約する力を養うことに力点をおく。
講義の内容・授業スケジュール	このクラスは、読む内容の分野は限定せず、いろいろな分野の読み物をプリントで配布する。プリントは、年間30枚以上になり、教室で扱わないものは内容を要約して提出してもらう。教室での発表に加えて、提出課題もかなりの数になる。
履修上の留意点	予習に全力を注ぐこと。
成績評価の方法	成績は、3分の2以上の出席と、発表に重点をおく。課題の提出、ミニクイズも頻繁に行う。そして前期と後期にそれぞれ定期試験を行う。
教 科 書	テキスト：教場で指示する
そ の 他	火曜日・2時限

科目名	担当者名
英語 I B	伊良部 祥子 <small>いらぶ あきこ</small>

講義のねらい

英字新聞雑誌から様々な分野の記事を読み、語彙を増やし読解力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

英文記事を読み、考え、要約し、自分の意見を述べる。語彙や構文の演習を行う。

履修上の留意点

あらかじめ、テキストを読んでおくこと、つまり、予習が必要である。演習科目なので出席を最重視する。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業時の発表、課題の提出、出席状況で総合評価する。

教科書

『時事英語の総合演習—2006版』（朝日出版社）1,500円

科目名	担当者名
英語 I B	大庭 直樹 <small>おおば なおき</small>

講義のねらい

このクラスは講読のクラスなので、年間を通して、多読と精読を並行しておこなっていく。

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスでは、キリスト教をテーマにして文献を読み込んでいく。テキストには、新約聖書物語を選び、それを精読していく。テキスト以外に、プリントとして、キリスト教の成立と歴史についての文献、キリスト教とヨーロッパ文明の関わりを講じたものなどを配布する。

履修上の留意点

予習を十分にすること。

成績評価の方法

成績は、3分の2以上の出席と、発表に重点をおく。課題の提出、ミニクイズも頻繁に行う。そして前期と後期にそれぞれ定期試験を行う。

教科書

『新約聖書物語』（成美堂）
プリントは教場で配布する。

その他

火曜日・1時限

科目名**担当者名****英語 I B**こん どう ま ほり
近 藤 真 彫

講義のねらい

時事問題を扱った英文を読んで、ニュース記事の読解力をつけながら、その内容について意見が述べられるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を用い、単語や表現に注意しながら読解する。その上で、英語での意見の表現法を学び記事内容について話し合う。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

定期試験の成績と通常点で総合的に評価する。

教科書

授業で配布するハンドアウトを使用する予定。

外
国
語

科目名	担当者名
英語 I B	いしはら こうさい 石原孝哉

講義のねらい	世界で話される多くの英語に接しながら、読解力のアップを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	最初の授業のときに説明します。
履修上の留意点	必ず予習して出席すること。
成績評価の方法	中間、期末試験のほか、レポート、出席を重視します。
教科書	<i>The Whole Story</i> (南雲堂フェニックス) 1,600円 配布プリント
その他	火曜日・3時限

科目名	担当者名
英語 I B	やまだてるこ 山田照子

講義のねらい	英語の仕組みを理解し、英文を確実に読みこなせるように学びます。身近で興味を引く話題をとりあげたテキストを使用します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に授業を進めて行きますが、他の資料も使用します。
履修上の留意点	予習が必要です。
成績評価の方法	授業中の発表を重視し、レポート、前期・後期の試験等による総合評価をします。
教科書	『A Complete College English Program - 大学英語総合ナビゲーターリメディアル・グラマー編 (Book 3)』(金星堂) 1,900円 ISBN4-7647-3813-9 C1082

科目名	担当者名
英語 I B	いらぶ あきこ 伊良部祥子

講義のねらい	アメリカのビッグビジネスの歴史を英文で読み英語の語彙力、構文力を充実させる。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って内容に関する質問、重要構文の演習を行う。毎回、単語および重要構文のテストを行う。
履修上の留意点	あらかじめ、テキストを読んでおくこと。演習科目なので出席を最重視する。
成績評価の方法	前・後期の定期試験、授業時の発表、課題の提出、出席状況で総合評価する。
教科書	<i>Big Names in American Business</i> (南雲堂) 1,600円
その他	火曜日・3時限

科目名	担当者名
英語 I B	甲斐捷子

講義のねらい	基本的なアメリカ英語を聞き、話し、読みながら、英語の運用能力をさらに高めることが、この授業の目的です。そのために、この授業では、簡単な会話から、多岐にわたる職業の人を対象にしたインタビューで構成されているビデオを使います。授業の最初の15分間、発音とリスニングの基本練習も合わせて行うかもしれません。
講義の内容・授業スケジュール	よく聞き、話し、読めるようになった段階で小テストを行い、一つの単元を終了します。テキストはすべての単元を終了する予定です。
履修上の留意点	小テストを欠席しないようにしてください。
成績評価の方法	一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。
教科書	<i>Viva! San Francisco: Video Approach to Survival English</i> (MacMillan Language House) ¥2,000

科目名	担当者名
英語 I B	塚本利男

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とできるだけ多くの英文を速く読む基礎を身につけることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	簡潔明瞭な本文とそこでの問題をさらに明確にするための会話文を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題をときます。毎回、授業の総仕上げとして、予習を兼ねる意味でも、テキストの問題を提出してもらいます。
履修上の留意点	授業の予習をすること。辞書を持ってくること。
成績評価の方法	授業における発表・テキストの練習問題の成績と前・後期の試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、総授業数の3分の2以上は必ず出席すること。
教科書	『現代の地球・社会を映す』(隼成美堂) 1,800円+税 ISBN4-7919-0544-X C1082

科目名	担当者名
英語 I B	濱口真木

講義のねらい	英語の基本的な文法、構文の知識を確認しながら、より高度な構文の理解を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読みすすめ、内容の趣旨、要点を性格にとらえる練習を行う。
履修上の留意点	授業中の発表と出席率を重視するので、予習をしてくること。
成績評価の方法	口頭発表、出席率、前期後期テストなどを総合して評価する。
教科書	『 <i>Ins & Outs—文法中心のパラグラフリーディング—</i> 』(金星堂) 1,700円 ISBN4-7647-3812-0

科目名

担当者名

英語 I B〔基礎英語特別クラス〕

いしはらこうさい
石原孝哉

外国語

講義のねらい

日常会話を中心に、基礎力アップを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオの映像とカセットの音声を利用して、英語会話の基礎を学びます。

履修上の留意点

所定の期間までに一定の短文を覚えることが義務付けられます。

成績評価の方法

中間試験（2～3回）と期末試験のほか、レポート、出席率などを含めて総合的に評価します。

教科書

First Step Abroad（金星堂）2,000円

その他

火曜日・4時限

英語Ⅱ A

〈英語Ⅱ A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達（Writing and/or Speaking）：I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	担当者名
英語Ⅱ A	伊勢村 定雄

講義のねらい

音読とダイアログの暗唱により、英語の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月 ガイダンス
 〈本文音読・訳読→ダイアログの音読・訳読→練習→ダイアログのテスト〉のサイクルで授業は展開。以下月ごとのテスト予定。
 5月 オーラルテスト（1回）
 6月 オーラルテスト（2回）
 〃 （3回）
 7月 オーラルテスト（4回）
 9月 後期ガイダンス及び授業
 10月 オーラルテスト（5回）
 〃 （6回）
 11月 オーラルテスト（7回）
 〃 （8回）
 12月 オーラルテスト（9回）
 都合9回のテストを実施予定。

履修上の留意点

予習は必ずして出席のこと！ 辞書持参。

成績評価の方法

主にオーラルテストによる。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄・David W.Chapman『オーラルコミュニケーション英語演習』（北星堂書店）1,900円

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。
 火曜日・3時限

科目名	担当者名
英語Ⅱ A	伊藤 幸一

講義のねらい

使用テキストの和名通り「英語で学ぶやさしい経済」をやさしい英語で学ぶ。毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また復習の為に、5月末、夏休み、大学祭後に、計3回、宿題レポートを課し、「まとめ」として最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

以上の予習、復習、「まとめ」の成果によるが、詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

『Studying the Japanese and World Economies』（朝日出版社）

科目名	担当者名
英語ⅡA	よし え まさ お 吉 江 正 雄

講義のねらい	英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	H. G. Wells の "A Short History of the World" というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。
履修上の留意点	予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。
成績評価の方法	前・後期試験の結果に、平常点(授業中での発表)を加味して評価する。出席点は無。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格(単位取得の資格)を得ることになる。
教科書	H. G. Wells 著『A Short History of the World』(ウェールズの簡約世界史)(こびあん書房)教室で販売する。

科目名	担当者名
英語ⅡA	いわ やま よし はる 岩 山 義 春

講義のねらい	自分の意見を手紙やエッセイにしてまとめる能力をつけることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	初めに、コロンやセミコロン等の使い方から学び、次に、英文のエッセイや手紙を書くという練習をします。
履修上の留意点	毎回レポートを課題として提出してもらいます。テキストの予習をしてくること。
成績評価の方法	レポート提出や前・後期の試験の結果を総合的に評価します。
教科書	『Concise Writing』(桜門書房出版部)

科目名	担当者名
英語ⅡA	み めい ともし ゆき 三 幣 友 行

講義のねらい	英語ⅠAで学んだことを基礎として、英語での意思伝達能力のさらなる向上を目指す
履修上の留意点	予習を前提として授業をすすめる
成績評価の方法	出席点、平常点、小テスト点、定期試験などを総合的に評価する。欠席が授業全体の3分の1を超えたら単位は認めない
教科書	未定
その他	その他細かいことは授業開始時に指示する

科目名	担当者名
英語ⅡA	鈴木美貴子

講義のねらい

これまでに習得した英文作成力をより確かなものとし、さらに伸ばすことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストによって、文法を確認しながら、正確なセンテンスを作ることを学ぶ。その成果として、随時レポートを提出していただく。一方で、会話表現も学びたいので、随時こちらで用意したリスニング教材により、会話表現も学ぶ。

履修上の留意点

毎回必ず辞書（英和・和英）持参。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。

教科書

「文法から攻める英作文のための15章」（英宝社）1,800円
ISBN4-269-33040-6 C1082

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA	足田和人

講義のねらい

英作文および英会話の運用能力向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

演習形式で授業を行う。

成績評価の方法

毎時間小テストを行い平常点とし、前後期試験の点数を評価して加える。

教科書

WHAT'S UP ? 2006-7 Intermediate（桐原書店）

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名

担当者名

英語ⅡA

伊勢村 定雄

講義のねらい

音読とダイアローグの暗唱により、英読の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

4月 ガイダンス
 (本文音読・訳読→ダイアローグの音読・訳読→練習→ダイアローグのテスト)のサイクルで授業は展開。以下月ごとのテスト予定。
 5月 オーラルテスト(1回)
 6月 オーラルテスト(2回)
 〃 (3回)
 7月 オーラルテスト(4回)
 9月 後期ガイダンス及び授業
 10月 オーラルテスト(5回)
 〃 (6回)
 11月 オーラルテスト(7回)
 〃 (8回)
 12月 オーラルテスト(9回)
 都合9回のオーラルテストを予定。

履修上の留意点

予習は必ずして出席のこと!辞書持参。

成績評価の方法

主にオーラルテストの結果による。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄・David W. Chapmon『オーラルコミュニケーション英語演習』(北星堂書店) 1,900円

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。
 火曜日・2時限

科目名

担当者名

英語ⅡA

牧野正秀

講義のねらい

多くの英文を読み、正しく解釈するには直感的に単語を結びつけて日本語に置き換えたり内容を考えるだけではなく、構文(文法)力を活用しなければならない。辞書を使えばいかなる英文も正確に理解できる力をつけ、その上でコミュニケーションの道具としての実力を向上させたい。

講義の内容・授業スケジュール

英語特有の基本的な表現方法、語法、発音などを学び、その上でコミュニケーションの道具としての英語を考え、異文化に接する時の役に立つように勉強をしたい。従って積極的な態度や努力が必要です。今まで学んできた基本的な知識を復習再確認しながら、さらに高度な知識を会得しましょう。

履修上の留意点

活発な授業が出来るように、授業より圧倒的に多い自学自習の時間を有効に活用して、予習をしてください。さらに前向きな授業参加を期待します。尚英語の授業は講義ではなく演習なので、指名されたら必ず発表することを建前とします。

成績評価の方法

前、後期試験の結果や平常点(発表回数、出席状況、授業中の態度)などを考慮して、総合的に判定します。

教科書

開講時教室で指示します。

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA	まきの野輝良

講義のねらい	より高度な英文を身につけること。
講義の内容・授業スケジュール	各課毎に英文を詳細に読み、英文中の重要な構文、語句の用い方を覚え、英作文に応用する。
履修上の留意点	英文を和訳出来るようによく自習しておくこと。
成績評価の方法	毎時間の課題提出、3課毎の小テスト、期末テスト等を総合して評価する。単位認定には原則的に2/3以上の出席が必要である。
教科書	『ケンブリッジ プラクティカル・リーディング』（朝日出版社）1,262円 ISBN4-255-15214-4 C1082

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA	やまぐちの晃

講義のねらい	英語ⅡAの特色を生かした勉強をします。アメリカの一人の人物を通して、英語を考えます。
講義の内容・授業スケジュール	毎回プリントを配布します。その中で、ポイントを示していきます。
履修上の留意点	辞書は毎回、必ず持ってくる。遅刻のないように。
成績評価の方法	授業の中での発表、前期・後期のテストとレポート、それらをもとにして評価します。
教科書	プリント。資料は時々配布します。
参考書等	授業の中で、随時紹介します。

科目名	担当者名
英語ⅡA	にしだよしかずの西田義和

講義のねらい	英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文をある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。
講義の内容・授業スケジュール	前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。
履修上の留意点	予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。
成績評価の方法	出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。
教科書	現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

英 語 II B

〈英語ⅡBの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡB	きつかわ なお すみ 吉 川 直 澄

講義のねらい

I Bを基礎として、専門書を読むための訓練となりうる論説文(比較的短いコラム)、つまり著者がある見解を論理的に述べ、読者を説得しようとする知的な文章を正確に読む。その経験を積むことにより、論理的思考力と精神的耐久力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は3人のコラムニストの作品を隅から隅まで理解するつもりで精読し、英語に慣れ親しむのを目的とする。後期は3人それぞれの文体に注目し、ある言葉が何故選ばれたのか、その必然性について考察してみたい。また、読む速度をあげるため、量をこなす宿題や、大意を把握して要約する授業内課題も必要に応じて提出してもらう。

履修上の留意点

全授業数の3分の1以上欠席した学生には原則的に単位を認定しない。遅刻や欠席をせず意欲をもって授業に参加する姿勢を求める。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、宿題、前期後期試験を総合して評価する。

教 科 書

安西徹雄『英文読解術』(ちくま新書) 680円

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡB	いちかわ ひとし 市 川 仁

講義のねらい

より多くの量の英文を読めるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

学生の皆さんの発表を中心にして授業を進めていきます。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に出席してください。

成績評価の方法

授業中の発表、前期と後期の試験を総合的に評価します。原則として全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。

教 科 書

宇野毅『わかる日本と不思議な日本』(南雲堂) 1,680円
ISBN4-523-17516-0

科目名	担当者名
英語ⅡB	塚本利男

講義のねらい

I Bを基礎として、絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読むことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔明瞭な本文を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題をときます。毎回、授業の総仕上げとして、予習を兼ねる意味でテキストの問題を提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をすること。辞書を持つてくること。

成績評価の方法

授業における発表・テキストの練習問題の成績と前・後期の試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、総授業数の3分の2以上は必ず出席すること。

教科書

『速読の実践演習—改訂版』(成美堂) 1,700円+税 ISBN4-7919-0545-8 C1082

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡB	渡部孝治

講義のねらい

英語の運用能力の向上を目指す。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

テキストについては、開講時に指示する。

参考書等

参考書についても開講時に指示する。

科目名

英語ⅡB

担当者名

植村恵子

外国語

講義のねらい

新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標としたい。(そのためにも今、日本や世界で何が起きているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。)

講義の内容・授業スケジュール

使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連記事頻出用語を学び、次に2ページに渡るNewsを読んで内容を把握し、そしてExercises 1の問題を解きながら読み、最後にExercises 2でディクテーション(聞いて書き取る)を行なう、という作業を前期・後期を通じて進めていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。

成績評価の方法

出席状況(実授業回数少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書

藤井・内野『時事英語の総合演習—2006年度版—』(朝日出版社) 1,500円
ISBN 4-255-15427-9

参考書等

『リーダーズ英和辞典』(研究社)
『現代用語の基礎知識』(自由国民社)
『イミダス』(集英社)
『知恵蔵』(朝日新聞社)

科目名

英語ⅡB

担当者名

清水雅夫

講義のねらい

英文読解力を向上させることを目指す。語彙を増やし、構文を把握する力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は、生活に身近なライフサイエンスについて、やさしく解説したエッセイを集めたものである。どの課をどの順序で学習するかは、1回目の授業で説明する。

履修上の留意点

きちんと予習をし、授業には辞書を持参すること。

成績評価の方法

各学期の中間、期末テスト(各50点満点)が80%。出席点が20%。平常点±10%。

教科書

『ライフサイエンスとニュービジネス』(南雲堂) 1,900円
ISBN 4-523-17498-9

科目名	担当者名
英語ⅡB	井出功一

講義のねらい

テキストは、私たちの身のまわりの経済生活の知恵を、平易な英語で綴った『くらしの経済学』である。「お金の役割」、「収入と支出」、「国の経済は誰が動かすか」など私たちのくらしがテーマになっている。

講義の内容・授業スケジュール

経済学は私たちの日常生活そのものなので、そこに出てくる英文を十分聞いたり、読んだりして、英語を正しく捉える力を養う。内容は、「国の経済は家の経済と同じ」、「お金とは何か」など。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教科書

George Soule 『*Economics for Living* (くらしの経済学)』(南雲堂) 1,400円

科目名	担当者名
英語ⅡB	伊藤美代子

講義のねらい

I Bを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。また、リーディングだけでなく、スピーキング、リスニング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. Setsuko Watanabe 『英語で学ぶ世界遺産』(南雲堂) 1,700円
2. 伊藤美代子 (編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名
英語ⅡB	佐藤孝一

講義のねらい	授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいを思っています。
講義の内容・授業スケジュール	テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んでください。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人の人に発表をしてもらいますが、事前に割り振ります。
成績評価の方法	基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。
教科書	(1) M. ドライバー著 <i>It's as American as hot dogs, apple pie, and Chevrolet</i> (World Communication) 1,700円 (2) TOEIC テキストに関しては未定。授業で指示します。

科目名	担当者名
英語ⅡB	小布施圭佐三

講義のねらい	パラグラフ・リーディング、リスニング、ライティング、及び表現力を養成します。
講義の内容・授業スケジュール	英国の文化的な側面に光をあてた総合教材を利用し、効率的な読解のスキルを訓練します。 《前期》 Chapter 1～Chapter11 《後期》 Chapter12～Chapter20
履修上の留意点	授業形態は演習形式で行います。予習をしてきてください。
成績評価の方法	出席点／授業の貢献度／レポート／小テスト／定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。
教科書	和久豊／Bill Benfield『 <i>Cultural Walks in Britain</i> 』（成美堂）1,800円 ISBN4-7919-0542-3 C1082

科目名	担当者名
英語ⅡB	ほんまとしかず 本間俊一

講義のねらい

教科書の英文の理解とその応用表現を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに、年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

TOEIC TEST: *Step by Step* (南雲堂) 1,900円
ISBN4-523-17418-0 C0082

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡB	いわはらやすお 岩原康夫

講義のねらい

社会学的な問題や科学の問題などを扱った教材を用い、英語特有の論理と表現に注意を払った読解力の養成を目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

クラスは基本的にテキストに沿って読み進む。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Gerald and Vivienne Mosback, Practical Faster Reading (朝日出版) 1,262円
ISBN4-255-15214-4

〔ドイツ語〕

科目名

担当者名

ドイツ語ⅠA

かわ かみ かず ひと
河 上 和 史

講義の内容・
授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

外国語

科目名

担当者名

ドイツ語ⅠB

しば の ひろ こ
柴 野 博 子

講義のねらい

この授業では、ドイツ人の生活や文化についてのある程度まとまった文章を読んで、文法で学ぶ表現形式が実際の場でどのように使われているかを見ていきます。ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも関心を持っていただければと思っています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねていくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩節『希望のドイツ語（新訂版）』（朝日出版社）2,300円

科目名

担当者名

ドイツ語ⅡA

しば の ひろ こ
柴 野 博 子

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

その他

水曜日・3時限

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	やぶ した こう いち 数 下 紘 一

講義のねらい

1年生で習った知識を基にして、やさしい文を訳してみます。単語と言い回しが一寸むづかしいかもしれませんが、解説がたくさんあるので、何とかできます。

成績評価の方法

評価は中間試験（7月）と1月の年度末試験で（50点満点の試験を2回）決めますが、平常点も、出席も加味します。

教科書

『ドイツ人の一生』（朝日出版社）1,900円＋税

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	しば の ひろ こと 柴 野 博 子

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

その他

月曜日・3時限

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	いい づか きみ お 飯 塚 公 夫

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール
 前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）
 前期後半：練習問題と平行して、映画をみながらテキストである映画のシナリオの読解。
 後期：映画をみながら、テキストであるシナリオの読解。（映画の内容：元刑事のタクシー運転手とトルコから連れてこられて犯罪の手先に使われるクルド人少年の心の交流を温かくかつクールに描いたもの）

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること（完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各1回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書

Uwe Timm: Eine Hand von Gras (ISBN:3-462-02916-9)。本が欲しい人は自分で洋書店で注文してください。そうでない人にはコピーを用意します。

科目名

担当者名

ドイツ語ⅡB

飯塚公夫

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール
 前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）
 前期後半：練習問題と平行してテキストの読解
 後期：テキストの読解
 （テキストは昨年ⅡAで使用のものと同じだが、昨年の続きの部分、つまり収容所の生活が始まる7章の24ページから始まります。それまでのあらすじを最初に説明します。）

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書

Rolf Kralovitz 著「ブーヘンヴァルト10090」（同学社）1,500円

外国語

科目名

担当者名

ドイツ語ⅡB

もり 森 こう せい 公 成

講義のねらい

ドイツ語ⅠAとⅠBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

テキストはこちらで用意します。

科目名**担当者名**

ドイツ語ⅡB

堀内美江

講義のねらい

今年はサッカーのワールドカップがドイツでおこなわれます。日本と長い関係を持ち、親日の人も多いドイツは、日本と同じ歴史を歩みながらも様々な点で学ぶことも多い国でもあります。

この授業では、ドイツの文化や社会に具体的に触れながら、いつドイツに行っても困らないくらいのドイツ語及びドイツについての知識を学んでもらえればと願っています。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1年次に学んだ知識を再確認しながら、聞く、話す、読む、書くという能力をバランスよく養成していきます。

前期：1年次の復習に重点を置きながら、ヒアリング練習などを通して実用的なドイツ語の力をつけていきます。

後期：ドイツの日常生活の中で、自分から情報を発信したり、相手に反応できる力を養っていきます。

履修上の留意点

毎回必ず文法の復習をしますので、あせらずに参加して下さい。又、辞書は毎回持って来るようにしましょう。楽しく身になる授業を心がけますので、質問、リクエストがあればいつでも遠慮なく来て下さい。

成績評価の方法

出席、前後期試験、その他平常点などを含めた総合評価をおこないます。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾著『Dialog ステップアップ版』（郁文堂）2,400円
ISBN4-261-01192-1

外国語

[フランス語]

科目名	担当者名
フランス語 I A	伊藤 なお

講義のねらい

一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

日常よく使われる単語と表現を用いて基礎的な文法を体系的に学んでいきます。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、数多くの練習問題に取り組みます。発音練習と音読に力を注ぎます。

履修上の留意点

授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる宿題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

伊勢晃、谷門千賀子『ウワラ!』（早美出版社）本体2,100円

科目名	担当者名
フランス語 I B	遠山 博雄

講義のねらい

ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。

成績評価の方法

筆記試験を2回行います。その中にリスニングも含まれます。

教科書

藤田裕二他著『新・東京一ぱり，初旅行』（駿河台出版社）2,310円
ISBN4-411-01097-6

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業で、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円＋税

参考書等

そのつと授業で指示します。

外国語

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	ぬま くら ひろ こと 沼 倉 広 子

講義のねらい

辞書を使いこなして文章を読む力をつける

講義の内容・授業スケジュール

フランスのさまざまな変化を多面的に取り上げて、写真や地図、グラフなどの資料、時にはビデオなどを見ながらフランスの今を理解する。

履修上の留意点

文法の勉強もするので、休まない事が肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教科書

澤田直之・リリアヌ・ラタンジオ・黒川学著『アミカルマンーフランス語・フランス文化への誘いー』（駿河台出版社）2,625円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	と お やま ひろ お 遠 山 博 雄

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行います。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行いません。その中にリスニングも含まれます。

教科書

澤田直他著『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	前田祝一
講義のねらい	レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。
履修上の留意点	初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。
成績評価の方法	基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。
教科書	柳沢・小田切編『ギリシャ神話2——エロスとオルペウス——』（第三書房）1,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡB	菅谷暁
講義のねらい	教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験によります。
教科書	ボームルー著『セレクション・時事フランス語1997-2002』（朝日出版社）1,800円
その他	毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名
フランス語ⅡB	畑中千晶
講義のねらい	リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。
履修上の留意点	自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。
成績評価の方法	前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%
教科書	中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）1,800円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

- ・松岡榮志ほか『クラウン中日辞典』（三省堂） 4,000円／『小型版』（2004年）2,800円
- ・上野恵司『基礎中国語辞典』（NHK出版） 3,500円
- ・武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（小学館） 3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円
- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円

ここに挙げた以外にも、同規模あるいはさらに小型の、また中日・日中を1冊で間に合わせるような辞書が幾つか出版されているが、内容が粗雑であったり、古かったり、学習に必要な配慮を欠いていたりで、薦められない。なお、日中辞典は必携ではないが、以下のものが手元があれば重宝するであろう。

- ・北京・对外経済貿易大学『日中辞典〔第2版〕』（小学館） 7,000円 2002年
- ・倉石武四郎、折敷瀬興『岩波 日中辞典〔第2版〕』（岩波書店） 5,000円 2001年
- 3年次以降も継続して学習する場合は、以下のうち、実際に手に取ってみて気に入ったものを選ぶとよい。かなり値が張るものが多いが、じっくりと親しみ使い込むほどに、大枚を叩いた以上の恩恵が身にしみるのもこれらの書である。
- ・相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円
- ・伊地智善継『白水社中国語辞典』（白水社） 7,800円
- ・商務印書館・小学館『中日辞典』（小学館） 6,800円
- ・愛知大学『中日辞典〔増訂第2版〕』（大修館書店） 8,600円

科目名	担当者名
中国語 I A	と 戸 張 嘉 勝 み た けい こ
中国語 I B	三田村 圭 子

講義のねらい	発音（ピンイン＝中国語の表音ローマ字発音法）と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。 ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。 ③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。
履修上の留意点	欠席は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。
教科書	牧田英二・楊立明『新編 例文中心初級中国語』（同学社）2,415円

科目名	担当者名
中国語 I A	みやもと あつ こ 宮 本 厚 子 ちん しゅう きよ 陳 洲 拳
中国語 I B	

講義のねらい	中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。
講義の内容・授業スケジュール	はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。
履修上の留意点	授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。
成績評価の方法	前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。
教科書	陳洲拳・劉光赤・水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	曹 泰和 ふく たいわ
中国語ⅠB	福 地 桂子 ふく ち けいこ

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	単語、基本文法の習得を目標とする。基本文型を繰り返し練習する。単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をⅠBで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をⅠAで行う。
履修上の留意点	予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。
成績評価の方法	出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。
教科書	楊凱栄・張麗郡『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,415円
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語ⅡA	秋 元 翼 あき もと へい

講義のねらい	日本語の中に溶け込んでいる故事成語の由来を中国語で読んでいく。初級文法を復習しながら正確な意味の把握ができるよう読解力を養う。
履修上の留意点	新しい単語がたくさん出てくるので予習・復習を欠かさず授業に臨むこと。また、音声面もおろそかにしたくないので、目で字を追うだけでなく、音読にも力を入れたい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。
成績評価の方法	平常の学習態度や到達度と、期末のテストの結果によって総合的に評価する。
教科書	荒屋勸『日本に生きる中国語－故事成語編－』（朝日出版社）1,785円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	佐 藤 普美子 さとう ふみこ

講義のねらい	中国語Ⅰで習った文法事項を復習しながら最後のユニットでは中国人が書いた文章を読めるように、段階的に学習を進めていきます。
講義の内容・授業スケジュール	各課の本文は「暗記」、練習問題は「宿題」とし、翌週にチェックします。
履修上の留意点	ともかく「出席する」ことと、声に出して課文を復習することが大切です。
成績評価の方法	前後期末試験、出席点、暗記・宿題等の平常点を総合して評価。
教科書	董燕・遠藤光暁『読む中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	李 雲

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

阪口直樹等『ストラクチャー—構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

その他

水曜日・3時限

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡA	岩崎 皇

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙を増やすことが目標です。テキストはウイグル族に伝わる小話集ですが、主人公阿凡提の名を知らない中国人はいないほど、広く親しまれています。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回を越えた場合は試験結果に関わらず成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度、試験結果から評価します。試験は年間4回行います。授業中に日時範囲等説明しますから、欠席しないよう注意してください。

教科書

大川完三郎『阿凡提的故事』（朝日出版社）1,260円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	橋本 幸枝

講義のねらい

あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちっと読めるようになることを目指す。既習の文法を定着させ、更に補語や複文表現を学ぶ。また発音をしっかりと習熟させる。

講義の内容・授業スケジュール

本文がきちっと訳せるかチェックし、単語の意味、文章構造、文法事項を解説する。練習問題により理解できたか確かめる。2週間に1課の目安で進めていく。

履修上の留意点

欠席しないように。課題をしっかりとやること。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。

教科書

王曙光『中文大世界』（白帝社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅡA	福地桂子

講義のねらい	自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。 文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文を学ぶ。 中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。 中国の社会文化に対する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	中国事情を紹介した文章を読む。 文法事項を体系的に把握する。 下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進捗で進めていく。
履修上の留意点	必ず予習してくる。
成績評価の方法	前後期(各2回)の総合テスト、小テスト、授業での発表内容(予習してあるかどうかを重視)、出席状況を総合して評価する。
教科書	顧明耀ほか『系統的に学ぼう中国語Ⅱ 中級読解コース』(白帝社)1,890円

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡA	李雲

講義のねらい	講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。
履修上の留意点	授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。
成績評価の方法	出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。
教科書	三宅登之・張国璐・石黒ひさ子『公式でわかる初級中国語』(朝日出版社)2,310円
その他	月曜日・3時限

科目名	担当者名
中国語ⅡA	弘兼加奈子

講義のねらい	全12課の課文を通し、中国人の生活面における日本との違いを紹介していく。 翻訳が中心となるが、発音・声調も重視し、読みにも力を入れる。
成績評価の方法	成績は年間約4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	張継濱・小川文昭『中国ってどんな国?』(白水社)2,100円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	橋本幸枝

講義のねらい	正確な発音がしっかり定着すること。いろいろな場面における基本的な会話ができるようになること。平易な中国語を聞いて理解できるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音が更に定着するよう本文の音読をする。教科書の会話文を覚え、生徒同士会話するチャンスを多く設ける。また、教科書の練習問題に添ってリスニングの練習をする。2週間に1課の日安で進めていく。
履修上の留意点	欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。
成績評価の方法	出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。
教科書	陳浩・梁月軍『中国語会話ステップアップ』（郁文堂）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	梅田雅子

講義のねらい	一年時に学習した内容を整理・復習しながら、聞き取り能力と会話能力の向上を図る。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、新出単語から聞き取り試験を行う。本文・新出単語・文法事項などの確認の後、二人組で会話の練習を行い、発表する。適宜、発音方法の確認と矯正を行う。
履修上の留意点	3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書（日中・中日）持参
成績評価の方法	平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%
教科書	中国詩文研究会『総合現代中国語』（東方書店）1,800円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	梅兼加奈子

講義の内容・授業スケジュール	テキストは聞き取り中心の実践的な内容となっている。後半は作文にも力を入れる。趣味や将来の夢等、自分の事を表現出来るようにしていく。
成績評価の方法	成績は年間4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	相原茂・玄宜青『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	ね ぎし まさこ 根 岸 政 子

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点

平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習を行うこと。

成績評価の方法

前期後期の試験、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書

石慧敏・金子眞也『上海びより』（好文出版）2,100円

外国語

科目名	担当者名
中国語ⅡB	あきもと たかく 秋 元 翼

講義の内容・授業スケジュール

会話で使う基本的な表現を聞いて分かり、口に出して発音できるようにする。初級文法も復習しながらヒヤリング・会話力の基礎を養う。

履修上の留意点

音声面を主にした授業なので、できるだけ教科書から目を離して耳と口を働かせること。授業以外でもCDを聞いて中国語の音やリズムに慣れるようにして欲しい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

胡金定・吐山明月『改訂版 はじめての中国語会話ツール24』（同学社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	いわさき ひろし 岩 崎 隼

講義のねらい

授業は中国語の音声的訓練が中心になります。授業中はきちんと声を出すよう努力してください。本文を覚えることが何より大切です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って、付属のビデオを見ながら、進めていきます。実際の画像を見ることによって雰囲気まで理解できることでしょう。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度、テストによって評価します。テストは年間4回以上行います。欠席しないよう注意してください。

教科書

遠藤光暁「話す中国語北京篇2」（朝日出版社）2,625円

[スペイン語]

科目名	担当者名
スペイン語 I A	おぎのまきじ 荻野雅司

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

科目名	担当者名
スペイン語 I A	かめやまこういち 亀山晃一

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名
スペイン語 I B	うえのかつひろ 上野勝広

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名
スペイン語ⅠB	真下祐一

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って進めます。はじめに各課のテーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう平日頃スペイン語圏のニュースに注意してください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

上野 勝広 『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など。

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	大岩功

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語・基礎と演習』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	眞下祐一

講義のねらい	一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。
講義の内容・授業スケジュール	教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。
履修上の留意点	予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。
成績評価の方法	100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。
教科書	東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロース페인語初級一』（朝日出版社）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	上野勝広

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。また日本文化をスペイン語でいかに表現するかについても触れてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課～4課まで、後期は5課～7課を解説します。同時にプリントを配布し、口頭および筆記の練習を追加します。 またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。
履修上の留意点	休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法	年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。
教科書	荻野 恵／サンティアゴ・マルティン『基礎固めのスペイン語』（同学社） 2,500円

科目名	担当者名
スペイン語ⅡB	大岩功

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習しながら、簡単な文章を読んでいます。その後、さらに新しい文法項目の学習と平行して、少しずつ複雑な文章の読解にチャレンジします。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、授業中に適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

その他

月曜日・4時限

外国語

科目名	担当者名
スペイン語ⅡB	大岩功

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

福嶋教隆著『生き生きスペイン語』(朝日出版社)
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

その他

水曜日・2時限

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞、などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名
ロシア語 I A	大須賀 史和 <small>おおす か ふみ かず</small>

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円+税

参考書等

『露和辞典』

外国語

科目名	担当者名
ロシア語 I B	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円+税

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA	杉山秀子

講義のねらい	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。
成績評価の方法	出席と平常点を重視します。
教科書	やさしいロシア語読本（杉山秀子他著）（大学書林）、一年次にわたした文法表。
参考書等	露和辞典
その他	プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA	木村英明

講義のねらい	1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ○アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。 ○日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。 ○やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。 ○かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。 ○中等文法のエッセンスを勉強をします。
成績評価の方法	出席と平常点を重視します。
教科書	『やさしいロシア語読本』（大学書林）。1年次に使用した教科書と文法表。
その他	プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡB	木村英明

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

外国語

科目名	担当者名
ロシア語ⅡB	佐野朝子

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。

その他

プリント配布。

《再履修クラス》

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まつ とう ひろこ 松 堂 啓 子

講義のねらい

リスニングを含む演習を通して、基礎力を補強する。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、リスニング、文法読解を総合的に学習する。音声教材の利用で日常使われる頻度の高い表現を身につけ、文法、語法の学習で文章構成力を高める。様々な文章、文体に意識的に触れ、英語の表現に慣れるようにする。

履修上の留意点

出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法

小試験・期末試験等を総合的に評価します。

教科書

『Power-Up English 〈Basic〉』（南雲堂）ISBN4-523-17449-0

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いわ い ひろみ 岩 井 洋 美

講義のねらい

自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストやプリントを用いて口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行い、基本的な表現を習得しながら単語力をつけ文法を確認します。復習テストを度々行う予定。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。授業態度も重視します。追試験や課題は行いません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点と前・後期試験、不定期のテストで評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	まきの の てる よし 牧 野 輝 良

講義のねらい

英文構造の理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。

履修上の留意点

かならず出席し、指名されたら和訳出来るように予習しておくこと。

成績評価の方法

3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。

教科書

田本&Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円
ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	はづ わら 菫 原 てる 輝

講義のねらい	英語による意志伝達能力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、その内容についての意見を英語で表現してもらう予定。
履修上の留意点	辞書を持参して欲しい。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期、後期の試験等の総合評価。
教科書	J. グレイ・高橋・他著 World Companies『世界のリーディングカンパニー』（弓プレス） ISBN4-8034-1228-6 C1082

外国語

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	はなわ みちこ 埴 美智子

講義のねらい	英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
履修上の留意点	辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
成績評価の方法	日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	『Appreciating European Culture—生まれ変わるヨーロッパ—』（成美堂）1,800円
参考書等	その都度黒板に板書し案内する。
その他	大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	かわ さき えみ 川 崎 笑 佳

講義のねらい	入学時の英語能力を基盤として、意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFL なども授業に取り入れる予定。
履修上の留意点	毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。
成績評価の方法	3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。
教科書	『Enjoy Writing for Everyday Use』（北星堂）1,600円 ISBN4-590-01179-4

科目名	担当者名
英語 I A [再クラス]	太田 由紀子

講義のねらい	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。
履修上の留意点	予習・復習をすること。
成績評価の方法	授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。
教科書	Charles Chaplin, <i>My Autobiography</i> (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99 ISBN: 0141011475

科目名	担当者名
英語 I A [再クラス]	椛山 晋

講義のねらい	英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
履修上の留意点	私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。
成績評価の方法	出席が最重要。小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。
教科書	第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名
英語 I A [再クラス]	岩原 康夫

講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	<i>Cultivating Writing Skills</i> (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	丸 小 哲 雄

講義のねらい

広告の読みと理論。広告なくして、資本主義は生き延びることはできない。商品に夢を与え、不快なものはすべて経済市場から追放します。夢と引き替えに広告は、世界に起きているさまざまなことを隠蔽し、人間の不快な側面や非民主主義的なものを覆い隠します。広告は人々の欲望を管理しているのです。消費者として解放される必要性から喪失した主体性の復権のための広告論を扱います。

講義の内容・授業スケジュール

英文法は総理解として、リーディングによって読込みと思考を促進し、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

教科書

Decoding Advertisements (英宝社)
A Complete College English Program Book 3 (金星堂)
 ISBN4-7646-3813-9

参考書等

随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

外国語

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	高 見 陽 子

講義のねらい

英文を読む速度をあげ、より多くの情報を短時間に得る力を伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視します。

履修上の留意点

必ず辞書を持参し、各自のレベルに応じて予習すること。授業では内容を確認するための精読も行いますので、復習は全員必ずすること。

成績評価の方法

前・後期末試験の結果をもとに、平常点と小テスト・レポート等の結果を勘案し、総合的に評価します。また、全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。

教科書

土屋武久、Robert Hickling、本多吉彦、*A Complete College English Program*『大学英語総合ナビゲーター リメディアル・グラマー編 (Book 3)』(金星堂) 1,900円
 ISBN4-7647-3813-9

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	澤田真弓

講義のねらい	テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	杉本豊久、孝子共著『 <i>In-Depth Reading</i> パラグラフの読みと深化』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17457-1

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	江田幸子

講義のねらい	英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。 英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのに適しているでしょう。
講義の内容・授業スケジュール	クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。
成績評価の方法	再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数の多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。
教科書	『 <i>Base Line</i> 』(南雲堂) 1,800円 ISBN4-523-17503-9

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	相馬美明

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。
成績評価の方法	全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。
教科書	Hiroko Nishida・William Gudykunst『 <i>American Communication Patterns</i> 』(金星堂)1,200円 Mitsuho Sugawara『 <i>10-Minute Listening (Introductory)</i> 』(桐原書店) 780円

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	高柳文江 <small>たか やなぎ しみ え</small>

外国語

講義のねらい	英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業では Reading だけでなく Listening にも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。
履修上の留意点	授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には 2 / 3 以上の出席が要求されます。座席指定。
成績評価の方法	試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%。
教科書	『Looking at America』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	大瀨利春 <small>おお せ り し 春</small>

講義のねらい	英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。
講義の内容・授業スケジュール	やさしい英文で書かれているニュースを読み、それに関連する練習問題—単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。
履修上の留意点	授業は予習を必ずしておくこと。
成績評価の方法	日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。
教科書	未定

科目名	担当者名
英語 I B〔再クラス〕	西村祐子 <small>にし むら ゆう こ</small>

講義のねらい	英語の読み書きだけでなく聞き、話すことに中心をおいたクラス。CDROM を中心に聞き取り力をアップさせ、さらにフラッシュカードを多用して授業で学習した英語の基礎構文を暗記してゆくことで作文力をつける。口頭練習を奨励することで話す力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	前期：教科書 UNIT 1-11 まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験。 (各ユニットごと) 後期：UNIT 12-22 まで。各ユニットごとに重要構文を暗記する。口頭および筆記試験 (各ユニットごと)
履修上の留意点	出席重視だが、30分以上の遅刻は欠席扱いとする。授業中の口頭発表や聞き取り試験を受けない場合は点数がつかない。
成績評価の方法	口頭練習の後の発表、聞き取り試験などを平常点として重視する。出席点を 3 分の 1 とし、残りの 3 分の 2 は発表と聞き取り試験で採点する。
教科書	Essential Listening 3 (Macmillan)

科目名	担当者名
英語ⅠB〔再クラス〕	飯沼好永

講義のねらい	様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。
履修上の留意点	リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。
成績評価の方法	出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）
教科書	<i>Leading Companies in the 21st Century</i> 「21世紀の企業—成功の舞台裏」 松柏社 1,900円 ISBN4-88198-566-3

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	菅原典子

講義のねらい	テキストとプリントを併用して、英語の運用能力向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、さまざまなジャンルのプリントを使用します。
履修上の留意点	授業は予習をしてくる事。
成績評価の方法	前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。
教科書	熊井信弘／Stephen Timson 共著 <i>Smash Hit Listening Revised Edition</i> 『ロック&ポップで楽しむ初級リスニング・改訂版』（マクミランランゲージハウス）2,100円 ISBN4-89585-480-9 C3082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	太田美智子

講義のねらい	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。
履修上の留意点	必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	『 <i>Access To The Future</i> 』（南雲堂フェニックス）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	佐藤江里子

講義の内容・ 授業スケジュール	テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な英語表現を身につけることをめざす。
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。
成績評価の方法	前期後期試験（50%）と平常点（50%）による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。
教科書	教場にて指示。

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	岡崎寿一郎

講義のねらい	子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。
履修上の留意点	テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。
成績評価の方法	平常評価の出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価。
教科書	丸小哲雄編注『こだわりのライフスタイルから見た日本の環境』（英宝社）1,800円

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	吉江正雄

講義のねらい	英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。
講義の内容・ 授業スケジュール	H. G. Wells の“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。
履修上の留意点	予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。
成績評価の方法	前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無。すなわち、学生は全時間数の三分の二以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。
教科書	H. G. Wells 著『A Short History of the World』（ウェールズの簡約世界史）（こびあん書房）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	澤田真弓

講義のねらい	テーマ別に英語で書かれた短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、さまざまな英語表現を学んでいきます。
講義の内容・授業スケジュール	授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。
教科書	Bill McLain 著、長阪朱美編注『 <i>Do You Know?</i> 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）1,800円 ISBN4-7647-3750-7

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	矢島直子

講義のねらい	英語を聞いて、聞いたものをくり返す練習と書く練習をして、表現力をつけてもらいます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを聞き、読んで、意味を理解し、質問に答え、課題を書いてもらいます。1年間で教科書を1冊終える予定です。
履修上の留意点	どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。
成績評価の方法	日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。
教科書	<i>James Bean, Listen to this !</i> [Intermediate] (成美堂) 2,400円 ISBN4-7919-4579-4

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	外池一子

講義のねらい	現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。
履修上の留意点	コンピューター教室を使用する場合があるのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましいです。
成績評価の方法	平常点30-40%、前期および後期の試験60-70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	山岸二郎

講義のねらい

すでに学んできた文法を整理し、それを活用して Reading から Writing への発展を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

Reading で文法知識を活性化させて、練習問題でその定着を図る。随時関連した Writing を追加する。

履修上の留意点

予習しておくこと。

成績評価の方法

平常の学習、小テスト、前・後期のテスト等総合的に評価する。出席重視。

教科書

Ins & Outs (金星堂) 1,700円
ISBN4-7647-3812-0 C1082

外国語

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	佐藤江里子

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。基礎的な読解力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験 (50%) と平常点 (50%) による総合評価。平常点には出席状況、授業態度、小テストが含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	長谷川公一

講義のねらい

マザー・テレサは、インド・カルカッタの貧民街で生活苦にあえぐ人々のために、献身的な行動で一生を貫いたカトリック尼僧である。この教科書では、マザー・テレサの生き方を知り、考えてみたい。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。

教科書

『マザー・テレサ』(桐原書店) 388円

その他

月曜日・4時限目

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	川手 浩一 <small>かわ て ひろかず</small>

講義のねらい	本書は大学における英語の総合教材として作成されたものである。特に現代アメリカの文化と社会をいろいろな角度から考察し、ひいては我が国の将来の方向を模索する手がかりになればと考えている。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読みすすめながら日常的な衣食住に至るようなアメリカの局面を扱っていく。
履修上の留意点	授業は予習、復習し練習問題をかならずしてこること。
成績評価の方法	日常の学習を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。
教科書	『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	長谷川 公一 <small>はせがわ こういち</small>

講義のねらい	現代のアメリカ人は、いったいどうゆう生活を送っているのだろうか。ごく普通のアメリカ人の学校での生活、家庭、ショッピング、健康状態、デートなどの活動取材し、現代の日本人の生活と比較しつつ、実像に迫ってみたい。
成績評価の方法	出席率+前後期2回のテストで評価します。
教科書	『ちょっと日米比較』（南雲堂）1,400円
その他	月曜日・5時限目

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	前田 脩 <small>まえ た ちかむし</small>

講義のねらい	英文を丁寧に読むことで、異なる文化の思考過程の順路をたどってみます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進める一方、テキストにあった英文ニュースをコピーして使用します。
履修上の留意点	授業は予習し、積極的に参加してほしい。
成績評価の方法	日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を含めて総合的に評価します。
教科書	『西洋文化の歩み』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-0368-8 C3082

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	おち あい かず あき 落 合 和 昭

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる）。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

『5分間口語英語表現』（南雲堂）900円
『ミーティング・ピープルⅡ』（弓プレス）1,600円
ISBN4-8034-1180-8 C1082

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一

講義のねらい

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends（金星堂）1,100円
ISBN4-7647-3717-5

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	尾形重政

外国語

講義のねらい	英語ⅠBを基礎として、さらに多くの量を読めるように大意の把握に心がけ、読む速度をアップさせることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事や TOEIC 等の問題も使用します。
履修上の留意点	授業は予習してくること。また、辞書を持参すること。
成績評価の方法	積極的な授業態度を重視し、試験結果を入れ総合的に判断します。
教科書	『LOOKING BACKWARD - Major Events of the 20th Century』事件でたどる20世紀 (南雲堂) 1,800円 ISBN4-523-173141-1

科目名	担当者名
英語ⅡB〔再クラス〕	手島敬子

講義のねらい	本科目では「英文読解力向上」を目標に出来る限り多くの英文を読むことで英文に慣れ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率よく、また的確に内容を読み取る練習を行っていきます。
履修上の留意点	英和辞典を必ず持参。
成績評価の方法	中間、定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。
教科書	開講時指示

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	もとほしうきよ 本橋 右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。やさしい例文にできるだけ多くあたり、運用能力の涵養を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確かなものとしします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	ししまとみえ 志 真 斗美恵

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にしたがって、発音練習をし、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。毎回必ず辞書持参のこと。

成績評価の方法

平常点（毎回の練習問題の提出）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

『魔法使いの弟子——なじみやすいドイツ文法』（同学社）2,300円

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	いむらゆきこ 井 村 行 子

講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点

何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

前期と後期の学期末に筆記試験を行います。

教科書

諏訪田『ドイツ語文法18課』（同学社）

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	やぶ した こういち 敷 下 紘 一

講義のねらい	ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何んとか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語 I A (文法) で苦勞しておく、あとが楽になります (2年生で)。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)
教科書	『ドイツ文法 アウトライン』(郁文堂) 1,700円+税
その他	このクラスは昨年一寸点がとれなかった人達のものですが、今度こそは優とってやる、と腹をくくって頑張ってください。

科目名	担当者名
ドイツ語 I A〔再クラス〕	みなみ 南 はるつ

講義のねらい	比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞 後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
教科書	南道子他著『ドイツ語の上にも一年』(同学社) 2,300円
参考書等	随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	担当者名
ドイツ語 I B〔再クラス〕	いいづか きみお 飯塚 公夫

講義のねらい	正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていますが、発音と内容の読み取りを重視します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解といった手順でやっていきます。
履修上の留意点	出席だけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。
成績評価の方法	前期後期各一回の筆記試験と平常点 (=発表点)。
教科書	菅谷泰行他著「EUで学ぶドイツ語」(白水社) 2,200円

科目名	担当者名
ドイツ語 I B〔再クラス〕	杉本正俊

講義のねらい

ドイツ語を全く知らない人に ABC からドイツ語を教えます。発音、文法、語彙などあらゆる観点からドイツ語への入門を行います。

講義の内容・授業スケジュール

発音に関しては独自のプリントを用意するが、その他はおおむね教科書に記載された項目順に学習を進める。

履修上の留意点

予習は必ずしも要求しない。授業中は勉強に注意を集中し、与えられた課題は全てきちんと行う事。

成績評価の方法

前半（夏休み前）にテストを行うかどうかは、授業の進み具合を見て決める。しかし後期末には必ず定期テストを行う。日頃の授業には積極的に参加する事。授業中のまちがいは全く成績には影響しない。最終的にドイツ語をよく学んだかどうかは、担当教員が総合的に判断する。

教科書

太田隆士・明石真和・櫻井千絵著『楽しいドイツ語トレーニング』（三修社）2,100円

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 I B〔再クラス〕	本橋右京

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。表現は短くて平易です。できるだけ基本表現は覚えて行きましょう。

履修上の留意点

しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

山本淳 『新々・じゃあ、またあした！』（同学社）

科目名	担当者名
ドイツ語 II A〔再クラス〕	もり森
ドイツ語 II B〔再クラス〕	こう公 せい成

講義のねらい

ドイツ語 I A と I B を基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』（第三書房）2,100円

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	もとほしうきょう 本橋右京
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。
講義の内容・授業スケジュール	初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。その際、ローリングプレイなどを折り込みます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
履修上の留意点	テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	伊藤・他「ゲーテ・ライゼ！」＜新版＞（郁文堂）

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	いむらゆきこ 井村行子
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	2年生のドイツ語を復習します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に沿って進めます。
履修上の留意点	何はともあれ出席を心がけてください。
成績評価の方法	前期と後期の筆記試験の成績によります。
教科書	教科書販売時までに決めて、書店のほうに連絡しておきます。

〔フランス語〕

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教科書

天羽・他編『初級フランス語文法（改訂版）』（朝日出版社）2,200円

外国語

科目名	担当者名
フランス語 I A〔再クラス〕	あし ほら けん 芦 原 眷

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

科目名	担当者名
フランス語 I A [再クラス]	小玉 齊夫

講義のねらい	フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。
履修上の留意点	特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。
成績評価の方法	上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然です。
教科書	斉藤 昌三 著 『ル フランセ』 (白水社) 1,750円 ISBN4-560-06052-5
参考書等	辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名
フランス語 I A [再クラス]	菅原 猛

講義のねらい	英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・授業スケジュール	1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。
教科書	沼田五十六他『カジュアルにフランス語2』(朝日出版社) 2,200円(税別)

科目名	担当者名
フランス語ⅠA〔再クラス〕	谷川 かおる

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。
講義の内容・授業スケジュール	文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。
履修上の留意点	出席重視。辞書は毎回持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験、および小テストなど。
教科書	田辺 他『サリュ！』（駿河台出版社）2,650円、CD付
参考書等	授業中に紹介する。
その他	全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

外国語

科目名	担当者名
フランス語ⅠB〔再クラス〕	菅谷 暁

講義のねらい	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
履修上の留意点	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名
フランス語ⅠB〔再クラス〕	今関 アン

講義のねらい	一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。
講義の内容・授業スケジュール	テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。
履修上の留意点	2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座って出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。
成績評価の方法	2/3以上の出席(25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト(25%) + 前・後期定期試験(50%)
教科書	安田悦子著『ヴィット フェ・ビヤン フェ』（白水社）2,100円
参考書等	仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入） 清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	伊藤 藤 なお

講義のねらい	フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いての練習問題に取り組みます。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行ないます。
履修上の留意点	積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。
成績評価の方法	平常点、前・後期試験によって判定します。
教科書	藤田裕二『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名
フランス語 I B〔再クラス〕	谷川 かわ おおる

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくり勉強しておします。ビデオの映像と音声により、フランス語とフランス文化に親しみつつ、簡単なフランス語会話を習得します。
講義の内容・授業スケジュール	毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。
履修上の留意点	出席重視。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。
教科書	田中保子『サリュ!』(駿河台出版社) 2,500円

科目名	担当者名
フランス語 II A〔再クラス〕 フランス語 II B〔再クラス〕	小玉 だま なり おお夫

講義のねらい	文法事項の復習をしながら、やさしいフランス語を読み進み、フランスという文化圏についての知識・判断を深めることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	おおよそですが、二週で一課を終わらせるという速度で、進んでいきます。一課終了ごとに、その課についての小テストも行う予定です。
履修上の留意点	健康上やむを得ない時などを除き、可能なかぎり毎回出席して、そのつど、新たなフランスに関する知識・判断をたくわえていって下さい。授業には、以前使用していた文法の教科書や仏和辞書を必ず持ってくることを。
成績評価の方法	(上記の)小テスト、授業への〔参加〕の様子、それに、前期および後期の試験で評価します。毎回の出席は義務(ならびに権利)です。「出席点」などというものは付けません。
教科書	中村著『素顔のフランス ―ヴァリエント―』(青山社) 1,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こと 沼 倉 広 子
フランス語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	辞書を使いこなして、文章を読む力をつける
講義の内容・授業スケジュール	フランス一周自転車レースを追いながら、フランスの地理、歴史の概要が理解できるようにする
履修上の留意点	文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する
教科書	〔テキスト版〕『ツール・ド・フランス』 三野博司著 白水社 ISBN4-560-00969-4 C3085

外国語

科目名	担当者名
フランス語ⅡA〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一
フランス語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。
履修上の留意点	フランス語ⅠA・ⅠBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。
成績評価の方法	成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。
教科書	ミカエル・フェリエ著・福井編『クロヴィス——フランスの誕生——』（朝日出版社） 1,155円

[中国語]

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	こう りん ひで もと 江 林 英 基
中国語 I B〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,100円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	あき もと たく 秋 元 翼
中国語 I B〔再クラス〕	

講義の内容・授業スケジュール

発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。

履修上の留意点

発音面も重視し、ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

渋谷裕子・孟若燕『新しいキャンパス的中国語』（同学社）2,625円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	あずま えい ぜん 東 映 全
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

中国語の正しい発音・語法及び常用単語の習得によって、基本会話・文型の運用能力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

正しい発音を習得するには、先ず発音記号の「拼音字母」及び「声調符号」（四声）の読み方を併せて学習する。それから、基本文型に入る。

履修上の留意点

予習と復習が不可欠である。よって自主的学習が、その成果につながることを心得て欲しい。

成績評価の方法

平常点で評価する。（出席状況を加味する）

教科書

陳榮生等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,625円（本体）

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ね ぎし まさ こ 根 岸 政 子
中国語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語の発音と基本文法を習得する。
履修上の留意点	最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
成績評価の方法	前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。
教科書	瀬戸口律子『中国語はじめました』（駿河台出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	と ばり よし かつ 戸 張 嘉 勝
中国語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。 ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。 ③教科書の設定したコミュニケーション場面の基本的な会話パターンを解析し、基礎文法を習得する。そして、会話文や基本表現とドリルを通して、語彙や表現法を増やし、中国語的な会話の運び方を習得する。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。
教科書	関中研（関西大学中国語教材研究会）編著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	ほんまゆかり 本間 由香利
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	まず発音記号の習得を徹底的に訓練します。毎回の授業は、単語・例文の意味確認、文法の説明を行い、聞き取りや簡単な会話話練習も行う予定です。
履修上の留意点	出席を重視します。自宅で予習復習を行い、発音練習をしてもらうこと。
成績評価の方法	平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。
教科書	南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,205円
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語 I A〔再クラス〕	ちよういとう 張 涓 涛
中国語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	中国語の基礎になる発音、語彙、基本文型、基本文法をしっかりと身につける。中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。中国語の独特の魅力を体感して、だんだん「漢語」の語感を養っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	先ずは、中国式ローマ字表記ピンインを正確に読み、書けるようにする。その後は、日本人学生の中国における留学生生活を舞台とする食堂、郵便局、試験等などの場面で交わされる典型的な会話文を学びながら、体系的に初級中国語文法を無理なく理解していく。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。今年は絶対単位を取る気で、中国語と中国の世界に関する知識欲を再発見して欲しい。
成績評価の方法	出席率、小テスト、授業時の意欲、期末テストの結果から総合的に評価します。出席は最重視。週に90分間の授業を最後までずっと頑張って続けていけば、必ずためになる。
教科書	加藤阿幸ほか『総合現代中国語・会話と閲読』（中国詩文研究会発行、東方書店出版）1,800円（CD付き）
参考書等	推奨辞書は開講時に説明する。
その他	「你好」から始めて、積極的に会話の機会を作り、CDをBGMとして聞き、話すようにしましょう。

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	ひろ かね かなこ
中国語ⅠB〔再クラス〕	弘 兼 加奈子

講義の内容・授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは文法を踏まえながらも、実践的な内容となっている。

履修上の留意点

諸般の事情はあると思うが、本年度は特に出席率を重視する。

成績評価の方法

成績は年間約4回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

塚本慶一 劉穎『《新版》1年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	らん めい
中国語ⅠB〔再クラス〕	蘭 明

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	うめ だ まさ こ
	梅 田 雅 子

講義のねらい

物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上をねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語による講読を通して、中国文化に触れると共に、文法事項の確認と定着を図る。なお、授業中に適宜、小テストを行う。

履修上の留意点

3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書（日中・中日）持参

成績評価の方法

平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書

八木章好編著『漢語趣話—文法中心の中級読本』（白帝社）1,890円
ISBN4-89174-411-1

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	いわさき ひとし 岩崎 皇

講義のねらい	中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。テキストはウィグル族に伝わる小話集ですが、主人公阿凡提の名を知らない中国人はいないほど、広く親しまれています。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は試験結果に関わらず成績評価をしませんから注意してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。
教科書	大川完三郎編『阿凡提的故事』（朝日出版社）1,260円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	おおくぼ あきお 大久保 明男

講義のねらい	中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
履修上の留意点	積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅡB〔再クラス〕	り 雲 李 雲

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	桜井明治『「中級」漢語会話』（駿河台出版社）2,100円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名

担当者名

中国語ⅡB〔再クラス〕

らん
蘭

めい
明

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』（朝日出版社）2,835円

外国語

〔スペイン語〕

科目名	担当者名
スペイン語 I A〔再クラス〕	おお いわ いは 大 岩 功
スペイン語 I B〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい	スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説をベースに、文章の読解の力をつけてゆきます。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	適宜小テストを行います。訳読の予習を前提に授業を進めます。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	適宜行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。
教科書	大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語 I A〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.
スペイン語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。
履修上の留意点	出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。
成績評価の方法	出席と2回の期末試験の結果で評価します。
教科書	ホワン, J, ナバーロ『Español dinámico』（印刷中）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

外国語

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おぎ の 恵 荻 野 恵
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	さ とう まりの 佐 藤 麻里乃
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

試験は行わず、毎回の授業で行う課題により評価する（このため出席は必須である）

教科書

アルマラス他『ブラサ・マヨールⅠ』（朝日出版社）

参考書等

『和西辞典』（出版社は不問）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	上 野 勝 広

講義のねらい	下記のテキストを用いて、やさしい会話や文章を読みながら基礎文法を最後まで習得することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。
履修上の留意点	初心に戻り、やる気を持って授業に臨んでいただきたい。毎回授業時に必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	平常点（40%）、前・後期テスト（30%）、授業時の小テスト（30%）を合わせて評価する。
教科書	西川喬著『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）2,200円

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いはら
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	大 岩 功

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。
教科書	福寛教隆著『生き生きスペイン語』（朝日出版社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

〔ロシア語〕

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

外国語

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点を置き、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	木村英明
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。
履修上の留意点	予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
成績評価の方法	平常点を重視します。
教科書	絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	安徳 二一
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.
ロシア語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	おおす か しみ かづ 大須賀 史 和
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）
その他	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	あん とく 安 徳 二一ナ
ロシア語Ⅱ B〔再クラス〕	

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

《選択科目》

科目名	担当者名
英文講読	林 明人

講義の内容・ 授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用品です。

外国語

科目名	担当者名
英文講読	矢島直子

講義のねらい

イギリス現代演劇を読んで、生きた英語に親しみ、作品を理解すること。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストの意味を取り、内容を把握してもらいたいです。くだけた英語に慣れて下さい。戯曲の場合は、想像力をたくましくして読む必要があります。1年間で1冊読み終えたいですが、進度は参加者次第になるでしょう。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

Laura Wada『*Breathing Corpses*』（Oberon Books）2,550円（税別）

科目名	担当者名
英文講読	牧野輝良

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・ 授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教科書

『西欧文明をどう理解するか』（南雲堂）1,600円＋税 ISBN4-523-03656-X

科目名	担当者名
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村 恵都子

講義のねらい	今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイデオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。
成績評価の方法	評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。
教科書	後日確定しだいお知らせいたします。

科目名	担当者名
時事英語研究	はやし あきと 林 明人

講義のねらい	CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。 尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。
講義の内容・授業スケジュール	CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。
成績評価の方法	試験、レポート、出席の総合評価です。
教科書	教員が作成したものを用います。
参考書等	<i>Sanseido's Dictionary of News English</i> (三省堂)

科目名	担当者名
時事英語研究	まし もと しげかず 岸本 茂和

講義のねらい	1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことばが、“racism” (人種差別主義)・“sexism” (性差別主義)・“political correctness” (政治的妥当性)・“multiculturalism” (多文化主義) などだ。すこしむづかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。
講義の内容・授業スケジュール	この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。 「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのももっともだが、時事関係の熟語等は随時プリントを配布する。
履修上の留意点	授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。
成績評価の方法	試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。
教科書	『現代アメリカの＜美德＞』(朝日出版社) 本体1,359円+税
その他	受講者は40人を上限とする。

科目名	担当者名
時事英語研究	田中保

講義のねらい

The International Herald Tribune, The New York Times, AP 通信社、AFP 通信社、BBC News, VOA News 等のニュースをベースにしたテキストを使用して、時事英語を理解するとともに、時事的な基本用語やニュース英語の語学的特質の理解を深めていくことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

各章の本文読解と Vocabulary Buildup を中心に授業を進めていきますが、時間があるときは、ニュース頻出用語を用いて、実際に英文表現の演習も取り入れて行きます。毎授業1章は進みます。発表形式で授業を行ないますので、予習をしてくること。

履修上の留意点

必ず下読みをして、不明な箇所を重点的に授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、出席状況等で総合的に検討して評価します。

教科書

『時事英語の総合演習—2006年版—』(English for Mass Communication, 2006 edition)
(朝日出版社)
1,500円 ISBN4-255-15427-9 C1082

科目名	担当者名
時事英語研究	矢島直子

講義のねらい

Newsweek の英文を読んで、読解力をつけてもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの意味を読み取ってもらい、世界情勢を知ること。教科書は前期くらいで読み終え、後半はプリントか別の教科書で、新聞記事を読んでもらいます。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分かってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験の結果とを、総合して評価します。

教科書

『「ニューズウィーク」で読む日本と世界』(南雲堂) 1,600円
ISBN4-523-17499-7

科目名**担当者名**

マルチ・メディア

おち 落
あい 合
かず 和
あき 昭

外国語

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする（一人の場合と、対話形式の場合がある）。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れない教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは10分程度のものを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『映画総合教材 トゥルーマン・ショー』（松柏社）2,100円
ISBN4-88198-569-8 C3082
- 2) 『基本動詞で始める初級会話英作文』（マクミラン ランゲージハウス）1,800円
ISBN4-7773-6037 C3082
- 3) 『決まり文句書取練習帳』（鶴見書店）800円

科目名	担当者名
マルチ・メディア	おお ば なお き 大 庭 直 樹

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	担当者名
マルチ・メディア	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子

講義のねらい

英語によるプレゼンテーション映像を制作しコンピュータ編集をするクラス。英語で演じ、それを映像で確認することによるプレゼンテーション能力の強化をめざす。映像企画・構成・脚本・絵コンテ、ビデオ撮影の実習、コンピュータ編集によるビデオ作品完成までの全工程を学ぶ。映像制作およびウェブによる映像配信の実態も学習できる。前期後期でそれぞれ2作品の制作を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

以下の手順で前期後期それぞれ1作づつを共同制作する。
 1. 日常生活を題材に英語会話スキットの脚本をつくる。脚本に必要な絵コンテを書く。(コンピュータ使用)。
 2. 配役を決め、スキットを練習。カメラ撮影・音声収録指導あり。
 3. ディレクター、アシスタントディレクター、音声係などを決める。
 4. 撮影基礎学習、ドライ撮影
 5. 撮影(学外撮影含む)
 6. ビデオ編集、完成
 7. 上映会

履修上の留意点

受講人数制限あり。

成績評価の方法

平常点(出席点、提出物など)で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

2005年度マルチメディアクラス制作の英語ビデオ「Feelings and Emotions」(ウェブにて鑑賞の予定)

その他

学外撮影あり。アドビ・プレミア(編集ソフト)を使用。カメラ・三脚・マイクその他撮影機材および編集施設は総合情報センターより提供されるが、個人でミニDVカメラなどがあれば便利。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名
英会話 I	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・ 授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教 科 書

Warren Wilson, Roger Bernard *FIFTY - FIFTY: Student book 1* (Longman)
ISBN0-13-920000-2

科目名**担当者名**

英会話 I

ウェルズ, J. K.

講義のねらい**WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I**

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

**講義の内容・
授業スケジュール**

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

外国語

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

Twelve units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1 : Introductions / Classroom Language
- Unit 2 : Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3 : Locations / Telephoning (1)
- Unit 5 : There is ... There are ... / Quantities
- Unit 6 : Have ... Want ... Would like ... / Shopping (1)
- Unit 7 : Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9 : Present Continuous / Telephoning (2)
- Unit 10 : Fashion / Shopping (2)
- Unit 12 : Present Simple / Occupations
- Unit 13 : Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14 : Transportation / Work & School
- Unit 15 : The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

David Paul / *Communicate: book 1 a* / Macmillan Language House, ¥1,230
ISBN0-435-26119-3

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting.

教科書

We will probably use Sociological Notes, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

その他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科目名	担当者名
英会話 I	ラッセル, S. J.

講義のねらい	English Conversation IC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.
講義の内容・授業スケジュール	This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.
履修上の留意点	Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.
成績評価の方法	Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.
教科書	<i>Fifty-Fifty Book 1</i> ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)

科目名	担当者名
英会話 I	ササキ, M.

講義のねらい	The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.
講義の内容・授業スケジュール	Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.
履修上の留意点	3分の2以上出席すること。課題(レポート、小テスト、プレゼンテーション等)を重視すること。遅刻しないこと(30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い)。カンニング(代返、教室退場、盗作など)しないこと(成績評価は「不可」になる)。毎日、ニュースを見ること。
成績評価の方法	課題や出席点数の平常点。試験はありません。
教科書	「 <i>Viva! San Francisco</i> 」 published by Macmillan Language house 教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

科目名

担当者名

英会話 I

レーン, C. M.

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills, thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

外国語

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ソルタ, P. N. F.

講義のねらい

English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

講義の内容・ 授業スケジュール

A textbook with 12 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1 : Personal information / Talking about likes and dislikes
- Unit 2 : Friends & Friendship / Personal experiences
- Unit 3 : Romantic relationships / Dating
- Unit 4 : Shopping
- Unit 5 : Summer vacations / Domestic & Foreign Travel (1)
- Unit 6 : Jobs / Job Interviews
- Unit 7 : Opinions / Reasons for opinions
- Unit 8 : Music / Pop Groups
- Unit 9 : Personality / Strengths & Weaknesses
- Unit 10 : Money & Budgets / Prices & Numbers
- Unit 11 : Responses in various Situations / Stories
- Unit 12 : Plans for the Future

履修上の留意点

Students must have passed English Conversation I, and they must be willing to take a class in which all teaching will be done in English only, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attitude in class and class performance throughout the year (40%). End-of-term exams will normally be one-to-one interviews with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Dale Fuller & Corey Fuller 『*Face To Face : English for Today's Generation*』 Student's Book
1 (Macmillan LanguageHouse) ¥2,100 + tax

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Within Your Reach : Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to advance their social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English in order to develop friendly relations with native English speakers. They should already have the maturity and social skills necessary to express intelligent opinions based on what they obtain from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis in great detail. They will also be expected to give sophisticated oral presentations based on excellent research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. Students will be encouraged to develop their English accents. The textbook will cover practical conversation skills needed for home stay and living abroad.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題(レポート、小テスト、プレゼンテーション等)を重視すること。遅刻しないこと(30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い)。カンニング(代返、教室退場、盗作などしないこと(成績評価は「不可」になる)。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

『*Viva! San Francisco*』 published by Macmillan Languagehouse
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科目名	担当者名
英会話Ⅲ	ウェルズ, J. K.

講義のねらい

English Conversation Ⅲ

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・ 授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation Ⅲ at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%
Tests : 25% (one test each semester)
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz ; class participation is important)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B 5 sized prints so a notebook larger than B 5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

科目名

担当者名

英会話Ⅲ

ピアス, D. M.

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・
授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semiabstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of your for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary.

教科書

Classes proceed closely according to the textbook; it is absolutely required that you bring the textbook to every class meeting.

外
国
語

英語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科目名	担当者名
英語 L L I	おお たい まさこ 太田 雅子

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習します。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねます。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成します。

履修上の留意点

4月第1回目の授業で、授業内容、方法、その他履修上の注意点について説明をするので、必ず出席してください。その時に、自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教科書

矢作三蔵『*Natural English for Beginner*』

科目名	担当者名
英語 L L I	か い かつ 甲斐捷子

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training の CD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは前期の授業開始時に配布します。

履修上の留意点

ビデオ、CD のダビングは著作権法上できません。授業時間内の練習で十分です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

Hisako Murakawa 著『*Sounds Right! Sounds Good!*』（Macmillan Languagehouse）2,000円

科目名	担当者名
英語 L L I	加藤 佐和子

講義のねらい	発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回テキストを1 Lesson, 1 Unit ずつ進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。
履修上の留意点	各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。
成績評価の方法	毎回の小テスト・授業参加度50% まとめテスト50%
教科書	『English 20』（英進社） 『Tune In to the TOEIC Test』（マクミランランゲージハウス）

外国語

科目名	担当者名
英語 L L I	久保 ひさ子

講義のねらい	海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
成績評価の方法	試験と授業実習と小テストの合計点。
教科書	マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名
英語 L L I	西村 祐子

講義のねらい	基本的な表現をつかっまま「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：基本的な会話表現を学習。シャドウイングによって短いセンテンスをくりかえし発音し覚える。ペアワークをおこなう。 9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。
履修上の留意点	学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータ ID を取得しておくこと。
成績評価の方法	定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。
教科書	前期は <i>Talk It UP</i> (1) (マクミラン社) 使用。
参考書等	教場で指定する。

科目名

担当者名

英語LLI

はなわ
埴

みちこ
美智子

外国語

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使えるようになる。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text -
(金星堂) 2,300円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増やす努力をする。

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準 1 級合格、TOEFL® のスコア 480 点、TOEIC® のスコア 700 点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外国語

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL II	おお だ まさ 子 太 田 雅 子

講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力の向上をはかります。

履修上の留意点

4 月第 1 回目の授業時に人数制限をしますので、受講希望者は必ず出席してください。その時に授業内容、方法、その他履修上の留意点について詳しく説明します。自分のユーザー ID とパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の 3 分の 1 以上欠席した者には、単位を認定しません。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に 2 回ほど総テストを実施。

教 科 書

小野田栄 [BBC Understanding the News in English 3]

科 目 名	担 当 者 名
英語 LL II	との いけ かず 子 外 池 一 子

講義のねらい

最初は VOA、その後 CNN・BBC などの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。新聞を毎日読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。また、基本的なコンピューターの操作が出来ることが受講の必須条件です。

成績評価の方法

平常点 30%、授業の進度にあわせて行う試験 (目安は前期・後期各 2 回) 70%。出席日数が 3 分の 2 以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示します。

そ の 他

英語 LL I を受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生のみが受講対象です。初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。また、コンピューターを使用しますから、受講前にユーザー ID とパスワードを取得しておくこと。

科目名

担当者名

英語LLⅡ

にしむら ゆうこ
西村祐子

外国語

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC700-750程度。LLⅠにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書は Unit 1-5 まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。教科書は Unit 6-10 までを学習。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダのなかに入れる為、受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*New Headway Pre - intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：*Headway Elementary*、および *pre-intermediate*、その他。

参考書等

使用ビデオ：*New Headway (elementary)*、および *(pre-intermediate)*、その他。

英 語 L L III

〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名
英語 L L III	レーン, C. M.

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many "English as a second language" tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.

2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English every day. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名
英語 L L III	久保 ひさ子

講義のねらい	英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを、聞き取り、書きとり、解答し、再生し、反復練習する。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願いします。
成績評価の方法	試験と授業実習の合計点
教科書	World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科目名	担当者名
英語 L L III	西村 祐子

講義のねらい	レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度 (TOEIC レベル700以上) の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月: 教科書の Unit 1-5 まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。 9-12月: 教科書の Unit 6-10 まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。
履修上の留意点	大学のコンピュータ ID を必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前に LLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。
成績評価の方法	平常点重視 (出席率、プレゼンテーションなど)。定期試験はおこなわない。
教科書	<i>New Headway Upper Intermediate</i> . (Oxford Univ. Press)
その他	少人数クラスなので毎回必ずプレゼンテーションがある。

科目名	担当者名
ドイツ語外国書講読	柴野博子

講義のねらい

他国の文化を理解し、またそれを通して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことだと思います。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んでいます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、ドイツあるいは日本の文化についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡します。

外国語

科目名	担当者名
時事ドイツ語	堀内美江

講義のねらい

サッカーのワールドカップがあり、初の女性首相も誕生し、ドイツは今注目の国となっています。さらに古い伝統をもち、日本とも深いつながりのある国でもあります。日本への関心も、ドイツではアニメから食文化、伝統芸能や折り紙や盆栽のファンもいる程、はば広く持たれています。

この授業では、そんなドイツから私たち日本人はどう見られているのだろうか、という観点から、様々なメディアで語られる日本の姿を通し、ドイツ語を学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：新聞を読む、ラジオを聞く、テレビをしてみることを通して、実際のドイツ語の使われる場面を体験します。テキストは日本についての記事を中心に扱います。

後期：テキストを読む、ニュースを聞く、映画を見るところといった、より長いコンテキストの中でドイツ語を体験していきます。テキストは、日本に関するものだけではなく、ドイツの「今」を感じさせるものを選びます。

履修上の留意点

皆さんの様子を見ながらゆっくりと授業を進めていきますので、リラックスして参加して下さい。辞書は毎回携帯のこと。

成績評価の方法

出席、発表などを含めた総合評価をおこないます。

教科書

プリント配布

科目名	担当者名
上級ドイツ語	柴野博子

講義のねらい

ドイツの文化をはじめ、その歴史、政治、社会など、今日のドイツ——さらにはヨーロッパ——をめぐるさまざまなテーマを論じた文章を読んでいます。それを通して、日本の文化についても考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、やさしい文章をできるだけたくさん読みます。

後半は、ドイツ語の文章にも慣れるでしょうから、できれば、ドイツの新聞や雑誌の記事なども読んでみたいと思っています。独検3級のレベルを目標にしています。

成績評価の方法

年1回の試験と、平常の学習態度を総合して、評価します。

教科書

教材は、コピーしてお渡します。

科目名

ドイツ語コミュニケーションⅠ

担当者名

こばやし
小林ゲアリンデ

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名

ドイツ語コミュニケーションⅡ

担当者名

こばやし
小林ゲアリンデ

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名

ドイツ語ⅠA(選)

担当者名

やぶしたごういち
数下紘一

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何とか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語ⅠA(文法)で苦勞しておく、あとが楽になります(2年生で)。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)

教科書

在間『わかって楽しいドイツ語』(三修社)2,200円+税

科目名	担当者名
ドイツ語 I B (選)	野島利彰

講義のねらい

英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらにはEUを知る助けになります。

講義の内容・授業スケジュール

語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。

履修上の留意点

CD付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。

成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験(筆記試験)の成績が評価の基準になります。

教科書

大谷弘道著「新・問いかけるドイツ語」三修社 2600円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

外国語

科目名	担当者名
ドイツ語 II (選)	井村行子

講義のねらい

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

全部で10課からなるテキストで、最初の3課は去年の復習なので、前期に第5課まで、後期に第10課まで進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾『Dialog—ステップアップ版』(郁文堂)

科目名	担当者名
フランス語外国書講読	まえのり かず 田 祝 一
講義のねらい	初級フランス語を履修済の人たちを対象とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに従って、細かくフランス語を味読してゆきますが、最初は初級レベルで学習した事柄の再確認・復習を主とし、のちに新たに一層レベルを上げた言語の特性を、修得できればと考えています。
履修上の留意点	この科目は履修者の主体性を尊重する選択科目ですが、誠実な、ねばり強い姿勢を期待しています。
成績評価の方法	平常点を主とし、最終的にはペーパーテストとします。
教科書	モーリス・ラ、福井・戸張編『オルフェ——ギリシャ神話集——』（朝日出版社）609円

科目名	担当者名
時事フランス語	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰
講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	荒木善太他『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円＋税
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名
上級フランス語	小玉 齊夫 <small>こ だま なり お</small>

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験の4級あるいは3級に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。来年2月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力など気にせずに、積極的に、この授業をとるようにして下さい。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価します。

教科書

M-E Muramatsu 著『ピコティ・ピコタ2』（駿河台出版社）2,500円
ISBN4-411-00923-4 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名
フランス語コミュニケーションⅠ	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『PPP (パーペーパー) *Presenter Pratiqueur Produire*』（第三書房）2,800円

科目名	担当者名
フランス語コミュニケーションⅡ	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名
フランス語 I A (選)	出口 雅敏

講義のねらい	この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。
履修上の留意点	辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。
成績評価の方法	前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。
教科書	斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名
フランス語 I A (選)	前田 祝一

講義のねらい	フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	日常的な基本語・文型を身につけて、少しずつ積み重ねで、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。
履修上の留意点	したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。
成績評価の方法	平常点とします。
教科書	内藤・玉田著『フランス語へのパスポート (改訂版)』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名
フランス語 I B (選)	菅原 猛

講義のねらい	英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・授業スケジュール	1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞書を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。
教科書	阿南婦美代『新アン・マルシュー フランス語初級 文法と会話』(駿河台出版社) 2,730円

科目名	担当者名
フランス語Ⅱ(選)	くわ た のり あき 薬 田 禮 彰

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

外国語

科目名	担当者名
中国語外国書講読	さ どう ふ み こ 佐 藤 普美子

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小说）を読んでいます。

講義の内容・
授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名**担当者名**

時事中国語

しお 塩 はた 旗 しんいちろう 伸一郎

外国語

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。
ピンインのルビを振るソフトの導入により、生の記事にピンインをつけてテキストにする。

講義の内容・授業スケジュール

「速読」篇は、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。
併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可欠。
教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記 URL に掲示。

参考書等

辞書は『現代漢語詞典』（中国商務印書館）、『中口辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。
これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。

その他

PC 教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名**担当者名**

上級中国語

ほん 本 ま 間 ゆかり 由香利

講義のねらい

検定試験／資格試験に対応した授業を行います。ただし履修者の学習到達度を考慮し、それにあわせた授業をします。

講義のねらい 1. ヒアリングの苦手意識克服：まずは簡単な単語、例文の聞き取りから訓練を始めます。2. 中国語訳の苦手意識克服：中国語の基本構文の復習と理解。今までに学んだ中国語の知識を整理します。

資格取得を特に意識していない学生も歓迎します。

講義の内容・授業スケジュール

どの検定試験や資格試験にも、それぞれの傾向がありますが、どの試験も重視している単語、フレーズ、構文には共通点があります。そのいずれも重要なものばかりで、実際の会話にも役立つものです。授業ではこれらを取り上げ、発音、聞き取り、作文の訓練を行います。

履修上の留意点

自宅で予習・復習と発音練習を行うこと。

成績評価の方法

出席状況・授業態度と前期・後期のテストにより評価します。

教科書

竹島金吾監修・竹島毅・尹景春『中国語さらなる一歩』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語コミュニケーションⅠ	いわさき 岩崎 皇

講義のねらい	コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようになるでしょう。
講義の内容・授業スケジュール	前期は主に、テキストの音声教材を使って、音節をピンインで書き取れるよう訓練します。後期は中国のテレビ映像をメインにして練習していきます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、7回以内にとどめてください。11回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。
教科書	NOVA『中国語はじめの単語帳』（NOVA 出版局）1,575円（本体）

外国語

科目名	担当者名
中国語コミュニケーションⅡ	そう 曹 たい 泰 わ 和

講義のねらい	簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。
講義の内容・授業スケジュール	会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。
履修上の留意点	積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションⅠを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。
成績評価の方法	出席、授業態度、テストで総合評価する。
教科書	塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円
参考書等	授業の中で紹介する。

科目名	担当者名
中国語ⅠA(選)	よし だ たいいちろう 吉田 建一郎

講義のねらい	中国語の基本的な発音、語彙、文法をしっかりと身につける。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、中国式ローマ字表記（ピンイン）の読み方を集中的に練習した上で、基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について理解を深めていく。後期は、前期の復習を行いつつ、引き続き基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について練習を積んでいく。
履修上の留意点	しっかりと声を出して発音練習をするように心がけましょう。授業中は携帯電話の電源を切ってください。
成績評価の方法	出席、授業時の態度、宿題、小テスト、学期末テストをもとに総合的に判断する。
教科書	陳淑梅・蘇明著『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名
中国語 I A (選)	宮本厚子

講義のねらい	中国語の基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
履修上の留意点	毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。また、練習問題を配布するので、自習し提出するのが望ましい。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。
教科書	プリント配布。
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名
中国語 I B (選)	蘭 明

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語 1』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名
中国語 II (選)	三田村 圭子

講義のねらい	基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。 ②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。
成績評価の方法	前・後期の中間期末試験（全4回）と平常点で総合評価する。
教科書	遠藤光暁著『話す中国語 北京篇 2』（朝日出版社）2,625円
その他	教科書名に十分注意して購入すること。

科目名	担当者名
スペイン語外国書講読	上野勝広

講義のねらい

比較的平易なスペイン語の文章を多読します。

講義の内容・授業スケジュール

短編小説や物語、スペイン・ラテンアメリカの文化や社会を紹介した文章を中心に講読してゆきます。また受講者の興味関心を考慮して、具体的なテーマを選択します。

履修上の留意点

毎回の授業参加にあたり、一定量の予習が必要です。辞書をよく調べ、用例をよく読んでください。

成績評価の方法

平常点（50%）と前期末・学年末の2回のレポート（50%）を合わせて評価します。

教科書

プリント使用。

外国語

科目名	担当者名
時事スペイン語	真下祐一

講義のねらい

新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。教科書のほかにも、日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本での出来事がどのように伝えられているかも追っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

世界の出来事をスペイン語で読む。スペイン語で見た日本。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各期末の達成度チェックによります。

教科書

国本伊代／アレハンドロ・クダ 『スペイン語でニュースを読む』（朝日出版社）また随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
上級スペイン語	上野勝広

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅠ	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『*Viaje al español*』
テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名
スペイン語コミュニケーションⅡ	ナバロ, ホワン J.

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『*Viaje al español* 上級編』
テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA(選)	かめやま こういち 亀山 晃一

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名
スペイン語ⅠB(選)	ナバロ, ホワンJ.

講義のねらい	スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。
履修上の留意点	出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。
成績評価の方法	出席と2回の期末試験の結果で評価します。
教科書	ホワン・J・ナバーロ『 <i>Español dinámico</i> 』(印刷中)

外国語

科目名	担当者名
スペイン語Ⅱ(選)	おぎのまさじ 荻野雅司

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。
履修上の留意点	言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。
成績評価の方法	成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。
教科書	佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(弘学舎)

科目名	担当者名
ロシア語外国書講読	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。
授業では簡単な読みものを読むだけでなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、PC教場の新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名
時事ロシア語	き むら ひで あき 木 村 英 明

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊からおよそ15年を経たロシアは、2期目に入ったプーチン政権下で、豊かな天然資源を基盤に着実な経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
上級ロシア語	クロチコフ, Y.

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

外国語

科目名	担当者名
ロシア語コミュニケーション I	安徳 二一ナ

講義のねらい

ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S, KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名
ロシア語コミュニケーション II	安徳 二一ナ

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語 I B (選)	木村英明

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

外国語

科目名	担当者名
朝鮮語ⅠA(選)	宋 美 玲

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

ⅠA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,800円+税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

科目名	担当者名
朝鮮語 I B (選)	宋 美 玲 <small>そん み りん</small>
講義のねらい	同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。
講義の内容・授業スケジュール	文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
履修上の留意点	最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	I B: 長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語 (読んで書こう1)』(白帝社) 2,400円+税
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科目名	担当者名
朝鮮語 II (選)	宋 美 玲 <small>そん み りん</small>
講義のねらい	初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。
履修上の留意点	テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	野間秀樹著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

4. 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		1 時限 (経済-1)		2 時限 (商)		3 時限 (経済-2)	
火曜日	※佐藤	ジョギング	※三幣	体操&ウォーク	※館岡	ゴルフ	
	光永	トレーニング	高橋	空手道	下谷内	卓球	
	三幣	ゴルフ	竹田	卓球	高橋	空手道	
	竹田	卓球	下谷内	室内球技	光永	トレーニング	
	館岡	ソフトボール	佐藤	ゴルフ	村松	室内競技	
	江口	テニス	江口	テニス	江口	テニス	
	村松	室内競技	森本	ジョギング	森本	ソフトボール	
		館岡	ソフトボール				

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日		
1 時限												
2 時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	田	前期・基礎	牧	前期・応用	野	前期・応用	野	
		バドミントン		ミニサッカー※				卓球		バスケットボール		
	後期・基礎	後期・応用		後期・基礎				卓球		後期・基礎		バスケットボール
	バドミントン	ミニサッカー※		卓球				バスケットボール				
3 時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	中	前期・基礎	野	前期・基礎	野	前期・基礎	野	
		バドミントン		簡化太極拳※		フットサル		卓球		バスケットボール		
	後期・応用	後期・基礎		後期・基礎		卓球		後期・基礎		バスケットボール		
	バドミントン	簡化太極拳※		フットサル		卓球		バスケットボール				
4 時限	大	前期・応用	石		鈴	前期・基礎	木	前期・応用	木	前期・応用		
		簡化太極拳※				室内球技		バドミントン				
	後期・応用	後期・基礎				後期・応用						
	簡化太極拳※	室内球技				バドミントン						

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

4. 保健体育科目

保健体育

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習(ジョギング)	経A1必	通年	2	佐藤政之	239
健康・スポーツ実習(トレーニング)	経A1必	通年	2	光永吉輝	239
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	経A1必	通年	2	三幣晴三	240
健康・スポーツ実習(卓球)	経A1必	通年	2	竹田幸夫	241
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	経A1必	通年	2	館岡儀秋	241
健康・スポーツ実習(テニス)	経A1必	通年	2	江口淳一	242
健康・スポーツ実習(室内球技)	経A1必	通年	2	村松誠	243
健康・スポーツ実習(体操&ウォーク)	商1必	通年	2	三幣晴三	243
健康・スポーツ実習(空手道)	商1必	通年	2	高橋俊介	244
健康・スポーツ実習(卓球)	商1必	通年	2	竹田幸夫	245
健康・スポーツ実習(室内球技)	商1必	通年	2	下谷内勝利	245
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	商1必	通年	2	佐藤政之	246
健康・スポーツ実習(テニス)	商1必	通年	2	江口淳一	247
健康・スポーツ実習(ジョギング)	商1必	通年	2	森本葵	248
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	商1必	通年	2	館岡儀秋	249
健康・スポーツ実習(ゴルフ)	経A1必	通年	2	館岡儀秋	250
健康・スポーツ実習(卓球)	経A1必	通年	2	下谷内勝利	251
健康・スポーツ実習(空手道)	経A1必	通年	2	高橋俊介	252
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	経A1必	通年	2	森本葵	253
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	経済A・商2・3・4年	通年	2	秋田浩一	254
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	経済A・商2・3・4年	通年	2	田中佳孝	255
健康・スポーツ実習(トレーニング) 〔再クラス〕	経済A・商2・3・4年	集中授業	2	秋田浩一	256
健康・スポーツ実習(ソフトボール) 〔再クラス〕	経済A・商2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 高橋俊介	257
健康・スポーツ実習(卓球) 〔再クラス〕	経済A・商2・3・4年	集中授業	2	下谷内勝利 山口良博	258
健康・スポーツ実習(バドミントン) 〔再クラス〕	経済A・商2・3・4年	集中授業	2	牧野茂	259
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	経済A・商2・3・4年	集中授業	2	鈴木淳平	260
健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳) 〔再クラス〕	経済A・商2・3・4年	集中授業	2	光永吉輝	261
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	経済A・商1選	半期	1	大石武士	262
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	経済A・商2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	経済A・商3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	経済A・商4選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バドミントン)	経済A・商1選	半期	1	長濱友雄	263
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バドミントン)	経済A・商2選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(バドミントン)	経済A・商3選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(バドミントン)	経済A・商4選				

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(室内球技)	経済 A・商 1 選	半期	1	鈴木淳平	264
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(室内球技)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(室内球技)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(室内球技)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(卓球)	経済 A・商 1 選	半期	1	牧野茂	265
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(卓球)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(卓球)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(卓球)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バスケットボール)	経済 A・商 1 選	半期	1	牧野茂	266
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バスケットボール)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(バスケットボール)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(バスケットボール)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(フットサル)	経済 A・商 1 選	半期	1	田中佳孝	267
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(フットサル)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/基礎(フットサル)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/基礎(フットサル)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(簡化太極拳)	経済 A・商 1 選	半期	1	大石武士	268
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(簡化太極拳)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(簡化太極拳)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(簡化太極拳)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(ミニサッカー)	経済 A・商 1 選	半期	1	大石武士	269
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(ミニサッカー)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(ミニサッカー)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(ミニサッカー)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	経済 A・商 1 選	半期	1	鈴木淳平	270
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バドミントン)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	経済 A・商 1 選	半期	1	長濱友雄	271
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バドミントン)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(卓球)	経済 A・商 1 選	半期	1	牧野茂	272
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(卓球)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(卓球)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(卓球)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バスケットボール)	経済 A・商 1 選	半期	1	牧野茂	273
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バスケットボール)	経済 A・商 2 選				
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期/応用(バスケットボール)	経済 A・商 3 選				
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期/応用(バスケットボール)	経済 A・商 4 選				
生涯スポーツ実習(テニス) (集中前期・基礎/応用)	経済 A・商選	集中授業	1	江口淳一	274
生涯スポーツ実習(テニス) (集中後期・基礎/応用)	経済 A・商選	集中授業	1	江口淳一	275
生涯スポーツ実習(ゴルフ) (集中後期・基礎/応用)	経済 A・商選	集中授業	1	三幣晴三	276

生涯スポーツ演習Ⅰ (ゴルフ) (シーズン基礎/応用)	経済 A・商選	シーズン	2	館岡儀秋 他	277
生涯スポーツ演習Ⅱ (スキー・スノーボード) (シーズン基礎/応用)	経済 A・商選	シーズン	2	江口淳一 他	279
健康・スポーツ論 1	商 1 選	半期	2	竹田幸夫	280
健康・スポーツ論 1	経済 A・商 1 選	半期	2	高橋俊介	281
健康・スポーツ論 2	経済 A・商選	半期	2	大石武士	282
健康・スポーツ論 2	経済 A・商選	半期	2	三幣晴三	283
健康・スポーツ論 2	経済 A・商選	半期	2	牧野茂	284

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ジョギング)

佐藤まさ政

保健体育

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング(速歩)によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30~60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング(速歩)
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング(時間走、距離走、初歩のインターバルランニング)
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング(前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー)
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック(心電図、負荷心電図、その他)を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。(食事をとること、睡眠時間の充分なこと)ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(トレーニング)

光永吉輝

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられている。一般に日常生活以外に運動を行わないしていると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなどを行なう。ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単かつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
 3 時限目：
 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
 5 時限目：トレーニング
 6 時限目：トレーニング
 7 時限目：トレーニング
 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
 9 時限目：トレーニング
 10 時限目：トレーニング
 11 時限目：トレーニング
 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
 13 時限目：トレーニング
 14 時限目：トレーニング
 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ゴルフ)

みぬさ はるみ
三 幣 晴 三

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
 生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(卓球)	竹田幸夫

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

保健体育

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(ソフトボール)	館岡儀秋

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1~2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目：〃
- 3 時限目：試合（勝ち点制）
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9 時限目：〃
- 10 時限目：試合（勝ち点制）
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：〃
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用の必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科目名

健康・スポーツ実習(テニス)

担当者名

江口 淳一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自立的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名
健康・スポーツ実習(室内球技)	むら <small>まつ</small> 村 松 <small>まこ</small> 誠

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントン教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2 次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点) の配分で評価する。

科 目 名	担 当 者 名
健康・スポーツ実習(体操&ウォーク)	み <small>み</small> 三 <small>み</small> 幣 <small>はる</small> 晴 <small>み</small> 三

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。「Walk」は戸外で新鮮な空気に触れて実施し、それによって自分の感性を豊かにする。健康体操・ストレッチは体のバランスをチェックし矯正する。器械運動は、マットや鉄棒、さらにトランポリンなどの種目を中心にしてやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：同
- 4 時限目：器械運動 (マット・トランポリン)
- 5 時限目：同
- 6 時限目：Walk
- 7 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 8 時限目：同
- 9 時限目：器械運動 (男子：あん馬、つり輪、平行棒、跳馬)
(女子：平均台、段違い平行棒、跳馬)
- 10 時限目：同
- 11 時限目：Walk
- 12 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：同
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階の体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるので、授業時間内の指示を守る。Walkはグラウンドや戸外で実施する。

成績評価の方法

健康体操・器械運動・Walkは、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70点、実技点30点の割合で評価する。器械運動ではやさしい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(空手道)

たがはし しゅん すけ
高橋俊介

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(卓球)

竹田 幸夫

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行わない。

その他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

保健
体育**科目名****担当者名**

健康・スポーツ実習(室内球技)

下谷内 勝利

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7 時限目：ゲーム（2次リーグ）
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：ゲーム（トーナメント）
(バトミントン)
- 12時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法 (単独法、対人法) などを各時間に詳しく講義する。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ゴルフ)

佐藤 政之

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時 限 目：打撃練習 (7・9 アイアン)
- 4 時 限 目：打撃練習 (7・9 アイアン) ・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時 限 目：打撃練習 (5 アイアン)
- 6 時 限 目：打撃練習 (5 アイアン)
- 7 時 限 目：打撃練習 (W1・W3)
- 8 時 限 目：打撃練習 (W1・W3)
- 9 時 限 目：打撃練習 (アプローチ)
- 10 時 限 目：打撃練習 (アプローチ)
- 11 時 限 目：打撃練習 (パッティング) ・ルールの解説
- 12 時 限 目：打撃練習 (パッティング) ・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時 限 目：ラウンド (模擬コース)
- 14 時 限 目：ラウンド (模擬コース)
- 15 時 限 目：実技テスト

履修上の留意点

- 1. 服装は、一般的な運動服装とする。
- 2. シューズは、運動靴とする。
- 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点 (実技テストを含む) 30%の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(テニス)

江口 淳一

保健
体育

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1. 服装は一般的な運動服装とする。
- 2. テニスシューズを必ず用意すること。
- 3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(ジョギング)

もりもと まはる
森 本 葵**講義のねらい**

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング(速歩)によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング(速歩)
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング(時間走、距離走、初歩のインターバルランニング)
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング(前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー)
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック(心電図、負荷心電図、その他)を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。(食事をとること、睡眠時間の充分なこと)ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名

健康・スポーツ実習(ソフトボール)

担当者名

たて	おか	よし	あき
館	岡	儀	秋

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： 〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目： 〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目： 〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目： 〃
- 12時限目： 〃
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用の必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ゴルフ)

たておかよしあき
館岡儀秋

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名

健康・スポーツ実習(卓球)

担当者名

しもやち かつとし
下谷内 勝利

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

保健
体育

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(空手道)

たか ばし しゅん すけ
高橋俊介

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(ソフトボール)

もりもと 森本 葵

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目：　　〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目：　　〃
- 5 時限目：　　〃
- 6 時限目：　　〃
- 7 時限目：　　〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目：　　〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目：　　〃
- 12時限目：　　〃
- 13時限目：　　〃
- 14時限目：　　〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： 〃 (ゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目：〃(キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール(パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃(フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

科 目 名**担 当 者 名**

健康・スポーツ実習(トレーニング)

あま たい こう いち
秋 田 浩 一

〔再クラス〕

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 2日目 午後：トレーニング
 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
 3日目 午後：トレーニング
 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 4日目 午後：12分間走
 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目
午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目
午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目
午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目
午前：〃
午後：〃
- 第5日目
午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(卓球)

しもやちかつし やまぐち よしひろ
下谷内勝利・山口 良博

[再クラス]

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(バドミントン)

まきの野 じげん 茂

[再クラス]

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 一日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
 - (1) (スマッシュ、ドロップ)、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 - (2) (スマッシュ、クリアー、ドライブ)、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
 - (1) (クリアー、ヘアピン・ショット)、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
 - (2) (ロブ、クロス、ネットショット)、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 - (3) (カット、プッシュ)、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

保健体育

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(室内球技)

すずき じゅん べい
鈴 木 淳 平

[再クラス]

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳)

みつ なが よし てる
光 永 吉 輝

[再クラス]

講義のねらい

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクソスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている。全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1日目

午前：オリエンテーション・体力測定
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)

2日目

午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定
午後：第一組、第二組(3式)

3日目

午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組(2式)

4日目

午前：トレーニング
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合

5日目

午前：体力測定
午後：総合(1~11式)、テスト

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月19日(水)~23日(日)、(後期)1月7日(日)~11日(木)
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(簡化太極拳)

おお いし たけ し
大 石 武 士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で手軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館 2 階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バドミントン)
 生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バドミントン)

なが はま とも お
 長 濱 友 雄

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
 また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健
体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(室内球技)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(室内球技)

すずき じゅん ぺい
鈴木 淳平

保健
体育

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(卓球)

まきの野 しのぶ

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(卓球)

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 (2) スマッシュを打つことが出来る。
 (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

保健体育

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時限目：シングルスゲームの練習
- 8 時限目：
- 9 時限目： } 総合練習、シングルスゲーム練習
- 10 時限目：
- 11 時限目：
- 12 時限目：
- 13 時限目： } 総合練習、ダブルスゲーム
- 14 時限目：
- 15 時限目：

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バスケットボール)

まきの野 じげ茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(バスケットボール)

保健
体育

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス(1)、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス(2)、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム(リーグ戦)
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク(1)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク(2)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense(1) ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense(2) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense(3) ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 13 時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14 時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	担当者名
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(フットサル)	たなかよし 田中佳孝
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(フットサル)	
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／基礎(フットサル)	
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／基礎(フットサル)	

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(簡化太極拳)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(簡化太極拳)

おお いし たけ し
大 石 武 士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(ミニサッカー)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(ミニサッカー)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(ミニサッカー)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(ミニサッカー)

おお いし たけ し
大 石 武 士**講義のねらい**

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることでも数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

講義の内容・授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション

2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム

3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム

4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム

10時限目～14時限目：ゲーム

15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)
生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)
生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

すず き じゅん ぺい
鈴木 淳平

講義のねらい

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目： }
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： }
 } 総合練習・シングルスゲーム
- 11 時間目： }
- 12 時間目： }
 } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15 時間目： }

履修上の留意点

- 1. 定員は40名とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

保健
体育

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バドミントン)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)

なが はま とも お
長 濱 友 雄

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。

また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。

- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(卓球)

まきの野 茂

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(卓球)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(卓球)

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅲ前期・後期／応用(バスケットボール)

生涯スポーツ実習Ⅳ前期・後期／応用(バスケットボール)

まきの 牧野 茂

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート 2 対 1
- 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
- 4 時限目：2 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
- 5 時限目：3 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート 4 対 4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

保健体育

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習(テニス)

江口淳一

(集中後期・基礎/応用)

保健
体育

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ること目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）
1月7日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名**担当者名**

生涯スポーツ実習(ゴルフ)

み 三 幣 ぬ さ 三 晴 三

(集中後期・基礎/応用)

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的のスポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）

講義：スイングの基本

2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）

講義：マナーとエチケット

3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）

講義：ゴルフルール

4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）

講義：ゴルフコースとラウンドについて

5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

(1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）

(2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

その他

(1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）

1月7日午前10時に玉川校舎集合

(2) 実施時間：10：00～12：00

13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川校舎グラウンド

(4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。

(5) 定員：40名

(6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

科目名

担当者名

生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ)

たておか よしあき
館岡 儀秋 他

(シーズン基礎/応用)

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション:
 - 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業: 7月17日(月) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月4日(月)
講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技: 13:00~17:30 打撃練習
※注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月5日(火) 実技・講義: 11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則Ⅰ、その他
 - 3日目 9月6日(水) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則Ⅱ
 - 4日目 9月7日(木) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月8日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成18年9月4日(玉川校舎)・9月5日~8日(現地: 3泊4日)
2. 場所:
宿泊: マウロドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112
練習場コース: ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
3. 定員: 40名
4. 集合解散:
 - (1) 集合 9月4日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月5日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月8日(金) 午後12時30分: 予定 ダイナミックゴルフ成田
5. 受講料: 35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
6. 納入期間: 平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
7. 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウィンドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトライクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

前期終了科目成績発表日（9月4日）と1日目授業（玉川校舎）の日程が重複しています。該当者は、1日目の午前中に、予め教務部窓口で成績表を受け取ってから授業に参加してください。

生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード)
(シーズン基礎/応用)えぐち じゅんいち
江口 淳一 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月11日(木) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月5日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月6日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月7日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月8日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月9日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成19年2月5日(月)～2月9日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成18年5月22日(月)～6月3日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行う。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりを考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期である。講義の内容から自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目 オリエンテーション
- 2 時限目 人間と健康 (心と体：生活習慣病)
- 3 時限目 〃 (心と体：ストレス)
- 4 時限目 〃 (心と体：肥満とダイエット)
- 5 時限目 体力とトレーニングの方法 (基礎的な体力要素)
- 6 時限目 〃 (体力要素の特徴)
- 7 時限目 〃 (トレーニング方法)
- 8 時限目 スポーツ運動の理論 (スポーツ運動の特徴)
- 9 時限目 〃 (運動の上達、習熟)
- 10 時限目 〃 (運動発達)
- 11 時限目 〃 (スポーツにおける右と左)
- 12 時限目 〃 (イメージトレーニング)
- 13 時限目 〃 (メンタルトレーニング)
- 14 時限目 まとめ
- 15 時限目 筆記試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を知識として聞くだけでなく、自分の身近な問題として考えながら講義を聴いてほしい。

成績評価の方法

出席状況と授業の最後に行う筆記試験で評価する。

教科書

特に指定しない。資料を配布。

参考書等

葦原 睦著『心でおきる身体の病』(講談社ブルーバックス)
D. チョブラ著『パーフェクトヘルス』(ダイヤモンド社)

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。

講義のねらい

健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を進んで今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立つものである。

- I
 - 1 時限目：運動はなぜ必要か
 - 2 時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
 - 3 時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
 - 4 時限目：体育によってどのような教育が考えられるか
 - 5 時限目：学校体育による教育
 - 6 時限目：社会体育による教育
 - 7 時限目：生涯体育による教育
 - 8 時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
 - 9 時限目：実用の面から生まれてきた運動
 - 10 時限目：健康の面から生まれてきた運動
 - 11 時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II “レポート提出” 授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。
 - 12 時限目：（例）スポーツの文化性、芸術性について
 - 13 時限目：（例）スポーツマン精神について
 - 14 時限目：（例）大衆スポーツ論
 - 15 時限目：（例）スポーツと政治

成績評価の方法

出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

科目名

担当者名

健康・スポーツ論2

おお いし たけ し
大 石 武 士

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病氣や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病氣・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

保健 体育

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいをもちながら生きていく上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が営々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何か I
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何か I
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論 I
- 10 時限目：同 II
- 11 時限目：同 III
- 12 時限目：同 IV
- 13 時限目：同 V
- 14 時限目：健康のまとめ
- 15 時限目：スポーツ論のまとめ

履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

教科書

特に指定するものはない。

参考書等

- 『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
- 『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、必要に応じてビデオや実技も加える。

科目名

担当者名

健康・スポーツ論2

まきの野茂

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンスアンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か (1) 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か (2)
- 4 時限目：健康とは何か (3)
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進 (1) 科学的研究健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進 (2) 保健衛生サービス健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康 (1) 運動・栄養・休養 (1)
- 11 時限目：日常生活と健康 (2) 〃・〃・〃 (2)
- 12 時限目：日常生活と健康 (3) 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について (1) インフルエンザ結核
- 14 時限目：感染症について (2) 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学—知っておきたい予防医学—」(丸善) 1,900円
「ライフスタイルと健康の科学」(不昧堂出版) 2,400円
他は、講義のなかで紹介する。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス A
商 学 科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.611)

專科
專門
教育
目

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目は、フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
経済学概説	経A1必	通年	4	鈴木伸枝	297
経済学概説	経A1必	通年	4	渡邊恵一	298
経済学概説	経A1必	通年	4	荒木勝啓	298
経済理論ⅠA・資本の原理	経A1・2・3・4必	通年	4	有井行夫	299
経済理論ⅠA・資本の原理	経A1・2・3・4必	通年	4	阿部弘	300
流通論基礎	16以降入学生/商1選必 経A2・3・4選	通年	4	曾我信孝	301
商学総論	15以前入学生/商1・2・3・4選必				
経営学基礎	16以降入学生/商1選必 経A2・3・4選	通年	4	百田義治	302
経営学総論	15以前入学生/商1・2・3・4選必				
会計学基礎	16以降入学生/商1選必	通年	4	森田佳宏	303
会計学総論	15以前入学生/商1・2・3・4選必				
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	島中貴	304
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	松井柳平	305
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	経A1・2・3・4選必	通年	4	荒木勝啓	306
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	浅野克巳	307
経済学史	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	福原好喜	308
経済史	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	安元稔	309
経済政策	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	飯田泰之	310
財政学	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	里中恆志	311
金融論	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	代田純	312
社会政策	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	竹下睿騏	313
日本経済論	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	小林正人	314
国際経済論	経A1・2・3・4選必 商2・3・4選	通年	4	徳永俊明	315
基礎ゼミ	商1選 (18入学生のみ)	半期	2	齊藤正 小西宏美 佐藤和子	316
経済学基礎	16以降入学生/商1選	通年	4	森田成也	317
経済学概説	15以前入学生/商1必				

簿記論	16以降入学生／商1選 15以前入学生／商1・2・3・4選必 経A 2・3・4選	通年	4	福島隆	318
簿記論	16以降入学生／商1選 15以前入学生／商1・2・3・4選必 経A 2・3・4選	通年	4	長谷川美千留	319
簿記論	16以降入学生／商1選 15以前入学生／商1・2・3・4選必 経A 2・3・4選	通年	4	石川純治	319
企業論基礎	商1選 経A 2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	安藤陽	320
ファイナンス基礎	商1選 経A 2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	須藤時仁	320
情報入門Ⅰ	商1選 (18入学生のみ)	半期	2	岩波文孝	321
情報入門Ⅱ	商1選 (18入学生のみ)	半期	2	岩波文孝	322
キャリア・デザイン	経A・商・経B 1・2選(3年次以降履修不可)	通年	4	竹下睿騏	323
経済理論ⅠA・資本の原理	商2・3・4選	通年	4	休講	
経済理論ⅠB・経済システムの原理	経A・経B 1・2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	大石雄爾	324
経済数学	経A・経B 1・2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	池田宏	325
応用ミクロ経済学	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	荒木勝啓	326
応用マクロ経済学	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	吉野紀	327
計量経済学	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	田中正光	328
統計原論	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	吉野紀	329
景気循環論	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	野村信廣	330
現代資本主義論	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	長島誠一	331
社会思想史	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	阿部弘	332
日本経済史	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	渡邊恵一	333
西洋経済史	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	友松憲彦	334
農業政策	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	溝手芳計	335
工業政策	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	奥山雅之	336
経済地理	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	矢延洋泰	337

中小企業論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	吉田敬一	338
公共経済学	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	鈴木伸枝	339
財政政策	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	休講	
地方財政論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	篠原章	340
国際金融論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	田中綾一	341
人口論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	森岡仁	342
教育経済論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	谷敷正光	343
労働経済論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	休講	
環境経済論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	山口由二	344
アジア経済論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	鄭章淵	345
中国経済論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	田中祥之	346
アメリカ経済論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	瀬戸岡紘	346
EU統合論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	半期	2	清水卓	347
現代西欧経済論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	半期	2	清水卓	348
ロシア・東欧経済論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	山縣弘志	349
※貿易実務	経B1・2・3・4選 経A・商2・3・4選	半期	2	荒畑治雄	641
※通関実務	経B1・2・3・4選 経A・商2・3・4選	半期	2	荒畑治雄	642
会計学総論	経A2・3・4選	通年	4	寺坪修	350
情報・経済ネットワーク論	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	加藤賢次郎	351
プログラミング論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	濱本和彦	352
基礎情報処理Ⅰ	経A1・2・3・4選 商2・3・4選	半期	2	相浦宣徳	353
基礎情報処理Ⅱ	経A1・2・3・4選 商2・3・4選	半期	2	相浦宣徳	354
応用情報処理Ⅰ	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	半期	2	井川俊実	355
応用情報処理Ⅱ	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	半期	2	井川俊実	356

憲法	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	内田真利子	357
民法一部	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	竹中智香	358
民法二部	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	織田晃子	359
商法一部	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	荒木正孝	360
商法二部	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	中濱義章	361
経済法	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	若林亜里砂	362
労働法	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	藤本茂	363
行政法	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	小林弘人	364
国際法	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	齋藤洋	364
※税法Ⅰ	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	半期	2	奥村正郎	654
※税法Ⅱ	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	半期	2	奥村正郎	655
原書講読Ⅰ〔英語〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	岩波文孝	365
原書講読Ⅱ〔英語〕	経A・商・経B2・3・4選				
原書講読Ⅰ〔英語〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	鈴木伸枝	365
原書講読Ⅱ〔英語〕	経A・商・経B2・3・4選				
原書講読Ⅰ〔英語〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	溝手芳計	366
原書講読Ⅱ〔英語〕	経A・商・経B2・3・4選				
原書講読Ⅰ〔独語〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	福原好喜	366
原書講読Ⅱ〔独語〕	経A・商・経B2・3・4選				
原書講読Ⅰ〔仏語〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	休講	
原書講読Ⅱ〔仏語〕	経A・商・経B2・3・4選				
原書講読Ⅰ〔中国語〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	休講	
原書講読Ⅱ〔中国語〕	経A・商・経B2・3・4選				
原書講読Ⅰ〔ロシア語〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	山縣弘志	367
原書講読Ⅱ〔ロシア語〕	経A・商・経B2・3・4選				

原書講読Ⅰ〔朝鮮語〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	鄭章淵	367
原書講読Ⅱ〔朝鮮語〕	経A・商・経B2・3・4選				
現代経済事情Ⅰ 〔高齢化と情報社会〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	半期	2	竹本正男	368
現代経済事情Ⅱ 〔少子高齢化と年金制度〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	半期	2	井口直樹	369
現代経済事情Ⅲ 〔地球環境とエネルギー問題〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	半期	2	兼松通彦	369
現代経済事情Ⅳ 〔20代の仕事とキャリア〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	半期	2	豊田義博	370
※会計資格特別演習	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	鈴木勝浩	660
※情報資格特別演習Ⅰ	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	永井勇	661
※情報資格特別演習Ⅱ	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	井川俊実	663
※教員試験特別演習	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	谷敷正光	664
流通経済論	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	大吹勝男	371
商業政策	16以降入学生／商2・3・4選 15以前入学生／商1・2・3・4選必 経A2・3・4選	通年	4	岩下弘	372
マーケティング	16以降入学生／商2・3・4選 15以前入学生／商1・2・3・4選必 経A2・3・4選	通年	4	曾我信孝	373
※商品学	経B2・3・4選 経A2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	見目洋子	666
※交通論	経B2・3・4選 経A2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	金兌奎	667
商業史	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	幸野保典	374
消費経済論	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	山田壽一	375
ロジスティックス	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	休講	
経営管理論	16以降入学生／商2・3・4選 15以前入学生／商1・2・3・4選必 経A2・3・4選	通年	4	名取修一	375
労務管理論	16以降入学生／商2・3・4選 15以前入学生／商1・2・3・4選必 経A2・3・4選	通年	4	堀龍二	376
経営戦略論	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	田淵泰男	668
企業統治論	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	岩波文孝	377

現代企業論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	桜井徹	378
財務管理	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	白坂亨	379
経営学史	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	小阪隆秀	379
非営利組織論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	堀越芳昭	380
経営情報システム論Ⅰ	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	斎藤隆	381
経営情報システム論Ⅱ	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	斎藤隆	382
財務会計論	16以降入学生/商2・3・4選 15以前入学生/商1・2・3・4選必 経A 2・3・4選	通年	4	小栗崇資	383
※会計監査論	経B 2・3・4選 経A 2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	森田佳宏	670
会計情報論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	石川純治	384
管理会計論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	石川祐二	384
原価計算論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	鈴木勝浩	385
※税務会計論	経B 2・3・4選 経A 2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	高木克己	672
経営分析	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	渡邊智	385
上級簿記	商・経A 2・3・4選	通年	4	福島隆	386
コンピュータ会計Ⅰ	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	鈴木勝浩	387
コンピュータ会計Ⅱ	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	鈴木勝浩	388
貿易論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	古沢紘造	389
銀行システム論	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	齊藤正	390
現代銀行事情	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	齊藤正	391
※証券市場論	経B 2・3・4選 経A 2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	広田真人	674
※保険論	経B 2・3・4選 経A 2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	宮地朋果	675
ビジネス事例研究	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	百田義治	392
ビジネス英会話Ⅰ	商・経A 2・3・4選	半期	2	清水絹代	393
ビジネス英会話Ⅱ	商・経A 2・3・4選	半期	2	清水絹代	393
ビジネスインターンシップ	商3選 (16入学生のみ)	通年	4	小栗崇資 堀龍二	394
※現代産業事情Ⅰ	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 商2・3・4選	半期	2	阿部弘	659
※現代産業事情Ⅱ	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 商2・3・4選	半期	2	友松憲彦	659
現代産業事情Ⅲ	経A・商・経B 3・4選	半期	2	代田純	395
演習Ⅰ	経A・商2選	通年	4	浅野克巳	396
演習Ⅰ	経A・商2選	通年	4	阿部弘	396
演習Ⅰ	経A・商2選	通年	4	荒木勝啓	397
演習Ⅰ	経A・商2選	通年	4	有井行夫	397

演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	飯田泰之	398
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	石川純治	399
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	石川祐二	399
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	岩波文孝	400
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	大石雄爾	400
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	大吹勝男	401
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	小栗崇資	401
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	小杉修二	402
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	小林正人	402
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	齊藤正	403
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	清水卓	403
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	代田純	404
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	鈴木伸枝	404
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	瀬戸岡紘	405
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	曾我信孝	406
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	鄭章淵	406
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	徳永俊明	407
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	友松憲彦	407
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	百田義治	408
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	福原好喜	409
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	古沢紘造	410
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	堀龍二	410
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	松井柳平	411
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	溝手芳計	411
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	森岡仁	412
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	森田佳宏	412
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	谷敷正光	413
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	安元稔	413
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	山縣弘志	414
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	吉田敬一	414
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	吉野紀	415
演習 I	経 A・商 2 選	通年	4	渡邊恵一	415
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	浅野克巳	416
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	阿部弘	416
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	荒木勝啓	417
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	有井行夫	417
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	飯田泰之	418
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	石川純治	418
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	石川祐二	419
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	岩下弘	420
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	岩波文孝	421
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	大石雄爾	421
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	大吹勝男	422
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	小栗崇資	422
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	小杉修二	423
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	小林正人	423
演習 II	経 A・商 3 選	通年	4	齊藤正	424

演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	里中恆志	424
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	清水卓	425
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	代田純	425
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	鈴木伸枝	426
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	瀬戸岡紘	426
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	曾我信孝	427
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	鄭章淵	428
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	徳永俊明	428
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	友松憲彦	429
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	繁田聡一	429
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	百田義治	430
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	福原好喜	430
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	古沢紘造	430
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	堀龍二	431
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	松井柳平	432
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	溝手芳計	432
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	森岡仁	433
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	森田佳宏	433
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	谷敷正光	434
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	安元稔	434
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	山縣弘志	435
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	吉田敬一	435
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	吉野紀	436
演習Ⅱ	経A・商3選	通年	4	渡邊惠一	436
インターンシップ	経A3選 (16入学生のみ)	通年	2	谷敷正光	437
インターンシップ	経A3選 (16入学生のみ)	通年	2	小栗崇資	437
インターンシップ	経A3選 (16入学生のみ)	通年	2	齊藤正	438
インターンシップ	経A3選 (16入学生のみ)	通年	2	代田純	438
インターンシップ	経A3選 (16入学生のみ)	通年	2	友松憲彦	438
インターンシップ	経A3選 (16入学生のみ)	通年	2	徳永俊明	439
インターンシップ	経A3選 (16入学生のみ)	通年	2	清水卓	439
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	浅野克巳	440
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	阿部弘	440
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	荒木勝啓	441
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	有井行夫	441
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	飯田泰之	442
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	石川純治	442
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	石川祐二	443
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	岩下弘	443
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	岩瀬弘和	444
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	岩波文孝	444
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	大石雄爾	445
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	大吹勝男	445
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	小栗崇資	445
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	小杉修二	446
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	小林正人	446
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	齊藤正	447

演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	里中恆志	447
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	清水卓	448
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	代田純	448
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	鈴木伸枝	448
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	瀬戸岡紘	449
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	曾我信孝	449
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	鄭章淵	450
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	徳永俊明	450
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	友松憲彦	451
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	百田義治	451
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	福原好喜	452
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	古沢紘造	452
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	堀龍二	452
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	松井柳平	453
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	溝手芳計	453
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	枝松正行	454
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	森岡仁	454
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	森田佳宏	454
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	谷敷正光	455
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	山縣弘志	455
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	吉田敬一	456
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	吉野紀	456
演習Ⅲ	経A・商4選	通年	4	渡邊恵一	456

科
專
門
教
育
目
錄

科目名

担当者名

経済学概説

鈴 木 伸 枝

講義のねらい

公務員・資格試験で出題された問題を題材にとり、問題演習を通じて、経済学を基礎から学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 消費者行動の理論
 - 1 無差別曲線と予算線
 - 2 効用最大化の条件
 - 3 所得の変化と需要の変化
 - 4 価格の変化と需要の変化
- 2 消費者行動理論の応用
 - 1 労働供給量の決定
 - 2 異時点間の最適消費量の決定
- 3 生産者行動の理論
 - 1 生産関数
 - 2 等量曲線と費用最小化
 - 3 短期費用関数
 - 4 長期費用関数
- 4 市場均衡と余剰分析
 - 1 市場均衡
 - 2 余剰分析
- 5 不完全競争の理論
 - 1 独占
 - 2 寡占
 - 3 独占的競争
- 6 市場の失敗
 - 1 パレート最適
 - 2 外部効果
 - 3 公共財
 - 4 費用逓減産業

科 専
目 門
教 育

履修上の留意点

小テストを何度もおこない、後期試験はおこなわない。
授業に出席しないと成績評価できないので、注意すること。

成績評価の方法

後期試験はおこなわず、ほぼ毎回平常の授業時間内におこなわれる小テストで評価する。

教科書

白砂 堤津耶・森脇 祥太『例題で学ぶ初歩からの経済学』
(日本評論社) (2002-04-01出版) ISBN4-535-55221-5

参考書等

西村和雄『ミクロ経済学入門(第2版)』(岩波書店)1995年/10出版 ISBN:4000021931
 『公務員試験はじめて学ぶミクロ経済学 第2版』(幸村千佳良実務教育出版)(1998/12)
 ISBN:478894944X
 『公務員試験速攻!まるごと経済学—ミクロ・マクロ経済理論』(資格試験研究会)(編集)
 実務教育出版(2002/03) ISBN:4788946289
 『公認会計士・不動産鑑定士・公務員試験受験者のためのトレーニング経済学中級編 第2版』T

科目名	担当者名
経済学概説	わた なべ けい いち 渡 邊 恵 一

講義のねらい

経済学部に入学者に、経済学という学問分野の基本的な考え方や分析対象について理解してもらうとともに、今後専門科目を順次履修していくための指針を与える。

講義の内容・授業スケジュール

新聞あるいはニュースで目や耳にしたことがあるような経済事象を中心に、毎回1話完結型のテーマを設定する。基本的な用語・知識の確認から出発して、専門科目における発展的な学習を動機づけていくような授業を心がけたい。担当者の専門分野は経済史であるので、取り上げる経済現象の歴史的性格についても、必要に応じて取り上げていくつもりである。講義スケジュールの詳細については、開講時に示す。

成績評価の方法

教員からの問題提起に対する意見、授業の感想、内容への質問などを記入してもらう「リアクション・ペーパー」を、毎回配布・回収する。出席票を兼ねると同時に、講義に取り組む受講生の姿勢を読み取り、平常点として評価する。その他、必要に応じてレポート等を課すことがある。

教科書

使用しない。レジュメを毎回配布する。

参考書等

その都度、紹介する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
経済学概説	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓

講義のねらい

題名：「経済学・7つの難問」……人々は経済のパラドキシカルに見える難問の解決に、いかにして取り組んできたか。その足跡をたどることで自ずと経済学的な見方と定式化の方法が身につくことになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 重商主義・重金主義が国民をなぜ貧困に追いやるか？……ケネーの経済表からレオンチェフの産業連関表まで
 2. 貿易はなぜ行われるか？……比較優位説から一般均衡分析まで
 3. 不変の価値尺度は存在するか？……リカードからスラッファまで
 4. 客観価値論は体系として数理的に完結するか？……スミスから森嶋・シートンの定理まで
 5. 主観価値論は生き延びたか？……限界革命からフォン・ノイマンまで
 6. 豊かになるほど失業が増えるのはなぜか？……セー法則からケインズまで
 7. すべての人が満足する社会は存在するのか？……パレート最適から市場の失敗まで
- 以上のうち時間が許す限りできるだけ多くのテーマを論じていきたい。

履修上の留意点

ノートをとることを欠かさないこと。経済学のエッセンスがすべて凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとする膨大な量になる。

成績評価の方法

定期試験、ただしノート持込可。コピー不可。

教科書

特になし。

参考書等

講義の中で随時示す。

科目名

担当者名

経済理論 I A・資本の原理

あり い ゆ き お
有 井 行 夫

講義のねらい

経済のエネルギーとは、水力や火力、電力、原子力など自然力一般ではなく、人間自身のエネルギー、すなわち労働力です。地中における諸資源の地質学的生成、原生林や大気の生成など、人間エネルギーの関与しない自然的生成は経済関係を構成しません。経済システムとは、人間自身のエネルギーを組織しバランスよく発揮させている仕組みなのです。そして今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業の商品生産にもとづいて実現されています。

さて、企業のかぎりない利潤追求を意味づけているのは、利潤の再投資運動、すなわちお金を産むお金の運動です。この運動のことを資本といいます。資本こそは、現代の経済システムの編成原理です。経済理論 I A は、資本の存在と意味について、経済活動の原点から掘り下げます。なお、経済理論 I B は、資本の意義の理解を前提して資本による社会的諸制度の意味づけをとらえる I A の発展コースです。また、経済理論 II の系列（マイクロ経済学、マクロ経済学）は、おなじく現代経済システムの構造を原理的に考察しますが、経済理論 I 系列とはアプローチの方法がちがいます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1-4) 序章 = 経済学の対象と方法 (経済理論 I A の「3つの精神」)。
(5-8) 第1篇第1章 = 市場経済。(9-13) 第2-6章 = 資本と増殖。
(14-20) 第7-10章 = 資本と蓄積。(21-26) 第2篇 = 資本の流過程。

履修上の留意点

骨格的内容の理解に時間を集中します。

成績評価の方法

授業中にアンダーラインを指示した箇所から出題した実力試験によります。

教科書

大谷禎之介『図解社会経済学』(桜井書店) 3,000円

科 専
門 教
目 育

科目名

担当者名

経済理論 I A ・ 資本の原理

あべ ひろ
阿部 弘

講義のねらい

「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は経済学部で設置している「経済理論」の I A であり、主としてマルクスの『資本論』を主体として講義・演習をおこなう。一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」として、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判をしたその内容と現在の問題とを比較しながら「経済学」はどうあるべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 「富」とは何か
 - 1 「富」とは何か
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する。
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
 - 1 資本の生産
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 日本の運動法則
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会—まとめ

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2) レポートは、第1回目：5月／第2回目：6月末～7月初旬／第3回目：10月／第4回目：12月
- 2 その他
定期試験は行いません。

教科書

池上惇『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリ）
マルクス『資本論』①～⑤（大月書店 国民文庫）

その他

受講生と講師が連絡できるように次に連絡先等を掲載しておきます。
研究室：第2研究棟5F No. 2538
TEL 03-3418-9360

専
門
教
育
目

科 目 名**担 当 者 名**流通論基礎
商学総論そ ぐ のぶ たか
曾 我 信 孝

講義のねらい

商品流通がわれわれの社会にどのように影響しているかを、特に小売商業の動向のなかから考えてみる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では商品流通の概論を説明し、商品経済の発達と小売業態の変化について説明する。とりわけ、日本では高度成長期に大量生産された商品が消費者の手に届くまで合理的な流通機構が必要で、様々な業態が生まれた。しかし、それらの業態も一部は変形しながらも生き残って入るが、衰退したともいえるものもある。こうした小売業態の興隆と衰退を考えながら、流通の経済的意味を学習してもらおう。なお、流通に関する現実の問題を考えてもらうために、2～3回（1回当たり40分程度）ビデオ学習をする。

後期は国際流通をテーマに講義を進めていく。その内容は、総合商社、大規模小売業の海外進出、海外小売業の日本参入の実態などを紹介する。そして商品流通の国際化がもたらす問題を提起していきたい。後期も現実問題の学習のため、2～3回のビデオ学習をする。

履修上の留意点

まじめで知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。

成績評価の方法

夏休みの課題および年度末の課題の年2回のレポート（60%程度）と平常点（講義中の小レポートの評価：40%程度）によって評価する。

教 科 書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

そ の 他

授業方法－講義形式

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名**担当者名**経営学基礎
経営学総論ひゃく た よし はる
百 田 義 治

講義のねらい

この講義では、大学に入学して初めて経営学を学ぶ学生を対象に、できるだけやさしくその体系と内容を解説することを目的としています。

20世紀の科学として生成・発展した経営学は、21世紀を迎えて、ますます進展するグローバル化と情報技術革新のなかで、大きく変容しています。この講義では、できるだけこのような新しい経営現象を素材として、経営学の考え方や分析の仕方を理解できるようにします。もちろん、これまでの経営学の理論や企業経営の歴史的発展を学ばなければ、新しい経営現象を深く理解することはできません。楽しく講義しますが、学生諸君も積極的に取り組む姿勢を大切にしてください。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 企業とは何か—株式会社から市民事業まで—
II. 経営とは何か？

①経営学100年の歴史の概観、②経営戦略、③リーダーシップ、④生産管理 ⑤人的資源管理、⑥日本の経営、⑦情報化・国際化と企業経営、⑧環境経営、⑨企業倫理、CSR

以上のようなテーマについて、その基本的な論点（エッセンス）を取り上げ、2年生以降にそれぞれの専門科目を学ぶ意義を伝え、関心を鼓舞できるように講義します。

履修上の留意点

新聞を読み、テレビのニュース・報道特集などをみて、企業の経営・管理問題に関心を持って授業に参加して欲しい。現代の企業経営を巡る話題に関連づけて講義を進めます。

成績評価の方法

学年末試験(50点)、夏季レポート(25点)、授業スケジュールにある項目ごとの小レポート(25点)で成績評価します。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。

参考書等

随時紹介します。

科目名	担当者名
会計学基礎 会計学総論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏

講義のねらい

会計とは、特定の経済主体が営む経済活動およびこれに関連する経済的事象を、主として貨幣額で測定・記録・伝達する行為である。また、これらの行為を通じて得られる各種の情報を会計情報という。この会計情報の中心的存在が、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表である。会計学の主たる研究領域としての企業会計は、企業が作成する会計情報の提供先の相違により、財務会計と管理会計とに分類されるが、とりわけ財務会計は、財務諸表の作成および公開をその主要な課題とする。公認会計士による会計監査も財務会計の領域に属する。

本講義は、会計学の初学者を対象として、会計学の概要を理解し、財務会計論や会計監査論を学習する上での基本的な知識を習得することを目的としている。このためには、財務諸表の作成・公開についての制度面・理論面からの理解のみならず、これと表裏一体をなす財務諸表作成のための技術的な側面、すなわち簿記の基礎についての理解も不可欠である。

講義の内容・
授業スケジュール

財務諸表の作成から公開に至る一連の過程を概括的に理解できるよう、会計の制度面、理論面および技術面における基本的事項について解説を行う。

具体的には、わが国の企業会計制度、簿記の基礎、財務諸表の仕組み・内容、財務諸表の公開、監査制度の順で講義する。スケジュールとしては、簿記の基礎（日商簿記検定試験3級程度）までを前半、それ以降を後半とする予定である。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。

教科書

新井清光著、加古直士補訂『現代会計学』（中央経済社）
加古直士、渡部裕巨編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）

参考書等

講義のなかで適宜紹介する。

講義のねらい

ミクロ経済学の基礎的な内容（家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、市場メカニズムが果たしている基本的な役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース）を一通り講義する。

この講義の目標とするところは以下の二点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。
- (ii) 論理的な思考ができるようになる。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールは以下の通り。

- (前期) (1) ガイダンス (2) 経済主体と市場 (3・4) 需要曲線、供給曲線 (5・6) 価格および取引数量の変化 (7・8) 予算制約 (9) 無差別曲線 (10・11) 需要曲線の導出 (12) 需要関数 (13) 前期末試験
- (後期) (14・15) 生産関数 (16・17) 利潤最大化問題、費用最小化問題 (18~20) 限界費用と微分 (21・22) 供給曲線の導出 (23) 純粋交換経済 (24・25) 厚生経済学の基本定理と市場の失敗 (26) 情報の不完全性

履修上の留意点

数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上でとても有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。初歩的な数学（関数微分）も併せて一から講義するので、数学に苦手意識を持っている人は覚悟を決めて講義に臨むこと。抽象的な議論の多いミクロ経済学の修得には努力と根性が必要であるが、根気よく予習・復習を行い、1年を通して頭を働かせ続けたなら自分の頭でものを考える力を伸ばすことができ、自分の頭に自信が持てるようになるであろう。高く飛ばんと欲すれば、深く学ばざるべからず。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。追試験は実施する。

教科書

第1回目の授業で指示をする。

科目名

担当者名

経済理論Ⅱ・ミクロ経済学

まついりゅうへい
松井柳平

講義のねらい

理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>

ガイダンス 講義の概要等説明
あるパン屋の話
支配戦略
ナッシュ均衡
バックワード・インダクション
サブゲーム完全均衡
交渉ゲーム

<後期>

不完備情報ゲーム
ベイズ完全均衡
オークション
市場取引
消費者理論
金融市場と一般均衡

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

数の大小比較、四則演算（足し算、引き算、かけ算、わり算）、分数の計算、簡単な方程式の変形について、完全な理解ができていることが、受講生には求められる。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、価格理論、国民所得論、公共経済学などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法

成績は基本的に、100点満点の後期試験に基づく。さらに、追加点として、授業中に発表して内容がよかった人には、1回につきプラス10点を与える。

また、夏期休暇中のレポート課題も1点～10点で評価する。

以上より、素点としては100点を超える学生も出るであろうが、そのような学生の、成績の最大値は、最終的な成績評価の段階で、100点とする。

成績評価は、絶対評価であり、したがって、好成績の学生がいるからといって、それによって他の学生の評価が相対的に悪くなるということはない。

教科書

梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』（日本評論社）ISBN 4-535-55202-9

参考書等

岩田 規久男『経済学を学ぶ』（筑摩書房）（ちくま新書）ISBN 4-480-05602-5

武藤 滋夫『ゲーム理論入門（日経文庫—経済学入門シリーズ）』（日本経済新聞社）

ISBN:4532108292

渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）ISBN：4816337458

船木『演習ゲーム理論』（新世社）ISBN4-88384-072-7

神戸『入門ゲーム理論と情報の経済学』（日本評論社）ISBN4-535-55414-5

その他

基本的に講義形式で行うが、問題演習等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

科目名

担当者名

経済理論Ⅱ・マクロ経済学

あら ひと
荒 木 勝 啓

講義のねらい

乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解、経済成長と技術進歩の理解という5つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容は次の通り。

1. 国民経済の成立
2. 所得の循環図式
3. 国民所得の概念
4. 国民所得の決定
5. 政府・輸出入の導入
6. 乗数理論
7. ビルト=イン=スタビライザー
8. 貨幣とは何か
9. 信用通貨の成立
10. 信用創造理論
11. 貨幣数量説と古典派学説
12. 流動性選好説
13. LM 曲線
14. 投資関数
15. IS 曲線
16. IS=LM 曲線による均衡実質国民所得の決定
17. マンデル=フレミングの定理
18. IS=LM=BP 曲線による国際経済と国内経済の関係の理解
19. コブ=ダグラス生産関数に基づく経済成長率の算出
20. ハロッド=ドーマーモデル
21. 新古典派成長理論
22. 期待理論その1
23. 期待理論その2

成績評価の方法

主として計算問題から成る定期試験により評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』(成蹊堂)

専
門
教
育
目

科目名

経済理論Ⅱ・マクロ経済学

担当者名

あさのかつみ
浅野克巳

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・ 授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
2. 国民経済計算と国民所得の考え方
3. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化とGDPの関係
5. 消費と投資
6. IS-LMモデルと財政金融政策
7. インフレとデフレについて
8. 国際貿易
9. 政府の経済的役割
10. 総需要と総供給
11. 貨幣とマクロ経済
12. 貨幣政策と金融政策
13. 為替市場と金融政策
14. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよい。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立ちおすすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、以上厳守。

成績評価の方法

定期試験とレポートの成績を総合評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミクス』（成蹊堂）1995年

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）2004年。これは公務員試験の問題集だけど他の国家試験の受験対策にも十分通用する。できる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の内容や主なトピックスをKOMSYに掲載するから、必要に応じて参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。オフィスアワーを設けていますのでご利用ください。

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。経済学史が単なる訓誥学とならないために、極力現代の問題も取り上げる。

専科
専門
教育
目

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語、居眠りは厳禁。ひどい場合は退場願う。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不届きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってはしい。数回レポートを課す。

参考書等

福原著『総理に忠告す』、『銀八先生心の手紙』、『Warm Heart』、『我も生命汝も生命』、『総理お間違えではありませんか?』

その他

経済に興味を持ってもらうために経済の今の問題にも言及する。一部で横道の話の方が面白いという風評がある。学生の次元で経済学の話をしよという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。ケイタイ PHS 禁止。

科目名

担当者名

経済史

やすもと 安元 稔

講義のねらい

この講義の目的は、社会科学のものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。今、『経済史』では何が問題になっているのか。まず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパの中世以降における経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を自らのものとしてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年のヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げた1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていったのか。こうした点を具体的にみていきます。

最後に、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、さらにアジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明して行くつもりです。

科専門教育

講義の内容・授業スケジュール

第1編 『経済史』とは何か

I 『経済史』の対象と課題

- 1. 「経済的営為」の特色
- 2. 『経済史』の課題

II 資源配分の方法

- 1. 市場経済と非市場経済（慣習・指令経済）
- 2. J・R・ヒックスの『経済史の理論』

第2編 外国経済史を学ぶ意味

I ヨーロッパとアジア

- 1. 比較史の視点

II 環境・政治支配の型と経済発展

- 2. E.L. ジョーンズの『ヨーロッパの奇跡』

第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展

I 中世の経済と社会

- 1. 農業生産と土地領主制
- 2. 中世都市と商業組織
- 3. 中世社会の変容

II 近代の幕開け

- 1. 農業革命・価格革命
- 2. 「長期の18世紀」の人口
- 3. プロト工業化

III 最初の工業国家

- 1. 産業革命をどう捉えるべきか
- 2. 人口の動向と農業革命
- 3. 18・19世紀イギリスの経済変動
- 4. 都市化と工業化

IV 工業化の伝播と拡大

- 1. ヨーロッパ大陸諸国の工業化
- 2. イギリス経済の退潮

V 国際経済の生成と発展

- 1. 国際経済の構造
- 2. ヨーロッパとアジア

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多くでてきますので、億劫がらずに調べ、理解して行くことが必要です。受講者は、授業スケジュール・講義資料（講義中に配布します）をいつも持参して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに参考書 E.L. ジョーンズ『経済成長の世界史』（仮題）を読み、レポート（200字詰め原稿用紙20枚以上＝40点配点）を提出してもらい、後期試験（60点配点）と総合して成績を評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

E・L・ジョーンズ『経済成長の世界史』（仮題）（名古屋大学出版会）

その他

授業の方法は、講義方式です。但し、OHP・ビデオ・資料を使って説明します。

科目名

担当者名

経済政策

飯田泰之

講義のねらい

現代経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。
複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。講義全体に必要な基本ツールの学習後、個々の経済問題について、
(1) 理論的な枠組みを解説し
(2) 基本理論を用いて政策的課題を論じ
(3) 現実の事例・データで確認する
というプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 経済学と経済政策の基礎理論 (1) ミクロ編
2. 競争市場の効率性と政府介入
3. 公益事業と競争政策
4. 外部性と公共財
5. 情報の経済学
6. 経済学と経済政策の基礎理論 (2) マクロ編
7. 短期安定化政策
8. 中期安定化政策
9. 現代日本経済の政策的課題

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

夏・冬2回のレポート提出と後期試験による。

教科書

岩田規久男・飯田泰之『ゼミナール経済政策入門』（日本経済新聞社）2006年近刊

参考書等

飯田泰之『経済学思考の技術』（ダイヤモンド社）2003年
この他、必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

専科
専門
教育
目

科 目 名

担 当 者 名

財政学

さと なか つね し
里 中 恆 志

講義のねらい

財政意志の形成、租税負担配分、歳出の効率と合理性等について基礎的な判断力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

(第1回) 年間授業計画の説明、(第2回) 公共財と公共部門、(第3回) 財政収入の歴史、(第4回) 予算編成と査定、(第5回) 予算編成と政党、(第6回) 予算政府案と議会審議、(第7回) 予算の執行と競争入札、(第8回) 予算の政治過程、(第9回) 租税原則学説、(第10回) 給与所得税、(第11回) 申告所得税と累進課税、(第12回) 法人税と徴税技術、(第13回) 国際化と移転価格税制、(第14回) 一般消費税と付加価値、(第15回) 地方税と地方歳出、(第16回) 地方財政調整の制度、(第17回) 機関費と純粋公共財、(第18回) 公共事業費と費用=便益分析、(第19回) 公共事業費と公共財産の形成、(第20回) 社会保障関係費と所得再分配、(第21回) 補助金とスビルオーバー、(第22回) 公債と公債費負担、(第23回) 総需要管理政策と国民所得、(第24回) 課税乗数と均衡予算定理、(第25回) 公債による財源調達と債券価格、(第26回) 大量国債の累積と限界、(第27回) 財政金融政策と国際収支、(第28回) 財政投融资と政府貯蓄、(第29回) 試験と評価についての説明、(第30回) 試験

履修上の留意点

関連科目として「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。

成績評価の方法

年度末テストとして行われる筆記試験による。試験は論述式による。自筆のノート持込可。

教 科 書

里中恆志 = 八巻節夫編著『新財政学』(文眞堂) 3,200円 ISBN4-8309-4195-2 C3303

参 考 書 等

北川力編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
中谷巖著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

そ の 他

授業の方法は講義形式による。

科 専
門 教
育 目

科目名

金融論

担当者名

しろ た じゅん
代 田 純

講義のねらい

通貨など金融の基本から説明する。小切手・手形を踏まえ、銀行貸出へと進む。最終的に公的金融、証券市場を含む、金融の全体像の理解を目指す。
テキストはイラストを多用した、ビジュアル系なので、わかりやすい。

講義の内容・ 授業スケジュール

年間を通じた授業の流れとしては、以下のような予定である。

- 1 金融とは
- 2 通貨とは
- 3 小切手・手形とは
- 4 ペイオフ解禁とは
- 5 銀行貸出とは
- 6 金利とは
- 7 金融市場とは
- 8 証券市場とは
- 9 国債とは
- 10 金融機関とは
- 11 公的金融とは
- 12 財政投融资とは
- 13 郵便貯金とは
- 14 簡易保険とは
- 15 公的年金とは
- 16 政府系金融機関の再編とは

履修上の留意点

OHPにより、授業を進める。

成績評価の方法

筆記試験とレポートにより評価する。

教科書

『図解 金融財政入門（予定）』（丸善）（2006年出版予定）を使用する。

参考書等

代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済）2002年

その他

出席はとらないが、私語は厳禁する。

科目名

担当者名

社会政策

たけした えい き
竹 下 睿 麒

講義のねらい

社会政策は、資本主義社会の維持・安定化を図るために国家が労働力の担い手（労働者）が抱える労働・生活上の諸問題に対応して実施する公的政策（労働力政策）として展開してきた。その後、社会保障制度にみられるように、労働力政策の枠をこえて、国民全体の社会福祉と社会サービスの向上をめざす福祉国家の公共政策に発展していった。近年、各国の経済、財政事情から福祉国家の再編がすすみ、社会政策の総合化が試みられている。

さらに、現代の社会政策は、労働・生活上の諸問題を取りまく構造的環境の急激な変化によって、新しい局面を迎え、従来の枠組み・パラダイムの転換（全面的な労働改革）を迫られている。

講義では、まず、社会政策の本質、発生の必然性と変化の過程を明らかにする。ついで、現代日本の社会政策の実体に焦点をあてて、その特徴を主要な具体的政策に即して検討することにする。さいごに、社会政策のさまざまな考え方の流れを跡づけ、最近の新しい動向を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 社会政策の概念と分析視角—1. 社会政策とは何か、2. 労働問題研究と社会政策研究、3. 社会政策の問題領域、Ⅱ. 資本主義と社会政策の歴史的展開—1. 資本主義と賃金労働者、2. 生成期資本主義の社会政策、3. 産業資本主義段階の社会政策、4. 独占資本主義段階の社会政策。

後期は、Ⅲ. 現代日本の社会政策—1. 戦前日本の社会政策、2. 戦後日本の社会政策、① 労使関係（労働組合）政策、② 賃金政策、③ 労働時間政策、④ 労働市場（雇用・失業）政策、⑤ 労働者保護政策、⑥ 高齢化政策、⑦ 女性労働と社会政策、⑧ ME・IT 技術革新と社会政策、⑨ 国際化と社会政策、Ⅳ. むすび—現代社会における社会政策の意義、社会政策論の検討。

科専
門教
育目

履修上の留意点

出席を重視する。教場での私語を慎しむこと（退場を求めることもある）。毎回、講義についての感想文を書いてもらう。

成績評価の方法

成績は、①定期試験を基本に、②出席率、③授業に取り組む姿勢、④感想文を加味して、総合的に評価する。試験の採点は、設問の意味を正確に理解し、論証が論理的に展開されているか否かを重視して行う。評価基準は、①が70%、②③④が30%の割合とする。

教科書

石畑良太郎・牧野富夫編『新版社会政策—構造改革の新展開とセーフティネット』（ミネルヴァ書房）2003年 3,400円

参考書等

西村豁通・荒又重雄編『新・社会政策を学ぶ』（有斐閣）1999年 2,000円

その他

講義形式。資料をできるだけ配付する。

科 目 名**担 当 者 名**

日本経済論

こばやし まさと
小林 正人**講義のねらい**

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程

景気の現状と雇用情勢

戦後改革

日本の高度経済成長：歴史とその原因

産業政策の役割

石油ショック、円高、バブル経済、平成不況

2. 日本の経済発展とイノベーション

イノベーションと産業構造の変化

主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械

日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）

製品の安全性とPL法

3. 日本の経済発展の総括と展望

平成不況の意義

IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。

教 科 書

なし

参 考 書 等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語に関する辞典あるいは事典を一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

そ の 他

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけでもありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ (予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日 = 第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点、学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行ないません。)

参 考 書 等

講義の中で適宜紹介します。

科目名

担当者名

経済学基礎
経済学概説

もり た せい や
森 田 成 也

講義のねらい

経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

（1）はじめに （2,3）商品・貨幣 （4,5,6）資本と剰余価値 （7）賃金 （8,9）資本の蓄積 （10,11）利潤と利潤率 （12,13）利子生み資本と株式資本 （14,15）独占資本、国家、外国貿易 （16）世界市場と帝国主義 （17）19世紀資本主義と20世紀資本主義日本経済の基本構造を学ぶ （18,19）戦前の日本と戦後日本経済の出発 （20,21）現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 （22,23）企業社会の形成と日本的働き方の確立 （24）低成長期以降の企業社会の肥大化 （25）企業社会と女性 （26）クルマ社会日本 （27,28）経済大国日本とバブル経済 （29,30）長期不況と構造改革下の日本経済 （31）日本経済の未来

科専門
教育
目

履修上の留意点

ノートをごんぱってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です。

教科書

教科書はとくにありません。

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科目名**担当者名**

簿記論

ふくしま 福島 隆

講義のねらい

本講義では、複式簿記について学習します。簿記とは、企業活動を貨幣額で記録し、測定し、その結果を報告するための技術です。今日では企業活動を行ったり、実際のビジネスを理解したりする際には、簿記の知識が必要不可欠です。また簿記は、会計諸学(会計学、財務会計論、経営分析論、管理会計論、原価計算論等)の基礎であるため、これらの学習をするには簿記の知識が必要になります。本講義では、簿記の初心者を対象として、日商簿記3級のレベルを目安に、なるべく具体的に分かりやすく講義したいと考えています。その際、簿記の技術だけを講義するのではなく、理論や実際の企業活動との係り合いについても説明する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。なお、中間試験を2回行います。

(1) ガイダンス (簿記の意義) (2) 簿記の基礎概念 (3) 勘定と仕訳
 (4) 帳簿の記入 (5・6) 決算 (1) (7・8) 現金預金 (9・10) 商品売買
 (11・12) 売掛金と買掛金 (13) その他の債権と債務 (14・15) 手形
 (16) 有価証券 (17) 固定資産 (18・19) 収益と費用 (20) 資本金と引出金・税金
 (21) 帳簿と伝票 (22・23) 決算 (2) (24・25) 財務諸表の作成
 (26) 財務諸表の読み方

*授業内で中間試験を2回行います。

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。また、受講生は毎回必ず電卓を持参して下さい。なお、10分以上の遅刻は欠席扱いとします。

成績評価の方法

評価は、次のいずれかのうち自己の責任で選択してもらいます。

(1) 平常点重視型・・・出席20点、課題20点、中間試験20点×2回、定期試験20点。
 (2) 試験重視型・・・中間試験30点×2回、定期試験40点。

教科書

未定。第1回目の講義で指示します。

その他

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席して下さい。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
簿記論	はせがわ みちる 長谷川 美千留

講義のねらい

簿記とは企業の経営活動を記録するために重要なツールである。これを習得することにより、企業の日々の経営活動を把握し、その後一連の手続きを経て損益計算書ならびに貸借対照表を作成することが可能となる。この一連の手続きを深く理解することにより、企業会計に対してより一層理解が深まることになる。

本講義においては、簿記の基礎原理ならびに基本的な記帳技術について取り扱う事とする。比較的ゆっくりとしたペースで基本的な取引例題を中心に進めていく。最終的には財務諸表の作成が各自可能となることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) ガイダンス | (13) 掛取引 |
| (2) 簿記の基礎概念 | (14) 手形取引 |
| (3) 損益計算書と貸借対照表 | (15) 有価証券取引 |
| (4) 簿記一巡 | (16) その他債権債務取引 |
| (5) 決算手続き 1 | (17) 固定資産取引 |
| (6) 決算手続き 2 | (18) 資本金・税金 |
| (7) 現金預金取引 1 | (19) 伝票 |
| (8) 現金預金取引 2 | (20) 決算整理 1 |
| (9) 商品売買 1 | (21) 決算整理 2 |
| (10) 商品売買 2 | (22) 精算表 1 |
| (11) 商品売買 3 | (23) 精算表 2 |
| (12) 前期のまとめ | (24) 財務諸表の作成 |

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

教科の性質上、予習・復習・出席は必須。電卓は毎回持参する。

成績評価の方法

期末試験、出席点、小テストの総合評価。

教科書

『日商簿記検定テキスト商業簿記 3 級』（実教出版）
『日商簿記検定テキスト問題集 商業簿記 3 級』（実教出版）

科目名	担当者名
簿記論	いし かわ じゅん じ 石川 純治

講義のねらい

企業活動の重要な記録計算技術である複式簿記の基礎知識と、そのバリエーションとしての革新的な記録計算システムを学習する。特に後者では、単なる技術学習にとどまらず、複式簿記の基礎にある思考の学習にすむ。

講義の内容・授業スケジュール

前半では簿記の基礎知識を得るため日商 3 級程度の学習を行う。後半の授業では前半の知識の上で、会計情報と経営・経済とのかかわりについて教科書の演習問題にそって学習する。

履修上の留意点

前半も後半もいずれも教科書にそって講義する。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

加古・渡部『新検定簿記講義 3 級』（中央経済社）648円；石川純治『経営情報と簿記システム（4 訂版）』（森山書店）2,500円

その他

一方的授業を避けるため、まず「何が問題か」そしてそれを「どう解くか」を明確にするため設問を解いてもらい、そのあとで教科書にそって解説するという方式をとる。特に、「系統だっって学習する」ことの重要性を強調する。

科目名	担当者名
企業論基礎	安藤 陽

講義のねらい

本講義は、「企業とはなにか」をテーマに、企業形態、企業の支配・統治構造を中心に検討する。企業の基礎理論を学ぶとともに、株式会社の特徴の理解を通じて、現代企業の意義と役割を解明する基礎を身につけてもらうことを主たる内容とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「企業とはなにか」を理解し、企業形態の展開の意味を考える。
 I 企業の基礎理論
 II 企業組織形態
 III 企業集中形態
 後期は企業の支配・統治構造を理解するとともに、私企業と対比させながら公企業等の公的・社会的性格をもつ企業像の意義を考える。
 IV 企業の所有・支配構造
 V 企業の統治構造
 VI 新しい企業像

履修上の留意点

経営学の基礎理論を並行して学ぶが、学んでいることが望ましい。

成績評価の方法

前期と後期に筆記試験をおこない成績を評価する。また、講義の理解度と出席の確認のために3～4回のレポートを書いてもらい、筆記試験の成績を補完したい。

教科書

小松章『企業形態論』（新世社）2004年を予定している。

参考書等

講義で指示する。

その他

資料を配布し講義を進めるが、可能な限りレポートへの回答も交えて、講義内容を理解してもらえるように努めたい。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
ファイナンス基礎	須藤 時仁

講義のねらい

この講座では、企業ファイナンスの基礎を、市場の性格とメカニズムを知ることによって理解することを目的としています。企業が資金を調達する場合、大別して銀行からの融資と、株式市場および債券市場を通じて調達する方法とがあります。前者を間接金融、後者を直接金融と言います。わが国では間接金融による資金調達が中心と言われていましたが、80年代からは株式市場を通じて、90年代からは債券市場を通じた資金調達が増えてきています。

前期は、間接金融と直接金融との相違および両者の関係を理解することを主目的とします。後期は、資金調達を行なう中心的な市場である株式市場と債券市場の性格とメカニズムについて詳細に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1-4) 金融制度と金融機関 (5-7) 金融システムの形成とその変遷
 (9-13) 金融機関の資金調整 (短期金融市場での資金調達)
 (14-18) 債券市場を用いた資金調達 (19-23) 株式市場を用いた資金調達
 (24-26) まとめと今後の展望

成績評価の方法

基本的に学年末の定期試験で行います。(夏休みに提出自由形式でレポートを課すことを考えていますが、その場合には提出者についてレポートの成績を加味します)

教科書

日本証券経済研究所編『詳説 現代日本の証券市場 2004年版』（日本証券経済研究所）

参考書等

講義の中で適宜指示します。

科目名**担当者名****情報入門Ⅰ**いわ なみ ふみ たか
岩波文孝**講義のねらい**

コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらには Word による文書の作成技法および表計算ソフト（Excel）の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- 2) パソコンの仕組み、Windows の基本的な使い方、タイピング練習
- 3) インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
- 4) Word の基本操作、文書の作成・印刷
- 5) Word の使い方 表の作成、文書レイアウト
- 6) Word の使い方 図の作成、図の挿入
- 7) 表計算 Excel の基本操作
- 8) 表計算 データ集計、関数の利用、表の書式（罫線・列幅の変更など）・印刷

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期の情報入門Ⅱの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

初回講義時のテストと各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テストの結果から総合的に評価する。
高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書

『情報活用の基礎』（情報入門Ⅱ（後期）でも使用します。）
（開講時に指定します。）

その他

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

科専門教育
目

科目名

担当者名

情報入門Ⅱ

いわ なみ ふみ たか
岩 波 文 孝

講義のねらい

本講義は「情報入門Ⅰ」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト（Excel）によるデータ処理法、Power Pointによるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) WordとExcelの要点の復習
- 2) 表計算 グラフの作成
- 3) 表計算 Wordとの連携
- 4) プレゼンテーションとは何か？
- 5) プレゼンテーション Power Pointの基本操作、スライドの作成、スライドショー
- 6) プレゼンテーション 文字修飾、図の挿入、アニメーション機能
- 7) プレゼンテーション 個人発表

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社より派遣された講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) 「情報入門Ⅰ」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 4月の履修登録時、当科目も必ず履修届に記入して登録すること。
- 8) 後期の情報入門Ⅱの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門Ⅱも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法

各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、プレゼンテーション資料及び個人発表の結果から総合的に評価する。
高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書

『情報活用の基礎』
(開講時に指定します。)

その他

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

専
門
教
育
目

科目名

キャリア・デザイン

担当者名たけした えい
竹 下 春 駿**講義のねらい**

「キャリア」とは、狭義には「個人が自分の仕事人生を通してつなぐ一連の職業および職務」ですが、広義には（職業・労働の世界での生き方に限定されず）「人生の諸過程（ライフプロセス）、生き方（ライフスタイル）」を意味します。従って「キャリア・デザイン」とは、自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいかを考え、実践すること（人生設計）です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、学びや遊びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要となります。

講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎的能力を身につけてもらいたいと思います。また、広く各分野からゲスト講師を迎え、さまざまな「キャリア」＝それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらう機会を適宜設けます。ゲストの個性あふれる人生体験はきっとみなさんに大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

講義—1. 企業による雇用システムの変化と就職戦線への対応（学業と就職準備活動の両立）、2. 21世紀はどんな時代・社会になるのか（生涯学習社会と「キャリア・デザイン」）、3. ライフサイクルと職業生活（職業と就職の意味）、4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割（学業と課外活動の意義）、5. 大学生活をどのように過ごすか（進路選択＝職探しは自分探しである）。ゲスト講師による「キャリア・デザイン（人生設計論）」—前期3～4回、後期5～6回。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期・後期、それぞれ記述形式の試験を行います。各50点満点とし合算して100点満点とします。出席点と試験の結果を総合して評価します。

教科書

教科書は使用しません。

参考書等

講義のつど紹介します。

その他

1・2年次生のみ対象の科目です。3年次生以降は履修できません。

科 専
門 教
育 目

科目名**担当者名**

経済理論 I B・経済システムの原理

大石雄爾

講義のねらい

私たちが生活している社会は資本主義社会と呼ばれています。それは、利潤を追求する資本が生産・分配を規定する力となっているからです。特に現代社会は複雑になり、様々な問題を抱えています。貿易摩擦、貧富の格差、失業率の上昇や地球環境の悪化など、数えたらきりがありません。資本主義社会は経済成長を達成したにもかかわらず、どうしてこうした問題を解決しえないのでしょうか。これらの問題が資本主義の発展を通して生じたことを考えれば、それらの解決の糸口を探るためにも、私たちは資本主義経済の一般法則とその運動の仕組みを学ぶことが必要となります。

経済理論 I B・経済システムの原理では、資本の原理に関する説明ののち、資本主義経済システムを成り立たせている諸関係・諸制度や、国家財政・経済政策、さらに資本の生活過程としての産業循環などについて講義します。また、新聞記事が少しでもよく理解できるよう、ときに現実の経済問題を取り上げて解説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は以下のようなテーマに沿って進めていきます。

1. 経済学との出会い
2. 商品と貨幣
3. 資本の生産と再生産
4. 平均利潤率と生産価格
5. 金融、利子生み資本と株式会社
6. 近代的農業と地代、土地価格
7. 社会階級と国民所得
8. 国家と国家財政、経済政策
9. 貿易と国際経済関係
10. 産業循環と不況・恐慌
11. 独占価格と独占資本の経済構造
12. 21世紀の経済と社会

履修上の留意点

経済理論は体系性・連続性をもっているため、1年間を通して出席し、予習・復習をしつつ学ぶことが必要です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを書き、提出していただくことがあります。成績評価は、定期試験の結果に小レポートの点数を加味して行います。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参考書等

大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』（大月書店）3,400円

科目名

担当者名

経済数学

池田 宏

講義のねらい

経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうちの基本的方法の修得を目差す。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：線形代数 1. ガイダンス (2. 3) ベクトルと行列の定義と計算 (4. 5. 6) 1次変換と固有値、固有ベクトル (7. 8) 行列式の定義と計算 (9. 10) 連立1次方程式(掃き出し方) (11. 12) 線形計画法 (13) 試験
後期：微分積分 (1. 2. 3) 微分の基礎 (4. 5) 接線、増減、極値 (6. 7. 8. 9) 基本関数の微分 (10) 高次導関数 (11. 12) 多変数関数と偏微分 13. 試験

履修上の留意点

高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。

成績評価の方法

前後期に各一回行う試験(70%)と平常点(30%)

教科書

田代嘉宏著『数学概論 線形代数/微分積分』(裳華房) 2,060円

科 専
門 教
目 育

科目名**担当者名**

応用ミクロ経済学

あら き よし ひろ
荒 木 勝 啓**講義のねらい**

金融経済学、金融工学などに必要な最低不可欠な理論的フレームワークを基礎の基礎から教える。本来この分野の標準的な敷居は非常に高く、学ばなければならない知識も膨大であるが、この講義では比較的易しい最低限の6つのテーマに絞って講義する。将来銀行、金融、証券、貿易（為替）などの方面に進みたいと考えている学生はこの授業の内容が金融スペシャリストのほんの入り口にすぎないということをよく認識した上で、示される手法を完全にマスターして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 基礎となる数学の復習——解析と線形代数。基礎から図解入りで説明するので高校のときに数学をやっていなかった人でもよく理解できると思う。
2. 条件付き最適化問題（静学）
3. 最適制御問題
 - (1) 変分法とダイナミック・プログラミング
 - (2) 最大値原理
 - (3) 無限端点
 - (4) 確率制御問題
4. 資産選択・投資理論
 - (1) 静学的方法
 - (2) 動学的方法
5. 利子理論
 - (1) 債券価格とさまざまな利子率
 - (2) デュレーション
 - (3) イミュニゼーション
6. ブラック・ショールズ公式と派生商品の価格付け

履修上の留意点

ノートをとることを欠かさないこと。金融工学の手法のエッセンスが凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとする膨大な量になる。

成績評価の方法

定期試験、ただしノート持込可。コピー不可。授業に出ているならばほぼ確実に解けるような簡単な問題を出すので安心して授業をとっていただきたい。

教科書

特になし。

参考書等

池田昌幸『金融経済学の基礎』（朝倉書店）2000年
板垣有記輔『動的最適化と経済理論』（多賀書店）1995年

科目名

担当者名

応用マクロ経済学

よし の 野 紀

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率はなぜ上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえば実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるものが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個人々の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回

科 専
門 教
育

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R.J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

その他

本講は旧「国民所得論」からの名称変更である。

科目名

担当者名

計量経済学

たなかまさみつ
田中正光

講義のねらい

経済学で学んだ消費関数や投資関数などが現実の経済にどの程度適用できるか検証を行うには、関連データを収集し、これら諸関数の構造方程式を推計し、それらの推計パラメータをさまざまな角度から評価する作業が必要になる。

こうした経済の構造の解明を目指すためのツールとして、また簡単な経済予測を行うためのツールとして計量経済学がある。本講義では、計量経済学の概略を簡単な理論と数値例から学び、計量経済学の有用性の理解を深めることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

前期では、計量経済学に最低限必要な基礎的統計学、経済の数量的分析に必要な分析手法、最小二乗法の初歩について学ぶ。

【後期】

後期では、回帰分析に関する諸問題、系列相関、多重共線性の問題、分散不均一の問題等についての理解を深め、最終的には簡単な連立モデルをつくる場合に遭遇する問題、即ち識別問題などについて学び、連立方程式の解法としての2段階最小二乗法等について勉強する予定である。

履修上の留意点

授業の中で簡単な計算をする場面がしばしばあるので、電卓（関数電卓が望ましい）を持参すること。

成績評価の方法

前期末と後期末に実施する中間試験の結果、通常授業における演習問題の結果、出席状況等を総合的に判断して成績を評価する。

教科書

指定なし。

参考書等

白砂堤津耶『初歩からの計量経済学』（日本評論社）2000年
唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学』（東洋経済新報社）2003年
蓑谷千風彦『計量経済学』（東洋経済新報社）1998年

その他

授業では、原則的にプリントを配布する。これに従って授業を進める予定である。

専
門
教
育
目

講義のねらい

現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。それでは、推測統計学の基本とは何であろうか。サムエル・バトラーは「人生とは、不十分な証拠から十分な結論を引き出す芸術である」と言っているが、この文言の「人生」を「統計学」に置き換えるならば、相当の部分を言い当てていることになろう。「相当の」であって「完全に」ではない理由は、元来、人生には偶然性や不確実性がつきものであるとあって、偶然が支配しているとしか思えないデータから何がしかの決定や判断を下すためには、すべての経験に裏打ちされた人間性・人格を総動員して粗なデータをインテリジェンス（情報）へと昇華させなければならず、その過程こそ人生そのものであるからである。

統計学の扱う世界は不確実性が支配する世界であり、人間はこの偶然性に長い間悩まされてきた。「偶然とは、おそらく、神が自分の名をサインしたくなかったときの、神の仮名であろう」（アナートル・フランス）。端的に言えば、統計学の住む世界では、どのような結論が下されようとも、そこには確実に誤りが何パーセントかの確率で含まれるのである。この世界の住人たることに何がしかの面白味を感得してもらえればと期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 記述統計——標本データの整理——
度数分布表
統計値（平均値、中央値、最頻値）
散らばりを表す統計値（分散、標準偏差）
2. 確率変数と確率分布
2項分布
ポアソン分布
正規分布
3. 標本抽出と標本分布
ランダム・サンプリング
中心極限定理
t分布
4. 統計的推定
推定とは何か
平均値の区間推定
5. 仮説検定
検定とは何か
平均値の検定
6. 回帰分析Ⅰ
単純回帰モデル
最小2乗法
回帰と相関
7. 回帰分析Ⅱ
回帰における統計的推測
多変量回帰（重回帰）

履修上の留意点

授業は1-201教場を使って、あらかじめサーバーに保存してあるデータを各自のパソコンで開き、加工する方法で進行させる。したがって、机上のパソコンにアクセスするためのパスワード、KOMAnetのユーザIDを得ておくことが望ましい（総合情報センターで割当てられる）。

数学上の知識は特に必要としない。

成績評価の方法

期末試験による。ただし、夏季休暇中の宿題を考慮する。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名**担 当 者 名****景気循環論**のむら のぶ ひろ
野 村 信 廣**講義のねらい**

景気（循環）への関心が極めて高い。それは（１）景気循環が多くの人の生活に影響する（２）景気循環の姿がその時々で変化する（３）景気循環が経済・政治の諸問題に影響する一などのためである。講義では（１）景気循環を把握する方法（２）景気循環を引き起こす原因とメカニズム（３）景気循環を応用しての景気の現状把握や将来予測などを学ぶ。学生達が一般の景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- (1) 景気の読み方
- (2) 景気の現状認識
- (3) 景気循環と景気指標
- (4) 景気循環を引き起こす要因とメカニズム
- (5) 景気循環の歴史
- (6) 景気循環の理論
- (7) グローバリゼーションと景気循環
- (8) 財政・金融政策と景気循環
- (9) 景気予測の方法と実践

履修上の留意点

日々の経済動向に興味を持つ。

成績評価の方法

レポート（前期）、定期試験（後期）、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

景気循環学会・金森久雄『ゼミナール・景気循環入門』（東洋経済新報社）

参 考 書 等

適宜参考資料を配布する。

そ の 他

講義中心だが、質問や討議を歓迎する。

科目名

担当者名

現代資本主義論

ながしませいいち
長島誠一

講義のねらい

第2次大戦以後の現代資本主義を国家独占資本主義と規定し、その概念・構造・循環・発展と今後の傾向について、戦後の日本資本主義社会を説明しながら理論的に考察する。人間の解放（自立した個の連帯する社会）の視点から企業と市場の社会（資本主義社会）を批判的に解明する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って以下の順序で講義する。

- (1) 戦後復興過程
- (2) 戦後資本主義と日本の資本体制
- (3) 戦後日本資本主義の社会体制
- (4) 戦後日本資本主義の循環と発展
- (5) 高度成長期と景気循環
- (6) スタグフレーションと景気循環
- (7) バブルの高進と景気循環
- (8) バブルの崩壊と長期停滞
- (9) 日本資本主義の構造変化と構造危機
- (10) 日本社会の真の構造改革とは何か
- (11) 新しい社会経済システムに向けて（21世紀の社会主義像）

履修上の留意点

教室にできる限り出てくること。教科書を用意し、予習・復習すること。歴史としての現代社会に関心を持ってほしい。

成績評価の方法

前期（夏休み中）に中間試験を実施する。必ず受けること。後期は定期（教場）試験。成績は前期と後期の成績の総合的評価。

教科書

拙著『戦後の日本資本主義』（桜井書店）2001年 本体3,000円

参考書等

拙著『経済学原論』（青木書店）1996年
拙著『経済と社会』（桜井書店）2004年

科 専 門 教 育
目 録

科目名**担当者名**

社会思想史

阿部弘

講義のねらい

テーマ：市民と経済学

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道をつにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。

この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこで講義体系の前半部分で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。

次に、「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1部：「経世済民」思想

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」

第3章：「経世済民論」と現代

第2部：「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

—マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：現代の経済的諸問題

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 年間4～6回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用います：
阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

その他

[連絡体制]

講師の住所等を次に記載しておく：

TEL（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No. 2538研究室）

03-3418-9343（経済学部事務室）

E-mail: xupabe@nifty.com

科目名**担当者名**

日本経済史

わたなべ けい いち
渡邊 恵 一**講義のねらい**

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのであろうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 両大戦間期の日本経済

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がなくなることになることに留意されたい。

成績評価の方法

期末試験で評価する。小テスト等を行った場合には、その結果を加味する。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年
 その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定である。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

科 専
門 教
育 目

講義のねらい

この講義は近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史について説明しますが、中心になるのは18世紀末から19世紀にかけての工業化（産業革命）の問題です。

現在、世界経済の3つの中心は、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を核とする「北アメリカ」、そして近年成長めざましい日本を中心とする「東アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、あるいは成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。

工業化とはなにか、それはどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ（とりわけイギリス）の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化は他の地域にいかなる影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代西洋資本主義の歴史を学ぶことによって、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するための手がかりを得ることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 講義のねらい
2. 前近代の経済 - 封建制 -
 - (1) 農村と農業
 - (2) 都市と商工業
3. 資本主義の成長
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の誕生
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立 - イギリス産業革命（工業化）
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
 - (4) 経済・社会問題の改革
5. 世界資本主義の形成
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の産業革命
 - (3) 脱工業化
6. 資本主義の変質
 - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
 - (2) 国際経済
 - (3) 帝国主義と植民地
7. 現代の経済

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味します。

教科書

とくに指定しませんが毎回資料を配布します。

参考書等

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）1996年
 長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』（ミネルヴァ書房）1992年
 石坂・船山・宮野・諸田著『新版西洋経済史』（有斐閣）1994年

科 目 名**担 当 者 名****農業政策**

みぞ 手 芳 計

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していく必要があります。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教 科 書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参 考 書 等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』（ミネルヴァ書房）

科 専 門 教 育 目 録

講義のねらい

現在、わが国の工業は、生産の海外化等の影響で厳しい状況ですが、高い技術力を背景に国際競争力を発揮し、わが国の経済を支える主役でもあります。将来においても「ものづくり」は、産業として重要であることに変わりありません。この講義では、数多くの企業事例を取り上げながら、「ものづくり」産業の特徴を確認しながら、それに対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性について考察します。

前期では、日本社会を支える「ものづくり」の現状からみていきます。後期では、環境調和、CSR（企業の社会的責任）、産学連携、知的財産など、「ものづくり」をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期（1～3）わが国の工業の役割と特徴
 （4～6）戦後における工業の発展と工業政策
 （7～9）工場立地の変化と工業集積の効果
 （10～13）生産の海外化と空洞化問題
 後期（14～16）工業の業種別課題（自動車産業、繊維産業ほか）
 （17・18）「ソフトなものづくり」産業（アニメーション産業ほか）
 （19）産学連携 （20）知的財産の創造・保護・活用
 （21・22）工業の環境調和とCSR
 （23・24）資金調達が多様化とベンチャー・企業再生
 （25）規制緩和と構造改革特区 （26）まとめ

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することが望まれます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書

特に指定しません。配布する資料によって講義を行います。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

科目名

担当者名

経済地理

矢延洋泰

講義のねらい

地域の空間構造の中で経済の諸活動の地理的現象は、大旨経済地理学の対象となる。その対象領域は大変広く、網羅的にとり上げることは不可能であり、また余り意味もない。従ってここでは世界が構造的変化をみせる中で、とりわけ大きな動きをみせる東アジアを視座に、多面的に分析してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (カッコ内は時数)
- A アジア経済発展の系譜 〈前期〉
1. 植民地遺制の光と陰 (2)
 2. 「儒教・漢字文化圏」はプロテスタンティズムに替わり得るのか (2)
 3. 経済開発と人権・秩序 (2)
 4. NICS から NIES への変化 (2)
 5. ASEAN 諸国の開発政策 (2)
 6. 非難される開発独裁 (1)
 7. ハブ&スポークスの夢競争 (1)
 8. 21世紀の開発戦略：シンガポールの OHQ 制度と“ビジネスハブ”を考える (2)
- B 国際化と地域化 〈後期〉
1. ASA から ASEAN へ (2)
 2. 冷戦後の構造変化：新世界秩序の模索 (2)
 3. EAEC 構想から AFTA 誕生まで (2)
 4. APEC10年 (2)
 5. FTA (Free Trade Agreement) 締結の流れ (2)
 6. アジア経済開発の課題 (2)

科
専
門
教
育
目
録

履修上の留意点

積極性と意欲を期待したい。

成績評価の方法

学年末試験結果に出席を加味。

教科書

教科書はなし。適宜プリントを配布。

参考書等

矢延洋泰著『インサイト東南アジア』（勁草書房）
鶴見良行著『東南アジアを知る』（岩波新書）

科目名

担当者名

中小企業論

よし だ けい いち
吉 田 敬 一

講義のねらい

本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割を自動車工業を事例として明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---|---|
| <p>〈前期の講義概要〉</p> <p>I 中小企業の基礎理論</p> <p> I-1 独占段階固有の中小企業問題</p> <p> I-2 中小企業の法的規定</p> <p> I-3 中小企業の経営類型</p> <p> I-4 中小企業の企業形態</p> <p> I-5 日本型下請構造の特質</p> <p>II 日本型下請システムの形成過程</p> <p> II-1 日本経済復活期の生産分業構造</p> <p> II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化</p> <p> II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立</p> | <p>〈後期の講義概要〉</p> <p> II-4 自動車大国への飛躍と下請構造の成熟</p> <p> II-5 グローバル化と下請構造の大転換</p> <p>III 戦後日本の中小企業政策</p> <p> III-1 復興期の中小企業政策</p> <p> III-2 高度成長と中小企業近代化政策</p> <p> III-3 中小企業政策の大転換</p> <p>IV 中小企業の経営問題</p> <p> IV-1 不公正取引と下請け問題</p> <p> IV-2 中小企業の金融問題</p> |
|---|---|

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているので、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験を基準とし、夏季休暇中のレポートを加味して行なう。また追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。毎年刊行される『中小企業白書』を読んでおくことが望ましい。

参考書等

- 吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
- 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
- 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
- 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
- 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

専
門
教
育
目

科目名

公共経済学

担当者名すずきののぶえ
鈴木伸枝**講義のねらい**

社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題を経済学的手法を用いて考えます。

この講義では、まずは最低限の基礎的な理論を学びます。そして次に、環境問題や年金などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができますはずです。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. ガイダンス
2. 政府の役割
3. 日本の政府
4. 数学的準備
5. ミクロ経済学の復習
6. 競争均衡の効率性・公平性
7. 外部性
8. 公共財
9. 環境問題
10. 保険の理論
11. 医療・年金
12. 失業

時間に余裕があれば、寡占・独占、所得再分配政策、課税の理論、政治過程・政府の失敗、分権化・民営化、地方財政、政策の動学的整合性の中から、多数決で1～2つ選んでとりあげます。

履修上の留意点

公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法

出席点・レポート・試験で評価します。

教科書

特に指定しません。講義ノートは <http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/pub/>にて公開します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

授業情報ページ：<http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/pub/>

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名

担当者名

地方財政論

しの ばら ちん
篠 原 章

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論とは何か
2. 財政の機能と地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄
4. 地方財政と都市計画・地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：「東京」

専
門
教
育
目

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『新版 地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メールでも受けつける。また、篠原ホームページにも講義関連の情報を掲示する予定なので活用してほしい。

講義のねらい

国境を越えた金融取引が引き起こす様々な問題を取り扱うのが国際金融論である。前期では国際収支や国際決済、外国為替相場などの基本的な事項を取り扱い、後期では国際通貨体制の変遷や昨今の諸問題などの発展的な事項を取り扱う。新聞記事を読みこなせる程度の国際金融に関する知識を獲得してもらうことが講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1) 国際収支統計の基礎
 - ・構成項目の内容
 - ・国際収支の赤字と黒字
 - ・国民所得と国際収支
- (2) 国際決済と国際通貨
 - ・国際決済の方法
 - ・為替調整取引と為替媒介通貨
- (3) 外国為替市場と為替相場
 - ・外国為替市場の構造
 - ・外国為替相場の見方

後期

- (4) 国際通貨体制の歴史
 - ・国際通貨体制とは
 - ・IMF体制の成立
 - ・IMF体制の変容
- (5) 国際金融の諸問題
 - ・ドル体制の現状と課題
 - ・欧州通貨統合の歴史と現状

*なお、授業の進捗は受講者の反応をみて調整することがある。

履修上の留意点

出席はとらないが、深い理解のためには毎回の出席が不可欠である。

成績評価の方法

学年末試験（60％）と夏休みのレポート（40％）の合計。なお、授業中の私語は減点対象とするので注意すること。

教科書

奥田宏司・横田綾子・神沢正典編『現代国際金融－課題と解明－』（法律文化社）2006年4月出版予定

参考書等

講義中に適宜指示する。

その他

国際金融に関係のある（と自分が思う）TVニュースや新聞記事に日頃から関心を持っておくこと。

科 目 名	担 当 者 名
人口論	もり おか じん 森 岡 仁

専
門
教
育
目

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみても、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参 考 書 等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

そ の 他

授業の方法：講義

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「学校の水準と枠組み法」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた経済界・産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー 1 「識字率と児童労働」
- (2) 日本の産業化とリテラシー 2 「江戸時代—工業化の準備機能」
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ) /
- (4) レーガン政権の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
- (5) レーガン政権の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
- (6) ブッシュ政権の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
- (7) ブッシュ政権の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
- (8) クリントン政権の経済と教育 「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
- (9) サッチャー政権の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
- (10) ブレア政権の経済と教育 1 「福祉のニューディールとオペティングアウト」 (一部ビデオ)
- (11) ブレア政権の経済と教育 2 「学校の水準と枠組み法とビーコンスクール」

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における経済と教育 1 「富国強兵・殖産興業」 (映画)
- (13) 学制時代における経済と教育 2 「学制公布と行政管理学校」
- (14) 教育令時代における経済と教育 1 「工場払下と産業の勃興」 (一部ビデオ)
- (15) 教育令時代における経済と教育 2 「教育令公布と職工学校・機業地学校」
- (16) 学校令時代における経済と教育 1 「産業革命と紡績業の発展」 (一部ビデオ)
- (17) 学校令時代における経済と教育 2 「学校令公布と実業補習学校・徒弟学校」
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 「重工業の発展と資本主義の確立」 (一部ビデオ)
- (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 「実業学校令公布と委託教育・工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (20) 復興期の経済発展と教育 「産業教育振興法」 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布し、教科書とする。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』(岩波新書)
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』(日本経済新聞社)
 舟場正富『ブレアのイギリス』(PHP新書)
 プライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』(エイデル)
 A・グリーン, J・ハリスン『英国病』(新評論社)
 玉川寛治『製糸工女と富国強兵の時代』(新日本出版社)
 猪木武徳『学校と工場』(読売新聞社)
 三好信浩『日本の女性と産業教育—近代産業社会における女性の役割—』(東信堂)
 岡崎哲二『工業化の軌跡』(読売新聞社)
 沼口博『学校教育と経済発展』(学文社)
 その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名
環境経済論	山口由二

専
門
教
育
目

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈している。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な実例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
 また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

- ・K.W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』(岩波書店)
 環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。
- ・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』(岩波書店)
 若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため?。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていました…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・宮本憲一著『環境経済学』(岩波書店) 3,600円ぐらい
 筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の“容器”としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像
 - (1) アジアの「多様性」
 - (2) 「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論
 - (1) 従来の経済理論
 - (2) 今日の経済理論
3. 東アジアの経済発展
 - (1) 工業化の「前史」
 - (2) 東アジアの経済発展過程
 - (3) 経済発展の特徴
4. アジア NIEs の経済発展
 - (1) 用語説明
 - (2) 経済発展の特徴
 - (3) 韓国の開発独裁体制

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済
 - (1) 主要各国の経済発展過程
 - (2) ASEAN の歴史
6. アジア社会主義諸国の経済
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機
 - (1) 危機の背景・原因・特徴
 - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力
 - (1) 地域経済協力の歴史と現状
 - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本
 - (1) 東アジアと日本の関係史
 - (2) 東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名

担当者名

中国経済論

田中祥之

講義のねらい

いま中国は「社会主義市場経済」の建設を国の基本方針として掲げています。しかし、この「社会主義市場経済」とはいったい何でしょうか？ この場合、社会主義とは何を指しているのでしょうか？

たしかに、この政策のもとで飛躍的な経済発展が達成されてきました。けれども同時に、過剰生産からくる不況、大量の失業、労働と生活条件の悪化、環境破壊、さまざまな格差の拡大などに悩まされることになっています。貧困からの脱却を求めて、市場経済的な工業化の道を選択しながら、それがかえって新しい貧困を生んでいく、その矛盾にもがいている、それが今日の中国ではないでしょうか？

どうしてこのようなことになっているのでしょうか？ 市場経済化とどう関係しているのでしょうか？ ほかに道はないのでしょうか？

本講義は、以上の問題に答えようとするものです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代中国に関する基礎知識
- 2 中国経済の現在
- 3 「社会主義市場経済」政策批判
- 4 日中経済関係のあり方
- 5 中国はどこへ行く

成績評価の方法

試験70%、出席30% 前期・後期とも試験あり

教科書

田中祥之著『現代中国の改革』（中央大学生協出版局）
田中祥之著『増補 現代中国の改革』（中央大学生協出版局）

その他

試験は「持ち込み可」ですが、講義を聴いていないと解けない問題です。毎回、受講生に質問・批判・感想を書かせますが、これが出席表になります。

専科
専門
教育
目

科目名

担当者名

アメリカ経済論

瀬戸岡 紘

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の子備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社）2005年
グリーンバーグ・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』（青木書店）1994年
瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年をおすすめします。

科目名

担当者名

EU統合論

しみず たくし
清水 卓

講義のねらい

EU 統合論（前期）

この講義では、EU の目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。EU は、1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったのですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。昨年はEU 憲法制定の動きがフランスとオランダの批准失敗で頓挫しました。また、中期財政計画を巡る議長国イギリスとフランスとの利害対立が激化、さらにはフランスの各都市の郊外で青年達の暴動が発生するなど、EU は大きな壁に突き当たっているようです。しかし、2001年に流通が始まった通貨ユーロは世界的に存在感を増しています。このようなEU を知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU 諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・
授業スケジュール

（大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります）Ⅰ. 欧州統合の拡大と深化 Ⅱ. 経済統合（1）石炭鉄鋼共同体からEECへ（2）市場統合の完成（3）通貨統合 Ⅲ. EU の制度（1）権力構造（2）民主主義の欠陥（3）EU 憲法 Ⅳ. EU の政策（1）環境政策（2）地域政策（3）リスボン戦略（4）共通農業政策（5）欧州社会モデル

履修上の留意点

EU は25の国の上に立つもう一つの国家（超国家）といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEU の骨格を解説するだけです。ヨーロッパに関心を持ち調べてみようとする姿勢が欲しいです。日々変化するEU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にあるEU 情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」（ミネルヴァ書房）2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」（有斐閣）2001年刊 2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』（講談社現代新書）

その他

選択科目ですからEU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

科
専
門
教
育

科 目 名**担 当 者 名**

現代西欧経済論

し みず
清 水 卓**講義のねらい**

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつもの挑戦を受けながら、今日なお、イラク占領という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸 EU 諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換 (5) グローバリゼーションへの適応
- IV. EU 統合の現段階と各国経済 (1) 北欧の福祉国家 (2) EU 中核国独仏英の経済 (3) EU の地中海諸国 (4) EU 中東欧諸国の経済・社会

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るかということが出発点です。日々変化する EU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にある EU 情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教 科 書

教科書は指定しません。

参 考 書 等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」(ミネルヴァ書房) 2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」(有斐閣) 2001年刊 2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』(講談社現代新書)

そ の 他

選択科目ですから EU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

科目名

担当者名

ロシア・東欧経済論

やまがたひろし
山 縣 弘 志

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてもらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることとはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上で、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名

担当者名

会計学総論

寺坪修

講義のねらい

経済学専攻の学生にとっても、会計学の知識は不可欠といえます。国民経済単位（マクロ）および個別経済単位（ミクロ）の運動（活動）を計数でとらえる会計のうち、営利企業を対象とする会社会計を取り上げます。前期は会計の知識体系および複式簿記の基本原則を身につけるようにします。後期は財務諸表の作成と分析を学習したうえで、管理会計の基本知識を身につけるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 会計・知の体系 (2) 会計帳簿の作成 (複式簿記原理) (3) 財務諸表の作成 (4) 財務諸表の分析 (5) 会計による経営の管理

履修上の留意点

会計は積み重ねの学習によって理解が深まります。極力、休まずに受講して下さい。

成績評価の方法

学年末試験と随時行う課題の提出により総合的に評価します。

教科書

寺坪修『会社会計論〈改訂版〉』（創成社）2004年4月刊 3,990円

参考書等

- ・簿記を基礎から学習するためには、次の書籍を参考にしてください。
- 寺坪修他『ひてりでもわかる簿記論』（創成社）2005年5月刊 1,890円
- ・会計を深く学習する際には、次の書籍を参考にしてください。
- 寺坪修編著『経営者会計論—財務会計と管理会計の統合』（税務経理協会）2001年4月刊 3,360円
- ・このほか、適宜プリントを配布します。

その他

講義は教科書中心に行いますので、毎回教科書を持参して下さい。また、電卓を使用することがあります。

専科
教育
目

講義のねらい

この講義では、情報が経済学でどのように扱われているのかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ITによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、また電子掲示板などを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
- 2) グループウェアで共同作業を行なう
- 3) インターネットで株取引シミュレーションをやってみる
- 4) 経営情報システムの実例 (SAP R/3)
- 5) 情報経済システム論 ―情報とは、カジノテーブルと収穫逓増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
- 6) 情報システム概論 ―コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- 7) 電子商取引概論 ―電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- 8) インターネットビジネス概況 ―マイクロソフトにみる情報とビジネス戦略、インターネットビジネスを覆う危機
- 9) 事例研究 (amazon.com, yahoo.com などについてビジネスモデルを調査・分析する)

履修上の留意点

ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず基礎情報処理Ⅰ・Ⅱやコンピュータ基礎を履修することをお薦めします。

成績評価の方法

講義時の課題と小テスト、夏季・冬季休業時に課すレポートによります。実習を含むため、追試験は行いません。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教科書

初回の講義で指示

参考書等

初回の講義で指示

その他

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義に「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません。
- ・KOMAnetに登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと（登録なしに受講することは講義内容上困難）。
- ・講義に関する質問などは、kato@wako.ac.jpにメールすること。

科目名

担当者名

プログラミング論

はまもと かず ひこ
濱 本 和 彦

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンダードアローンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としては主にC言語を扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としては主にC言語を扱う。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メール（大学のメールアドレスを利用）による出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生はメール送受信などの基本的なコンピュータ操作についてのリテラシーが必要である。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

新訂新C言語入門 [スーパービギナー編, ビギナー編, シニア編], 林晴比古著, ソフトバンクパブリッシング

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクトで見せながら行う。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

基礎情報処理 I

あい うら のぶ のり
相 浦 宣 徳

講義のねらい

本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」を予備知識のない段階から始める。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子ネットやWWW）を利用できるようになること、さらにはWordによる文書の作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- 2) Windowsの基本的な使い方、各種アクセサリの使い方
- 3) インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方
- 4) 検索エンジン・掲示板の利用法
- 5) プライントタッチ習得
- 6) 日本語入力MS-IMEの使い方
- 7) エクスプローラの使い方、フォルダ・ファイルのコピー・移動
- 8) ネットワークコンピュータ利用法・FDの使い方
- 9) 電子メールの使い方（その1）電子メールの作法、署名挿入法
- 10) Wordの使い方（その1）文字の入力と編集
- 11) Wordの使い方（その2）ビジネス文書の作成
- 12) Wordの使い方（その3）表の作成
- 13) Wordの使い方（その4）図の作成、図の挿入
- 14) 電子メールの使い方（その2）添付ファイルの利用
- 15) まとめ

履修上の留意点

コンピュータ使用経験のない初心者を対象とした講義を行うが、実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

成績評価の方法

毎回の講義終了時に課す課題および出席状況により評価する。

教科書

初回の講義で指示する。

参考書等

- 『Windowsによる情報処理入門（改訂版）』（実況出版）2002年 2,600円
- 『超図解 Windows2000Professional 総合編』（エクスメディア）2003年 1,680円
- 『超図解 WORD2002for Windows 基礎編』（エクスメディア）2001年 950円

科 専
門 教
目 育

科目名**担当者名****基礎情報処理Ⅱ**あいのり
相浦宣徳**講義のねらい**

本講義は、「基礎情報処理Ⅰ」の履修者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、表計算ソフト（Excel）によるデータ処理技法、PowerPointによるプレゼンテーション技法、さらにはHTMLによるWebページ作成技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 表計算（その1）Excelの基本操作
- 2) 表計算（その2）データ集計、関数の利用
- 3) 表計算（その3）グラフの作成
- 4) 表計算（その4）絶対参照・相対参照とその混合
- 5) 表計算（その5）LOOKUP関数の利用
- 6) 表計算（その6）総合演習
- 7) プレゼンテーション（その1）PowerPointの基本操作、スライドの作成
- 8) プレゼンテーション（その2）オブジェクトの作成、図の挿入、アニメーション機能
- 9) プレゼンテーション（その3）グループ毎で発表資料の作成
- 10) プレゼンテーション（その4）グループ毎の発表
- 11) Webページ（その1）ホームページの設計、タグの使用方法
- 12) Webページ（その2）表の作成、画像の表示、リンク機能
- 13) Webページ（その3）ホームページの作成
- 14) Webページ（その4）ホームページの公開
- 15) まとめ

履修上の留意点

「基礎情報処理Ⅰ」の履修者を前提に講義を進めるために、コンピュータの基本的操作に関しては習得しておく必要がある。実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

前期に開講される「基礎情報処理Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

毎回の講義終了時における課題および出席状況により評価する。

教科書

初回の講義で指示する。

参考書等

- 『Windowsによる情報処理入門（改訂版）』（実況出版）2002年 2,600円
- 『超図解 EXCEL2002for Windows 基礎編』（エクスメディア）2001年 950円
- 『超図解 PowerPoint2002for Windows』（エクスメディア）2001年 1,380円

科 目 名	担 当 者 名
応用情報処理 I	井 川 俊 実 <small>い がわ とし み</small>

講義のねらい

表計算ソフト（Excel）を使用したデータの分析やグラフ化は経済学を学ぶものにとっても必要不可欠なものになっています。この講義では、Excelの基本操作を習得しているものが経済分析などへの応用に活かせるように更に高度な技法を習得することを目的とします。また、Excelのデータベースとしての活用とSQLの操作についても習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・ データ集計、関数の利用、グラフの作成
- ・ 統計解析の基礎（度数分布とパレート図、ピボットテーブルとピボットグラフの活用）
- ・ 時系列データの分析
- ・ 回帰分析（単一要因と複数要因の分析）
- ・ 販売に関するビジネスデータ分析
- ・ 生産に関するビジネスデータ分析
- ・ 経理・財務に関するビジネスデータ分析
- ・ リレーショナルデータベースとSQL操作

履修上の留意点

Excelの応用面に重点を置くので、「基礎情報処理」講座を履修するなど、Excelの基本操作は知っていることを前提にしています。

成績評価の方法

講義の中で課す課題及び出席状況により評価します。

教 科 書

初回の講義時に指示します。

参 考 書 等

『仕事に役立つ Excel ビジネスデータ分析』（ソフトバンクパブリッシング）2,480円
『実践ワークショップ Excel 徹底活用統計データ分析』（秀和システム）2,500円

そ の 他

本講座は応募人数によっては履修制限を行なう場合があります。

科 専
門 教
目 育

科目名

担当者名

応用情報処理Ⅱ

井川俊実

講義のねらい

プレゼンテーション技術は、企業の営業活動や社内会議などでのプレゼンテーションで非常に重要なものになっていますが、大学においても研究成果の発表などで今後ますます重要になってきます。本講義では、プレゼンテーションツールの代表とも言える PowerPoint を使用して、効果的な発表資料の作成とその資料に基づく発表を繰り返し行なうことで実際に活用できるレベルのプレゼンテーション技術を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

1. プレゼンテーション作成実践
 - ・ビジュアル・プレゼンテーションの基本
 - ・レイアウト作成
 - ・チャート・図解化、グラフ化
 - ・カラーリング
 - ・スライドショー
 - ・配布・発表用資料作成
2. 説得力のあるプレゼンテーション実践

履修上の留意点

- ・PowerPoint の活用面に重点を置くので、「基礎情報処理」講座を履修するなど、PowerPoint の基本操作は知っていることを前提にしています。
- ・PowerPoint で作成した資料の発表に多くの時間を割くので、欠席や遅刻をしないこと。

成績評価の方法

作成した PowerPoint 資料とその発表及び出席状況により評価します。

教科書

初回の講義時に指示します。

参考書等

『ひと目でわかる Microsoft PowerPoint プレゼン術』（日経 BP ソフトプレス）1,980円
『PowerPoint プレゼンに勝つスライド作成の技』（技術評論社）2,380円

その他

本講座は応募人数によっては履修制限を行なう場合があります。

専
門
教
育
目

科 目 名**担 当 者 名****憲法**うちどまりこ
内 田 真 利 子**講義のねらい**

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の実在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。

履修上の留意点

授業に毎週出席できることが履修の最低条件。また、単に教室に来るだけでなく、主体的に授業に参加できる人にも受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。

教 科 書

授業で指示する。昨年度のテキストは、川人博編著「テキストブック現代の人権 [第三版]」（日本評論社）

参 考 書 等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

そ の 他

追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

科 専 門 教 育
目 録

科目名

民法一部

担当者名

竹中智香

講義のねらい

民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では第1編「総則」を概説し、後期では第2編「物権」の説明に入ります。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- (1) 導入
- (2) 民法における個人
- (3) 権利能力
- (4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度
- (5) 所有権の概念
- (6) 所有権の効力
- (7) 契約とその効力
- (8) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1]
- (9) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2]
- (10) 契約にもとづく動産の物権変動 [1]
- (11) 契約にもとづく動産の物権変動 [2]

〔後期〕

- (1～2) 法人
- (3) 抵当権
- (4) 先取特権、留置権
- (5) 質権
- (6) 譲渡担保
- (7) 代理制度
- (8) 無権代理
- (9) 表見代理
- (10) 法律行為
- (11) 消滅時効
- (12) 取得時効

履修上の留意点

民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、講義の前の予習は必ず必要となります。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

山野日章夫『民法 総則・物権』（有斐閣）1,700円

参考書等

六法
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

講義のねらい

民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。条文で言うと、399条～724条であり大変広範囲である。一年間でこれらすべてを網羅することは到底無理である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題を取りあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 売買の交渉から契約の成立、その履行
 - ① 契約の成立
 - ② 契約の履行過程
 - ③ 契約の履行終了
 - ④ 登記の移転
 - ⑤ 債権譲渡
- 2 契約不履行の場合の法的処理
 - ① 債務不履行
 - ② 契約の解除
 - ③ 他人の物の売買
 - ④ 瑕疵担保責任
 - ⑤ 債権者代位権
 - ⑥ 詐害行為取消権
- 3 その他
第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等。

履修上の留意点

六法は必ず持参すること

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教科書

授業初日に指示する。『コンパクト六法』（岩波）

科目名

担当者名

商法一部

あら 荒 木 まさ 正 孝

講義のねらい

この講義では、会社法（株式会社、持分会社＜合名会社、合資会社、合同会社＞）の重要な基礎的な事項について説明するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点をおき、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成17年6月29日に「会社法」が国会において成立した。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものであった。今年、この新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関与者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・償却、単元株、利益供与の禁止などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。

成績評価の方法

成績は、年度末に行われるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

教科書は、授業の初めに指示します。

専門教育目

科目名

担当者名

商法二部

なか はま よし あき
中 濱 義 章

講義のねらい

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 5 代理人・代表者による手形行為
- 6 無権代理と偽造
- 7 手形関係と手形の実質関係
- 8 手形の振出
- 9 白地手形
- 10 手形の裏書
- 11 為替手形の引受、手形保証
- 12 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 13 手形上の権利と手形抗弁
- 14 手形上の権利の消滅
- 15 支払・不渡・遡求
- 16 小切手特有の法制度
- 17 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

科 専
門 教
育 目 録

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2006年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』(有斐閣)、『コンパクト六法』(岩波書店)、『デイリー六法』(三省堂)など。民法(財産法関係科目)および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書

濱田惟道『手形法小切手法』(文真堂)

参考書等

開講時に指示します。
『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選(第6版)』(有斐閣)
山下友信=神田秀樹編『商法判例集』(有斐閣)

科目名

担当者名

経済法

わかばやしありま
若林 亜理砂

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解ができるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジユメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

専
門
教
育
目

科目名**担当者名**

労働法

藤本 茂ふじもと しげ茂**講義のねらい**

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、人事異動などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

科専門
教育
目録

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。追試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。

六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら授業を進めます。

科目名**担当者名**

行政法

小林弘人
こばやし ひろひと**講義のねらい**

本講義では、行政法総論の基礎的概念について、具体的事例をとりあげながら、わかりやすく解説します。
行政法に関する知識は市民生活を営んでいくためには、常識として具えておく必要があると思います。
また、各種の公務員試験の受験を考えている人は、受講されるのが望ましいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

これについては、主たる項目を列記しておきます。
(1) 行政とは (2) 行政法とは (3) 行政主体 (4) 行政の態様 (5) 行政立法 (6) 行政行為 (7) 約款 (8) 取消と撤回 (9) 行政手続 (10) 即時強制 (11) 行政強制 (12) 行政契約 (13) 行政指導 (14) 行政計画 (15) 行政上の制裁 (16) 損失補償 (17) 損害賠償 (18) 不服申立 (19) 行政訴訟

履修上の留意点

あたり前のことですが、教場内では他人に迷惑をかけるような言動はしないこと。

成績評価の方法

平常点および期末テストなど総合的な観点から評価します。

教科書

桜井昭平編著『現代行政法』（八千代出版）

参考書等

講義初日に指示します。

専科
専門教育
科目**科目名****担当者名**

国際法

齋藤洋
さいとう ひろし**講義のねらい**

本講義は、国際法全体（武力紛争法・国際人道法を除く）を概観し、理論および判例を通して国際社会における基本的ルールの理解につとめるものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期予定
第1回 講義と試験の説明など
第2～9回 慣習法・条約・日本の戦争責任・自衛権・国際法と国内法との関係・国家主権・国境・国籍・国家承認・など
第10～16回 地的管轄権（内水・領海・接続水域・EEZ・深海底・領空・宇宙など）
後期予定
第17～23回 地的管轄権の続き、人的管轄権（国籍の取得・犯罪人引渡・政治犯罪人・難民・庇護権など）
第24～25回 外交関係・領事関係・国際機関など

履修上の留意点

指定された教科書を必ず持参すること。ノートはしつかりと取ること。

成績評価の方法

成績は、定期試験のみで評価される。講義に出席していないと解けない問題が出題される。

教科書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料2006』（虹有社）予価2,500円

参考書等

『国際法判例百選』（有斐閣）などの国際法判例集、その他の市販されている国際法概説書

その他

授業は教科書に沿った講義形式で出席はとらない。教科書は他大学の講義と共通しているので早めに入手しないと、年度末には在庫切れで入手できなくなる可能性がある。

科目名	担当者名
原書講読Ⅰ〔英語〕	いわ なみ みみ たか 岩 波 文 孝
原書講読Ⅱ〔英語〕	

講義のねらい	本講義は、企業経営や経営学に関する英語文献を講読し、英文で書かれた経営学の専門書の読解力をつけることを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代の企業に関する基礎的な文献を読み専門用語に慣れる。 2 アメリカ企業の Annual Report や NYSE の報告書を読み、コーポレート・ガバナンスが問題とされる社会経済的背景の理解を深める。 3 コーポレート・ガバナンスに関する専門的文献の講読を進める。 なお、授業の進め方は、輪読形式により行われます。
履修上の留意点	受講者は事前に授業範囲の予習を行ったうえで、必ず辞書を持参し、受講してもらいたい。
成績評価の方法	平常点により評価します。出席状況、分担報告による総合評価を行います。
教科書	開講時にプリントを配布します。
参考書等	随時支持します。

科 専
門 門
教 教
育 育
目 目

科目名	担当者名
原書講読Ⅰ〔英語〕	すず き のぶ え 鈴 木 伸 枝
原書講読Ⅱ〔英語〕	

講義のねらい	<p>ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。</p> <p>必修科目の英語や時事英語を学んだだけでは、英語で書かれた経済学の文献を読みこなすことはできません。卒業論文を書くときに英語の本も参考にしたい、あるいは大学院進学を考えているといった学生には、この講義は大きな助けになるはずです。もちろん、こうした特定の目的がない学生も、読解力の向上や音読の上達を見込めます。</p>
成績評価の方法	出席状況・予習状況・分担状況の平常点により評価します。
教科書	ノーベル経済学賞 (http://www.nobel.se/economics/) の受賞講演録から何点か選びます。具体的にどれを読むかは、初回の授業で話し合ってから決めます。
その他	授業情報ページ： http://hakuba.int.komazawa-u.ac.jp/~nsuzuki/gensho/

科目名

担当者名

原書講読Ⅰ〔英語〕

みぞ て よし かず
溝 手 芳 計

原書講読Ⅱ〔英語〕

講義のねらい

英語の経済学文献を原書で読むことにより、(1) 経済学の基本文献にふれ、著者の考え方をしっかり学ぶとともに、(2) 経済・経済学に関する専門用語や言い回しの読解力を高めようと思います。大切なことは、著者が何を考えているのかをしっかりと読みとることです。英語の語学力は問いませんが、学習意欲のある学生の受講を希望します。

講義の内容・授業スケジュール

21世紀の世界全体の食料需給予測については悲観説と楽観説が併存していますが、途上国における慢性的栄養不足問題が容易に解決されないことは間違いないようです。その背景には、途上国における人口急増に食料生産が追いつかないといった事態にとどまらず、先進国と途上国との国際関係上の問題が横たわっています。スーザン・ジョージは、この点に焦点を合わせて途上国の貧困問題を分析した先駆者です。講義では、スーザン・ジョージの代表作で20世紀の古典ともいべき『How the Other Half Dies: The Real Reasons for World Hunger』(邦題『なぜ世界の半分が飢えるのか—食糧危機の構造』)をとりあげます。本年度は第4章を中心に学習します。

履修上の留意点

授業は、輪読形式です。受講に当たっては、必ず事前に予習してください。

成績評価の方法

出席、予習、分担報告等、平常点により評価します。

教科書

随時、コピーを配布します。

参考書等

スーザン・ジョージ (小南祐一郎・谷口真里子訳) 『なぜ世界の半分が飢えるのか—食糧危機の構造』(朝日選書)、朝日新聞社

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

原書講読Ⅰ〔独語〕

ふく ほら よし のぶ
福 原 好 喜

原書講読Ⅱ〔独語〕

講義のねらい

カール・マルクス『資本論』(ドイツ語)を講読する。在職中に第三巻の終りまで行くのが私の夢である。今年度は恐らく価値形態論を読むことになる。講義は訳のみでなく、内容の詳しい説明検討を行う。授業は少人数なのでゼミのような雰囲気である。学生諸君から希望があれば、夏休みなど泊まり込みで勉強することもある。受講者は、第二外国語としてドイツ語をとった人、あるいは独学でもドイツ語の素養のある人が望ましい。(夏休みには私のところにドイツ人の家族が泊りに来るので彼らと交歓の機会が持てたらと思っている。)

一昨年は男子1名、女子2名、昨年は男子1名の受講者であったが、本年はもう少し多くの受講生が来てくれればと思っている。ドイツ語及びドイツ文化の好きな人は来てほしい。ドイツ、オーストリア及び日本でオペラの監督として活躍中の高嶋勲氏はこの独書講読より育って行った。

履修上の留意点

授業は固苦しい話ばかりでなく、ドイツ人の酒の飲み方や夫婦のあり方などよま話しも含めて、ユツタリとしたものにしたと思っている。

成績評価の方法

平常点と試験により評価します。

その他

よく出来た時は、コーヒーもでる。

科目名	担当者名
原書講読Ⅰ〔ロシア語〕	やま がた ひろ し
原書講読Ⅱ〔ロシア語〕	山 縣 弘 志

講義のねらい

ソ連邦解体以後、あらゆる教科書が使いものにならない状態となっているが、解体以前から、社会科学分野で批判的な読み方を要求しないものはなかったと言ってよい。従って主体的な読み方はいつでも必要であったし、今後も必要である。

成績評価の方法

平常のパフォーマンスを評価する。

教科書

Книга первая. М. *Города Подмосковья в трех книгах.*、1979

科目名	担当者名
原書講読Ⅰ〔朝鮮語〕	ちよん ちゃん よん
原書講読Ⅱ〔朝鮮語〕	鄭 章 淵

科 専
門 教
育 目

講義のねらい

韓国の経済発展に関する朝鮮語文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してほしい。

成績評価の方法

定期試験、出席率、レポート回数などを加味して、総合的に評価する。

教科書

初回講義時にプリントを配布する。
また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

科目名**担当者名**

現代経済事情 I

たけもとまさお
竹本正男

〔高齢化と情報社会〕

講義のねらい

日本は、いま、高齢化と IT 化によって大きく変わろうとしている。
1950年生まれの団塊の世代最終ランナーが65歳に到達する2015年には高齢者が人口の四分の一を超えるといわれている。
日本人は、世界のどこの国も経験したことのない「高齢国家」の下で暮らしていかなければならないのである。
同時に、国の内外を問わず、日本人は高度に情報化された新しい「IT ネットワーク社会」に適応して生きていくことを求められてもいるのである。
本講義は、往々にして相容れないものと捉えられがちな高齢者と IT 社会との関連性を各種白書データなどによって分析するとともに高齢者の視座から高齢生活者の IT 社会参画の現状と課題に迫ることを狙いとしている。

講義の内容・
授業スケジュール

(毎週水曜日、第4限・第6限)
(第1回=ガイダンス、第14回=レポート提出)
(1) 高齢国家・日本：第2・3回
(2) 高齢者の生活実態：第4・5回
(3) 生活を変える IT 化：第6・7回
(4) 「IT ネットワーク社会」の到来：第8・9回
(5) 高齢者にとってのボランティア活動：第10・11回
(6) 自己実現社会への期待：第12・13回
(第8回にアンケート実施、第14回定期試験日にレポート提出)

履修上の留意点

特にない。

成績評価の方法

授業出席60%、レポート提出40%で評価。

教科書

使用しない。

参考書等

指定しない(参考文献は授業の進行に応じて都度情報提供する)。

その他

授業方法は講義形式(PPT 使用、必要に応じプリント配布も併用する)。

科目名	担当者名
現代経済事情Ⅱ 〔少子高齢化と年金制度〕	いぐち なおき 井口直樹

講義のねらい

年金制度とりわけ公的年金制度についてその仕組み、機能を正しく理解することにより、今後社会人として高齢化社会のあり方や年金制度のあり方について主体的判断（とくにマスコミ報道に対し）ができる知的基盤を獲得してもらいたいと期待。

講義の内容・授業スケジュール

公的年金を中心とした年金制度について、単なる制度論だけでなく経済学的視点を踏まえた、分析的・体系的な講義を行いたい。合わせて現在の公的年金のホットな話題についても提供し共に考えていきたい。

履修上の留意点

若干のミクロ経済学的知識が必要。

成績評価の方法

期末試験のほか2程度簡単な確認試験を行い、年金制度についての基本的知識の習得程度に応じた成績評価を行いたい。

教科書

今のところ考えていない。

参考書等

今のところ考えていない。

その他

毎回プリントを配布したい。

科専門教育
目

科目名	担当者名
現代経済事情Ⅲ 〔地球環境とエネルギー問題〕	かな まつ みち ひこ 兼松通彦

講義のねらい

- （授業の主たる内容、基礎になる学問的傾向・問題意識）
- ① 人類はエネルギーを活用することによって、文明を発展させてきた。特に20世紀は頂点に達し環境破壊が急激に進んでいる。人類破滅を回避するためには、エネルギーを地球規模で賢明に利用することが不可欠になった。
 - ② 一方、エネルギー産業界は、1980年代以降の世界的な規制改革（規制緩和）の推進と、CO₂など温暖化ガスの排出を主とした地球問題への対応に迫られ、大きく変貌しようとしている。この実情を大きな流れとして把握する一方、重要問題について深く探求し、エネルギーに関連する最新の情報・知識を得る。

講義の内容・授業スケジュール

半期12回でエネルギー資源の変遷、今世紀中に化石燃料は枯渇する見通し、石油代替燃料（天然ガス、原子力発電）の特質、天然ガスへの期待、省エネルギー政策の推進、エネルギー市場の自由化、エネルギーの効率的利用を促進する技術開発の概要、温室ガス（気候変動の最大要因）削減への挑戦、新エネルギー（燃料電池、太陽光発電、バイオマス利用、風力発電など）の胎動、水素エネルギー社会実現への展望

履修上の留意点

京都議定書の2005年2月批准によりエネルギー関連情報が本年は質量ともに急増、激変する。新聞、月刊誌、テレビ報道特集に注目。

成績評価の方法

理解度、関心の度合いを試すために幅広いエネルギー関連問題を提起してペーパーテストを実施する。

教科書

植草 益編『エネルギー産業の変革』（NTT出版）

その他

毎回、要点をプリント配布しパワーポイントを使って講義する。

科目名**担当者名**

現代経済事情Ⅳ

とよ だ よし ひろ
豊 田 義 博

〔20代の仕事とキャリア〕

講義のねらい

経済、産業、教育、そして人口構成。全てが劇的に変化する21世紀初頭の社会にあって、大学等を卒業するなどして社会人としてデビューする20代を取り巻く環境(仕事内容、職場など)もまた激変し、彼らのキャリア、成長実感は、以前に比して様変わりしている。本講義では、学生の近未来の姿である「20代社会人」の実態(ミクロ)を知ることを通して、現在経済の構造変化(マクロ)を体感することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

20代社会人の仕事とキャリアの実態を、ケーススタディとデータを通して学んでいく。ケースは「第二新卒」「派遣という生き方」「大卒職人」「転職を重ねるジョブホッパー」「雇われずに生きていく」「フリーター」「ニート」など。

履修上の留意点

授業においては、学生の自立的参加を期待する。自ら疑問、意見を持ち、積極的に質問などをする学生の受講を期待する。

成績評価の方法

出席回数(50点)と期末提出のレポート(50点)により評価を決定する。

教科書

なし。

参考書等

授業において、参考図書の指定を行う予定。

その他

授業方法は、各回毎にレジュメを配布しての講義形式を基本とするが、受講人数によってはグループディスカッションなどを織り交ぜることも検討する。

講義のねらい

近年ますます大学においても、学問が軽視される風潮にあります。そして大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として実用主義・実学主義を売りものにする大学や、大学は社会的要請に応えねばならないとして、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・
授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質・機能論
- (6) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (7) 商業利潤論
- (8) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (9) 商業資本の回転と価格
- (10) 大規模商業資本論・独占的商業資本論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課す。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教 科 書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）1,500円

科目名

担当者名

商業政策

いわ した ひろ
岩 下 弘

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導=抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法 2) 日曜営業問題-商店法
 - 2 フランス-ロワイエ法
 - 3 ドイツ-土地利用計画
 - 4 アメリカ-ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

専
門
教
育
目

科 目 名

担 当 者 名

マーケティング

そ が の お た が
曾 我 信 孝

講義のねらい

マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はマーケティング政策のなかの特に製品政策と価格政策に関する本質を学習しながら、それらの政策を企業が展開するにあたってのモラルハザードを指摘していく。そして、それらの事例を上げ（事件性のある事例はもちろんであるが、今日賛美されているマーケティング政策で本来モラルが強く要求されるべき問題も含める）、モラルハザードとなる原因を究明する。前期では、実証的な学習資料として2～3回ビデオ（40分程度）を見てもらう。

後期はマーケティング政策のチャネル政策と促進政策を学習しながら、それらにかかわるモラルの問題を学習し、さらにマーケティングモラルの範疇に含めなければならない問題を追加して、説明していく。特に、これまでマーケティングの範疇には含まれていなかったリスクマネジメントの問題が、大規模な製品回収など顧客保護の面からは重要であることを説明する。後期もマーケティングあるいはマーケティングモラルに関する事例を紹介するため2～3回ビデオ（40分程度）を見てもらう。

履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。

成績評価の方法

夏休みの課題および年度末の課題の年2回のレポート（60%程度）と平常点（講義中の小レポートの評価：40%程度）によって評価する。

教 科 書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

そ の 他

授業方法－講義形式

科 専
門 教
目 育

科目名

担当者名

商業史

こうのやすのり
幸野保典

講義のねらい

広い意味での商業とは、商品（あるいはサービス）を円滑に生産者から消費者（あるいはサービスの受益者）に社会移転させる行為を指す。生産者から消費者へ商品が移転する過程、すなわち、商品取引過程で介在する倉庫業・運輸業や金融業・保険業も広義の商業の中に含まれる。

本講義では、いわゆる狭義の商業とされる問屋・卸と小売業を中心として、これらの歴史的展開を幕末維新时期から戦前期（1859年～1945年）までを四期に区切り検討する。そして当該期に、社会経済構造の変容と係わせながら問屋・卸と小売業が、商業機構の内部で役割をどのように変化したか、また新たな商業形態をいかに出現させたかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1期 外圧への権力・商人的対応。1. 自由貿易の開始から産業革命へ。2. 外圧の下で拡大する国内市場。3. 問屋＝卸商主導の商業機構の再編。
- 第2期 産業革命と流通の新基軸。4. 産業革命の進行と生活・社会に現出する諸変化。5. 商業関連政策・制度の整備。6. 交通・通信網の発達と商業の再編。7. 第一次大戦期の商業と消費。
- 第3期 戦間期の商業と消費—不況・恐慌から景気回復へ—。8. 俸給生活者の増加と消費構造の変化。9. 関東大震災後の商業構造の変容。10. 小売業の新たな展開。11. 1930年代の中小小売商の窮乏化と政策対応。
- 第4期 戦時下の商業統制。12. 日中戦争の卸・小売業。13. 「新体制」下の商業再編成。14. アジア太平洋戦争期の配給機構。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に筆記試験を行う。

教科書

石井寛治編『近代日本流通史』（東京堂出版）2005年 2,800円＋税
ISBN4-490-20550-3

参考書等

石井寛治『日本流通史』（有斐閣）2003年。鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年。

その他

授業の方法－講義形式で行う。

専科
専門
教育
目

科目名	担当者名
消費経済論	やま だ ひき かず 山 田 壽 一

講義のねらい

高度に分業が進んだ今日の経済システムにおいては、生産と消費とは完全に分離しており、我々は商品を市場より購入し、経済生活を営まなければならない。本講義においては、国民経済と消費経済との係わりを考察し、今日の消費経済を取り巻く経済社会環境の変化などについて検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

1. 消費経済論とは (6回)
2. 消費者行動 (6回)
3. 消費者とマーケティング (3回)
4. 消費者と流通機構 (3回)
5. 消費者行政 (3回)
6. 消費者教育 (3回)

履修上の留意点

日頃から消費生活に関わる問題に関心を持つこと。

成績評価の方法

定期試験および日常の学習態度で総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に紹介する。適宜プリント資料を配布する。

その他

授業の方法：講義中心だが、授業参加者に質問をしていく。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
経営管理論	な とり しゅう いち 名 取 修 一

講義のねらい

企業は、特定の目的を達成するためにヒト・モノ・カネといった諸資源が体系的に統合化された組織体である。経営者・管理者は、それぞれの立場で会社全体、各部署、職場で従業員や部下の個々の行動を調整し、全体行動として統合化する。本講義では、こうした経営者・管理者の行動基準を検討するなかで、管理とは何か、管理作用の持つ意味は何かを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期の目標

前期は、主として経営管理活動の歴史的・理論的展開を講義する。本講義の対象は企業経営活動にある。そこで、まず企業経営がどのような活動基準を有しているのかを明確にする。また、企業経営活動としての私有財産制に基づいた利潤生産および商品生産を通じて、広く社会的存在としての姿が認識できる。この考え方に立って、経営管理の理論的変遷を考察し、それぞれの内容理解とそれら管理技術の展開の理解を目指す。

後期の目標

これまでの理論的理解の上に立って、現実の企業経営に視点を当ていくつかのケースを取り上げる。今日、わが国における生産・消費活動は、大きくその構造を変え、経営管理技術もまた変貌期にある。そのフィールドは、国際化や情報ネットワーク化とともに経済的・政治的・社会的な諸側面の総合化と地球規模への広がりの中で管理基準は大きく変化しつつある現状を考える。

履修上の留意点

受講生は、自らのノートを積極的に創ること。

成績評価の方法

受講態度・定期試験により評価する。

教科書

名取修一・中山健編著『経営管理論』（理想書林）

参考書等

参考資料等は、その都度提示する。

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用の流動化と雇用形態の多様化
 2. 非正規雇用の拡大と均等処遇
 3. 採用・配置慣行と人事制度
 4. 職能資格制度と人事考課
 5. 賃金制度とその成果主義化
 6. 諸手当、賞与、退職金と企業年金
 7. 労働時間の現状と弾力化
 8. チーム作業方式の特徴
 9. 能力開発と教育訓練とキャリア形成
 10. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則として出席、レポートと定期試験で評価する。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

言うまでもないが、他の受講生の迷惑となる私語などの行為は厳に慎むこと。注意してやめない場合は、以後の受講を認めない。

科 目 名**担 当 者 名****企業統治論**いわ 岩 なみ なみ たか
岩 波 文 孝**講義のねらい**

グローバル化の進行や敵対的買収の頻発など社会・経済的環境が著しく変化しており、企業と経営活動のあり方が問い直され始めています。日本やアメリカにおいても、一連の企業不祥事が表面化し、企業経営や経営者の行動に対するチェックあるいはモニタリングの強化が求められています。

本講義では、トップ・マネジメントの観点から企業の全体構造を捉え、株式会社の発展に伴う会社間ネットワークとトップ・マネジメント機能の考察を通じて、企業の公正かつ効率的な運営システムの構築、すなわち企業統治（コーポレート・ガバナンス）の構築について追究していきます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 企業統治論の対象
- 3 トップ・マネジメントの構造と機能
- 4 現代企業の株式所有と支配構造
- 5 株式所有・会社支配・戦略的管理
- 6 ガバナンスとエージェンシー問題
- 7 ガバナンス構造の変容
- 8 経営者インセンティブとガバナンス
- 9 組織変革とガバナンス
- 10 グループ経営とガバナンス
- 11 メインバンク制とガバナンス
- 12 機関投資家とガバナンス
- 13 社外取締役とガバナンス
- 14 ガバナンスとケーバディリティー
- 15 コーポレート・ガバナンスをめぐる今後の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験により評価します。

教 科 書

仲田正機編著『比較コーポレート・ガバナンス研究—日本・英国・中国の分析—』（中央経済社）2005年。

参 考 書 等

仲田・細井・岩波共著『企業間の人的ネットワーク』（同文館）1997年
仲田・夏目編著『企業経営革新の新世紀』（同文館）2002年

そ の 他

随時レジュメ等配布します。

科 専
門 教
育 目

科目名

担当者名

現代企業論

さくら い とおろ
桜井 徹

講義のねらい

経営学は大きく企業論と管理論に分かれます。本講義は、もちろん、前者の系譜に属する科目ですが、とくに、現代における企業にとって重要な次の三つの問題領域、すなわち、①米国型コーポレート・ガバナンス（企業統治）の導入の是非をめぐる論争に象徴されるような株式会社の日本の特質とそのあり方、②私企業＝営利企業と対置される公企業や協同組合あるいはNPOなどの非営利企業の存在意識、そして③巨大企業の存在形態とその社会的責任問題を扱います。この3つ問題領域を中心に、論争と実態分析を踏まえて、現代企業のあり方を考え、将来の企業像を模索する素材を提供すること、ここに本講義のねらいがあります。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- (1・2) 企業概念と境界 (3・4) 企業の現代企業への転化
- (5・6) 現代企業の制度的特徴 (7・8) 日本の企業発達史
- (9・10) 株式会社の日本の特質とその変容
- (10～13) 非営利企業としての公企業と協同組合

(後期)

- (14・15) 企業競争と独占 (16・17) 合併・買収と系列化
- (18～20) 個別企業集団と総合企業集団 (21～22) 企業と政府
- (23～25) 企業の国際化 (26) 現代企業の社会的責任

履修上の留意点

可能な限り対話式の授業をおこなうので、議論を好む学生の出席を期待する。また、授業開始後30分を経過して教室に入るとは、特別な事情を除きご遠慮願います。

成績評価の方法

成績は、出席回数、教回課される小レポート（200字ないしは400字）の評価と期末試験を総合して決定します。

教科書

小松 章『企業形態論』第二版（新生社）2000年

参考書等

増地昭男・佐々木弘編『最新・現代企業論』（八千代出版）2001年
『日本のビッグ・ビジネス』シリーズ（大月書店）第1期・第2期、1990～1997年

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
財務管理	白坂 亨

講義のねらい

財務管理は企業の資本についての諸問題を研究対象とする学問です。しかも、企業側からすれば、この財務管理はその企業の形態や業種、規模によっても変化します。したがって、学問領域も広く、商法および税法、証券取引法、独占禁止法といった法制度とも密接に関連しています。またその奥も深いものとなっています。

このような状況のもと、財務管理は利益管理（費用管理と収益管理）と資本管理（調達管理と運用管理）の両側面において発生する問題の背景や、要因を解明すべく、企業を取り巻く金融・証券市場の構造解明と役割の認識を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、本講義においては次にしめす項目を2・3回に分けて検討します。

1. 財務管理論の枠組み
2. 会社制度
3. 財務管理の役割
4. 資金調達の実態—株式資本—
5. 資金調達の実態—借入れ資本—
6. 資金調達の実態—社債資本—
7. 資金調達の実態—自己金融—
8. 配当政策
9. コーポレート・ガバナンス

履修上の留意点

履修するにあたり、学生諸君に望むことはただ一つ、積極的な授業参加です。

成績評価の方法

成績評価は出席、小テスト、レポート等により総合的に評価します。

教科書

教科書・参考書は開講時に指示します。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
経営学史	小坂 隆 秀

講義のねらい

アメリカ経営管理論の歴史的な展開を中心にして、経営学の発展史を跡付けていくことが、この講義の目的である。経営管理の理論は、企業の成長とともに変化し、発展してきた。すなわち、企業はその管理に必要な理論を生み出すことで成長し、その成長によって従来の理論は古いものとなり、新しい理論を必要とするようになる。そして、新しい理論がさらに企業の成長を可能にしていく。このようにして、経営学の発展史が形成されてくることを明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：①初期のマネジメント思想
②科学的管理の理論とその発展
③人間関係論とモチベーション
- 後期：④組織とリーダーシップ
⑤企業と戦略
⑥企業と社会

履修上の留意点

これまでに習った経営学や経営管理の理論を復習するとともに、これから習うさまざまな管理の理論をしっかりと身につけることが重要である。それによって、経営学の体系が理解できるようになる。

成績評価の方法

学年末試験80%、夏休みのレポート20%、この他に授業中に行う4回の小テストによって点数の上乗せ措置を設けている。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

D.S. ピュー、D.J. ヒクソン著、北野利信訳『現代組織学説の偉人たち』（有斐閣）
J. シェレドレイク著、齊藤毅憲、他訳『経営管理論の時代』（文眞堂）

科目名

担当者名

非営利組織論

ほりこしよしあき
堀越芳昭

講義のねらい

講義では、「第3セクター」「社会的企業」として、公益組織、協同組合、NPO を包含した広義の非営利組織の社会経済的意義、理論的根拠、現状と課題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

前期は主として非営利性の概念や利益概念など非営利組織に関わる理論的諸問題を検討し、公益組織・協同組合・NPO を包含した広義の非営利組織の現状と課題について取り上げる。

〔後期〕

後期は狭義の非営利組織としてのNPO について、世界と日本の制度的検討、政府や企業との関係、非営利組織におけるNPO の独自性、その経営問題等、その現状を検討し将来を展望する。

履修上の留意点

授業に集中していただきたく、授業時の私語・居眠りを厳禁し、出席・受講態度を厳しくチェックする。

成績評価の方法

授業の出席・受講態度 (20%)、課題レポート (20%)、期末試験 (60%) により評価する。

教科書

塚本一郎ら編著『NPO と新しい社会デザイン』(同文館出版) 2,800円

参考書等

奥林康司ら編著『NPO と経営学』(中央経済社) 2002年
堀越芳昭「各種法人における残余財産の処分と分配－不分割・類似目的処分と出資・株式基準分配－」(山梨学院大学)『社会科学研究』第15号 1995年3月
堀越芳昭「協同組合の基礎概念－その哲学・定義・特質－」(日本大学経済学部)『経済集志』第72巻第1号 2002年4月

その他

授業方法は、講義形式で、随時プリントを配布する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
経営情報システム論Ⅰ	さいとう 藤 隆 齋 藤 隆

講義のねらい

第4の経営資源として「情報」が挙げられますが、それはなぜでしょうか。今日の企業は高度情報化社会の真っ直中にあり、業種や規模のいかんを問わず、パソコンをはじめとする情報システムを何らかの形で利用しています。場合によっては、情報システムなしでは企業活動が成り立たない企業もあります。本講義では、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。また、その過程を通じて、学生諸君にとっても、高度情報化社会における自身の職業観について考えてみる契機となるようにしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

「企業経営活動の枠組みと情報システムの優位性」「ビジネス活動を遂行するための情報システム」「意思決定を支援するための情報システム」「企業コラボレーションのための情報システム」「戦略的優位性を創出するための情報システム」、等

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済みか、同等の能力を有することが求められます。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。

教科書

特に指定せず、レジメを使用します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F自習室にて登録して下さい。

科 専
門 教
育 目

科目名

担当者名

経営情報システム論Ⅱ

さいとう たかし
齋藤 隆

講義のねらい

前期開講の「経営情報システム論Ⅰ」に引き続いて、企業経営における情報システムの役割とその効果的な活用法について、事例を踏まえて習得します。なお、「ERPの事例紹介」では、本学に導入予定のERPパッケージ（SAP社製「R/3」）を利用してコンピュータ実習を行うことを予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

「ERP (Enterprise Resource Planning)」「ERPの事例紹介」「SDLC (System Development Life Cycle)」「BPR (Business Process Reengineering)」「EUC (End User Computing)」「システム監査」「情報化人材」、等

履修上の留意点

「経営情報システム論Ⅰ」を履修していること。また、パソコン中級者以上を想定して講義を進めますので、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」を履修済みか、同等の能力を有することが求められます。

前期に開講される「経営情報システム論Ⅰ」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入して登録してください。

成績評価の方法

発表や討議などを通じての授業への参画状況、課題の提出状況、提出物の内容、定期テストの成績等を総合して評価します。

教科書

特に指定せず、レジメを使用します。

参考書等

その都度、提示します。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修者の人数を制限する場合があります。初回講義時にパソコン操作の簡単なテストを実施しますので、必ず出席して下さい。初回講義に出席できない学生や質問等がある学生は、saito@rsch.tuis.ac.jp宛メールして下さい。なお、本講義は総合情報センターに登録しないと受講できません。受講希望者は4月に4号館1F自習室にて登録して下さい。

専
門
教
育
目

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科 目 名

担 当 者 名

会計情報論

いし かわ じゅん じ
石 川 純 治

講義のねらい

時事で読み解く「会計ビッグバン」をテーマにする。会計学においては会計原則や個々の会計基準を学習することもむろん重要だが、それだけが会計学ではない。その基礎にあるものや、その背景からより深く理解することがいっそう重要である。とりわけ今日のように会計制度が大きく変容しようとしているときはそうである。本講義では、社会のなかの「生きた会計」、とりわけ90年代から今日に続く会計制度の大改革（会計ビッグバン）を政治経済学的に学習する。社会科学としての会計学の視点を養うことが目標となる。

講義の内容・
授業スケジュール

会計ビッグバンを政治経済学的な視点から取り上げ、社会科学としての会計学習を行う。教科書にそって講義するが、最新の会計トピックスはホームページ掲載の「時事会計教室」から取り上げる。

履修上の留意点

会計の政治経済学的な学習をねらいにしているので、商学科のみならず経済学科の学生も意識した講義をする。細かな会計基準の知識は必要ないが、一応の会計学の基礎知識ないし関心をもっていることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験ないしレポート。

教 科 書

石川純治『激動する会計』（日本評論社）2,000円程度（4月発刊予定）

参 考 書 等

別途指示する。

科 目 名

担 当 者 名

管理会計論

いし かわ ゆう じ
石 川 祐 二

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、管理会計上の様々な手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。

教 科 書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参 考 書 等

講義において適宜指示する。

そ の 他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名
原価計算論	すずき かつひろ 鈴 木 勝 浩

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にほかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日では、伝統的な原価計算の中にはその有用性が失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

履修上の留意点

教科書にある計算事例を使いながら講義を進めていくので、当然のことではあるが、教科書は必ず購入すること。

成績評価の方法

定期試験及び提出課題の総合評価で行う。

教科書

清水孝／長谷川恵一／奥村雅史著『入門原価計算（第2版）』（中央経済社）

参考書等

参考文献については必要に応じて紹介する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
経営分析	わたなべ まとし 渡 邊 智

講義のねらい

企業は財務諸表を開示することによって、財政状態や経営成績などの会計情報を広く一般に伝えていきます。しかし、財務諸表の見方を知らなければ、そのような情報を正確に把握することはできません。経営分析とは、分析対象となる企業の財務諸表や必要な資料を収集し、それらを正確に分析し、当該企業がどの様な状態にあるのか判断するものです。この講義では、経営分析に関する基本的な知識を身に付け、自ら簡単な分析を行うことができるようにすることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) ガイダンス (2・3) 財務諸表分析とは何か
(4～12) 貸借対照表とその分析 (13) まとめ
(後期) (14～16) 貸借対照表と損益計算書 (17～19) 利益処分計算書とその分析
(20～25) キャッシュフロー計算書とその分析 (26) まとめ

履修上の留意点

日頃から企業に関心を持つと良いでしょう。また、財務諸表や資料を収集する労力を惜しまないことも必要だと思います。

成績評価の方法

出席状況、学習意欲、レポートの内容および試験の結果などから総合的に判断して評価します。

教科書

あずさビジネススクール編『財務諸表分析入門』新版（エクスメディア）

参考書等

参考書等は必要に応じて紹介します。

その他

授業の方法は講義形式です。

科目名**担当者名**

上級簿記

ふくしま
福島隆**講義のねらい**

本講義は、簿記論での学習内容を基礎にして、株式会社における簿記を学習します。具体的には、株式会社で必要な簿記技法について説明します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため授業中は、講義と問題演習を行います。レベルとしては、日商簿記2級の商業簿記を想定していますが、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。なお、工業簿記の講義は行わない予定です。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。

- (1) ガイダンス (2) 現金預金 (3・4) 有価証券 (5) 債権債務
(6・7) 手形 (8) 引当金 (9・10) 商品売買 (11~13) 特殊商品売買取引
(14) 固定資産 (15~18) 株式会社会計 (19) 税金 (20・21) 決算
(22・23) 本支店会計 (24) 帳簿組織 (25) 伝票会計 (26) その他の論点

* 授業内で中間試験を2回行います。

2005年度は1級の導入として、連結会計(2回)と現在価値計算(1回)をしました。11月の日商簿記2級の試験までに、2級の商業簿記の範囲を終わらせます。

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに(つまり、日商簿記3級程度の知識があることを前提として)、講義を行います。講義では3級の復習は必要最低限しか行いませんので、各自復習しておいてください。10分以上の遅刻は欠席扱いとします。

成績評価の方法

評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。

- (1) 平常点重視型・出席20点、課題20点、中間試験20点×2回、定期試験20点。
(2) 試験重視型・中間試験30点×2回、定期試験40点。

教科書

未定。第1回目の講義で指示します。

その他

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

科目名**担当者名**

コンピュータ会計Ⅰ

すずき かつひろ
鈴 木 勝 浩**講義のねらい**

今日、コンピュータをはじめとする情報技術の進展及び高度化はめざましく、あらゆる社会活動がその影響をうけている。このような高度情報化の到来に伴って、近年、コンピュータ会計は、企業の規模や業種にかかわらず広く普及している。本講義では、コンピュータを前提とした会計情報システムについて、その現状と問題点を検討したうえで、今後の展開を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 情報処理システム (3) データ通信システム (4) 会計情報とデータベース (5) 会計情報とシステム設計 (6) 販売管理システムと会計情報 (7) 生産管理システムと会計情報 (8) 在庫管理システムと会計情報 (9) 原価管理システムと会計情報 (10) 財務会計と会計情報 (11) コンピュータ会計と内部統制

また、後期に開講する「コンピュータ会計Ⅱ」でのコンピュータを利用した会計処理システム構築に備え、本講義ではできる限りコンピュータ演習を取り入れていく。

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」等を履修済みか、同等の能力を有することが求められる。また特に会計に関する知識を問わないが、簿記会計に関する基礎的な知識を有していればより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

教科書

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』（創成社）

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義時には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメール連絡してください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

科 専
門 教
目 育

科目名

担当者名

コンピュータ会計Ⅱ

すすきかつひろ
鈴木勝浩

講義のねらい

今日、高度情報化の到来に伴い、コンピュータ会計は企業の規模及び業種にかかわらず広く普及している。本講義は、従来の手書き会計とコンピュータ会計の相違点を明確にし、リアルタイムで会計情報の入手とその利用が可能である点を解説したうえで、パソコン演習を通じて上記の点を検証していく。まず表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、その後会計パッケージを利用してその有用性を体感していく。

講義の内容・授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 表計算ソフトによる実習(基礎準備) (3) 表計算ソフトによる実習(勘定科目コード及びその他の会計情報コードの設計) (4) 表計算ソフトによる実習(仕訳データの作成) (5) 表計算ソフトによる実習(試算表の作成) (6) 表計算ソフトによる実習(決算処理) (7) 会計パッケージによる実習(概要と基礎準備) (8) 会計パッケージによる実習(会計取引の入力) (9) 会計パッケージによる実習(日常帳票の作成) (10) 会計パッケージによる実習(決算諸表の作成) (11) 会計パッケージによる実習(財務分析) (12) シミュレーションによる会計情報システムの実習

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理Ⅰ・Ⅱ」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」履修済か、同等の能力を有することが求められる。

成績評価の方法

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

教科書

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメールしてください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名

担当者名

銀行システム論

齊藤 正

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 講義では銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
 - 3) 地域金融機関の再編・淘汰が進む一方、地域経済の「疲弊」が深刻化している。経済発展に果たすべき銀行の役割について考える。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 後期科目の「現代銀行事情」
- 2) 通年科目の「金融論」、前期科目の野村證券提供講座「現代産業事情Ⅲ」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

- 齊藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年
 日本銀行『新版 わが国の金融制度』
 吉田曉『決済システムと銀行・中央銀行』（日本経済評論社）2001年

専科
教育
科目

科目名

担当者名

現代銀行事情

齋藤 正

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。

- (1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
- (2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- (3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革を目指したビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。
- (4) 激しく変容している欧米諸国の金融制度との比較を試みる。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 前期科目の「銀行システム論」
- 2) 通年科目の「金融論」、前期科目の野村證券提供講座「現代産業事情Ⅲ」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

齋藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年
大橋・小西・齋藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）2001年
川波・上川『現代金融論』（有斐閣ブックス）2004年

科専門教育
目

科目名

担当者名

ビジネス事例研究

ひやく た よし ぼる
百 田 義 治

専
門
教
育
目

講義のねらい

この講義では、大企業、中小企業、ベンチャー・ビジネスの経営者、管理者などに、それぞれの企業について、経営について、業界について、あるいは特徴的なビジネスモデルや環境問題、企業倫理やCSRの取り組みについて、さらに人生観やビジネス観について、幅広く語ってもらいます。また、個人で活躍する自立した職業人やNPO・非営利組織で活躍されている人達も講師として迎え、その経験や自立に必要なことなどを語ってもらいます。駒大出身の人達もできるだけ多く迎えます。そうした人達の話から、社会人として成長するために必要な貴重なアドバイスや体験や経営知識を学び取ることができるでしょう。また、いろいろな科目の学習に有益な事例が提供されます。ビジネスの世界で活躍する人達の実践的講義から「生きた知識」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

隔週ごとに講師を迎えて体験的講義を受けます。過去2年間の講師は、金融、流通、商社、メーカー、情報、外食、ベンチャー、建設などさまざまな業界の経営者・管理者や、職業会計人(公認会計士、税理士)、フィナンシャル・プランナー、経済ジャーナリスト、アナウンサーなど自立した職業人と多彩です。本年度も多彩な講師を予定しています。講師の詳細は日程などが決定次第以下のホームページでお知らせします。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~hyakuta/>

履修上の留意点

講師の企業や職業に関する予備的講義と講演内容のフォローアップを隔週ごとに行いますが、履修する学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得し、質問ができるように準備して参加してください。講師の方には多忙な中を時間を割いて来ていただいています。遅刻、雑談、携帯操作などは厳禁です。

成績評価の方法

各講師の話について隔週ごとにレポートを提出してもらいます。それらのレポート評価と前期末、学年末の授業全体に関するレポートで総合的に評価します。学年末試験は行いません。

教科書

講師が準備するレジメや会社のパンフレット、あるいは担当者が必要に応じて作成したレジメなどを配布します。

参考書等

随時、紹介します。

科目名	担当者名
ビジネス英会話Ⅰ	清水絹代

講義のねらい

本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義 1 回目……………イントロダクション
- 講義 2 回目……………個人目標の設定
- 講義 3～6 回目……………プレゼンテーション練習
- 講義 7～10 回目……………シミュレーション・ゲーム
- 講義 11～12 回目……………今期の総まとめ
- 講義 13 回目……………テスト

履修上の留意点

上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。遅刻厳禁。携帯電話、PHS の電源は切ること（マナーモードは禁止）。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。

成績評価の方法

出席率、参加態度、課題レポート等の提出物、プレゼンテーションなどを総合的に評価します。欠席は各学期、原則 2 回まで。体調その他特別な理由で 2 回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。

教科書

初回講義で案内します。

参考書等

初回講義で案内します。

その他

他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
ビジネス英会話Ⅱ	清水絹代

講義のねらい

本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義 1 回目……………イントロダクション
- 講義 2 回目……………個人目標の設定
- 講義 3～6 回目……………プレゼンテーション練習
- 講義 7～10 回目……………シミュレーション・ゲーム
- 講義 11～12 回目……………今期の総まとめ
- 講義 13 回目……………テスト

履修上の留意点

上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。遅刻厳禁。携帯電話、PHS の電源は切ること（マナーモードは禁止）。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。

成績評価の方法

出席率、参加態度、課題レポート等の提出物、プレゼンテーションなどを総合的に評価します。欠席は各学期、原則 2 回まで。体調その他特別な理由で 2 回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。

教科書

初回講義で案内します。

参考書等

初回講義で案内します。

その他

他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

科目名**担当者名**

ビジネスインターンシップ

おぐり たかし ほり りょうじ
小栗 崇資・堀 龍二**講義のねらい**

「ビジネスインターンシップ」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとしたユニークな科目です。受講生の自覚と責任がきびしく要求されますが、そうしたハードルを越えることで貴重な体験学習をすることができます。研修先は、中小企業を中心ですが、そのほかにも商店、生協、NGO・NPO、自治体、農家など多様な体験のできる場を予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 前期では 教室での授業を通じて、インターンシップのための素養や基礎知識を修得し、最低限必要とされる準備トレーニングを行います。次のような点を目標にしています。
 - ・インターンシップの目標とプログラムについての理解
 - ・仕事のルールとビジネスマナーの修得
 - ・自己分析トレーニングと各自の目標・計画の設定
 - ・インターンシップ先についての研究
 - ・インターンシップ先の確定と研修計画の相談
- (2) 実際の研修は夏休み期間に実施されます。8月末ないしは9月初めに約2週間の研修を行います。
- (3) 後期は、研修についてのレポート作成を行います。またレポートにもとづく発表会も予定しています。

履修上の留意点

次の点を必ず確認して履修してください。

- (1) 無責任な受講はやめましょう。インターンシップは多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。
- (2) 前期授業に必ず出席すること。欠席が続いたり教員の指示に従わない場合は、受講を認めないことがありますし、インターンシップを中止することがあります。その場合は単位となりませんので、了解してください。
- (3) 研修の際の経費（交通費や被服費等）は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。

成績評価の方法

基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価や受講態度・出席点なども参考にして判断します。

教科書

特になし。前期授業では随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
現代産業事情Ⅲ	しろ 代 田 純

講義のねらい

野村証券の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券市場」をテーマとして、野村証券、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、初学者でも問題ない。証券業界への就職を検討する学生には、適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報のとらえ方
- 3 経済成長と金融資本市場
- 4 証券投資のリスクとリターン
- 5 株式市場の役割
- 6 債券市場の役割
- 7 投資信託の役割
- 8 ポートフォリオの考え方
- 9 市場のグローバル化
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場と投資家心理
- 12 個人投資家
- 13 ベンチャーと IPO

履修上の留意点

再試験は実施しない。

成績評価の方法

出席点とレポート点で評価する。

教科書

毎回、レジユメを配布する。パワーポイントによる授業となる予定。

参考書等

代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済）2002年

その他

野村証券の寄付講座であり、私語は厳禁する。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。4年生が就職活動で遅刻する場合を除き、遅刻は認めない。

科 専
門 教
育 目

科目名

担当者名

演習 I

あさの 浅野 かつみ 克巳

講義のねらい

ゼミの目標は3つ
 ・はじめに経済学を基礎理論からしっかり勉強しよう
 ・新聞の事例などを参考に理論を現実の経済に応用してみよう
 ・練習問題を通して経済学をしっかりマスターしよう

講義の内容・
授業スケジュール

1. マクロ経済学を基礎から学ぶ
2. ミクロ経済学を基礎から学ぶ
3. 経済学の理論を通して新聞や経済白書を読み経済学的に考える練習をする
4. インターネットで経済学を学ぼう
5. エクセルで需要曲線や供給曲線を描いてみよう
6. 国家試験などの過去問を実際に解いてみよう

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

なにより授業にまじめに出席することが前提だ。

教科書

経済学の入門書を授業の際に指示する。

参考書等

必要に応じて参考書その他の資料については授業の中で指示する。

科目名

担当者名

演習 I

あべ 阿部 ひろし 弘

講義のねらい

「文化経済学」の基本の確立。

講義の内容・
授業スケジュール

文化経済学を学んでいくための基礎文献を読みます。
 演習参加者はゼミナール論文を書いてゼミ論集の『アルファ』に掲載します。
 また年間2回の合宿予定。11月末から12月初めにゼミ論発表会予定。

履修上の留意点

「演習」ですから出席することは基本です。
 合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。

教科書

予定：池上惇『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリー）

専科
教育
目

科 目 名	担 当 者 名
演習 I	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低DTP（デスクトップアプリケーション）の方法を習得させる。すなわち（1）編集方法（Page Maker、Quark Express）（2）グラフィックス（Illustrator）（3）レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、2年次後期からDTP検定2種試験にチャレンジする。時間があればLATEXによる組版の初歩も行う。演習ⅡからはExtDを使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教科書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

その他

Macintosh 教場を使う。

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名
演習 I	あり い ゆき お 有 井 行 夫

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさには無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
夏合宿 野村正実『雇用不安』
後期 有井のプリント、新聞の読み方（ファイルの作成）、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法

ゼミへの積極的参加50%、 各種レポートの評価50%

教科書

川人博『過労死社会と日本』（岩波新書）、野村正実『雇用不安』（岩波新書）。

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
- ・Word,Excelの基本操作に関する講義
- ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

- ・ディベート大会

後期

- ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
- ・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読
- ・プレゼンテーション大会

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科目名	担当者名
演習 I	石川純治

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。また社会経済における「生きた会計」を学習するために「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切でそれとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です。したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

経済・法律の基本テキストなど、その都度指示します。

参考書等

『常識「日本の論点」』（文藝春秋）など、必要に応じて指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見るができますので参考してください。

科
専
門
教
育
目
録

科目名	担当者名
演習 I	石川祐二

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

特に、演習 I では、そのような分析視点を確立するために、基本的なスキルと知識を身につけることが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I では、会計に関する基礎知識を身につけることを目的としている。特に、会計に関わる現象を捉える上で不可欠な、基礎的な用語・概念を中心に扱う。基本的には、テキストを中心に、報告とディスカッションを行いたい。また、計算方法などの技術的な側面の学習に関してもフォローしていく。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

初回の演習時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科 目 名	担 当 者 名
演習 I	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝
講義のねらい	企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、不祥事の続出や経営不振など経営システムの改革が企業に求められています。演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システム改革を中核として、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関係、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた公正・効率的な経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。
講義の内容・授業スケジュール	経営学の基礎的な文献を用いて輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。
履修上の留意点	ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。専門の学習に向けて自らの課題を発見することや積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してもらいたい。
成績評価の方法	ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。
教 科 書	開講時に指定します。
参 考 書 等	開講時に指定します。
そ の 他	演習Ⅲ履修時には「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名
演習 I	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾
講義のねらい	10年以上続いた不況にも光が射してきました。深く長い不況の理解には、バブル経済の発生とその崩壊のナゾを解くことが不可欠です。このゼミでは、そのようなナゾを追いながら、日本経済の特質と今後のあり方について考えていきます。なお、経済理論の基礎的な知識を学ぶための時間を適宜もつ予定です。
講義の内容・授業スケジュール	演習 I では、井村喜代子著『日本経済――混沌のただ中で』をテキストとして用い、バブル経済の発生およびその崩壊の理由について学び、日本経済がかかえる主要な問題を検討していきます。また、地球環境保護、高齢化社会のあり方、日本のODA 援助など、その他の主要問題について学習します。
履修上の留意点	少人数で共通問題について学習するので、全員そろっていることが授業の前提となります。参加者はその点を自覚し、欠席や遅刻をしないよう心がける必要があります。
成績評価の方法	平常点により評価します。
教 科 書	井村喜代子『日本経済――混沌のただ中で』（勁草書房）2,800円＋税
参 考 書 等	大西広他『政治経済学』（大月書店）
そ の 他	①「卒業研究」を併設します。 ②コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科目名	担当者名
演習 I	おおがきかつお 大吹勝男

講義のねらい

今年度のゼミは、『マーケティングにおける広告とブランド』をテーマに学習します。
 近年、驚くのは、およそマーケティングとは無縁であるとおもわれる、自治体のマーケティングであるとか、非営利事業組織のマーケティングなどと、マーケティングという「用語」が使用され、いささか乱用の感がある。そこで、真のマーケティングとは、なんであるのかという、基礎的なところから学習しようということである。
 それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

その他

<応募するにあたっての注意点>
 個別説明会はしませんが、諸君が聞きたいことを、予想して答えておきます。
 1. 夏合宿はあります。
 2. ゼミは休めません。当たり前のことですが、今日の学生はこのようなことを質問するのです。
 <卒業研究の有無>
 義務ではありませんが、4年次には併せて開講します。

科
専
門
教
育

科目名	担当者名
演習 I	おぐりたかし 小栗崇賢

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I では、まず企業会計の基礎を理解することに重点を置き、企業会計の従来の考え方と新しい考え方を比較しながら、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。財務会計の理論を中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、簿記・会計の初心者にはまず、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科目名

担当者名

演習 I

小杉修二

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。

1万年前に農業が発明されて、文明が始まったと言われる。この間、地球の気候は15℃プラス・マイナス1℃の間という、極めて安定した状態の間にあった。森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに最大5.8℃の昇温がおこると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性をはらんでいると言える。さまざまな異常気象、熱帯の伝染病や害虫の北上、巨大台風、海面上昇、国土の浸食、農業の崩壊等その影響するところは非常に大きい。これらがその他の様々な環境問題と合わせて我々を襲うだろう。

我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。

しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。

この先40～50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にする。

その他

ビデオを使った授業で理解を深める。

専科
教育
科目

科目名

担当者名

演習 I

小林正人

講義のねらい

テーマは「IT 経済の歴史と現状」。

ブロードバンドが普及し、携帯電話の機能がめざましく拡張しており、IT に関連したビジネスや電子商取引が新しい成長をみせています。IT (情報技術) によるイノベーションは確実に進展しています。しかしサイバー犯罪やセキュリティ問題なども増えています。これらの最新動向や諸問題について検討し、これをつうじて日本経済の今後の発展について考察するのが、このゼミのねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、インターネットによる情報検索や、各ゼミ生のホームページの開設に取り組み、インターネットのしくみを学びます。ワープロによるレポート作成の技法も修得します。

後期は、「IT 経済の歴史と現状」について文献をもとに研究します。グループ研究や研究成果のプレゼンテーションに取り組み、学生の自発的な調査や発表をうながします。

下記のサイトの「ゼミのひろば」にこれまでのゼミ活動の概要を載せています。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

駒澤大学の学内情報ネットワーク (KOMAnet) を使うためのユーザー ID とパスワードをいつでも使えるようにしておく。またゼミの円滑な運営のためのルールと役割分担に協力すること。

成績評価の方法

ふだんの発表、レポート、出席状況を総合して評価。

教科書

授業中に決める。

参考書等

適時紹介する。

その他

演習Ⅲに「卒業研究」(卒業論文のみ)を併設。

科目名	担当者名
演習 I	さいとう 藤 正

講義のねらい

「金融大改革と銀行業」をテーマとし、金融の仕組みがどのように変化しているのか、それともなっていて銀行業務がどのように変化しているのかを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

IT（情報通信技術）の発展が金融業務を大きく変え、ヘッジファンド、デリバティブなどの聞き慣れない用語を新聞誌上で目にすることが多くなりました。いまや金融業務は「資金の貸借」という意味だけではとらえきれない一大変革の時代にあり、銀行業務も大手銀行を中心に、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務からデリバティブや M&A（合併）の仲介へと大きく変貌を遂げています。

演習 I では、金融業務の大変革をもたらしている「グローバル競争」のあり方を眺めながら、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務が現代経済において、どのような意味で重要であるのかを考えます。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書

川波洋一・上川孝夫編『現代金融論』有斐閣ブックス

参考書等

日本銀行『わが国の金融制度』
日本経済新聞社『経済新語辞典』（毎年、新版が発行されています）

その他

「卒業研究」を併設します。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習 I	しみず 清水 卓

講義のねらい

当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心としたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、欧州憲法、中東欧諸国の加盟、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会、各国国民の日常生活など興味の対象はつきません。3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場にしたいと思います。

中・東欧諸国の加盟による構成メンバー国数の増加に対応しての EU 自体の機構改革、EU 憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I では、ディベートと EU に関する基礎知識修得を課題とします。見学（裁判所、TBS、製鉄所、東京の街散歩）などの行事をしたり、春と夏には、楽しい合宿をやりませう。

履修上の留意点

「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TO-FLE、TOEIC の資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

参考書等

授業で紹介します。

その他

「卒業研究」併設。

科目名

担当者名

演習 I

しろ た 代 田 純

講義のねらい

このゼミ（代田ゼミ）では、金融をゼミのテーマにします。金融は不良債権問題に示されるように、今や経済の最重要領域である、と言っても過言ではありません。ゼミでは、この金融について、基礎から現状まで学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

まず2回生では、基礎をしっかり学ぶことが大事です。このために、4～7月ではマクロ経済と金融の関連がわかるような、新書程度を取り上げて勉強しましょう。9～12月に、すこし基礎から現状へとレベルアップしましょう。
夏合宿は9月中旬を予定しています。

履修上の留意点

資格取得についての指導をします。証券アナリスト、証券外務員、税理士を主たる狙いとしています。

成績評価の方法

まず出席が重視され、ゼミでの発表や発言などから平常点で評価する。

教科書

ゼミ生と話し合って決めるが、昨年は『ベーシック 金融入門』（日経文庫）。

その他

後期から財務諸表論の学習に進む。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習 I

すず き のぶ 鈴 木 伸 枝

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

二年生のうちは、公共経済学の理論の基礎となるミクロ経済学もしくはゲーム理論のテキストの輪読を中心にします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

科目名

担当者名

演習 I

せとおか
瀬戸岡
ひろし
紘

講義のねらい

『グローバル化』と『デジタル化』の時代に即応した社会、経済、経営などにかんする学習と研究の基礎的能力をやしなうこと。

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカの大学（なかでも名門シカゴ大学）の演習の方式を採用して、「基礎はしっかり、研究は自由に」のスローガンのもと、活気あるゼミ活動をしています。何を研究・学習の対象とするかは、受講生の希望によりかなり幅広くみとめているのが当ゼミの特徴。

最初の2ヶ月は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのほか、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。その後は、グローバル時代の特質と諸問題にかんする書物の輪読と討論が中心。しばしば英語の文献も使用します。

その他、上級生によるパソコン教室、英語圏から当ゼミにきた留学生による英会話教室、上級生と少人数グループと一緒に学習・研究をするサブゼミの活動、他大学の学生と交流できる日本学生経済ゼミナールへの参加、アメリカの学生とのインターネットによる交流とテレビ会議システムをつかった遠隔討論会、工場見学・企業訪問など多彩なイベントが用意されています。

履修上の留意点

4年次で卒業論文を作成します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

その他

〈ゼミ生の声〉

このゼミを選んだ最大の理由は、何といても卒業生の就職のよさ。全国の学生たちから「憧れの会社」といわれているような日本を代表する企業にも、日本3大銀行をふくむ大手金融機関にも、ゼミのOB・OGがいる。フライト・アテンダント（スチュワーデス）には、最近4期毎学年連続で採用されているとか。霞ヶ関の7つの省にもOBがいるというからすごい。進学や留学にも強い。早・慶・一橋・明治・立教等の大学院、アメリカの大学院MBAコースにもゼミの卒業生がいる。

これらの成果は、先生が基礎をきちんと教えてくださるうえ、何でも自由にやらせてくれること、先輩が優しく頼もしいこと、先輩・後輩・OB・OGの仲がよいこと、一年中活発にゼミ活動をしていることにあると思う。

このゼミを最初に見学して驚いたことは、みんな「瀬戸岡ゼミ生」であることに強い誇りをもっていること。飲み会も魅力だな。あんなに大勢で、あんなに夢中になって、あんなに笑って、あんなに楽しんで、それでも結構高い品性が崩れないのが不思議。

当ゼミは、2003年には『世界週報』で全国に、1994年にはCNNテレビで世界120カ国で紹介されました。当ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりするほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

科 専
目 門
教 育

科目名

担当者名

演習 I

曾我信孝

講義のねらい

マーケティングの基本的な政策を理解させ、プレゼンテーション能力およびディベート能力を高めさせることを主たる目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

4、5名のチームを編成し、前期は主に基本的なマーケティング政策について調査したものをチーム単位で発表してもらい、他チームからの質疑応答の時間もとる。後期は具体的なマーケティング政策に関する課題を出し、それらを前期に編成したチーム単位で調査・研究し、チーム間で討論してもらう。

履修上の留意点

チーム単位で調査、研究、発表等をしてもらうので、講義時間以外でチームによる予習が必要です。チーム学習の出席率などが悪く、学生さんからの苦情があった場合、受講を断ることもあります。本当に、マーケティングに興味があり、やる気がないと続かないかもしれませんのでご注意ください。

成績評価の方法

平常点（チーム学習の評価、プレゼンテーションの評価などを参考にする）

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法-ゼミ形式

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習 I

鄭 章 淵

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN 3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため、次の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

夏期休暇にはゼミ合宿をします。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。また、演習（ゼミ）の特別企画として課外活動もおこなうつもりです。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

その他

4年次に「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名
演習 I	徳永俊明

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさや貧困、そして彼らのたたかいについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさや貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりみんなの意見を参考にして考えを深めます。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科専門教育
目

科目名	担当者名
演習 I	友松憲彦

講義のねらい

経済史の基礎を学びます。現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに関心を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことは、現在の経済についての理解を深め、問題点を明らかにし、経済の今後の発展方向を考えることにつながります。経済学の基礎知識を習得しながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容・授業スケジュール

2年次から3年間の継続履修を原則としますが、3年次からの参加もできます。

2年次は、経済学や経済史の初歩的な概念や理論を説明しながら、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。

3年次は、特定のテーマを決めて全員で本を講読します。今年度のテーマは「アメリカ経済史」でした。

4年次は、自分でテーマを決めて課題研究をまとめます。

また、ゼミでは大学や社会で必ず必要とされる技術である資料や文献の探し方、本や資料の読み方、レジュメやレポートの書き方、発表や討論の仕方などを習得します。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

(1) 年度末のレポート、(2) 平常点（レジュメ、報告、討論の状態）(3) 出席状態、を総合して評価します。

教科書

最初の授業で指示します。

参考書等

演習を通じて紹介します。

その他

卒業研究を併設します。

講義のねらい

現代の日本企業の経営管理に関わる主要なテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT 革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。同時に、「社会から信頼される企業」に求められるものは何か、という視点から企業倫理や企業の社会的責任（CSR）について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？ 株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか？ 企業の社会的責任とは何か？
- (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本的経営の何を残し、何を変革すべきか？
- (4) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
- (5) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ ネットワーク経営とは何か？ などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

- (前期) 百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2006年
 (後期) 小林俊治・百田義治編『社会から信頼される企業』（中央経済社）2004年

参考書等

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

講義の内容・
授業スケジュール

〔社会科学方法論研究〕 このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスを行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。テニスは初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一周のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもって意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛錬に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

履修上の留意点

「卒業研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科目名	担当者名
演習 I	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造

講義のねらい

2年演習〔アフリカの社会と文化 I〕
アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取ってみても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 次のテーマについて研究発表を行う。
 A 多様な人間社会 (ライフスタイル)
 1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
 B 多様な人間関係
 1 通過儀礼 (大人と子ども) 2 親族 (身内とよそ者) 3 経済活動 (贈与と交換) 4 宗教と権力 (まつりとまつりごと)
 (2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
 (3) 演習をアクティブなものとするため、楽しい企画 (アフリカ・フェスティバル、コンサート、映画祭、サッカー大会) にチャレンジする。

成績評価の方法

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名
演習 I	ほりゅう じに 堀 龍 二

講義のねらい

雇用、賃金、労働時間、能力開発、人事制度、労使関係といった労務管理論 (人的資源管理論) に関する基本的知識を獲得するとともに、現代的な問題意識をもってもらうことをねらいとしています。現代日本企業の労務管理はいま大きく変化を遂げつつあるところです。従来の労務管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化しているのか。このような問題を考えるのに有用な知識を修得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを選んで、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらおうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。適切な時期に、グループを作り、グループごとに小さなテーマを決めて、メンバー同士の協力のもとに下調べを行って、ゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点

労務管理 (人的資源管理) に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他のメンバーの報告、それに基づく議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、率直に質問する姿勢を大切にしたい。つまり、とにかく積極的な参加・協力姿勢を重んじます。

成績評価の方法

毎週のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教科書

初回ゼミで相談して決めます。

参考書等

ゼミのなかで適宜指示します。

その他

〈卒業研究の有無〉
演習 II・IIIまで引き続き履修した場合には、演習 III履修時に卒業研究を併設します。

科目名	担当者名
演習 I	まつ いりゅう へい 松 井 柳 平

講義のねらい

統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容・授業スケジュール

ガイダンス ゼミの概要等説明 パソコンの使用方法 Excel の使用方法 データの要約と視覚化
基本統計量 確率分布 推定と検定 相関分析 回帰分析 集計表と適合度検定
数学モデル、確率モデルを視覚的に理解できることに重点を置く。

履修上の留意点

このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。

教科書

開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。

参考書等

鳥居『はじめての統計学』（日本経済新聞社）ISBN4-532-13074-3
縄田『Excelによる統計入門』（朝倉書店）ISBN4-254-12142-3
得津『はじめての統計』（有斐閣）ISBN4-641-08667-2

その他

パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

科専
門教
育目

科目名	担当者名
演習 I	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは2年次生だけで学習しますが、このほか上級生と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。

ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等

食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。

その他

演習Ⅲで「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名
演習 I	もり おか じん 森 岡 仁

講義のねらい	社会保障・人口問題研究所の平成14年人口推計によると、日本の人口は2006年の1億2,774万1,000人をピークに、その後は減少すると予測されている。少子化がいよいよ人口減少を引き起す時代に入るのである。この人口減少・少子高齢化の影響は多方面に及ぶと考えられるが、特に経済成長や社会保障への影響が注目される。
講義の内容・授業スケジュール	この演習では経済人口学の立場から、わが国の人口減少・少子高齢化が経済との間で持つ相互依存の関係を明らかにする。
履修上の留意点	休まず遅れず参加することが演習を履修する際の大前提である。
成績評価の方法	平常点
教 科 書	未定
参 考 書 等	演習の中で適宜紹介する。
そ の 他	「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名
演習 I	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏

講義のねらい	会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。会計学の領域は大きく財務会計と管理会計とに分けられる。財務会計とは、投資者、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。 本演習では、財務会計および監査の基礎理論を学ぶことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	テキストをベースとして、財務会計および監査の領域に属する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。必要に応じて簿記の学習を取り入れることもある。演習 I の終了時にはレポートの提出を課すので必ず提出すること。
履修上の留意点	演習であるから、すでにどれだけの知識を持っているかということよりも、みんなと一緒に会計を勉強したいという気持ちを重視したい。したがって、特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。
成績評価の方法	出席を重視するが、そのほかに報告内容（レジュメを含む）、レポートなどを考慮に入れて総合的に評価する。
教 科 書	新井清光著、加古宜士補訂『現代会計学（第7版）』（中央経済社）2,600円
参 考 書 等	演習時に適宜紹介する。
そ の 他	演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名
演習 I	谷 敷 正 光

講義のねらい

テーマ〔日本経済発展史入門〕
2年生の演習は日本の経済、産業、企業の驚異的な成長はいかにして可能だったのか、日本経済や産業の発展過程と経済システムの形成を通じて明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 日本経済発展の理解の手助けとして、例えば①和田英『富岡日記』、山本茂実『ああ野麦峠—ある製糸工女哀史』、中村隆英『昭和恐慌と経済政策』、邦光史郎『トヨタ王国』、木下英治『東急王国』などの小説、②「ああ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、③「金融恐慌日本を揺るがす」「乗用車ゼロからの出発」などのビデオ、などを教材として使用し、判別の課題発表やプレゼンテーションの練習をします。
〔後期〕 前期に学んだ先の「教材」にかかわる「学术论文」を読んだり、基本的文献を教材に日本経済の形成期、産業資本の確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムの形成を判別の課題発表やプレゼンテーションで明らかにします。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教科書

山本弘文『近代日本経済史』（有斐閣）
学术论文

参考書等

速水融、宮本又郎編『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）
『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので希望する人は履修することができます。

科 専
目 門
教 育

科目名	担当者名
演習 I	安 元 稔

講義のねらい

初めて経済史を勉強する諸君に、「経済史」という学問領域の特色・経済史的なものの見方・経済史の面白さを知ってもらうことがこの演習の主なねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを選び、それぞれ分担して要約・疑問点・興味を持った点を報告してもらいます。学術用語・概念を調べ報告してもらうこともあります。

履修上の留意点

なじみのない学術用語・概念が多く出て来ますので、その都度億劫がらずに図書館で調べることが必要です。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書

川勝平太『経済史入門』（経済学入門シリーズ）（日経文庫888/F37）860円
ISBN4-532-10888-8

参考書等

適宜指示します。

科目名	担当者名
演習 I	山 縣 弘 志 やまがたひろし

講義のねらい

比較経済論研究の入門

講義の内容・
授業スケジュール

専門的学習・研究へ向けての入門的トレーニングを行う。国際的な視野を獲得し、卒業時に各自のテーマで論文作成することを目標とする。2年次においては、(1)社会科学の文献に慣れる、(2)論理的思考を育てる、(3)プレゼンテーションを経験する、(4)問題意識を明確にもつ、(5)世界経済の全体像をイメージできるようにする、(6)国際的な比較の観点に常に意識する、を主な柱として授業を組み立てる。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書

岡沢憲英『スウェーデンの挑戦』
西川潤『世界経済入門』
石弘之『地球環境報告』
暉峻淑子『豊かさとは何か』
以上岩波新書

その他

非喫煙者が望ましい。
「卒業研究」有。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習 I	吉 田 敬 一 よしだけいいち

講義のねらい

この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観(ものの見方・考え方)を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、平常点(レジュメ、報告内容、討論への参加度など)およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

橋本寿朗『戦後の日本経済』(岩波新書)

参考書等

演習を進める中で適宜に紹介します。

その他

演習Ⅲでは「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	よし の 野 紀

講義のねらい

総合情報センターの機材を使いながら、金利と利回りの話や、現在価値に割引く考え方を導入点として、成長率、成長モデルなどへテーマを徐々に拡大し、自らシミュレーション（模擬実験）を行えるよう指導してゆく。結果はフロッピー・ディスクに保存しておくので、後で自分で自由に拡張してゆくことができるであろう。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

参考書等

蓑谷千風彦他『パソコンによる数量分析』（数量経済分析シリーズ第6巻）多賀出版。

その他

「卒業研究」併設。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	わた なべ けい いち 渡 邊 恵 一

科 専
門 教
育 目

講義のねらい

本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行う。演習Ⅰでは、その入門編として比較的初学者にも取り組みやすい通史や概説書を輪読し、基本的事実や先行研究について理解することを目標にしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

学生が主体となったレポート（報告）＆ディスカッション（討論）形式を基本とする。素朴な疑問などを遠慮なく出しあえる自由な雰囲気場にしていきたい。その他、ビデオ教材の視聴、工場・資料館等の見学も企画中。学年間の交流も随時行う予定である。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。

成績評価の方法

平常点。必要に応じてレポートを課すこともある。

教科書

開講時に受講生と相談のうえ指定する。

参考書等

演習の中で、その都度紹介する。

その他

演習Ⅲでは、「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	あさの かつみ 浅野 克巳

講義のねらい

基礎的な経済学をしっかり勉強した上で現代経済社会の抱えるさまざまな問題に実際に応用し経済学の理解を確実なものとしよう

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴
2. 日本の企業と産業組織
3. 日本の企業システム
4. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションにも挑戦

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

内閣府『経済財政白書』その他

参考書等

その他の資料については授業の中で指示する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい

文化経済学の発展をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

池上惇『情報社会の文化経済学』、その他を読み、これに対する論文を作成発表（ゼミ論集『アルファ』）することとします。
年間2回の合宿と11月末から12月初めにゼミ論発表会を予定しています。
「卒業研究」（4年次）を併設します。

履修上の留意点

「演習」ですから出席することは基本です。
4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。
合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	あらきよしひろ 荒木勝啓

講義のねらい

経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低 DTP (デスクトップアプリケーション) の方法を習得させる。すなわち (1) 編集方法 (Page Maker、Quark Express) (2) グラフィックス (Illustrator) (3) レタッチ・修正 (Photoshop) を習得させる。ゼミ生は課題として、2 年次後期から DTP 検定 2 種試験にチャレンジする。時間があれば LATEX による組版の初学も行なう。演習Ⅱからは Extd を使いシミュレーションモデル構築を行なう。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教科書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

その他

Macintosh 教場を使う。

科専門
目教育

科目名	担当者名
演習Ⅱ	ありいゆきお 有井行夫

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
夏合宿 野村正実『雇用不安』
後期 有井のプリント、新聞の読み方 (ファイルの作成)、奥村宏『法人資本主義』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%。

教科書

川人博『過労死社会と日本』(岩波新書)、野村正実『雇用不安』(岩波新書)

科目名

担当者名

演習Ⅱ

いし た やす ゆき
飯 田 泰 之

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰでの学習内容をふまえつつ、学生の興味に応じてより発展的な内容に取り組んでいく。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

いし かわ じゅん し
石 川 純 治

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では米国会計基準・国際会計基準も取り上げます。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、新聞・雑誌・小論文を素材にした学習も行います。

履修上の留意点

特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、また世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

財務会計の標準的テキスト（その都度指示します）。

参考書等

その都度、指示します。

その他

国家試験に挑戦する意欲ある学生、世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生が歓迎されます。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見ることができますので参考にしてください。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	石川 祐二

講義のねらい	<p>企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのでしょうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。</p> <p>また、テキストの枠に縛られることなく、様々な書籍・データを用いてレジュメを作成し、発表するスキルを養うことも目標である。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>演習Ⅱでは、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることにする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。さらに、その学習をつうじて、ゼミ生が各自のテーマを見つけだし、深く掘り下げていくための基礎固めをしたい。それにより、卒業研究に向けた足がかりを築くことを目指すものである。</p>
履修上の留意点	<p>積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。</p>
成績評価の方法	<p>特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。</p>
教科書	<p>初回の演習時に指示する。</p>
参考書等	<p>必要に応じて紹介する。</p>
その他	<p>合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。</p>

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	いわ した ひろし 岩 下 弘

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。

日本における流通問題としては、大きな問題としてコンビニの光と影、小売商店数の減少、大手小売企業の資本蓄積構造、商店街の空洞化、中心市街地の活性化、海外大手小売企業の日本市場参入、などがある。

たとえば、「ヤオハン」は何故海外に進出し、倒産したのか。「そごう」は何故巨艦主義をとり、その結果何故倒産したのか。「ダイエー」は何故経営の危機に直面しているのか。コンビニは繁栄しているとはどういう意味なのか。商店街がシャッター通りになっているのは何故か。

このように、われわれの生活の周囲で流通をめぐっていろいろな問題が発生しているが、これに対して政府および地方公共団体はどのような政策で対応しているのか。それらが市民生活の質の向上に役立っているのか、を探るのが3年次の課題である。

小売資本の蓄積構造にたいする公共政策の有効性を探る。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科目名	担当者名
演習Ⅱ	岩波文孝
講義のねらい	21世紀を迎えて以降も経営破綻や不祥事などによる経営の行き詰まりなど企業経営をめぐる問題が続出しています。本演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システム改革を中核として、現代の企業経営の課題を多面的に検討していきます。それを通じて、現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、企業と社会との関わり、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた公正・効率的な企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。
講義の内容・授業スケジュール	コーポレート・ガバナンスに関する文献の輪読形式により報告者・グループによる報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。
履修上の留意点	ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。
成績評価の方法	ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。
教科書	開講時に指定します。
参考書等	開講時に指定します。
その他	演習Ⅲ履修時には「卒業研究」（4単位）を併設します。

科
専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	大石雄爾
講義のねらい	2年次の演習Ⅰでは現実の経済問題について幅広く学びました。演習Ⅱではそれをふまえて、市場経済のメカニズムについて検討し、資本主義経済の本質について理解を深めていきます。また、グローバル化の過程で生じている国際的な経済問題を見る目を養うため、世界の動向にも注意を払っていく予定です。
講義の内容・授業スケジュール	今や世界中が市場経済に組み込まれています。イスラム諸国のように、一部に座りのよくない部分がありますが、これは地球的な規模で資本主義的商品経済の仕組みが成立したことを意味しています。そのため、現代社会の動きを真に理解するには、市場経済の仕組みおよび運動法則を理解することがますます必要になってきます。 この演習Ⅱでは、マルクスが『資本論』において、ナゾ解きにも似た推理で明らかにした資本主義の経済法則を学び、前年に学んだ日本経済や地球環境問題への理解を深めていきます。
履修上の留意点	少人数形式の演習では、欠席をしないこと・遅刻をしないことが各人に求められます。参加者には、その点を自覚したうえで、様々な活動に積極的に取り組むことを期待しています。
成績評価の方法	平常点により評価します。
教科書	大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）3,708円
参考書等	マルクス『資本論』（新日本新書） 西垣昭他『開発援助の経済学（新版）』（有斐閣）2,400円＋税
その他	①「卒業研究」を併設します。 ②コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	おおぶきかつお 大吹勝男

講義のねらい

昨年、マーケティング戦略における物流、ロジスティクス・マネジメント、等々を学習しましたが、今年度は『マーケティングにおける広告とブランド』をテーマに学習します。
 近年、驚くのは、およそマーケティングとは無縁であるとおもわれる、自治体のマーケティングであるとか、非営利事業組織のマーケティングなどと、マーケティングという「用語」が使用され、いささか乱用の感があります。そこで、当ゼミでは真のマーケティングとは、なんであるのかという、基礎的なところから学習しようということです。
 それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

成績評価の方法

平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。

その他

<卒業研究の有無>
 義務ではありませんが、4年次には併せて開講します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	おぐりたかし 小栗崇資

講義のねらい

演習Ⅰと同じねらい。演習Ⅱでも引き続き「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。新規募集せず。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱでは、演習Ⅰに引き続き、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、3年生後半には各自が研究テーマをもって学生自身で調査・研究を進めるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	小 杉 修 二

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。
森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに最大5.8℃の昇温が起ると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性をはらんでいると言える。

我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。

しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。

この先40～50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。

暗い展望が描かれそうだが、当ゼミはあくまで明るく楽しい未来を考えるための知識・思考力と学生の交流をつちかうつもりである。

また、時に応じて日本その他を例にとり、経済成長がこれまでどのようにおきてきたのかを学習する。2～3年次にかけては、環境問題、現代の労働・消費・生活・文化のいろいろな面を学習し、それらと経済成長とのかかわり具合を考える。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にする。

教科書

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』（東大出版会）1,800円等を使う。

その他

ビデオを使った授業とデイバイトでメリハリをつけるようにしている。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習Ⅱ	小 林 正 人

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」

戦後の日本経済の変化や動きを深く知るためには、その中での産業の発展や企業活動の内容について詳しく調べる必要があります。しかも現在、日本の経済システムと産業システムは大転換を迫られており、その詳細な分析が欠かせません。このゼミでは、戦後日本経済の歴史や産業発展の要因について調査し、経済発展において大きな役割をした産業や企業、その産業や企業がかかえている課題などを研究します。下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」で、これまでのゼミの活動を見ることができます。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・授業スケジュール

前期には、一定の文献にもとづいて日本産業の歴史について全般的に調べます。

後期では、個々の産業ないし業界について、ゼミ生ごとやグループごとに調査研究を行います。

以上の調査をふまえて、次年度の演習Ⅲで卒業論文を完成させます。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な調査、発表、発言が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

ふだんの発表や発言を基本にして評価します。各期末にレポートを求めることもあります。

参考書等

授業中にゼミ生と相談して決めます。「テキストの候補」を、上記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲載します。

その他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を演習Ⅲで併設

科目名	担当者名
演習Ⅱ	さいとう 藤 正

講義のねらい

「金融大変革と銀行の役割」をテーマに、望ましい金融システムのあり方について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

金融ビッグバンの展開後、巨大銀行同士の統合や合併、インターネット・バンキング、ソニーやヨーカ堂などによる銀行業務への参入など、金融制度は一大変革の時代を迎えています。

他方、行政は不良債権の「最終処理」なくして景気回復はないという理由から、金融機関に不良債権の早期処理を迫り、「貸し渋り」が広範囲に及んできました。その結果、とくに中小企業や地域経済に深刻な影響を及ぼしています。

演習Ⅱでは、わが国における具体的金融問題を素材としながら、望ましい金融システムの再建方向について考えます。

履修上の留意点

日本社会は現在大きな変革期にあり、日本の将来をどのように描くのかという視点が求められています。金融問題を対象としながら、諸君一人一人が独自の視点を獲得されることを望みます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書

大橋・小西・齊藤・平澤・田村『日本のビッグインダストリー6 金融』（大月書店）

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	さとなか つねし 里 中 恆 志

講義のねらい

この演習の内容は財政学である。演習のテーマは「国債を抱えた財政」とする。このテーマに関する基礎的知識の習得をねらう。

講義の内容・授業スケジュール

質疑応答方式で国債調達に関する資料を読み進む。全員が予習をしてこなければならない。国債累積の限界、国債価格と市場金利、財政乗数、非ケインズ効果、公共債務解消の歴史等について学ぶ。

履修上の留意点

この科目は本年度新規募集の演習である。履修者が演習Ⅰからの持ちあがりでないことを考慮して丁寧に進む。この演習の関連科目として「国民所得論」、「価格理論」、「財政学」の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

最初の演習の時間に指示する。

参考書等

里中恆志＝八巻節夫編著『新財政学』（文眞堂）3,200円 ISBN 4-8309-4195-2 C3303
富田俊基『国債累積のつけを誰が払うのか』（東洋経済新報社）ISBN 4-492-62051-6

その他

4年次の「演習Ⅲ」の履修時には「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	清水卓

講義のねらい

現代ヨーロッパ問題をより体系的にとらえるため、EU 諸国の第二次大戦後の経済発展と EU 統合の歴史と現状の二つの課題を柱に、グローバル化という名のアメリカナイゼーションに対抗し、アメリカや日本とは異なる、西洋の偉大な知恵の結晶である欧州社会の固有の伝統を基礎に「ヨーロッパ・モデル」を追求している EU の動向と、我が国の「改革」路線との比較検討を踏まえて検討します。

また3年次後半からは就職活動が日程に上ってきますが、教員やゼミの先輩、ゼミ仲間の間で有益な情報交換やアドバイスが得られるように運営します。

講義の内容・授業スケジュール

専門文献を精読と、各自のテーマ設定準備を行います。

履修上の留意点

演習Ⅰを参照のこと。

成績評価の方法

演習Ⅰを参照のこと。

教科書

演習Ⅰを参照のこと。

その他

演習Ⅰを参照のこと。

科
専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	代田純

講義のねらい

代田ゼミでは金融について学習し、研究します。日本の金融が中心ですが、海外の金融の動向や日本との比較についても学習します。証券アナリスト、証券外務員の受験指導も実施します。

講義の内容・授業スケジュール

4～7月においては、財務諸表の入門書によって、財務の基礎を学ぶ。夏合宿を経て、9～12月には財務諸表論の本格的学習へと進む。3年生12月には卒業論文のテーマ設定をしてもらう。

履修上の留意点

金融の基礎知識がない人も歓迎します。ただし毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

まず出席が基本です。さらにゼミでの発表、質問など発言によって日常点で評価します。

教科書

ゼミ生と話しあって決めますが、日経文庫『ベーシック財務諸表入門』、佐々木秀一が候補です。

参考書等

斉藤静樹、『財務会計入門』（有斐閣）

その他

全国学生証券ゼミナール大会などの参加も検討します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	すずき のぶ 鈴木 伸枝

講義のねらい

公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックスについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール

三年生のゼミでは、公共経済学のテキストの輪読を中心とします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点

ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

専科
教育
科目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	せとおか ひろ 瀬戸岡 紘

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して経済、社会、経営、文化などを分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬくうえでもとめられる社会的正義感をもった人間を養成すること。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学の演習方式を大胆に採用したゼミです。思考に強くなるための方法、デジタル時代の学習と研究の方法、学ぶ者の社会的責任などをゼミ活動のなかで体得します。

とくに2005年度のばあい、金融グローバル化について非常に緻密に学習しています。そのことをとおして、アメリカをはじめ、世界中で起こっている経済事象を読み解く実力をやしているのです。それまでは単語として聞いたことがあった程度だった経済用語をふんだんに駆使しながら日々の出来ごとを語れるようなゼミ生が確実にそだっています。

あわせて、後輩のゼミ生の世話をすること、日本学生経済ゼミナールの東京大会、全国大会への参加・インターネットや遠隔授業をつうじたアメリカの学生との交流、工場見学や企業訪問など多彩なイベントを企画実行しています。

履修上の留意点

4年次生で卒業論文を作成します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。

アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことが、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役にたちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

その他

〈ゼミ生・卒業生の声〉
このゼミにしていると不思議とやる気がわいてくる。バイクも捨てて、いまはもっと有意義なことにカネをつかっている。

このゼミのいいところは、とにかく実現できること。行きたかった北海道旅行も、海外語学研修も、パソコンの習得も、経済学の勉強も、何でもやりたいことを一緒にやってくれる仲間がいるから。後輩が可愛いから、つい自分も勉強しちゃう。これ、先輩冥利というもの。

自由なのがいい。だから俺たちはいつも元気だ。メリハリがあるのも、いいところだ。大学に何のために来ているかって？ そりゃあ、ほとんどゼミの仲間に出会うため。

ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。

このほか、ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

科目名	担当者名
演習Ⅱ	曾我信孝
講義のねらい	特定の企業の財務状況などを分析し、その企業が展開しているマーケティング戦略を批判検討し、企業のマーケティング能力の分析力を身に着けることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	<p>前期にゼミ生全員が研究テーマを持てるように、いくつか課題を出して、それらを調査・討論していく。研究課題が見つかった学生から随時、分析方法を発表してもらい、夏休み中に不足している分析資料を収集し、論文の執筆を開始してもらう。</p> <p>論文の締め切りは10月末とし、その後論文集の作成をするので、校正等に時間をとる。また、並行して後期は他学年とディベートを計画しているため、チームによる共同研究が必要になる。</p>
履修上の留意点	<p>テーマの設定、資料の収集、分析方法の決定と連続して難しい問題が続きます。しかし、論文の執筆までの最終段階に達しますと相当の実力がつきます。それぞれの段階で壁に当たり苦しむこともあるかもしれませんが、相談できるようにしています。実力を付けようという強い願望のある人のみの受講を期待します。</p>
成績評価の方法	平常点（論文を執筆したもののみを、論文作成過程の態度を考慮に入れて評価する。）
教科書	基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。
その他	授業方法－ゼミ形式

科 専
門 教
育 目

科目名

担当者名

演習Ⅱ

鄭章淵
ちよん ちゃん よん

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰで身につけた基礎知識を土台に、さらに東アジア経済に関する知識を深めるため、次の文献を輪読してもらいます。

北原淳・西澤信善（編著）『アジア経済論』現代世界経済叢書4（ミネルヴァ書房）2004年3,200円＋税

夏期休暇にはゼミ合宿をします。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。また、演習（ゼミ）の特別企画として課外活動をおこなうつもりです。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

その他

4年次に「卒業研究」を併設します。

専科
教育
科目

科目名

担当者名

演習Ⅱ

徳永俊明
とく なが とし あき

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とその中での人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかいについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。（希望者のみ）

科目名	担当者名
演習Ⅱ	ともまつ よしひこ 友松 憲彦

講義のねらい	西洋社会経済史の研究を課題にしています。ヨーロッパやアメリカ経済史の基本文献を講読し、経済史の基礎理論や概念について学びます。
講義の内容・授業スケジュール	演習をおこなうと同時に、各自が設定したテーマについて研究をすすめ、卒業研究のための基礎づくりをします。
履修上の留意点	「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。
成績評価の方法	年度末のレポートと平常点（出席、レジュメ、報告、討論の状態）で評価します。
教科書	最初の授業で指示します。
参考書等	演習を通じて紹介します。
その他	卒業研究を併設します。

科専
門教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	しげ た そういち 繁 田 聡 一

講義のねらい	演習Ⅰの内容を前提に、具体的なテーマを設定して研究します。 インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。 合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。
講義の内容・授業スケジュール	各自で研究テーマを決めて取り組んでもらいます。 ・レポーティング発表 ・研究テーマについてのレジュメ作成及び発表
履修上の留意点	・演習Ⅱでは、就職のための準備など、様々な活動が要求されます。 もちろん、合宿、課外イベント、サブゼミは原則として出席していただきます。 ・メールの読み書きやワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。
成績評価の方法	出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。
教科書	特になし。
参考書等	別途指示。
その他	・ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。 ・演習Ⅲでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名
演習Ⅱ	ひゃく た よし はる 百 田 義 治
講義のねらい	現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。
講義の内容・授業スケジュール	演習Ⅰの継続です。個別・グループ別に決定したテーマについて取り組みます。
履修上の留意点	経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。
成績評価の方法	出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。
教 科 書	稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。
参 考 書 等	未定
そ の 他	「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名
演習Ⅱ	ふく ほら よし のぶ 福 原 好 喜
講義の内容・授業スケジュール	〔ウェーバーとマルクス研究〕 このゼミナールではカール・マルクスの『資本論』やマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の輪読を行う。専門の研究会以外に週1回自由テーマの読書会を持っている。合宿、コンパ、マラソン大会とゼミの行事は多彩であるが、そんな中から真の友人を得、自分なりの勉学態度を身につけてくれればと思っている。若干名募集。
履修上の留意点	「卒業研究」併設。
成績評価の方法	成績は出席点とレポートでつける。

科 目 名	担 当 者 名
演習Ⅱ	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造
講義のねらい	3年演習〔アフリカの社会と文化Ⅱ〕 アフリカに関心を置いた卒業作品の制作に着手する。作品の形態は、個人の好みに合わせ、ルポ、エッセイ、評論など自由に選択する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 卒業作品について数回の中間発表を行う (2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。 (3) アフリカに関連した企画の主要な担い手となる。
成績評価の方法	作品中間発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき評価する。
そ の 他	「卒業研究」を併設する。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

ほり
堀
りゅう
龍
じ
二

講義のねらい

わが国企業の人事・労務管理（人的資源管理）はいま大きく変化しつつあります。雇用、賃金、労働時間、昇進・昇格などの人事制度、能力開発、福利厚生、企業内労使関係といった労務管理のほとんどの領域で、かつて日本的労務管理（あるいは日本の経営）と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。グローバル化、メガコンペティション、情報技術革新、それらに伴う企業・職場組織の再編などがその背景にあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化（フレキシビリティ）、成果主義、個別化などです。こうした変化をどのように把握し、どのように評価するか、自らの働き方（社会への貢献の仕方）として何を望むのか、メンバー同士の語り合いのなかで模索することがねらいです。その際に、諸外国の制度や慣行も比較対照として学習していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

ゼミ生にワーキンググループを作ってもらおう。現代人事労務管理の変容を、①雇用、②賃金、③労働時間、④能力開発、⑤福利厚生（企業年金を含む）、⑥労使関係などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて下調べや報告をし、全員で議論するという形式で進める予定です。また、夏休みなどを利用して合宿（2泊3日程度）や工場・企業見学も行います。

履修上の留意点

1つのテーマのもとにグループメンバーがお互いに協力して調べものをするを楽しい学習と思ってほしい。また、全員が自由に発言できる雰囲気大切にしたい。

成績評価の方法

日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言と参加を中心に評価します。

教科書

共通テキストを用いるかどうかはゼミ生と相談して決めます。

参考書等

ゼミのなかで適宜指示します。

その他

〈卒業研究の有無〉
引き続き演習Ⅲを履修する場合には、履修時に卒業研究を併設します。

科
専
門
教
育
目
録

科目名

担当者名

演習Ⅱ

まつ い りゅう へい
松 井 柳 平

講義のねらい

株式投資や債券投資などの証券投資理論について、その実務における利用に重点を置き、理論的概念的な理解にとどまることなく、「どのように計算するか」、パソコンを用いた実際の計算と具体的な数値の提示を通して、実践的に習得する。

講義の内容・授業スケジュール

ポートフォリオのリターンとリスク マーケット・モデル CAPM 配当割引モデル ランダム・ウォークと市場の効率性 債券価格と利回り イールド・カーブ 金利リスク 信用リスク 債券ポートフォリオ先物の理論価格 先物によるヘッジ 長期国債先物 オプション アセット・アロケーション 国際分散投資 投資パフォーマンスの評価

履修上の留意点

このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。
基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。

教科書

開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。

参考書等

授業のなかで必要に応じて、指示する。

その他

パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習Ⅱ

みぞ て よし かず
溝 手 芳 計

講義のねらい

食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思っています。演習Ⅱでは、これらの問題に関する代表的な見解を見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは3年次生だけで学習しますが、このほか演習Ⅰ（2年次生）等と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点

ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。
ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法

出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書

ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等

食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。

その他

演習Ⅲで「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	もり おか じん 森 岡 仁

講義のねらい	現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。
講義の内容・授業スケジュール	3年次の演習では、これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会的にどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。
履修上の留意点	休まず出席することが演習履修の第一条件である。
成績評価の方法	平常点。
教科書	濱英彦・河野徧果編『世界の人口問題』（大明堂）
参考書等	演習の中で適宜紹介する。
その他	「卒業研究」を併設する。 4年演習 4年次生は追加募集しない。

科 専
門 教
目 育

科目名	担当者名
演習Ⅱ	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏

講義のねらい	財務会計は、企業をとりまく利害関係者の利害調整およびその意思決定に貢献することを目的として発展してきた。さらに、財務会計によってもたらされる情報に信頼性を付与するために会計監査が行われている。したがって、財務会計と会計監査には密接なつながりがあり、財務会計の知識なくして会計監査を深く理解することはできない。本演習においては、財務会計および監査の領域に属する諸問題を、学生相互間の討論を中心として研究していく。
講義の内容・授業スケジュール	まずテキストを用いて財務会計の理論を習得し、その後に監査論の学習に進む。これらの学習は、次年度における卒業研究の基礎となるものである。なお、夏合宿では日商簿記検定試験2級程度の学習を行う。
履修上の留意点	特別な事情がない限り、毎回出席すること。明るく楽しいゼミにしたいと思うので、自主的にゼミを運営できるような、積極的かつ協調の精神に富んだ諸君の参加を期待している。
成績評価の方法	いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにゼミにおける報告（レジュメを含む）・発言内容やゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。
教科書	最初の演習時に指示する。
参考書等	演習時に適宜紹介する。
その他	演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

科目名

担当者名

演習Ⅱ

やしきただみつ
谷 敷 正 光

講義のねらい

テーマ〔日本経済の発展と高度工業化社会の研究〕
3年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因、構造的特質を明らかにし、明治以降、西欧以外の諸国でなぜ日本だけが独立を維持し、高度工業国に脱皮しえたかを解明するとともに、戦後60年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程、その要因を基礎文献や「学術論文」を使って明らかにします。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕 戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造転換期、安定成長期、バブル経済期の各推進要因と各段階の構造的特質を明らかにします。
〔後期〕 「経済大国」が破綻し、戦後の日本経済を支えてきた日本型経済システムが破綻していった過程を考察します。

履修上の留意点

特になし（まじめに出席出来れば可）

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教科書

橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波書店）、
佐和隆光『平成不況の政治経済学』（中公新書）
学術論文

参考書等

速水融他『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）
『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。

専
科
教
育
目

科目名

担当者名

演習Ⅱ

やすもとあのり
安 元 稔

講義のねらい

われわれが現在生活している産業社会は、18世紀後半にイギリスで始まった産業革命に端を発しています。今年度の演習Ⅱでは、18-19世紀のイギリス経済の特質をさまざまな角度から見て行きます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの要約・疑問点・興味を持った点の報告、関連する学術用語・概念等の調査・報告を中心に演習を進めます。

履修上の留意点

学部の講義「経済史」を受講することが望ましい。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書

第1回目のゼミナールの際、指示します。

参考書等

適宜指示します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	山 縣 弘 志 <small>やまがたひろし</small>

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究

講義の内容・授業スケジュール

現代世界のリアリティをどうとらえるかは経済学の重要な責務となっている。テクノロジーの発展が生み出すヴァーチャリティと現実とのギャップをいかに埋めるか、わたし達の知恵が問われているといえる。20世紀に顕在化した課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。後期は自主研究の発表の形で授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書

相談の上決める。

その他

非喫煙者が望ましい。
「卒業研究」有。

科 専
門 教
育

科目名	担当者名
演習Ⅱ	吉 田 敬 一 <small>よしただけいいち</small>

講義のねらい

この演習は日本経済の構造転換問題をグローバルゼーションとの関わりで共同研究し、併せて企業システムの変容の実態を理解することを目的としています。また共同研究を通じて、4年次の卒業研究にチャレンジするテーマをつかむことも3年次の重要な課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観(ものの見方・考え方)を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点

受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、平常点(レジュメ、報告内容、討論への参加度など)およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書

共同研究のテキストは、最初のゼミの時間に指定します。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	吉野 紀 <small>よし の ねむ</small>

講義のねらい

経済状況を「かなり」とか「非常に」といった形容詞を用いて言い表わすのではなく、「数量」や「尺度」を用いることでより客観的に提示することが、私の手法であると、かつてケネーが表明していたが、そうした考え方に軸足を置きつつも、規範的 (normative) な経済の論理を生かすか否かは、良くも悪くも、生身の人間の、教育で生まれたかあるいは伝統として社会全体に受け継がれてきたかの思想(身体に染みついた考え方であり、容易に変革しえない部分)に依存する。

日本社会の底流にあるこうした部分との接点にも目を向けてゆくことにしよう。

成績評価の方法

日常の授業にとり組む姿勢を評価の基準に置く。

教科書

開講時に指示する。

その他

「卒業研究」併設。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅱ	渡邊 恵一 <small>わた なべ けい いち</small>

講義のねらい

本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行なう。演習Ⅱで輪読する文献は、もう少し読みごたえのある専門書へとステップアップしたい。
文献輪読と並行しながら、ゼミとしての共同研究にも着手する。テーマは、受講生の話し合いで決定する。

講義の内容・授業スケジュール

学生が主体となったレポート(報告)&ディスカッション(討論)形式を基本とする。事前に図書館で関連文献を参照するなど、演習Ⅰ以上に能動的な参加姿勢が求められる。学年間の交流も随時行う予定である。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。

成績評価の方法

平常点。必要に応じてレポートを課すこともある。

教科書

開講時に受講生と相談のうえ指定する。

参考書等

演習の中で、その都度紹介する。

その他

演習Ⅲでは、「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名
インターンシップ	谷 敷 正 光

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や学校、教育委員会その他各種団体などで研修生として〈就業（現場）体験〉を積むための制度です。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- ・～4月——演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者の間で実施についての基本的な合意
- ・4月——履修登録
- ・5月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業（現場）体験（2週間程度）、通年の場合もあります。
- ・9～10月——事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- (1) インターンシップは目的意識を持って参加して下さい。
- (2) インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- (3) スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることや長期になる場合（通年）や短期の場合（一定期間）など時期、期間もいろいろです。
- (4) プログラムは大学（担当教員）が主体となる場合、企業や学校等が主体的に運営する場合があります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科 専
目 門
教 育

科目名	担当者名
インターンシップ	小 栗 崇 資

講義のねらい

インターンシップのねらいは、企業や団体での現場実習を通して専門的な就業体験をすることにあります。受講生の自覚と責任がきびしく要求される科目です。

講義の内容・授業スケジュール

次の予定で進めます。
4月～6月 ビジネスインターンシップの講義を受講
7月 インターンシップ先に決定
8月末～9月上旬 2週間程度のインターンシップ研修
9月～10月 研修後のレポート作成

履修上の留意点

このインターンシップは私の演習Ⅱに所属する経済学科の学生しか取れません。演習の中で希望者と相談したいと思います。

成績評価の方法

事前の講義への出席点とインターンシップ研修および事後のレポートで評価します。

教科書

講義の際に必要な資料を配布します。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
インターンシップ	さいとう 齊藤 正

講義のねらい

社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。

講義の内容・授業スケジュール

4月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。
4月に履修登録。
7月に事前研修。
8月から9月上旬にかけて就業体験（2週間程度）
9月事後研修（レポート作成）など

履修上の留意点

受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
インターンシップ	しろた 代田 純

講義のねらい

対象は代田ゼミ所属の学生。税理士事務所、その他で夏季休暇等で補助業務に従事する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記、情報処理の基礎知識を生かした業務に従事する。

履修上の留意点

簿記、情報系の資格取得者が優先される。言葉使いなど、社会性を持つ学生に限定される。

成績評価の方法

出席、レポートで評価する。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
インターンシップ	ともまつ よし ひこ 友松 憲彦

講義のねらい

インターンシップとは、学生が在学中に企業や各種団体で就業体験し、単位認定をする科目です。これによって実社会（現場）の実情を知り、自分の専攻分野や関心領域についての知識を豊富にしながら、大学で学んだ理論や知識を活かした実践的な能力を身につけます。それは将来の職業選択や人生設計、あるいは問題解決能力を高めることにもつながります。

講義の内容・授業スケジュール

企業や各種の団体や組織で2週間程度の就業体験をします。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告、事後研修で提出するレポート等で評価します。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
インターンシップ	徳永俊明

講義のねらい	インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで（就業（現場）体験）をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・～4月—演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者間で実施についての基本的な合意 ・4月—履修登録 ・7月—事前研修 ・8～9月上旬—就業（現場）体験（2週間程度） ・9月—事後研修（レポート作成など）
履修上の留意点	<p>(1) インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。</p> <p>(2) スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。</p>
成績評価の方法	受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。
教科書	事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。 また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。
その他	3年次生のみ履修可能な科目です。

科専門教育
目録

科目名	担当者名
インターンシップ	清水卓

講義のねらい	<p>社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となるとを目的として行われます。</p> <p>履修上の留意点 受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。</p> <p>成績評価の方法</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 4月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。 4月に履修登録。 7月に事前研修。 8月から9月上旬にかけて就業体験（2週間程度）。 9月事後研修（レポート作成）など。
成績評価の方法	受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。
その他	3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	あまの 浅野 かつみ 克巳

講義のねらい

演習Ⅱの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム
4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「収穫逓増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT出版）1997年
小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）2000年

参考書等

内閣府『経済財政白書』その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

科目名	担当者名
演習Ⅲ	あべ 阿部 ひろし 弘

講義のねらい

日本経済の基本的枠組みの把握を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

池上惇『情報社会の文化経済学』、その他を読み、これに対する論文を作成発表（ゼミ論集『アルファ』）することとします。
年間2回の合宿と11月末から12月初めにゼミ論発表会を予定しています。
「卒業研究」（4年次）を併設します。

履修上の留意点

「演習」ですから出席することは基本です。
4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。
合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	あらきよしひろ 荒木勝啓

講義のねらい	経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。
講義の内容・授業スケジュール	4年生は経済変動モデルや数理ファイナンスモデルを構築していく。昨年度は回帰分析モデル、移動平均モデルを使い株式の売買シミュレーションを行なった。
成績評価の方法	オリジナルモデルの作成
その他	C言語やコンピュータシミュレーションの実際をマスターした学生は、就職の際に圧倒的に希望の会社、職種につくことができるというのが実情である。DTPの技能についても同様である。本ゼミとは、そうしたプロフェッショナルな技能を身に付けた上で、その技術をもとにはじめてオリジナルな自己表現をすることができるという現実を知る場であると心得て欲しい。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習Ⅲ	ありいゆきお 有井行夫

講義のねらい	現代日本社会は、経済問題にとどまらず、実に様々な社会問題をかかえています。少子高齢化、過労死、地域社会の荒廃、犯罪の増加、子供たちの学力の低下から、地球温暖化対策や地震災害対策にいたるまで容易に列挙することができますね。これら様々な社会問題の根底には実は企業中心社会という特殊な社会編成原理がすわっています。逆に様々な社会問題は企業中心社会の諸相であり、諸断面なのです。関心のある社会問題を自由に選んでその根底に潜む企業中心社会をえぐりだしてみましよう。演習Ⅰと演習Ⅱとの発展研究がこれです。演習Ⅲでは、以上の観点から卒業研究をまとめます。
成績評価の方法	平常点（出席、レポート、発言）。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	飯田 泰之

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱでの学習内容を継続的に発展させ、卒業研究の形で4年間の学習成果をまとめることを最終目標とする。

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

「卒業研究」を併設する。履修登録時の登録を忘れないこと。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	石川 純治

講義のねらい

卒業論文の指導を行います。

講義の内容・授業スケジュール

夏休み中に、卒業論文のテーマおよびおよ章別構成を仕上げる。後期になってそれを発表しながら完成させていくという作業をします。

成績評価の方法

卒業論文の内容評価。

教科書

その都度指示します。

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二

講義のねらい

企業においては、会計情報が利用される場合、それによって様々な目的が果たされる。その目的と会計上の手法との関係を探ることで、会計が社会的な諸関係の中でいかなる意味を持つものであるのかを明らかにしたい。そのことによって、社会現象のもつ意味を考えるための視点を養うことに努めたい。

具体的には、「卒業研究」の論文作成に取り組むことで、社会現象を分析するための視点を身につけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲでは、ゼミ生各自が研究テーマに関する調査・分析を進め、それを基に「卒業研究」を作成する。

履修上の留意点

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってもらいたい。また、「卒業研究」を開設する。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。なお、「卒業研究」を作成することが、演習の評価にも結びつくので注意すること。

教科書

特に指定しない。ただし、各自の研究に必要な書籍を利用すること。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名
演習Ⅲ	いわ した ひろ 岩 下 弘

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。多国籍化している大手小売資本の企業行動＝経営戦略とそれに対する海外諸国の公共政策を、日本の政策と比較しながら検討する。

小売資本に対する公共政策の国際比較

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。卒論は別に指導。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科目名	担当者名
演習Ⅲ	岩瀬弘和

講義のねらい

卒業論文作成を中心にゼミを進めます。各自の研究内容における問題点を明確にし、それについて全員で討論・アドバイスをすることで、お互いの卒業論文の内容を高めていくことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- ・研究計画書作成、論題の提出
 - ・研究テーマに関する調査・分析
 - ・レジュメ作成、レポート作成、発表
- を行い、最終的に卒業論文を完成させます。

履修上の留意点

- ・ゼミへの積極的な参加を期待しています。
- ・追加募集は致しません。
- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法

出席、発表とレポートの内容、積極的な討議への参加など、平常点による総合評価を行います。

教科書

特に指定せず、各自の研究に必要な書籍を利用します。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

ゼミはパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。卒業研究（論文及び作品）を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	岩波文孝

講義のねらい

グローバル化の進行や敵対的買収の頻発など社会・経済的環境が著しく変化しており、企業と経営活動のあり方が問い直され始めています。日本やアメリカにおいても、一連の企業不祥事が表面化し、企業経営や経営者の行動に対するチェックあるいはモニタリングの強化が求められています。

本演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システムを中核として、現代の企業経営の課題を多面的に検討していきたい。それを通じて、現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた公正・効率的な企業経営システムの構築に向けた課題を追究し、ゼミ論文・卒業研究を執筆していきます。

講義の内容・授業スケジュール

各ゼミ生の「ゼミ論文」あるいは「卒業研究」報告を中心に討論し、「ゼミ論文」・「卒業研究」の作成に取り組みます。

合宿では、各ゼミ生のゼミ論文・卒業研究テーマの報告とともに、現代の企業経営が抱える諸問題について討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加など平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	大石雄爾

講義のねらい

2年次・3年次の活動成果を「卒業論文」としてまとめること、そのための準備と執筆が主な活動となります。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自が就職活動に専念し、自分の性格や能力に適した、やりがいのある仕事や就職先を見つけるための活動をします。
後期には、卒業論文作成のために詳細なレジメを作成し、執筆にとりかかります。提出された論文は、ゼミ活動の思い出として残るよう、『経済学ゼミ論集』（大石ゼミ発行）にまとめられます。

履修上の留意点

原則として平常点ですが、「卒業論文」が提出されない場合には、演習Ⅲの単位を取り消すことがあります。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

その他

- ①「卒業研究」を併設します。
- ②コース制との関連：いずれのコースを履修してもよい。

科
専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅲ	大吹勝男

講義の内容・授業スケジュール

現代日本企業の物流に係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。「演習Ⅱ」のテーマの、より高度な内容とする。

成績評価の方法

ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「卒業研究」も併せて開講する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	小栗崇資

講義のねらい

新規募集せず。

講義の内容・授業スケジュール

各自の研究テーマについて調査・研究を進め、卒業研究に結実するように指導したい。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

演習の中で指示。

参考書等

演習の中で指示。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	小杉修二

講義のねらい

問題の解決学習をする予定である。人類が工業文明の成果をひきつぎながら、衣食住の需要を満たし、なおかつ、楽しく暮らせる社会について考えられないかどうか検討してみよう。ゼミは学生のレポートと討論が中心になるが、その実現は学生諸君の熱意に頼るところが大きい。最近、本ゼミで重視しているのは、対立する正反対の意見を素材とするダイバイトである。これは仮想討論ではあるが、こうした経験を通じて、自分の意見を表明したり、他の意見とぶつかり合う訓練として役立つことを期待している。諸君の意欲的な参加を待つ。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心とする。

その他

「卒業研究」を併設する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅲ	小林正人

講義のねらい

テーマ：「戦後の日本経済と産業発展」
このゼミでは「卒業研究」（卒業論文のみ）の作成を指導します。これにより各ゼミ生は、4年間の経済学部での学習と研究を集大成します。
3年生までのゼミでの調査や研究をふまえて、各ゼミ生が自発的に研究したい産業ないし業種についてテーマを決め（一般的な産業問題、あるいは生活経済の問題でもよい）、その特徴、歴史や現状、問題点や課題などを卒業論文にまとめます。

講義の内容・
授業スケジュール

「卒業論文の提出までに必要な段階」として、文献研究発表、参考文献一覧の提出、論文の予定目次と題名の発表、卒論の本論の中間発表、指導教員による最終稿の事前審査などがあります。
審査を通った論文は、卒業論文集（仮称『現代産業学生論集』）として編集し、印刷、製本します。したがって、卒業論文の最終稿はワープロにより一定の書式に従って提出します。
詳細は下記のウェブサイトの「ゼミのひろば」に掲示します。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

上記の「卒業論文の提出までに必要な段階」を踏んだかどうかを評価します。

参考書等

各ゼミ生が選んだ文献以外に、ゼミ全体で必要な参考文献があれば、授業中にゼミ生と相談して決めます。

その他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	さいとう 藤 正

講義のねらい

演習Ⅰ・Ⅱの集大成としてゼミナール論文（「卒業研究」）の作成をめざします。テーマは自由ですが第1回目の授業までにテーマを確定してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は就職活動等で全員が揃うことは難しいことが予想されますが、就職情報を交流したり、新聞記事を題材に議論するのが慣例となっています。就職活動を通じて社会への関心が深まったり、勉学への新たな意欲が湧いてくるケースも少なくなく、飛躍的に成長できる時期でもあります。

後期はゼミ論の完成に向けて、報告・議論を積み重ねていきます。

履修上の留意点

4年生は学生時代の締めくくりの年です。勉学面でも、生活面でも社会人への備えが求められます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名
演習Ⅲ	さとなか つねし 里 中 恆 志

講義のねらい

この演習のテーマは「国債を抱えた財政」である。各自の問題意識を財政経済の視点からとらえて検討思考し、主張を「卒業研究」の論文にまとめてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

6月段階で各ゼミ生の卒業研究の論題が決まるのでその後は順番を決めて順次論文の中間報告を求め問題点を指導する。12月には「卒業研究」の論文発表会の機会を作る。

履修上の留意点

この演習の演習の関連科目として「国民所得論」、「価格理論」、「財政学」の履修が望ましい。

成績評価の方法

「演習Ⅲ」については平常点により成績評価する。「卒業研究」については論文により評価する。

教科書

富田俊基『国債累積のつけを誰が払うのか』（東洋経済新報社）ISBN4-492-62051-6

参考書等

里中恆志＝八巻節夫編著『新財政学』（文眞堂）3,200円 ISBN4-8309-4195-2 C3303

その他

授業の方法は「卒業研究」の論文指導が中心になる。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	清水卓

講義のねらい

自分が決めたテーマでゼミ論文あるいは「卒業研究」を作成するのが課題です。一生の思い出になるよう、大学時代の学習の総まとめとして真剣に取り組んでもらいたいと思います。

履修上の留意点

演習Ⅰを参照のこと。

成績評価の方法

演習Ⅰを参照のこと。

教科書

演習Ⅰを参照のこと。

その他

演習Ⅰを参照のこと。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名
演習Ⅲ	代田純

講義のねらい

金融についての研究

講義の内容・
授業スケジュール

就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。

成績評価の方法

卒業論文の提出、内容で評価する。

教科書

特に決めない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	鈴木伸枝

講義のねらい

公共経済学のゼミで学んだ知識を生かし、自らの興味をもった事柄について論文を書いてもらいます。

成績評価の方法

出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書

受講者と相談して決定します。

その他

「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	瀬戸岡 紘

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化など各自の学習と研究の成果を卒業論文にまとめます。何をテーマにとりあげるかは、各自の希望で決定します。現代経済過程の成功例、失敗例どちらも最も豊富にもっているアメリカの経験を参照するところから、意外な結論をひきだせるなら卒論は成功といえましょう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の検討と完成が年間の最大の課題です。各自の論文の構想は、ゼミ生全体からのコメントを受けることでねりあげられます。他方、各ゼミ生は他人のテーマに関与することで耳学問としての幅広い知識と教養を得ることができます。また数百人におよぶ当ゼミ卒業生との交流をつうじて、就職・進学・留学の準備をします。そのほか、日本学生経済ゼミナールへの後輩の参加を後援したり、インターネットや遠隔授業をつうじた海外の学生との交流をリードしたり、工場見学などゼミの各種イベントにスーパーバイザーとして後輩を支援します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教科書

卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が教科書になりますが、それは個々人で異なります。

参考書等

卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が参考書になりますが、それは個々人で異なります。

その他

このゼミは、卒業生のほか、外部の人も参加・協力してくれることの多いゼミです。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、ゼミ生作成による下記のホームページにアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名
演習Ⅲ	曽 我 信 孝

講義のねらい

企業のマーケティング能力の全般的な分析力が身に着くことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は2～3の企業を選択し、それぞれの企業で展開されている特徴的なマーケティング戦略を検討したものを発表、あるいはレポート提出してもらう。
 後期は、前半にホットなマーケティング問題を取り上げ、全員で議論する。後半は他学年とディベートをするためのチーム研究に時間をとる。
 並行して、卒業研究の指導もする。

履修上の留意点

4年生は就職活動にエネルギーを多く費やさなくてはならないだろうが、チームによる共同学習などもあるので、時間を有効に使えるようにして欲しい。

成績評価の方法

平常点（授業中の発表、レポート、チーム学習などから判断する。）
 卒業研究に関しては、論文の内容をもって評価する。

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法－ゼミ形式

科目名

担当者名

演習Ⅲ

鄭 章 淵

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ・Ⅱでの学習を基礎に「卒業研究」の作成をします。ゼミ生各自のテーマに従い個別指導を行います。

成績評価の方法

出席率、卒業研究の内容を参考に評価します。

その他

「卒業研究」を併設します。

専
門
教
育
目

科目名

担当者名

演習Ⅲ

徳 永 俊 明

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とその中での人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさや貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさや貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にし考えを深めます。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。（希望者のみ）

科目名	担当者名
演習Ⅲ	ともまつよしひこ 友松憲彦

講義のねらい	演習Ⅱ（3年）で開始した研究を継続発展させ、卒業研究をまとめます。
講義の内容・授業スケジュール	文献講読と卒業研究の中間報告を並行しておこないます。
履修上の留意点	「経済史」、「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。
成績評価の方法	平常点（報告や討論の状態）と出席で評価します。
教科書	最初の授業で指示します。
その他	卒業研究を併設します。

科専門
目教育

科目名	担当者名
演習Ⅲ	ひゅくたよしはる 百田義治

講義のねらい	本演習は演習Ⅰ・Ⅱの継続として位置づけています。現代企業の経営管理に関わるテーマを中心に、演習Ⅱの夏休み後に決定した卒業論文の作成に取り組みます。
講義の内容・授業スケジュール	演習Ⅰ・Ⅱの継続です。各人のテーマについて「卒業研究」に取り組みます。
履修上の留意点	経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。
成績評価の方法	出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。
教科書	未定
参考書等	未定
その他	「卒業研究」（4単位）を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	福原好喜

履修上の留意点	原則として4年生からの募集は行わない。
成績評価の方法	成績は出席点とレポートでつける。
参考書等	福原好喜『総理に忠告す——日本経済危機水域に入れり——』、『Warm Heart』、『我も生命 汝も生命』

科目名	担当者名
演習Ⅲ	古沢紘造

講義のねらい	4年演習〔アフリカの社会と文化Ⅲ〕卒業作品を完成する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 卒業作品について2回の間発表会と、公開発表会を行う。同時に作品の展示会を開催する。 (2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。 (3) アフリカに関連した企画のサポーター役を務める。
成績評価の方法	作品発表、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。
その他	「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	堀龍二

講義のねらい	演習ⅠとⅡの履修を前提にし、その集大成として各自が興味あるテーマに関して論文ないし本格的レポートを作成することを目指す。テーマは広く労働に関連する問題が望ましい。
講義の内容・授業スケジュール	各自のテーマに沿って、調べたことや纏めたことを、逐次報告してもらい、全員で討論・アドバイスを形式で進める。あわせて、問題意識の深め方、情報収集の仕方・整理、論理的な記述の方法、レポートや論文の作法なども身に付けていくことにする。
履修上の留意点	興味をもった問題の検討をまとめるという作業は考えることそのものである。そうした作業は必ずや役に立つ。
成績評価の方法	ゼミでの積極的な姿勢、レポート・論文への取り組みと成果で評価します。
教科書	ゼミ生と話し合って決定します。
参考書等	適宜指示します。
その他	「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	まつ いりゅう へい 松 井 柳 平

講義のねらい	卒論を完成させる。
講義の内容・授業スケジュール	卒論指導。
履修上の留意点	受講生は、3年次からの継続に限る。
成績評価の方法	成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。
教科書	必要な場合、輪読をおこなう。テキストは、ゼミ生と面談の上、決定する。
参考書等	授業のなかで必要に応じて、指示する。
その他	「卒業研究」を開設する。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習Ⅲ	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計

講義のねらい	食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。演習Ⅲでは、ゼミ生自身の考えを整理し、表現する力の取得を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。
履修上の留意点	ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。
成績評価の方法	出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。
教科書	ゼミ生の希望を聞いて決定します。
参考書等	必要に応じて紹介します。
その他	「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行

講義のねらい

演習Ⅰ、Ⅱの勉強をもとに、総仕上げとしてのゼミ論文を完成させることが演習Ⅲの最大の目的です。ゼミ論文については、その内容はもとより、論文としての形式や体裁についても指導します。なお、「卒業研究」を併設します。ゼミ論文の完成の直前の時期には合宿（2泊3日程度）を行い、また、ゼミ論文の発表会の場とします。ゼミでの勉強の総仕上げとしての意味をもつ合宿です。全員参加を原則とします。

成績評価の方法

ゼミ論文の完成度によって評価します。ゼミ論文未提出者は単位を認定しません。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	もり おか じん 森 岡 仁

講義のねらい

「卒業研究」の論文作成。
(新規募集はしない)

講義の内容・
授業スケジュール

各自が決定した論文のテーマに沿って議論を重ね、最終的には論文の完成を目指す。

成績評価の方法

出席状況。

教科書

特に使用せず。

参考書等

論文テーマに沿って適宜指示する。

その他

「卒業研究」を併設。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏

講義のねらい

本演習は「卒業研究」（卒業論文）の研究報告を中心に行う。卒業論文のテーマは、演習Ⅰおよび演習Ⅱにおいて習得した財務会計および監査の知識にもとづき、これらの領域から各人が自由に決定することを原則とする。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文の報告は、テーマの選定、章立ての決定、内容の報告の順に進める。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。なお、原則として4年生の新規募集は行わない。

成績評価の方法

最終的な卒業論文の内容はもとより、その作成過程における報告内容（レジュメを含む）、さらにはゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。卒業論文未提出者には単位を認定しない。

教科書

原則として使用しない。

参考書等

演習時に適宜紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	谷 敷 正 光 や しき ただ みつ

講義のねらい

テーマ〔教育経済の研究〕
4年ゼミは、産業人の育成に大きな影響を与えた近代教育の発展を日本経済の構造分析、日本経済の発展との関連において各自が自由に論題を設定して研究し、ゼミ論文を完成することになっています。

講義の内容・授業スケジュール

〔4年ゼミ〕は、就職活動で欠席する人も多数いるので、ディスカッションが難しくなります。したがって文献を使って、人材養成の基礎をなす教育が日本経済の発展と不可分の関係においておし進められてきた過程を検証したいと思います。
〔卒業研究〕は、2年生からゼミで研究してきた集大成として各自が自由に論題を設定し、論文の作成をすすめます。詳細は3年ゼミで説明します。
研究の基礎資料は提供できるものは提供しますが、足りない所はインターネットを利用したり、図書館で資料収集をします。図書館での資料の収集の仕方は、授業中に指導します。

成績評価の方法

基本的には出席、平常でのゼミ活動状況と完成したゼミ卒業論文で評価します。

教科書

尾崎ムゲン『日本の教育改革－産業化社会を育てた130年』（中央公論新社）

参考書等

各自の論題によってその都度お知らせします。

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。「卒業研究」の進め方は3年ゼミの終りに具体的に説明します。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名
演習Ⅲ	山 縣 弘 志 やま がた ひろ し

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究を進め、論文作成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

3年次から継続。就職活動に取り組みながら、各自の自主研究の発表を行ない、論文の形にまとめていく。

成績評価の方法

出席、発表、討論参加を総合評価する。

その他

「卒業研究」有。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	吉田敬一

講義のねらい	この演習では大学生生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行いません。
講義の内容・授業スケジュール	演習Ⅲでは、これまでの共同研究を踏まえて、卒業研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行いません。
履修上の留意点	演習Ⅲは卒業研究の作成を中心課題としているため、少なくとも演習Ⅱをすでに履修していることが前提となります。
成績評価の方法	出席状況、平常点（卒業研究作成指導への対応姿勢など）、卒業研究の内容を中心に総合的に評価します。
教科書	使用しません。
参考書等	卒業研究の課題に応じて個別に紹介します。
その他	演習Ⅲでは原則として「卒業研究」を作成することが求められます。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	吉野紀

講義のねらい	基本的な方向は演習Ⅱの延長線上にある。変わりゆくものは事実であり、変わらぬものは美を与えるが、もし演習Ⅱに比べて色彩にいろどりが加わるとすれば、この真実と美の実像をより豊富に示すことにあるかもしれない。
成績評価の方法	日常の授業姿勢を評価の基準とする。
教科書	開講時に指示する。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	渡邊恵一

講義のねらい	近現代日本の経済史・経営史に関連したテーマにもとづく卒業論文の執筆を指導する。受講生は、可能な限り原資料や統計書を探し出してまとめることを目指し、実証度の高い分析を行うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、目次構成の検討、論文や図表の作法習得、先行研究のサーベイ、資料・統計データの収集といった基礎的作業をきちんとこなす時期にあてる。夏季休業を経た後期は、出来上がった草稿について逐次添削・指導を行い、論文の完成度を徐々に高めていきたい。
履修上の留意点	受講生の新規募集は行わない（演習Ⅱの継続者のみ）。
成績評価の方法	卒業論文の完成度（執筆過程で投入された労力の大きさを含む）で評価する。
参考書等	個別指導を通じて、適宜紹介していく。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.707)

*他学部履修科目は、3年次生以上を対象とします。

他履
学修
部科目

Ⅲ. 他学部履修科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
西洋思想史	経A・商・経B	通年	4	柴野博子	461
日本民俗学	経A・商・経B	通年	4	谷口貢	461
時事英語	経A・商・経B	通年	4	サンダース, L. P.	462
地理思想史	経A・商・経B	通年	4	休講	/
地形学	経A・商・経B	通年	4	平井幸弘	462
人口地理学	経A・商・経B	通年	4	山内昌和	463
文化地理学	経A・商・経B	通年	4	小田匡保	463
応用地理学	経A・商・経B	通年	4	高木正博	464
現代地理学特論	経A・商・経B	通年	4	佐藤哲夫	464
日本史特講Ⅶ〔近代〕	経A・商・経B	通年	4	熊本史雄	465
考古学特講Ⅲ	経A・商・経B	通年	4	設楽博己	465
西洋文化史	経A・商・経B	通年	4	石田恵子	466
哲学史	経A・商・経B	通年	4	山口祐弘	466
産業・職業社会学	経A・商	通年	4	小川慎一	467
マス・コミュニケーション論	経A・商	通年	4	休講	/
社会福祉発達史	経A・商・経B	通年	4	休講	/
西洋法制史	経A・商・経B	通年	4	北野かほる	468
英米法	経A・商・経B	通年	4	北野かほる	469
国際政治学	経A・商・経B	通年	4	小堀訓男	470
ヨーロッパ政治史	経A・商・経B	通年	4	浦田早苗	470
地方自治法	経A・商・経B	通年	4	富井幸雄	471
比較政治学	経A・商・経B	通年	4	三竹直哉	472
現代国家論	経A・商・経B	通年	4	大塚桂	473
比較憲法	経A・商・経B	通年	4	館田昌子	474
国際経営論	経A・商・経B	通年	4	茂垣広志	475
経営分析論	経A・商・経B	通年	4	片桐伸夫	476
経営情報論	経A・商・経B	通年	4	高井徹雄	477
情報理論	経A・商・経B	通年	4	西村和夫	478
経営統計	経A・商・経B	通年	4	長国強	479
医療経済学	経A・商・経B	半期	2	永山くに子	480
メディア・コミュニケーション概論	経A・商・経B	半期	2	西岡洋子	481
ネットワークコミュニケーション論	経A・商・経B	半期	2	[19年度開講予定]	/
情報メディア産業論Ⅰ	経A・商・経B	半期	2	[19年度開講予定]	/
比較メディア制度論	経A・商・経B	半期	2	[19年度開講予定]	/
都市とメディア	経A・商・経B	半期	2	[19年度開講予定]	/
グローバルアート政策論	経A・商・経B	半期	2	[19年度開講予定]	/
グローバル創造都市論	経A・商・経B	半期	2	[19年度開講予定]	/
情報保護と社会	経A・商・経B	半期	2	[19年度開講予定]	/
映像コンテンツ論	経A・商・経B	半期	2	[20年度開講予定]	/
メディアと知識論	経A・商・経B	半期	2	[20年度開講予定]	/
異文化コミュニケーション	経A・商・経B	通年	4	奥原淳子	482
女性史	経A・商・経B	通年	4	休講	/
文化概論	経A・商・経B	通年	4	休講	/

他学部
履修科目

メディアと表現	経A・商・経B	通年	4	休講	
時事英語	経A・商・経B	半期	4	岡本誠	483

他履
学修
部科目

科目名	担当者名
西洋思想史	柴野博子

講義のねらい

カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し（4・5月）、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です（6・7月）。
後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ（9・10月）、ベルクソン、デールタイ（11月）など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学的一端にも触れたいと思っています（12月）。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名
日本民俗学	谷口貢

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他学部
履修科目

科目名

担当者名

時事英語

サンダース, L. P.

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名

担当者名

地形学

平井幸弘

他履修科目
学部

講義のねらい

私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所がもっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面と地形環境誌的な側面の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 1. 地形発達のバックグラウンド
気候変動 海水準変動 地殻変動
- 2. 様々な地形：関東地方を例に
火山地形 河岸段丘 丘陵地 扇状地と自然堤防 三角州と干潟 海跡湖
- (後期) 3. 日本各地の水辺の環境問題—応用地形学の視点から—
中海・飯梨川デルタ 吉野川・第十堰 那賀川の旧河道 加茂湖周遊 穴道湖一周 浜名湖の湖底伝説

履修上の留意点

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

成績評価の方法

出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書

平井幸弘『水辺の環境ガイド—歩く・読む・調べる—』（古今書院）2005年

参考書等

- 貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』（東大出版会）2000年
- 加藤 真『日本の渚—失われてゆく海辺の自然—』（岩波新書）1999年
- 五十嵐敬喜・小川明雄『公共事業は止まるか』（岩波新書）2001年

その他

高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

科目名	担当者名
人口地理学	山内昌和

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）
 〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因
 〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因
 〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴
 〔世帯の分析〕人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握
 〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
 〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因
 〔将来人口の推計〕将来人口推計ならびに世帯数の将来推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際、世帯主率法による世帯数の将来推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜指摘する。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名
文化地理学	小田匡保

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名**担当者名**

応用地理学

高木正博

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあい、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野
2. 河川流域の水収支
3. 日本の河川流況特性
4. 河成平野の地形分類と防災
5. 河道治水から流域治水へ
6. 水防の再構築
7. ダムと森林
8. 日本の水利用
9. 農業用水の利用と問題点
10. 渇水とは…
11. 水資源の有効利用
12. 農業用水を考える
13. 多摩川における水利権の変遷
14. 地域用水と環境用水
15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

試験は、年末(授業最終日)に実施予定の教場試験1回。その他、夏休みのレポート、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他履修科目
学部**科目名****担当者名**

現代地理学特論

佐藤哲夫

講義のねらい

東南アジアの環境問題や地域問題について知ると同時に、地形図やリモートセンシング画像を利用して、海外地域を調査する技術も学びます。

講義の内容・授業スケジュール

タイなどを題材にして講義を行います。地形図の読図やリモートセンシング画像の判読、土地利用図の作成などの実習的な作業課題も課します。

履修上の留意点

地図の読図・作図作業の嫌いな人には向いていません。

成績評価の方法

課題の提出(50%)と前期末・後期末の試験(50%)によって評価します。

参考書等

授業に必要な資料は配布します。

科目名	担当者名
日本史特講Ⅶ〔近代〕	熊本史雄

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

他
修
科
目
部

科目名	担当者名
考古学特講Ⅲ	設楽博己

講義のねらい

顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたくさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。さらに縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品をとりあげ、その特徴や性格について考える。後期は弥生・古墳時代の線刻人面絵画や埴輪を取り上げ、その特徴や縄文時代の造形からの変化とその意味するところを考える。また、古代の人面墨書についても取り上げる。

履修上の留意点

講義中の私語は慎むようにしてください。

成績評価の方法

年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。

教科書

とくになし。

参考書等

その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、(佐原真・春成秀爾1997『原始絵画 歴史発掘5』講談社)に目を通しておくこと。

科目名	担当者名
西洋文化史	石田恵子

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追い、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

他履修科目
学部

科目名	担当者名
哲学史	山口祐弘

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名

担当者名

産業・職業社会学

小川 慎一

講義のねらい

日本の仕事のありかたを、社会学や隣接領域の知見に基づき説明する。日本的雇用慣行や、そのライフスタイルや技術革新との関係についても触れる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

各トピックスにつき1～2回程度の講義をおこなう。括弧内は教科書の該当する章を示す。

前期

後期

①イントロダクション

①前期分の小テスト

②若者と仕事（第7章）

②技術革新と仕事の変化（第3章）

③年功制の変化と実態（第1章）

③女性の就業構造（第4章）

④長期安定雇用（第1章）

④雇用形態の多様化（第9章）

⑤失業と転職（第5章）

⑤ライフスタイルと就業意識（第6章）

⑥労働組合（第11章）

⑥ライフスタイルと生活時間（第8章）

⑦労力開発（第2章）

⑦仕事からの引退（第10章）

⑧中間まとめ

⑧最終まとめ

履修上の留意点

迷惑行為や虚偽の出席申告をする者には、事前の警告なしに単位を与えないことがある。

成績評価の方法

出席（30点）＋小テスト（20点）＋最終テスト（40点）＋発言（10点）。

教科書

佐藤博樹・佐藤厚編『仕事の社会学——変貌する働き方』（有斐閣）2004年 2,000円＋税
ISBN4-641-18313-9

参考書等

講義中に指示する。

その他

講義形式だが、受講者の発言を求めし出席もとる。レジュメを配布するが板書もする。

他学部
履修科目

科目名

担当者名

西洋法制史

きたの
北野かほる

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修科目
他学部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内客の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

他学部
履修科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名**担当者名**

国際政治学

小堀訓男

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

他履修科目
学部**科目名****担当者名**

ヨーロッパ政治史

浦田早苗

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名

担当者名

地方自治法

とみ い ゆき お
富 井 幸 雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジュメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他学
部
履修
科目

科目名**担当者名**

比較政治学

三竹直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2005年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2005年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2005年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』（講談社現代新書）

他にも指定する可能性はあります。

ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

その他

この文章は2005年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2006年4月に授業用ホームページに掲載します。

<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名
現代国家論	大塚桂

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳令
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
 レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
 ※なお、B方式のみ追試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

他学部
履修科目

科目名**担当者名**

比較憲法

たて だ しょう こ
館 田 晶 子

講義のねらい

本講は、他国の憲法の成立・発展過程や理論的背景を学ぶとともに、これら憲法と日本国憲法との比較を通じて日本国憲法の意味と意義とをより深く理解することを目的とする。授業は講義形式で行う。歴史的な視点を重視し、我が国の憲法にとりわけ重要な影響を与えてきた欧米の憲法を中心に講義を進めたい。概要は以下のとおり。

- ・比較憲法の意義
- ・イギリス憲法の歴史と特色
- ・フランス憲法の歴史と特色
- ・ドイツ憲法の歴史と特色
- ・アメリカ合衆国憲法の歴史と特色
- ・日本国憲法への影響

履修上の留意点

出席はとらない。受講の妨げになる一切の行為を禁ずる。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

教科書は使用しない。レジュメを配布し、これを用いて講義を進める。

参考書等

参考書などは講義中に適宜紹介するほか、以下のものが有用である（講義では必ずしも使用しない）。

- ・樋口陽一・吉田善明編『解説世界憲法集 第4版』（三省堂）
- ・阿部照哉・畑博行編『世界の憲法集第3版』（有信堂）
- ・樋口陽一『比較憲法 全訂第3版』（青林書院）
- ・阿部照哉編『比較憲法入門』（有斐閣）

その他

授業中に配布したレジュメと授業のポイントを、ウェブサイトを通じて参照できるようにする予定である。URL等の詳細は初回の講義時に説明する。

他履修科目
学部

科目名**担当者名****国際経営論**

茂垣広志

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。

他
履修
科目
部

科目名**担当者名**

経営分析論

かたぎり のぶ お
片 桐 伸 夫

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法と体系的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで始めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

高井徹雄他著『基礎から学ぶ経営科学』（税務経理協会）2,600円

科目名

担当者名

情報理論

にしむら かずお
西村和夫

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解読
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査術(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2~3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論

講義内容のページ: <http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

他履修科目
学部

科目名**担当者名**

医療経済学

ながやま
永山 くに子**講義のねらい**

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

**講義の内容・
授業スケジュール**

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑮は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鶴田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川渕孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

他履修
学部科目

科目名**担当者名**

メディア・コミュニケーション概論

にし おが よう
西岡 洋子**講義のねらい**

本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- ① イントロダクション：コミュニケーションとメディア
 - (ア) メディアの多様化
 - (イ) コミュニケーション・モデルとコミュニケーションの種別
- ② 個人レベルのコミュニケーションとメディア
 - (ア) 人と人とのコミュニケーション
 - (イ) 生活におけるメディア
 - (ウ) 電話コミュニケーション
- ③ グループのコミュニケーションとメディア
 - (ア) 企業内
 - (イ) コミュニティ内
 - (ウ) 集団行動・社会運動
- ④ マス・コミュニケーションとメディア
 - (ア) マス・コミュニケーションとメディア
- ⑤ グローバル時代のコミュニケーションとメディア
 - (ア) 国際コミュニケーションとメディア
 - (イ) 情報化社会のコミュニケーションとメディア
 - (ウ) インターネットのコミュニケーション
- ⑥ まとめ

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

期末試験、講義中の小テスト、出席による。

教科書

適宜指定。

参考書等

『情報通信白書』 <http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/index.html>
 船津衛（著）『コミュニケーション入門』（有斐閣アルマ）
 池田謙一（著）『コミュニケーション：社会科学の理論とモデル』（東京大学出版）

他学部
履修科目

科目名

異文化コミュニケーション

担当者名

おくはらじゅんこ
奥原淳子

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下にあつて、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- 「日本人」とは？
日本人というのは誰をさすのか。
日本にはどんな「日本人ではない人」がいるのか。
- 「コミュニケーション」とは？
それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- 「日本」と諸外国との関係は？
日本はどのようにメディアに映されているのか。
我々は諸外国をどう捉えているのか。
- 非言語コミュニケーションとは？
非言語コミュニケーションはどんなことを指すのか。
日本人の非言語コミュニケーションにはどのような特徴があるか。
- 「日本の社会・文化」とは？
「日本はどんな国ですか」、「今、日本ではどんなことが問題となっていますか」という問いにどう答えるか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心となる活動となります。従つて、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。
尚、受講者の人数、能力などに依つて一部授業内容を変更する可能性があります。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

教科書

プリント使用。

参考書等

開講時指示します。

履修科目
他学部

科目名**担当者名**

時事英語

岡本 誠

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でして言えば“Current English”ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

他学
履修
科目

履修科目
他学部

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

〔日本事情〕
〔日本語〕

Ⅳ. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門Ⅰ a	経A・商	半期	1	吉田路子	489
日本語入門Ⅰ b	経A・商	半期	1	吉田路子	489
日本語入門Ⅱ a	経A・商	半期	1	吉田路子	490
日本語入門Ⅱ b	経A・商	半期	1	吉田路子	490
日本語Ⅰ a	経A・商	半期	1	佐野典子	490
日本語Ⅰ b					
日本語Ⅰ a	経A・商	半期	1	多田羅哲子	491
日本語Ⅰ b	経A・商	半期	1	多田羅哲子	491
日本語Ⅱ a	経A・商	半期	1	佐野典子	491
日本語Ⅱ b					
日本語Ⅱ a	経A・商	半期	1	多田羅哲子	492
日本語Ⅱ b	経A・商	半期	1	多田羅哲子	492
日本語Ⅲ a	経A・商	半期	1	多田羅哲子	492
日本語Ⅲ b	経A・商	半期	1	多田羅哲子	493
日本語Ⅲ a	経A・商	半期	1	湯村礼子	493
日本語Ⅲ b					
日本語Ⅳ a	経A・商	半期	1	石川守	494
日本語Ⅳ b	経A・商	半期	1	石川守	494
日本語Ⅳ a	経A・商	半期	1	湯村礼子	495
日本語Ⅳ b	経A・商	半期	1	湯村礼子	495
日本語Ⅴ a	経A・商	半期	1	石川守	496
日本語Ⅴ b	経A・商	半期	1	石川守	496
日本語Ⅴ a	経A・商	半期	1	多田羅哲子	497
日本語Ⅴ b	経A・商	半期	1	多田羅哲子	497
日本語Ⅵ a	経A・商	半期	1	石川守	497
日本語Ⅵ b	経A・商	半期	1	石川守	498
日本語Ⅵ a	経A・商	半期	1	多田羅哲子	498
日本語Ⅵ b	経A・商	半期	1	多田羅哲子	498

「日本語」
「日本事情」

《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情Ⅰ〔地理〕	経A・商	半期	2	高橋健太郎	499
日本事情Ⅱ〔自然〕	経A・商	半期	2	清水善和	500
日本事情Ⅲ〔歴史〕	経A・商	半期	2	浅倉直美	501
日本事情Ⅳ〔思想〕	経A・商	半期	2	菅原光	501
日本事情Ⅴ〔社会〕	経A・商	半期	2	坪井健	502
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	経A・商	半期	2	三竹直哉	503
日本事情Ⅶ〔文学〕	経A・商	半期	2	勝原晴希	503
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	経A・商	半期	2	菅原光	504
日本事情Ⅸ〔経済〕	経A・商	半期	2	小林正人	504
日本事情Ⅹ〔経営〕	経A・商	半期	2	羽鳥茂	505

〔日本事情〕
〔日本語〕

科目名	担当者名
日本語入門 I a	よし だ ふき 子 吉 田 露 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門 I b	よし だ ふき 子 吉 田 露 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ a	よし だ ふき こ 吉 田 露 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ b	よし だ ふき こ 吉 田 露 子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方や、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語Ⅰ a	ま の のり こ 佐 野 典 子
日本語Ⅰ b	

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語 I a	多田羅 哲子

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語 I b	多田羅 哲子

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名
日本語 II a	佐野 典子
日本語 II b	

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものが学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱ a	多田羅 哲子

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。 テープで自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱ b	多田羅 哲子

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。 テープで、自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名
日本語Ⅲ a	多田羅 哲子

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。 聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲb	多田羅 哲子

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲa	湯村 礼子
日本語Ⅲb	

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名
日本語Ⅳ a	いし かわ 守 石 川 守

講義のねらい	日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。
履修上の留意点	日本語Ⅳは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順でやっています。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ b	いし かわ 守 石 川 守

講義のねらい	しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語Ⅳ a に引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅳ a の続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分、受身・使役などを行っていきます。
履修上の留意点	日本語Ⅳ a の続きの内容を行います。
成績評価の方法	試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。
教科書	特になし。授業中に自作のプリントを配ります。
参考書等	辞書を持参してください。
その他	授業態度重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳa	湯村礼子

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅳb	湯村礼子

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）
提出物
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	いし かわ まさる 石川 守

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。呼称や指示詞などはじめからじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅴは、日本語Ⅵと日本語Ⅳの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。

履修上の留意点

日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	いし かわ まさる 石川 守

講義のねらい

日本語Ⅴaに続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅴaの続きをやっていきます。

履修上の留意点

日本語Ⅴaと同じです。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	多田羅 哲子

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。

教科書

プリント配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	多田羅 哲子

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	石川 守

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Ⅴに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Ⅴa、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語Ⅵは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりと日本語の基礎を復習したい人は日本語Ⅳ、Ⅴ、Ⅵの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	いし かわ せい 守 石 川 守

講義のねらい	日本語のⅥaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅵaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。
履修上の留意点	この授業は、日本語Ⅵaの次の部分を行っていきます。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	た た ら あ き こ 多田羅 哲 子

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	た た ら あ き こ 多田羅 哲 子

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名

担当者名

日本事情 I [地理]

たかほしけんたろう
高橋健太郎

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 地域文化と観光、(5) 地図と地名。

日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名

担当者名

日本事情Ⅱ〔自然〕

しみず よしかず
清水 善和

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した「英語web版教科書」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する(漢字にはできるだけ読みがなをつける)。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わしたweb版教科書を用意する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅲ〔歴史〕	あさくら なおみ 浅倉直美

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陆と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の本店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅳ〔思想〕	すが わら 光 菅原光

講義のねらい

近世から近代の時期を対象とし、通史的に日本思想を取り上げる。まずは儒学を中心とする伝統思想の基本的な枠組みを押さえてから、西洋思想との出会いの意味を検証し、その出会いによってどのような形で日本の思想が再構築されたかを学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 授業計画は以下のとおり。
1. ガイダンス
 2. 政治思想の古典としての儒教と基礎概念
 3. 徳川初期の思想と儒教
 4. 日本における朱子学批判
 5. 国学とナショナリズム
 6. 西洋の衝撃
 7. 明治思想
 8. まとめ
- 授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度（60%）＋課題レポート（40%）

教 科 書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業中に指示する。

そ の 他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例の内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹直哉

講義のねらい

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

履修上の留意点

出席と授業参加を重視します。

成績評価の方法

平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

教科書

指定する予定はありません。

その他

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	担当者名
日本事情Ⅶ〔文学〕	勝原晴希

「日本語」
「日本事情」

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、日本の文学作品の紹介を通じて、日本のことばと文化に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文学作品を読み進めながら、幅広く日本文化のあり方を考える。最初の回に、日本文学・日本文化のどういう点に興味や関心を持っているか、アンケートをとり、できる限り要望にこたえたい。人数にもよるが、各自がテーマを選定し、調査研究して発表するという形式をとることもある。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席状況を特に重視し、またレポート・発表・授業態度によって総合的に評価する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	菅原 光

講義のねらい

日本文化や日本人について、洋の東西も時代も問わず、様々な思想家が論じてきた。本講義では、代表的な日本文化論・日本人論を取り上げることにより、日本がどのように語られてきたのかという形で日本文化についての知識を学んでいくと共に、日本とは何か？日本人とは何か？さらには、日本人論が消費されるのは何故か？そういった点にまで踏み込んで考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業計画は以下のとおり。

1. ガイダンス
2. 日本人論とは何か？
3. 江戸以前の日本人論
4. 明治時代の日本人論
5. 戦間期の日本人論
6. 戦後の日本人論
7. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

〔日本事情〕
〔日本語〕

科目名	担当者名
日本事情Ⅸ〔経済〕	小林 正人

講義のねらい

第二次大戦後の日本の歴史について経済史の研究者により格好の書物が昨年出版されたので、これを教科書として使いながら、戦後の日本経済の歴史について講義する。講義の節目にいくつかのビデオ教材も提示し、日本社会の経済的側面について具体的な知識を提供する。受講生の日本語能力の向上にも役立つような講義にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の中の、下記の主要項目にかかわる部分を取り上げて講義する。また関連するビデオを講義の節目に提示して、具体的な知識を提供したい。

1. 占領と経済民主化
2. 高度経済成長
3. ニクソン・ショックと石油ショック
4. バブル経済の発生と崩壊

履修上の留意点

教科書の中の、あらかじめ指定される部分をよく読んで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、途中での教科書の音読(日本語能力)、期末のレポートにより総合的に評価する。

教科書

中村政則『戦後史』岩波新書、2005年(7月)

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業の途中または後での質問を歓迎します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅹ〔経営〕	はとり じむら 羽鳥 茂

講義のねらい

1980年代以降の日本経済の動向を振り返り、現状と課題を講義します。バブルの発生と崩壊、その後の長期停滞とデフレ脱却への試みなどが中心的なテーマとなります。

成績評価の方法

出席状況を特に重視するとともに課題レポートによって総合的に評価します。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

適時に紹介しますので、講義の理解とレポート作成に役立ててください。

その他

講義は日本語で行いますが、希望者があれば英語での対応も考えますので申し出てください。

日本事情
日本語

経済学科フレックスB

I 全学共通科目

1. 宗 教 教 育 科 目

1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	経B1必	通年	4	熊本英人	515
仏教と人間〔再クラス〕	経B2・3・4年				
仏教と人間〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	4	松本史朗	515
仏教と人間〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	4	村松哲文	516
仏教と人間〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	4	四津谷孝道	517
仏教と人間〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	4	程正	518

科目名	担当者名
仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕	くまもと えいじん 熊本英人

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブツダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。

日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	まつもと しろう 松本史朗

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名**担当者名**

仏教と人間〔再クラス〕

むら まつ てつ ふみ
村 松 哲 文**講義のねらい**

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名**担当者名**

仏教と人間〔再クラス〕

よつや こうどう
四津谷 孝 道**講義のねらい**

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて、順を追って、できるだけわかりやすく解説を加えていきたい。

宗教としての仏教
 仏教と科学
 仏教と他の宗教
 喩えて語る仏教（1）
 喩えて語る仏教（2）
 縁起・苦・無我
 慈悲
 輪廻と解脱（業について）
 輪廻と解脱（差別思想について）
 仏教以前のインドの宗教（歴史）
 仏教以前のインドの宗教（思想）
 仏陀の伝記（誕生から出家まで）
 仏陀の伝記（悟りと伝道）
 仏陀の伝記（涅槃）
 部派仏教の歴史と思想
 インド仏教（大乘仏教の歴史）
 インド仏教（大乘仏教の思想）
 チベット仏教（転生ラマについて）
 チベット仏教（密教）
 中国仏教（浄土思想）
 中国仏教（禪仏教）
 日本仏教（歴史）
 日本仏教（思想）（1）
 日本仏教（思想）（2）

宗教教育

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科目名

担当者名

仏教と人間〔再クラス〕

てい せい
程 正

講義のねらい

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
宗教について・世界の三大宗教・ブッダの生涯・ブッダの悟りと教え・部派仏教の思想・大乘仏教思想の展開・仏教東漸(インドから中国へ)・中国仏教の展開・中国禪宗の成立と展開・日本への仏教伝来とその展開・道元禪の成立と展開・現代中国における仏教の諸相

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出席点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P. 25)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
宗教学〔比較宗教文化〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	田中かの子	523
文学〔日本文学「古典」〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	田中伸作	523
文学〔日本文学「近代」〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	中西亮太	524
歴史学(1)〔日本近代史〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	林彰	524
歴史学(2)〔中国史概観〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	小林惣八	525
歴史学(3)〔アジア史概観〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	小林惣八	525
哲学〔西洋思想の源流〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	滝沢正之	525
哲学〔近代の人間観と世界観〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	伊古田理	526
哲学〔現代文明と人間〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	鈴木聡	526
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	伊古田理	527
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	麻生享志	527
倫理学〔現代と倫理〕	経B選 12以降入学生／商選	通年	4	古田知章	528
倫理学〔人生と倫理〕	経B選 12以降入学生／商選	通年	4	末木恭彦	528
教育の思想	経B・経A 2選 12以降入学生／2商選	半期	2	山本敏子	529
教育と社会	経B・経A 2選 12以降入学生／2商選	半期	2	山本敏子	529
発達と学習の心理学	経B・経A 2選 12以降入学生／2商選	半期	2	三國隆子	530
カリキュラムと学習	12以降入学生／経B 2選 12以降入学生／経A・商 2選	半期	2	三國隆子	530

(2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
法学・憲法〔法と権利〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	鶏徳啓登	531
法学・憲法〔法と社会生活〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	長谷川日出世	531

社会科学論〔社会認識の思想〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	枝松正行	532
経済学〔現代経済と人間〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	沼田郷	533
社会学〔現代社会を考える〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	呉炳三	534
社会学〔現代文化を考える〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	橋爪敏	534
統計学〔社会現象の統計的決定〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	新行内康慈	535
文化人類学〔文化と人間〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	川上新二	535
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	杉井純一	536
政治学〔政治システムと政治参加〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	真下英二	537
政治学〔国際社会と日本〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	山村恒雄	537

(3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	鈴木順一	538
心理学(2)〔人間関係を考える〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	鈴木順一	539
生物学〔生態と進化〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	清水善和	540
生物学〔生物と環境〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	中村敏枝	541
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	経B選	半期	2	澤口隆	542
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	経B選	半期	2	塚本達也	542
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	加藤潔	543
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	篠原正雄	544
自然環境論〔生命と環境〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	中村敏枝	545
情報数学〔情報と論理〕	経B・経A選 12以降入学生／商選	通年	4	小沢誠	546

科 目 名	担 当 者 名
宗教学〔比較宗教文化〕	田 中 かの子

講義のねらい	人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限りない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。
講義の内容・授業スケジュール	講義担当者の生活体験をとまなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。
履修上の留意点	板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。
成績評価の方法	出席状況、創意・文章力・工夫の楽しみ方を評価する夏休みのレポート、後期最終授業日に配布予定のガイダンスにもとづいて準備できる学年末試験。
教科書	拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2004年
参考書等	「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。
その他	予定外の試みや受講生の要望などによっては、プログラムを変更することもあります。

科 目 名	担 当 者 名
文学〔日本文学「古典」〕	田 中 伸 作

講義のねらい	軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。 また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。
講義の内容・授業スケジュール	『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。
成績評価の方法	定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。
教科書	『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名
文学〔日本文学〔近代〕〕	なかにしりょうた 中西亮太

講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の歌集を読み、論じていきます。その過程で、受講者が近代短歌への理解を深めることを目指します。五句三十一文字を基本型とする短歌は、明治以降、庶民がみずからの心やみずからの体験した出来事を表現する文学ジャンルとして親しまれました。また一方で、多くの歌人は、この短い定型詩を近代文学として屹立させるべく、新しい表現世界を切り開いてきました。その両面を、この講義では見ていきます。講義で取り上げる歌を一首紹介しておきます。「野に捨てた黒い手袋も起きあがり指指に黄な花咲かせだす」(斎藤史『魚歌』)

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる歌集は、与謝野晶子『みだれ髪』、石川啄木『一握の砂』、北原白秋『桐の花』、斎藤茂吉『赤光』、前川佐美雄『植物祭』、斎藤史『魚歌』、塚本邦雄『水葬物語』、中城ふみ子『乳房喪失』等を予定しています。授業の流れとしては、前期で明治期と大正の前半、後期で大正の後半と昭和期を扱う予定です。

履修上の留意点

当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。

教科書

高野公彦編『現代の短歌』（講談社学術文庫）
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。

参考書等

『短歌シリーズ・人と作品』（桜楓社）
このシリーズで、後世の研究者が書いた晶子・啄木・白秋・茂吉などの評伝や秀歌鑑賞文を読むことができます。

科目名	担当者名
歴史学（1）〔日本近代史〕	はやしあきら 林 彰

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定でいる。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、著名な人物を取り上げ、論じながら、具体的に日本近代史の歩みを、人物とともにたどることにより、よりいっそうの理解を深める。とくに、体制側の動向（政府ないしは体制側の思想と運動の流れ）と反体制側の運動や思想の動向に留意しながらみていきたい。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

安在邦夫ほか『日本の近代—国家と民衆』（梓出版）2,000円

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名
歴史学(2)〔中国史概観〕	小林惣八

講義のねらい	中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科目名	担当者名
歴史学(3)〔アジア史概観〕	小林惣八

講義のねらい	ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科目名	担当者名
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢正之

講義のねらい	西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。 ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないので、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。 本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感していったら、と考えている。それと同時に、はるか昔の頭のよい人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。
講義の内容・授業スケジュール	下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。最初から順に読んでいく予定。適宜プリントで内容の補足を行う。
履修上の留意点	教科書を必ず入手しておくこと。
成績評価の方法	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書	久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社） 授業中に適宜プリントを配布する予定。
参考書等	講義中に適宜指示する。

科目名**担当者名**

哲学〔近代の人間観と世界観〕

伊古田 理

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「人間」について検討する。われわれ人間（特に、現代の人間）は、自分自身をどのように理解しているのか、その自己理解はどのような変遷をたどり、どのような意義と問題点をかかえているか、解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名**担当者名**

哲学〔現代文明と人間〕

鈴木 聡

講義のねらい

本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、以下の諸問題を取り上げる予定である。

1. 懐疑論
2. 他人の心
3. 心身問題
4. 言葉の意味
5. 自由意志
6. 正と不正
7. 正義
8. 死
9. 人生の意味

履修上の留意点

原則として欠席は認めない。必ず予習し、1回の講義につき少なくとも1回は質問すること。

成績評価の方法

成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。

教科書

開講時に指定する。

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理 <small>いごた まさる</small>

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。
 具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系Ⅰ～命題論理 (3) 公理系Ⅱ～述語論理
 (4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。
 詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志 <small>あさ お たか し</small>

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものと考えるか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（1）論理とは何かを考え、（2）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（3）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60%）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

教養教育

科目名**担当者名**

倫理学〔現代と倫理〕

ふる た とも あき
古 田 知 章**講義のねらい**

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上に立って、現代における倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 — 倫理的であること—
 2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
 3. 中世における宗教的倫理観
 4. ルネサンスと宗教改革 — 個としての人間—
- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
 近・現代における倫理思想 — 主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
1. 生命の尊厳と人生の質
 2. 人間と環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名**担当者名**

倫理学〔人生と倫理〕

すえ き やす ひこ
末 木 恭 彦**講義のねらい**

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学への基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何か確認する。その後、今年度は環境と倫理の問題について考察を行う。環境問題は現在の世界の大きな課題となっている。しかし、環境の問題は既に古代から取り挙げられて来ている。特に、古代中国のいくつかの学派の議論を取上げて講義をする。古代中国の環境をめぐる思索を顧みて、そこから現代の環境をめぐる倫理に知恵を汲み上げたい。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と、夏期休暇のレポートにより評価する。

教科書

浅野裕一『古代中国の文明観』（岩波新書）

科目名	担当者名
教育の思想	山本敏子

講義のねらい	今日の学校教育が抱える様々な矛盾を解決していくための方向性を探ることを目指して、日本の公教育制度に影響を及ぼした西洋近代の教育思想への理解を深めるとともに、それが成立する以前に日本列島各地に息づいていた民衆教育思想を学んでいきます。
講義の内容・授業スケジュール	<p>概略は以下の通りですが、授業のすすめ方や詳しいスケジュールについては初回に具体的な案を提示して、受講者の皆さんと相談の上、決めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の基層文化に流れる教育の思想 ・近世の表層文化に現れた教育の思想 ・西洋近代教育思想の二つの大きな流れ
成績評価の方法	出席状況、学期末レポートなどの総合評価。
教科書	教科書については初回の授業で指示します。また、必要に応じて資料を配布する予定です。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	山本敏子

講義のねらい	近代社会の教育は、全生活領域にわたる経営体としての家共同体の解体および近代国民国家の形成と深く関わっています。近代学校成立以前の社会における多様な教育システムを家共同体との関わりで考察することにより、近代学校システムの特質や問題点を明らかにするとともに、これからの教育のあり方を模索していきます。
講義の内容・授業スケジュール	<p>様々な教育問題や近年の教育改革の動向にも触れながら、次のような柱立てで進めていく予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家」が未成立の社会と教育システム ・「家」社会の形成と教育システム ・「家」の解体と近代学校システムの稼働
成績評価の方法	出席状況、学期末レポートなどの総合評価。
教科書	教科書は用いず、必要に応じて資料を配布します。
参考書等	適宜紹介します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

教養教育

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	三國隆子

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	三國隆子

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と権利〕

鷄徳啓登

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - (1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - (1) 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - (2) 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - (3) 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名

担当者名

法学・憲法〔法と社会生活〕

長谷川日出世

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

教養教育

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名**担当者名**

社会科学論〔社会認識の思想〕

えだ まつ まさ ゆき
枝 松 正 行**講義のねらい**

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名

担当者名

経済学〔現代経済と人間〕

ぬま 沼 田 さとし 郷

講義のねらい

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

講義の内容・
授業スケジュール

・世界経済に関する理論・今日の地球環境・世界の経済格差・大量消費社会の実態・世界の貿易と投資・物質的繁栄の代償・成長するアジアと停滞するアフリカ・環境問題・経済成長と石油資源・開発論の検討・世界の貿易と投資・ODA とは何か・地球環境と資源・環境への取り組み・世界経済と多国籍企業

さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。

履修上の留意点

現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバリゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

成績評価の方法

成績は平常評価で行います。学期末の試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、講義終了時に小論を書いてもらい、それを評価します。また、レポートの作成を求めます（年間で1、2回）。

教科書

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考資料に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

その他

授業方法は履修人数にもよりますが講義形式で行います。パワーポイントでの授業を基本としますが、必要に応じて資料等の配布も行います。

科目名**担当者名**

社会学〔現代社会を考える〕

呉 炳 三
お びよん さん**講義のねらい**

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。

また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念:

- I 行為論: (1) 社会学における行為、(2) 行為者としての個人、(3) 日本の行為論
II 集団論: (1) 集団の概念、(2) 官僚制理論、(3) 小集団論、(4) 集団の類型、(5) 日本の集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相について:

- (1) 家族集団、(2) 恋愛、(3) 結婚、(4) 若者文化、IT文化、(5) 少年犯罪、(6) ジェンダー、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン、摂食障害、(9) 就職、転職、リストラ、(10) フリーター、ニート、引きこもり、(11) 性同一性障害など

以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名**担当者名**

社会学〔現代文化を考える〕

橋 爪 敏
ほし つめ さとし**講義のねらい**

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題-文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等-を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)
R. ニスベット『現代社会学入門1~4』(講談社学術文庫)
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内康慈

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
- (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
(16) 正規母集団の区間推定 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検点
(19) 母平均の差の推定・検定 (20) 母比率の推定・検定
(21) その他の推定・検定 (22) 演習 (23) 散布図と相関係数
(24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』（東京図書）
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』（日本実業出版）
永田靖『入門 統計解析法』（日科技連出版）
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』（東京大学出版）

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名
文化人類学〔文化と人間〕	川上新二

教養教育

講義のねらい

文化人類学は、世界各地の人々がもつさまざまな文化の考察を通じて、人間とは何かを考える学問です。ここでいう文化とは私たちが伝統的に受け継いできた生活習慣をいいますが、生活習慣は各地域や民族で異なります。自分たちの生活習慣が標準的なものであり、それと異なるものは「異常なもの」「変なもの」であると見てしまうと、私たちを含む人間というものを総合的にとらえることができなくなってしまいます。この講義では、世界のさまざまな文化を客観的に見る視座を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化人類学の概要について紹介します。①文化人類学の立場と内容、②文化とは何か、③文化の性質、④異文化と自文化などについて講義します。
後期は、文化の理解の具体例として、日本、韓国・朝鮮、中国の諸文化をとりあげて考察します。特に①婚姻、②家族、③親族などをとりあげ、各文化の共通性と特殊性について考察します。

履修上の留意点

やむを得ない事情で欠席する（欠席した）場合は、欠席届（形式は任意）を提出してください。

成績評価の方法

年度末試験、小レポート、出席状況などを総合して評価します。

教科書

教科書は用いません。

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み (1)
 - 3. 文化人類学の歩み (2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間 (3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名
政治学〔政治システムと政治参加〕	眞下英二

講義のねらい

そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール

春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。

秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点

この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。

また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年
他は追って指示する。

科目名	担当者名
政治学〔国際社会と日本〕	山村恒雄

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強する)ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング(人間観察)の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは? 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 感覚・知覚・認知
(9) 自己認知 (10~11) カウンセリングの理論と技法 (11~12) 発達心理学
[後期] (13) 心の病と心理療法 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation法 (19~22) 社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教 科 書

中村昭之編著『心理学概説』(八千代出版)

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは? 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の心理
(9~10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達 of 心理 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係
(16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19) 職場の人間関係
(20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をとおして学ぶ心理学—』(福村出版)

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果と r-K 淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名

担当者名

生物学〔生物と環境〕

なかむらとしえ
中村敏枝

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期）生物の生活

- （1-5）地球の歴史と生命の期限
- （6-13）生態系のしくみ化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
- （14-21）ゴミ処理とダイオキシン汚染
- （22-23）水銀汚染と水俣病
- （24-25）人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	澤口 隆

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	塚本 達也

講義のねらい

学内や自宅において各自がコンピュータを問題なく扱えるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

メール、インターネット、エクセル、ワードの基礎的なことを学ぶ。

履修上の留意点

教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要。各自履修前に取得のこと。

成績評価の方法

レポートにより行う。

教科書

特になし

参考書等

特になし

その他

特になし

科目名**担当者名**

地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕

加藤 藤 潔

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また前・後期に2回ぐらいずつビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

教科書

特に定めなし。適宜プリントを配布。

参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の現在の自然環境は46億年の太陽系の歩みと地球の進化の産物です。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去40年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。最近では、太陽系外の惑星系も見つかり始めています。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でともかく対処しなければいけないという場合があります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球地球環境
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
2. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

御代川貴久夫著『環境科学の基礎 改訂版』(培風館) 2,100円+税

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』(岩波新書) 660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名

担当者名

自然環境論〔生命と環境〕

なかむらとしえ
中村敏枝

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 人間の活動と自然環境
(1-6) 自然のしくみ
(7-12) 自然の改変食をめぐる問題
(13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
(19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
(23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名

担当者名

情報数学〔情報と論理〕

小沢 誠

講義のねらい

点と点どうしを辺で結んだものをグラフという。例えば、人を点とみなし、知り合いであるとき辺で結ぶとグラフができる。同様に、地下鉄の路線図、インターネット、化学分子式、プリント基板回路、脳の神経回路、生態系などもグラフとみなすことができる。このように、物と物の繋がり方のみを抽出して得られるネットワークの性質を研究するのがグラフ理論である。

この講義では、将来どの分野に進んでも役に立つようなグラフ理論を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、グラフ理論の基礎・グラフの彩色・回路とサイクル・極値問題・数え上げを学ぶ。後期に、ラベル付きグラフ・応用とアルゴリズム・グラフの図・平面性への近さの測定・曲面上のグラフを学ぶ。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席・レポートも考慮する。

教科書

N. ハーツフィールド/G. リンゲル=共著、鈴木晋一=訳『グラフ理論入門数理学ライブラリ(2)』(サイエンス社) 2,500円+税

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

3. 外国語科目

〔英語〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語ⅠA	経B1年	通年	2	笹倉貞夫	553
英語ⅠA	経B1年	通年	2	小泉和弘	553
英語ⅠA	経B1年	通年	2	杉本誠	554
英語ⅠA	経B1年	通年	2	熊沢和明	554
英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕	経B1年	通年	2	町田成男	555
英語ⅠB	経B1年	通年	2	林明人	556
英語ⅠB	経B1年	通年	2	杉本誠	556
英語ⅠB	経B1年	通年	2	町田成男	557
英語ⅠB〔基礎英語特別クラス〕	経B1年	通年	2	狩野晃一	557
英語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	大淵利春	557
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	伊勢村定雄	558
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	伊勢村定雄	558
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	熊沢和明	559
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	本間俊一	559
英語ⅠB〔再クラス〕					
英語ⅡA	経B2年	通年	2	吉川直澄	560
英語ⅡA	経B2年	通年	2	今江夏彦	560
英語ⅡA	経B2年	通年	2	萩原輝	561
英語ⅡB	経B2年	通年	2	町田成男	562
英語ⅡB	経B2年	通年	2	熊沢和明	562
英語ⅡB	経B2年	通年	2	萩野一成	563
英語ⅡA〔再クラス〕	経B3・4年	通年	2	萩原輝	563
英語ⅡB〔再クラス〕					
英語ⅡA〔再クラス〕	経B3・4年	通年	2	岸本茂和	564
英語ⅡB〔再クラス〕					
英語ⅡA〔再クラス〕	経B3・4年	通年	2	尾形重政	564
英語ⅡB〔再クラス〕					
英語ⅡA〔再クラス〕	経B3・4年	通年	2	甲斐捷子	565
英語ⅡB〔再クラス〕					

外国語

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA	経B1年	通年	2	清水修	566
ドイツ語ⅠB	経B1年	通年	2	篠原敏昭	566
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	南はるつ	567
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕					
ドイツ語ⅡA	経B2年	通年	2	清水修	567
ドイツ語ⅡB	経B2年	通年	2	篠原敏昭	568

ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	経B3・4年	通年	2	岡本時子	568
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕					

〔フランス語〕

フランス語ⅠA	経B1年	通年	2	高橋明美	569
フランス語ⅠB	経B1年	通年	2	木下雄介	569
フランス語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	長谷川光明	570
フランス語ⅠB〔再クラス〕					
フランス語ⅡA	経B2年	通年	2	高橋明美	570
フランス語ⅡB	経B2年	通年	2	木下雄介	570
フランス語ⅡA〔再クラス〕	経B3・4年	通年	2	長谷川光明	571
フランス語ⅡB〔再クラス〕					

〔中国語〕

中国語ⅠA	経B1年	通年	2	秋元翼	572
中国語ⅠB				王聡	
中国語ⅠA	経B1年	通年	2	塩旗伸一郎	572
中国語ⅠB				上原かおり	
中国語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	大久保明男	573
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	曹泰和	573
中国語ⅠB〔再クラス〕					
中国語ⅡA	経B2年	通年	2	東映全	574
中国語ⅡB	経B2年	通年	2	王聡	574
中国語ⅡA〔再クラス〕	経B3・4年	通年	2	弘兼加奈子	574
中国語ⅡB〔再クラス〕					

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	経B1年	通年	2	荻野雅司	575
スペイン語ⅠB	経B1年	通年	2	中山直次	575
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	栗林ゆき絵	576
スペイン語ⅠB〔再クラス〕					
スペイン語ⅡA	経B2年	通年	2	荻野雅司	576
スペイン語ⅡB	経B2年	通年	2	中山直次	577
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	経B3・4年	通年	2	栗林ゆき絵	577
スペイン語ⅡB〔再クラス〕					

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA	経B1年	通年	2	廣田英靖	578
ロシア語ⅠB					
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	経B2・3・4年	通年	2	杉山秀子	579
ロシア語ⅠB〔再クラス〕					
ロシア語ⅡA	経B2年	通年	2	廣田英靖	579
ロシア語ⅡB	経B2年	通年	2	廣田英靖	580
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	経B3・4年	通年	2	杉山秀子	580
ロシア語ⅡB〔再クラス〕					

《選択科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英会話Ⅰ	経B1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	581
英会話Ⅱ	経B1・2・3・4選	通年	2	ロビン, G. F.	582
英語LLⅠ	経B1・2・3・4選	通年	2	甲斐捷子	583
英語LLⅡ	経B1・2・3・4選	通年	2	狩野晃一	584

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I A	笹 倉 貞 夫

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応しうるような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・出席重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教 科 書

M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社)

科 目 名	担 当 者 名
英語 I A	小 泉 和 弘

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。センテンスからパラグラフへの運用能力向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの順番にそって、まずは英文を読み、その英文を利用して、語のならばかえ、作文を行なう。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

教 科 書

『Major Countries in the World - 世界の主要国 - 』(鳳書房) 1,800円

科目名	担当者名
英語 I A	杉本 誠

講義のねらい	新聞という人間生活のあらゆる面を取り扱う媒体をわたしたちの日常生活の情報源として活用することに視点を置いて、時事英語、特に新聞英語やメディア英語への理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めることを重視し、旅行、環境、健康、スポーツなどの日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、政治、経済、文化、社会生活などの記事をできるだけ多く読み、大意を把握し、読む速度をあげるようにする。内容把握、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。
履修上の留意点	速読で進むので、かならず毎時間の予習が必要である。
成績評価の方法	前・後期定期試験、レポート、小テスト、出席率などを総合して評価する。
教科書	『1/2版：ニュースメディアの英語』（朝日出版）1,100円 ISBN4-255-15429-5 C1082

科目名	担当者名
英語 I A	熊沢 和明

講義のねらい	英語の基礎的な口語運用能力を確認し、コミュニケーション能力を引き伸ばすことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	平易なコミュニケーション能力開発用教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書	『ACTIVATOR』（金星堂）
その他	PC および携帯メールを利用した補習を行います。

科目名

担当者名

英語 I A〔基礎英語特別クラス〕

町田成男

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、カセット・テープやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

英和辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席、発表、試験の総合評価とする。

教科書

現在、検討中のため未定。

外国語

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	はやし あきと 林 明 人

講義のねらい

リスニング用のテキストを使用します。CD も各テキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。クラスではその確認や関連表現などを説明します。発表を重視しますので予習を怠らないで下さい。

成績評価の方法

発表、前・後期の定期試験、出席の総合評価。

教 科 書

4月に教場で指示します。

科 目 名	担 当 者 名
英語 I B	すぎもと まこと 杉 本 誠

講義のねらい

グローバル化および情報化の時代の中に置かれた私たちには、それに対応できるような英語の運用能力を保持することが求められている。授業では、このような状況において必要とされる英語力を身につけることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

経済、環境、医療、福祉などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期試験、小テスト、日常の発表、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

『World Events』(オセアニア出版) 1,500円
ISBN4-87203-089-3 C1082

科目名	担当者名
英語 I B	町田成男

講義のねらい	入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読みすすめると共に、カセット・テープ・CD、ビデオ教材なども時々使用する。
履修上の留意点	3分の2以上は出席すること。
成績評価の方法	出席＋発表＋試験の総合評価とする。
教科書	検討中のため未定。

科目名	担当者名
英語 I B〔基礎英語特別クラス〕	狩野晃一

講義のねらい	音読・精読を通して少しずつ英語の理解力を高めます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを正確にじっくり読むことを中心にしてゆきます。必要に応じてプリント等を配布します。
履修上の留意点	予習を必ずしてから授業に臨むこと。辞書は必携。
成績評価の方法	最低3分の2以上の出席が求められる。試験と普段点から評価をする。
教科書	初回、教場にて指定。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	大淵利春
英語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの英語の4能力の総合的な向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに10分程度リスニングの練習を行ない、その後にテキストに入る。また、小テストも行なう。
履修上の留意点	予習は必ず行なうこと。辞書をもってくること。
成績評価の方法	前、後期2回の定期試験の結果とともに、出席状況、授業への参加度といった平常点も重視し、総合的に評価する。
教科書	『A Complete College English Program, Book 3』（金星堂）1,900円

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いせむら さだ お 伊勢村 定 雄
英語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	実際の E-mail を通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握もめざす。 1 課を 2～3 時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年 2 回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	Sadao Isemura, Dennis R. Kogge 『アメリカンライフを英語で』（北星堂書店）1,900円 ISBN4-590-01115-8
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。
その他	水曜日・6 時限

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	いせむら さだ お 伊勢村 定 雄
英語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい	アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にもふれる。
講義の内容・授業スケジュール	音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1 課を 2～3 時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年 2 回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	丸橋他編注『映像で楽しむオーストラリア (Touring Australia)』（英光社）1,890円 ISBN4-87097-024-4
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。
その他	水曜日・7 時限

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	くま ざわ かず あき 熊 沢 和 明
英語 I B〔再クラス〕	

講義のねらい

英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

教科書

『Why Is That ?』(金星堂)

その他

PC および携帯メールを利用した補習を行います。

科目名	担当者名
英語 I A〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一
英語 I B〔再クラス〕	

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15154-7

英 語 Ⅱ A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡA	きつかわ なおすみ 吉 川 直 澄

講義のねらい

英語 I A を基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属の CD は聞くだけではなく、声に出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教 科 書

『しゃべりたい人の英語の教科書 入門編』(ジオス) 1,900円 ISBN4-86109-001-6

科 目 名	担 当 者 名
英語ⅡA	いま い なつ ひこ 今 井 夏 彦

講義のねらい

日常の基本的なコミュニケーションを通して英語を学ぶことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

留学、環境問題、マルチメディア、世界の英語などのようなテーマを取り上げ、それぞれの場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーションの能力を養成します。

履修上の留意点

語学は何よりも参加することが大切なので出席を重視する。

成績評価の方法

出席を重視し、期末テスト・レポートなどを総合的に評価します。

教 科 書

中田清一他著『日常会話英作文』(成美堂) 1,600円

科目名	担当者名
英語ⅡA	はぎわら てる 萩原 輝

講義のねらい	英語で自分の意見が自由に表現出来る能力を身につける。
講義の内容・ 授業スケジュール	毎時間、その日に読んだテキストの本文に対する意見を、英語で表現する。
履修上の留意点	大学生としてふさわしい辞書を持ってくること。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期・後期の試験等の総合評価。
教科書	Brenda Hayash／岡田圭子・他著 <i>Front-Runners in the 21st Century: 12 Outstanding Companies</i> 『挑戦する企業』（松柏社） ISBN4-88198-576-0

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名
英語 II B	町 田 成 男 <small>まち だ しげ お</small>

講義のねらい	I Bを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握をして、読む速度を上げる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読みすすめると共に、CD やビデオ教材も時々使用する。
履修上の留意点	3分の2以上は出席すること。
成績評価の方法	出席 + 発表 + 試験の総合評価とする。
教科書	現在、検討中のため未定。

科 目 名	担 当 者 名
英語 II B	熊 沢 和 明 <small>くま さわ かず あき</small>

講義のねらい	映画の魅力を利用し、現在の生きた社会問題を考えながら、英語文化の理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	現代英語映画を題材にした総合教科書を使い、映画化された社会問題を多読し、語彙力、読解能力を伸ばします。英語字幕を早読みする能力も身に付けます。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書	『EVERY MOVIE TELLS A STORY』（金星堂）
その他	PC および携帯メールを利用した補習を行います。

科目名	担当者名
英語ⅡB	おぎの 萩野 かずしげ 一成

講義のねらい	英文からの確に情報を読みとる訓練をしながら、ビル・ゲイツやスビルバーグなど世界に夢を与えた現代のグローバル・ドリーマー達の生き様に迫る。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを軸に、新聞・雑誌記事などの副教材を使って速読即解を実践すると同時に、グループ発表やDVD鑑賞などを織り交ぜながら、著名人からマネジメント・センスを学びとる。
履修上の留意点	予復習はもとより、関心を持って積極的に授業参加する姿勢が求められる。
成績評価の方法	平常授業時の出席を重視する。その上で小発表や前後期のレポート・試験等を総合的に評価する。
教科書	開講時に指示する。
参考書等	辞書必携（電子辞書含む）
その他	主に講義形式だが、小グループによる活動も多い。

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	はぎわら 萩原 てる輝
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	英語を読む力と、読んだ文章に対する自分の意見を英語で表現する力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	毎時間なるべくたくさんの英文を読み、それらに関する意見を述べてもらう予定。
履修上の留意点	大学生としてふさわしい辞書を持ってくること。
成績評価の方法	授業態度、出席、提出物、前期、後期の試験等の総合評価。
教科書	Tom Goodier 著 <i>Big Names in American Business</i> 『アメリカンドリームを継ぎし者たち』(南雲堂) ISBN4-523-17479-2 C0082

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	まし岸 もと本 しげ茂 かず和
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

つねに英語学習の基本に立ち返ることを念頭に授業をすすめてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの本文および問題はそれぞれ受講者が訳読し解答をだしてゆくことにする。1年間でできるだけの章をこなしてゆきたい。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

出席は毎授業とる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする。

教科書

『輝ける言葉一心に残る12章』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	お尾 がた形 しげ重 まさ政
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

英語ⅠAを基礎に、さらに英語による意志伝達能力の把握に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト中心に進めますが、適宜、補助教材も使用します。

履修上の留意点

授業は予習してくる。辞書を持参すること。

成績評価の方法

積極的な授業参加を重視し、試験結果を入れ総合的に判断します。

教科書

LOOKING BACKWARD - Major Events of the 20th Century 事件でたどる20世紀（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-173141-1

科目名	担当者名
英語ⅡA〔再クラス〕	が い かつ こ 甲 斐 捷 子
英語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい

基本的なアメリカ英語を聞き、話し、読むことで、英語の運用能力を高めることが、この授業の目的です。簡単な会話から、多岐にわたる職業の人々を対象にしたインタビューまで盛り込まれているビデオ教材を使用します。

講義の内容・
授業スケジュール

よく聞き、話し、読めるようになった段階で、小テストを行い、一単元を終了します。すべての単元を終了できる予定です。

履修上の留意点

ビデオのダビングは著作権法上できませんが、授業中の訓練で十分です。授業を休まないようにしてください。

成績評価の方法

一応の目安としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%の総合評価とします。

教科書

Viva! San Francisco
MacMillan Language House ¥2,000

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名
ドイツ語 I A	清水修

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。

そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法

普通の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名
ドイツ語 I B	篠原敏昭

講義のねらい

簡単なドイツ語の文を口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書

『ドイツ語の時間〈初級読本 イングとツヨシ〉』（朝日出版社）2,400円

参考書等

辞書・参考書は授業の中で指示します。

その他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	みなみ 南 はるつ
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。
講義の内容・授業スケジュール	前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞 後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
教科書	南道子他著『ドイツ語の上にも一年』（同学社）2,300円
参考書等	随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA	しみず 清水 おさむ

講義のねらい	ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。
履修上の留意点	ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。 受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。
成績評価の方法	主に平常点で評価します。
教科書	プリントを用意します。
参考書等	授業中に指示します。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡB	篠原としあき しのほらとしあき

講義のねらい	1年次で習った基礎的なことからをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツ人の考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には受験対策の教材も授業に採り入れる予定です。
履修上の留意点	予習を必ずやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。
成績評価の方法	毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。
教科書	『CD付きモデル2問題発見のドイツ語』（三修社）2,700円
参考書等	授業の中で指示します。
その他	ビデオ・CDをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	岡本ときこ おかもとときこ
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	

講義のねらい	これまでに学んだドイツ語を復習しながらドイツ語の基礎力を更に高めていくことが授業の主たる目標ですが、ドイツ語圏の文化や歴史等単なる語学学習以外の点にも目を向けていきたいと思っています。
講義の内容・授業スケジュール	授業の具体的な内容と進度は履修者のドイツ語力や関心に応じて決めていきます。
履修上の留意点	この授業の評価は能力検定のように皆さんのドイツ語の実力を評価するのではなく、あくまでもこの授業において皆さんが学んだことを評価するものですので、授業にきちんと出席することが大切です。
成績評価の方法	成績は年間を通しての出席状況と前期後期の計2回の試験の結果を総合して評価します。その他積極的に授業に参加・貢献した場合にも前向きに評価します。
教科書	開講時に指定します。
参考書等	必要に応じて授業中に説明します。

[フランス語]

科目名	担当者名
フランス語 I A	高橋 明美 <small>たが ほん あけ み</small>

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

吉野仁子著 *Petit a Petit* (第三書房) 2,000円

科目名	担当者名
フランス語 I B	木下 雄介 <small>きの した ゆう すけ</small>

講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進めます。

履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもありません。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりだから、地道な努力を怠らなければ、修得が難しいわけではない。学生諸君の努力に期待します。

成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

石沢・柏原・高岡『モン・ブルミエ・リーヴル』(白水社)

参考書等

仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は、初心者には向かないので使用しないこと。

- ・『ジュネス仏和辞典』(大修館)
- ・『新スタンダード仏和辞典』(大修館)
- ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)
- ・『ロワイヤル仏和中辞典』(旺文社)
- ・『クラウン仏和辞典』(三省堂)

科目名	担当者名
フランス語ⅠA〔再クラス〕	はせがわ みつ あき 長谷川 光 明
フランス語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	ビデオ教材を用いて初級文法を学習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題を取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。
教科書	藤田裕二他『パスカル・オ・ジャポン』（白水社）2,000円

科目名	担当者名
フランス語ⅡA	たか はし あけ み 高 橋 明 美

講義のねらい	初級文法をひとつおりの学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。
成績評価の方法	出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。
教科書	沼田五十六ほか著『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名
フランス語ⅡB	きの した ゆう すけ 木 下 雄 介

講義のねらい	1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。
講義の内容・授業スケジュール	平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。
履修上の留意点	予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。
成績評価の方法	平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。
教科書	最初の授業のときにプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名
フランス語Ⅱ A〔再クラス〕	はせがわ みつ あき 長谷川 光 明
フランス語Ⅱ B〔再クラス〕	

講義のねらい

ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期試験及び平常点。

教 科 書

中山眞彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.143) 参照

【辞書について】

(P.143) 参照

科目名	担当者名
中国語ⅠA	あきもと 秋元 翼
中国語ⅠB	おう 王 聡

講義の内容・
授業スケジュール

ピンイン（中国式ローマ字表記）で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。主に秋元が文法を、王が応用練習を担当する。各課を文法、応用練習各一回の割合で進み、一年間で教科書一冊を学ぶ。また、後期の後半にはプリントで文法の補充を行う。

履修上の留意点

中国語は発音が重要なので、授業では積極的に声を出して正確な発音を身につけて欲しい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常点と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『《最新版》中国語はじめの一步』（白水社）2,310円

科目名	担当者名
中国語ⅠA	しおはた しんいちろう 塩旗 伸一郎
中国語ⅠB	うえ はら 上原 かおり

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・
授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ読んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

必ず中国語ⅠA・ⅠB（火曜7時限塩旗、金曜7時限上原）セットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると思ひ込むのは大なる誤解である。
欠席が年間3回を超えると10点ずつ減点する。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書

相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	おおくぼ あき お
中国語ⅠB〔再クラス〕	大久保 明 男

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）2,205円

科目名	担当者名
中国語ⅠA〔再クラス〕	そう たい わ
中国語ⅠB〔再クラス〕	曹 泰 和

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を練習する。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、ビデオを通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門編』（朝日出版社）2,625円

参考書等

開講時に説明する。

その他

中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名
中国語ⅡA	あげま せい ぜん 東 映 全

講義のねらい	この講義は、中国語の基礎を学んだ学生を対象に、より上のレベルの中国語の総合的な力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	授業内容は、先ず一年生で習得した基本発音「声母」と「韻母」を2、3回ぐらい復習して、簡単な会話に入る。次に教科書に沿って、短い文章の勉強及び会話へとつなげます。
履修上の留意点	授業へ積極的に参加して下さい。失敗やまちがいを恐れずに発言することが、外国語の習得には最良の方法である。
成績評価の方法	評価に関しては、出席重視と授業態度によって、平常点で評価する。
教科書	陳栄生等共著『中国に行こう』（神保出版）1,050円

科目名	担当者名
中国語ⅡB	おう せい 王 聡

講義のねらい	中国語の基本表現や日常会話の学習と同時に、発音の復習や中国文化の学習も並行しています。
履修上の留意点	予習を済ませてあることを前提に授業します。
成績評価の方法	前期試験40%、後期試験40%、出席率・授業態度20%。
教科書	三瀨正道・楊光俊・劉雅新『たのしく話そう中国語』（CD付）（朝日出版社）2,205円

科目名	担当者名
中国語ⅡA〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子
中国語ⅡB〔再クラス〕	

外国語	講義のねらい	全12課の課文を通し、中国人の生活面における日本との違いを紹介していく。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視し、読みにも力を入れる。
	成績評価の方法	成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
	教科書	張継濱・小川文昭『中国ってどんな国?』（白水社）2,100円

[スペイン語]

科目名	担当者名
スペイン語 I A	おぎのまさし 荻野 雅司

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行なうことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（弘学舎）

科目名	担当者名
スペイン語 I B	なかやまなおし 中山 直次

講義のねらい

初めて学ぶ受講生が対象なので、まずはスペイン語に親しみ、楽しみながらスペイン語の総合力を身につけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

一通りスペイン語の発音を学習したあと、平易なスペイン語で書かれた童話を読みます。そこで用いられている表現文を使って音読や訳読の練習をします。次に、その表現文から取り出した文法を解説します。最後に、語句の置き換えなどによる応用演習を行います。

履修上の留意点

初習の語学は、途中で抜け落ちると続けにくくなります。なるべく欠席しないようにしてください。また、必ず予習をして授業に臨むように心がけてください。

成績評価の方法

平常授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期末の定期試験は行いません)。

教科書

中山著『スペイン語が面白いほど身につく本』（中経出版）

参考書等

辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）

参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）

特に上記の本でなくてもかまいませんが、辞書のほかに手頃な自習参考書を一冊併用することをお勧めします。

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵
スペイン語ⅠB〔再クラス〕	

講義のねらい	基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（活用・単語）を実施。
履修上の留意点	少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。
成績評価の方法	平常点（毎時間の小テスト含む）30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
教科書	初回の授業の授業で指示（プリント配布予定）。初回は必ず出席のこと。
参考書等	『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館） *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA	荻野 雅司

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとしています。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。
履修上の留意点	言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。
成績評価の方法	テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。
教科書	佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』（弘学舎）

科目名	担当者名
スペイン語ⅡB	中山直次

講義のねらい

スペイン語文法の体系を、できる限り生きた表現と結びつけて修得することをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅠBで使用した『トーレス一家の人たち』の前半を簡単に復習した後、その後半を学習します。これまで通り、場面別の会話文を使って音読や訳読の練習をします。次に、その会話文から取り出した文法を解説します。最後に、関連問題を解いたり、応用演習を行ったりします。

履修上の留意点

外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし「気長に」取り組んでください。

成績評価の方法

平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期未定期試験は行いません)。

教科書

中山著『トーレス一家の人たち』(芸林書房)
(昨年度からの継続受講者は購入不要です。)

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思います。ただ、参考書類を一冊も持っていない人は、何か手頃な自習参考書を一冊購入し、予習・復習の際に常時参照することをお勧めします。

科目名	担当者名
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	栗林 優
スペイン語ⅡB〔再クラス〕	栗林 優

講義のねらい

現在形の復習のあと、過去や未来の動詞の形を中心に学び、初級会話を少し越えた豊かな表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

活用・文法事項・重要表現の確認→応用作文の順に学習を進める。毎回授業の初めに、前の回に学習した項目の確認のための練習問題を行う。

履修上の留意点

できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。辞書(和西単語集つき)は授業中に使用するので必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

福嶋教隆『生き活きスペイン語』(朝日出版社) 2,000円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)
*和西(単語集)のついている辞書をすでに所有している者はそれを使用すればよい。

〔ロシア語〕

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖
ロシア語ⅠB	

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ
ロシア語ⅠB〔再クラス〕	杉 山 秀 子

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆったり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名
ロシア語ⅡA	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。
授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名**担当者名**

ロシア語ⅡB

ひろ た ひで やす
廣 田 英 靖**講義のねらい**

ロシア語ⅠBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名**担当者名**

ロシア語ⅡA〔再クラス〕

すぎ やま ひで こ
杉 山 秀 子

ロシア語ⅡB〔再クラス〕

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 I

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名
英会話 I	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

講義の内容・ 授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教 科 書

Warren Wilson, Roger Bernaro FIFTY-FIFTY: Student book 1 (Longmans)
ISBN0-13-920000-2

英 会 話 Ⅱ

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名
英会話Ⅱ	ロビン, G. F.

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教 科 書

Vaughan Jones, Sue Kay "INSIDE ENGLISH" ISBN4-89585-489-2

英 語 L L I

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名
英語LLI	甲 斐 捷 子

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点

CDのダビングは著作権法上できませんが、授業時の練習で十分です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Hisako Murakawa 著『*Sounds Right! Sounds Good!*』（MacMillan Language House）
2,000円

英 語 L L II

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFL[®]で450点、TOEIC[®]500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名
英語LLII	狩 野 晃 一 <small>か のう こう いち</small>
講義のねらい	TOEFL450点、TOEIC500点、英検2級取得程度の実力を養うことを目標にする。
講義の内容・授業スケジュール	前期はなるべく英語の音および自然なスピードになれるために特に多くの音声を聞くようにする。後期は前期でやったことを生かしTOEIC等の練習問題を進めてゆく予定。
履修上の留意点	(小さな)辞書を必ず携帯すること。
成績評価の方法	3分の2以上の出席者のみが評価の対象。
教 科 書	初回、教場にて指定する。

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ミニサッカー			※鈴木	卓球	鈴 木	健康・スポーツ論*
	村 松	バドミントン			高 橋	空手道		
	山 口	室内球技			三 幣	バドミントン		
7 時 限	※村松	バドミントン	田 中	健康・スポーツ論*	※高橋	空手道		
	大 石	ミニサッカー			鈴 木	卓球		
	山 口	室内球技			三 幣	バドミントン		

※は、科目の主担当者

*時間表で教場を確認のこと。

4. 保健体育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ論	経B1選必	半期	2	鈴木淳平	589
健康・スポーツ論〔再クラス〕	経済B2・3・4年				
健康・スポーツ論	経B1選必	半期	2	田中佳孝	590
健康・スポーツ論〔再クラス〕	経済B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(卓球)	経B1選必	通年	2	鈴木淳平	591
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	経済B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(空手道)	経B1選必	通年	2	高橋俊介	592
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(空手道)	経済B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(バドミントン)	経B1選必	通年	2	三幣晴三	593
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(バドミントン)	経済B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)	経B1選必	通年	2	大石武士	594
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ミニサッカー)	経済B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(バドミントン)	経B1選必	通年	2	村松誠	595
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(バドミントン)	経済B2・3・4年				
健康・スポーツ実習(室内球技)	経B1選必	通年	2	山口良博	596
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	経済B2・3・4年				
生涯スポーツ実習(集中前期・基礎/応用)		集中授業	1	休講	
生涯スポーツ実習(集中後期・基礎/応用)		集中授業	1	休講	
生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ) (シーズン基礎/応用)	経B選	シーズン	2	舘岡儀秋 他	597
生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード) (シーズン基礎/応用)	経B選	シーズン	2	江口淳一 他	599

科 目 名**担 当 者 名****健康・スポーツ論**
健康・スポーツ論〔再クラス〕すず き じゅん べい
鈴 木 淳 平**講義のねらい**

健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時 限 目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時 限 目：スポーツと体力の関係について
- 5 時 限 目：運動能力発達の原理
- 6 時 限 目：運動能力の領域
- 7 時 限 目：運動能力の構造
- 8 時 限 目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時 限 目：総合体力の定義と要素
- 10 時 限 目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時 限 目：トレーニング理論全般
- 12 時 限 目： 〃
- 13 時 限 目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際
- 14 時 限 目： 〃
- 15 時 限 目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

科 目 名**担 当 者 名**

健康・スポーツ論

た な か よ し た が
田 中 佳 孝

健康・スポーツ論〔再クラス〕

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

参 考 書 等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』/『貝原益軒の養生訓』/『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』/『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置(脳波測定装置)等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科目名**担当者名****健康・スポーツ実習(卓球)**すずき じゅん べい
鈴 木 淳 平**健康・スポーツ実習[再クラス](卓球)**

講義のねらい

卓球を生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：ルールの説明、シングルスゲーム
- 3 時 限 目：シングルスゲーム
- 4 時 限 目： 〃
- 5 時 限 目： 〃
- 6 時 限 目： 〃
- 7 時 限 目：ダブルスゲーム
- 8 時 限 目： 〃
- } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： 〃
- 12時間目： 〃
- } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： 〃

履修上の留意点

- 1. 定員は40名程度とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名**担 当 者 名**

健康・スポーツ実習(空手道)

たか はし しゅん すけ
高 橋 俊 介

健康・スポーツ実習[再クラス](空手道)

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(バドミントン)	み ぬ さ はる み 三 幣 晴 三
健康・スポーツ実習[再クラス](バドミントン)	

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同 第2日目
- 13時限目：同 第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)	おおいし たけし 大石 武士
健康・スポーツ実習[再クラス](ミニサッカー)	

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10 時限目～14 時限目：ゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

健康・スポーツ実習(バドミントン)

むらまつ まこと
村 松 誠

健康・スポーツ実習[再クラス](バドミントン)

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル (ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 10時限目： 〃 (キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 11時限目： 〃 (ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 12時限目： 〃 (ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 13時限目： 〃 (ゲーム)
- 14時限目： 〃 (ゲーム)
- 15時限目： 〃 (ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： 〃 (ゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目： 〃 (ゲーム)
- 13時限目： 〃 (ゲーム)
- 14時限目： 〃 (ゲーム)
- 15時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

科目名**担当者名**

健康・スポーツ実習(室内球技)

やまぐちよしひろ
山口良博

健康・スポーツ実習[再クラス](室内球技)

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム
- 5 時限目：ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：ゲーム (リーグ戦)
(バレーボール)
- 7 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム
- 8 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム
- 9 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム
- 10 時限目：ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (リーグ戦)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルのゲーム
- 13 時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルのゲーム
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ)
(シーズン基礎/応用)たておか よしあき
館岡 儀秋 他

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
 - 2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月17日(月) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月4日(月)
講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎
実技：13:00~17:30 打撃練習
※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月5日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則Ⅰ、その他
 - 3日目 9月6日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則Ⅱ
 - 4日目 9月7日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月8日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程：平成18年9月4日(玉川校舎)・9月5日~8日(現地：3泊4日)
- 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田
286-0121 千葉県成田駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース：ダイナミックゴルフ成田
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
- 定員：40名
- 集合解散：
 - (1) 集合 9月4日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場
9月5日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月8日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
- 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
- 納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
- 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

前期終了科目成績発表日（9月4日）と1日目授業（玉川校舎）の日程が重複しています。該当者は、1日目の午前中に、予め教務部窓口で成績表を受け取ってから授業に参加してください。

生涯スポーツ演習Ⅱ(スキー・スノーボード)
(シーズン基礎/応用)えぐち じゅんいち
江口 淳一 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月11日(木) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月5日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月6日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月7日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月8日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月9日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成19年2月5日(月)～2月9日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成18年5月22日(月)～6月3日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

その他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経 済 学 科 フ レ ッ ク ス B

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.297)

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目は、フレックスA・商学科の専門教育科目のページを参照してください。

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
基礎ゼミ	経B1選 (18入学生のみ)	半期	2	飯田泰之	611
基礎ゼミ	経B1選 (18入学生のみ)	半期	2	小栗崇資	611
基礎ゼミ	経B1選 (18入学生のみ)	半期	2	松井柳平	612
基礎ゼミ	経B1選 (18入学生のみ)	半期	2	古沢紘造	612
基礎ゼミ	経B1選 (18入学生のみ)	半期	2	森岡仁	612
基礎ゼミ	経B1選 (18入学生のみ)	半期	2	吉野紀	613
経済学入門	経B1選	半期	2	飯田泰之	613
経済学入門	経B1選	半期	2	森岡仁	614
経済学概説	16以降入学生／経B1選 15以前入学生／経B1必	通年	4	森田成也	614
キャリア・デザイン	経B・経A・商1・2選(3年次以降履修不可)	通年	4	竹下睿騏	615
経済理論ⅠA・資本の原理	経B1・2・3・4選	通年	4	大石雄爾	616
※経済理論ⅠB・経済システムの原理	経B・経A1・2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	大石雄爾	324
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	経B1・2・3・4選	通年	4	休講	
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	経B1・2・3・4選	通年	4	浅野克巳	617
経済学史	経B1・2・3・4選	通年	4	福原好喜	618
※経済数学	経A・経B1・2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	池田宏	325
応用ミクロ経済学	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	荒木勝啓	619
応用マクロ経済学	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	吉野紀	620
※計量経済学	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	田中正光	328
※統計原論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	吉野紀	329
※景気循環論	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	野村信廣	330
現代資本主義論	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	長島誠一	621
社会思想史	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	阿部弘	622
経済史	経B1・2・3・4選	通年	4	安元稔	623
日本経済史	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	渡邊恵一	624

※西洋経済史	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	友松憲彦	334
経済政策	経B 1・2・3・4選	通年	4	休講	
※農業政策	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	溝手芳計	335
工業政策	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	奥山雅之	625
※経済地理	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	矢延洋泰	337
※中小企業論	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	吉田敬一	338
※環境経済論	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	山口由二	344
※公共経済学	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	鈴木伸枝	339
財政学	経B 1・2・3・4選	通年	4	里中恆志	626
財政政策	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	休講	
地方財政論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	篠原章	627
金融論	経B 1・2・3・4選	通年	4	休講	
国際金融論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	田中綾一	628
社会政策	経B 1・2・3・4選	通年	4	竹下睿騏	629
※人口論	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	森岡仁	342
教育経済論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	谷敷正光	630
労働経済論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	休講	
日本経済論	経B 1・2・3・4選	通年	4	休講	
国際経済論	経B 1・2・3・4選	通年	4	休講	
アジア経済論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	鄭章淵	632
中国経済論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	田中祥之	633
※アメリカ経済論	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	瀬戸岡紘	346

※EU統合論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	半期	2	清水卓	347
※現代西欧経済論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	半期	2	清水卓	348
ロシア・東欧経済論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	山縣弘志	634
※情報・経済ネットワーク論	経A・経B 1・2・3・4選 商2・3・4選	通年	4	加藤賢次郎	351
プログラミング論	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	濱本和彦	635
情報処理論	経B 1・2・3・4選	通年	4	岩瀬弘和	636
※応用情報処理Ⅰ	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	半期	2	井川俊実	355
※応用情報処理Ⅱ	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	半期	2	井川俊実	356
商学総論	経B 1・2・3・4選	通年	4	大吹勝男	637
経営学総論	経B 1・2・3・4選	通年	4	名取修一	638
※企業論基礎	経A 2・3・4選 商1選 経B 1・2・3・4選	通年	4	安藤陽	320
会計学総論	経B 1・2・3・4選	通年	4	石川祐二	639
簿記論	経B 1・2・3・4選	通年	4	鈴木勝浩	640
※ファイナンス基礎	経A 2・3・4選 商1選 経B 1・2・3・4選	通年	4	須藤時仁	320
貿易実務	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	半期	2	荒畑治雄	641
通関実務	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	半期	2	荒畑治雄	642
憲法	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	内田真利子	643
民法一部	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	織田晃子	644
民法二部	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	小野健太郎	644
商法一部	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	重田麻紀子	645

商法二部	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	中濱義章	646
経済法	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	荒井登志夫	647
労働法	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	藤本茂	648
行政法	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	仲田孝仁	649
国際法	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	王志安	650
社会保障法	経B 1・2・3・4選	通年	4	原田啓一郎	651
保険・海商法	経B 1・2・3・4選	通年	4	加瀬幸喜	652
商法総則・商行為法	経B 1・2・3・4選	通年	4	川口幸美	653
税法Ⅰ	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	半期	2	奥村正郎	654
税法Ⅱ	経B 1・2・3・4選 経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	半期	2	奥村正郎	655
※原書講読Ⅰ〔英語〕	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	岩波文孝	365
原書講読Ⅱ〔英語〕	経A・商・経B 2・3・4選				
※原書講読Ⅰ〔英語〕	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	鈴木伸枝	365
原書講読Ⅱ〔英語〕	経A・商・経B 2・3・4選				
※原書講読Ⅰ〔英語〕	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	溝手芳計	366
原書講読Ⅱ〔英語〕	経A・商・経B 2・3・4選				
※原書講読Ⅰ〔独語〕	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	福原好喜	366
原書講読Ⅱ〔独語〕	経A・商・経B 2・3・4選				
原書講読Ⅰ〔仏語〕	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	休講	
原書講読Ⅱ〔仏語〕	経A・商・経B 2・3・4選				
原書講読Ⅰ〔中国語〕	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	休講	
原書講読Ⅱ〔中国語〕	経A・商・経B 2・3・4選				
※原書講読Ⅰ〔ロシア語〕	経A・商2・3・4選 経B 1・2・3・4選	通年	4	山縣弘志	367
原書講読Ⅱ〔ロシア語〕	経A・商・経B 2・3・4選				

※原書講読Ⅰ〔朝鮮語〕	経A・商2・3・4選 経B1・2・3・4選	通年	4	鄭章淵	367
原書講読Ⅱ〔朝鮮語〕	経A・商・経B2・3・4選				
現代経済事情Ⅰ 〔高齢化と情報社会〕	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	半期	2	竹本正男	656
現代経済事情Ⅱ 〔少子高齢化と年金制度〕	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	半期	2	井口直樹	657
現代経済事情Ⅲ 〔地球環境とエネルギー問題〕	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	半期	2	兼松通彦	657
現代経済事情Ⅳ 〔20代の仕事とキャリア〕	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	半期	2	豊田義博	658
現代産業事情Ⅰ	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	半期	2	阿部弘	659
現代産業事情Ⅱ	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	半期	2	友松憲彦	659
会計資格特別演習	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	鈴木勝浩	660
情報資格特別演習Ⅰ	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	永井勇	661
情報資格特別演習Ⅱ	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	井川俊実	663
教員試験特別演習	経B1・2・3・4選 経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	谷敷正光	664
※流通経済論	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	大吹勝男	371
商業政策	経B2・3・4選	通年	4	岩下弘	665
マーケティング	経B2・3・4選	通年	4	休講	
商品学	経B・経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	見目洋子	666
交通論	経B・経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	金兌奎	667
※商業史	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	幸野保典	374
※消費経済論	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	山田壽一	375
ロジスティックス	商・経A・経B2・3・4選	通年	4	休講	
経営管理論	経B2・3・4選	通年	4	休講	
労務管理論	経B2・3・4選	通年	4	休講	
経営戦略論	経B・経A2・3・4選 12以降入学生／商2・3・4選	通年	4	田淵泰男	668

企業統治論	経B・経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	岩波文孝	669
※現代企業論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	桜井徹	378
※財務管理	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	白坂亨	379
※経営学史	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	小阪隆秀	379
※非営利組織論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	堀越芳昭	380
※経営情報システム論Ⅰ	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	斉藤隆	381
※経営情報システム論Ⅱ	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	斉藤隆	382
財務会計論	経B 2・3・4選	通年	4	休講	
会計監査論	経B・経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	森田佳宏	670
会計情報論	経B・経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	石川純治	671
※管理会計論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	石川祐二	384
※原価計算論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	鈴木勝浩	385
税務会計論	経B・経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	高木克己	672
※経営分析	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	渡邊智	385
上級簿記	経B 2・3・4選	通年	4	福島隆	673
※コンピュータ会計Ⅰ	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	鈴木勝浩	387
※コンピュータ会計Ⅱ	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	鈴木勝浩	388
※貿易論	商・経A・経B 2・3・4選	通年	4	古沢紘造	389
※銀行システム論	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	齊藤正	390
※現代銀行事情	商・経A・経B 2・3・4選	半期	2	齊藤正	391
証券市場論	経B・経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	広田真人	674
保険論	経B・経A 2・3・4選 12以降入学生/商2・3・4選	通年	4	宮地朋果	675
ビジネス事例研究	経B 2・3・4選	通年	4	百田義治	676
ビジネス英会話Ⅰ	経B 2・3・4選	半期	2	清水絹代	677
ビジネス英会話Ⅱ	経B 2・3・4選	半期	2	清水絹代	677
インターンシップ	経B 3選 (16入学生のみ)	通年	2	谷敷正光	678
インターンシップ	経B 3選 (16入学生のみ)	通年	2	齊藤正	679
インターンシップ	経B 3選 (16入学生のみ)	通年	2	代田純	679
インターンシップ	経B 3選 (16入学生のみ)	通年	2	友松憲彦	679
インターンシップ	経B 3選 (16入学生のみ)	通年	2	徳永俊明	680
インターンシップ	経B 3選 (16入学生のみ)	通年	2	清水卓	680
※現代産業事情Ⅲ	経B 3・4選	半期	2	代田純	395
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	大吹勝男	681
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	百田義治	681
演習Ⅱ	経B 3選				
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	安元稔	682
演習Ⅱ	経B 3選				
演習Ⅲ	経B 4選				
演習Ⅰ	経B 2選	通年	4	浅野克巳	682
演習Ⅱ	経B 3選				
演習Ⅲ	経B 4選				

演習Ⅰ	経B2選	通年	4	飯田泰之	683
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	石川純治	684
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	岩波文孝	684
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	曾我信孝	685
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	小林正人	686
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	齊藤正	687
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	清水卓	688
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	代田純	689
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	鈴木伸枝	689
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	瀬戸岡紘	690
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	鄭章淵	691
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	徳永俊明	692
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	友松憲彦	693
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	福原好喜	694
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	堀龍二	695
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				

演習Ⅰ	経B2選	通年	4	松井柳平	696
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	谷敷正光	697
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	山縣弘志	698
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	大石雄爾	698
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅰ	経B2選	通年	4	渡邊恵一	699
演習Ⅱ	経B3選				
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅱ	経B3選	通年	4	阿部弘	699
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅱ	経B3選	通年	4	岩下弘	700
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅱ	経B3選	通年	4	大吹勝男	700
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅱ	経B3選	通年	4	溝手芳計	701
演習Ⅲ	経B4選				
演習Ⅲ	経B4選	通年	4	百田義治	701
演習Ⅲ	経B4選	通年	4	森田佳宏	702
演習Ⅲ	経B4選	通年	4	吉田敬一	702

科目名	担当者名
基礎ゼミ	飯田 泰之

講義のねらい	大学での学習に必要な技術について、少人数制でのイントロダクションを行う。具体的には、ネットを用いた資料収集の方法・資料作成の方法と問題発見の技法などが中心となるだろう。講義だけではなく、演習を中心とした双方向的な講義を行う。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学での学習について 2. レジューメ作成の方法と練習 3. 問題発見の方法 4. レポート作成の方法
履修上の留意点	出席だけでなく、発表・報告等への参加が求められる授業である。積極的参加を前提に履修を検討すること。
成績評価の方法	出席と期末レポートによる
教科書	開講時指定

科目名	担当者名
基礎ゼミ	小栗 崇資

講義のねらい	この基礎ゼミでは、(1)大学生としての学習に必要な基本的スキルを身につけること、(2)経済学とは何かについての基礎知識を得ること、(3)駒澤大学経済学部での学習方法を知ること为目标とします。少人数なので、経済・社会問題をテーマに全員で意見を発表したり討論したりして、皆さんのプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を伸ばしたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、興味深いテキストや資料を配布して、それにもとづき講義とディスカッションを行う予定です。資料の探し方、レジューメの作り方、レポートの書き方などの練習もします。
履修上の留意点	毎回必ず出席してください。
成績評価の方法	出席とレポートで総合的に評価します。
教科書	基本的には配布資料を使いますが、さらに必要に応じて指示します。
参考書等	その都度紹介します。

科目名	担当者名
基礎ゼミ	鈴木伸枝

講義のねらい	経済学部で学ぶために必要な知識・技術を身につけることを目的とします。具体的には「文献の内容を理解してレジュメを作成し、人前で報告する」「報告をもとに質問・討論する」「必要な資料・文献を図書館等で探す」ができるように訓練をします。
講義の内容・授業スケジュール	前半：教科書の輪読 後半：グループ発表
成績評価の方法	出席状況・予習状況・分担状況の平常点により評価します。
教科書	開講時に指定します。

科目名	担当者名
基礎ゼミ	古沢紘造

講義のねらい	経済・社会に大いに興味を持ち、生きていく上で大切なものの見方、考え方を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	1 学問とは何か 2 経済学とはどのような学問か 3 私たちが直面している経済・社会問題とは何か
履修上の留意点	授業に出席し、積極的に意見を述べ、活気のあるゼミとするよう努める。いいかげんな気持で履修しないこと。
成績評価の方法	出席状況、発表、レポートにより総合的に評価する。
教科書	特になし。
参考書等	授業の進度に合わせて適宜紹介する。

科目名	担当者名
基礎ゼミ	森岡仁

講義のねらい	いま日本の経済は大きく変わりつつあります。経済の改革が進み、グローバル化の波が押し寄せ、そして人口は少子高齢化し、間もなく減少時代に突入します。このような変化の時代に経済を学ぶことは非常に意義深いものと考えます。このゼミでは以上のような幅広い観点から経済的諸問題を一緒に考えることを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	あるテーマについて、テキストを中心に各人が責任をもって報告し、それに全員が参加して議論をするといった方法で授業を進めます。
履修上の留意点	絶対に欠席しないこと。
成績評価の方法	平常点。
教科書	開講時に指定。

科目名	担当者名
基礎ゼミ	よし の 紀 吉 野 紀

講義のねらい

「人間（の為すこと）に関わることはすべからず私の関心の対象になる」とは、ある人の言葉である。経済学も所詮は人間の営為を解釈し、評価するものに過ぎない。

本講の目的は、先ず Why（何故？）という疑問を出発点に、What、How 等々疑問点を拡大してゆくことを習慣付けることにある。人間に関わることに、広く興味と好奇心を保ち続けて頂きたいと願う。

広範囲に渡るテーマをとり上げ、論点を整理するプロセスを大切にしたい。

履修上の留意点

授業に臨む当たり前の姿勢が求められる。

成績評価の方法

授業にとり組む態度が評価の大きな要素となる。

教科書

必要に応じて指示する。

参考書等

必要に応じて指示する。

科目名	担当者名
経済学入門	いい だ やす の 飯 田 泰 之

講義のねらい

経済学は、現代のビジネスシーンで最低限必要とされる論理的思考能力を訓練する格好のツールである。本稿では、今後、経済学を学ぶに当たって必要となる論理的思考と問題意識を伝えることを目標にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会科学と論理的思考
2. 経済学とは何をする学問か？
3. ミクロ経済学入門
4. マクロ経済学入門
5. 近代世界経済の歩み
6. 現代の日本経済と経済政策

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

中間レポートと期末試験による

教科書

開講時に指定する。

科目名**担当者名**

経済学入門

もりおかじん
森岡仁**講義のねらい**

私たち人間はさまざまな社会活動を行っていますが、その中でとくに大事なものは経済活動ではないでしょうか。働らいてお金を稼ぎ、それを使って衣食住を賄う経済行為は、私たち人間にとってもっとも基礎的な社会活動です。この講義では、このような経済活動が経済学とどのように関わっているのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会科学としての経済学
2. 経済学者の学説と社会観
3. 経済分析の基礎理論
4. 現代社会の経済問題

履修上の留意点

休まず必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点と期末試験

教科書

兼清弘之『経済学の考え方』（文化書房博文社）2004年

科目名**担当者名**

経済学概説

もりたせいや
森田成也**講義のねらい**

経済学は、生活や仕事にとって最も重要な領域を理論的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ用語や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がより人間らしい生活と労働を実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことが重要です。

講義ではまず、前期で、基本的な経済学の基礎理論を講義し、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思いをします。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎的な経済理論を学ぶ

- (1) はじめに (2, 3) 商品・貨幣 (4, 5, 6) 資本と剰余価値 (7) 賃金
 (8, 9) 資本の蓄積 (10, 11) 利潤と利潤率 (12, 13) 利子生み資本と株式資本
 (14, 15) 独占資本、国家、外国貿易 (16) 世界市場と帝国主義 (17) 19世紀資本主義と20世紀資本主義日本経済の基本構造を学ぶ
 (18, 19) 戦前の日本と戦後日本経済の出發 (20, 21) 現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 (22, 23) 企業社会の形成と日本的働き方の確立 (24) 低成長期以降の企業社会の肥大化 (25) 企業社会と女性 (26) クルマ社会日本 (27, 28) 経済大国日本とバブル経済 (29, 30) 長期不況と構造改革下の日本経済 (31) 日本経済の未来

履修上の留意点

ノートをこまめにとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です。

教科書

とくにありません。

参考書等

松石勝彦『現代経済入門』（青木書店）

科目名

担当者名

キャリア・デザイン

竹下 睿 駿

講義のねらい

「キャリア」とは、狭義には「個人が自分の仕事人生を通してもつ一連の職業および職務」ですが、広義には（職業・労働の世界での生き方に限定されず）「人生の諸過程（ライフプロセス）、生き方（ライフスタイル）」を意味します。従って「キャリア・デザイン」とは、自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいかを考え、実践すること（人生設計）です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、学びや遊びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要になります。

講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎的能力を身につけてもらいたいと思います。また、広く各分野からゲスト講師を迎え、さまざまな「キャリア」＝それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらう機会を適宜設けます。ゲストの個性あふれる人生体験はきっとみなさんに大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

講義——1. 企業による雇用システムの変化と就職戦線への対応（学業と就職準備活動の両立）、2. 21世紀はどんな時代・社会になるのか（生涯学習社会と「キャリア・デザイン」）、3. ライフサイクルと職業生活（職業と就職の意味）、4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割（学業と課外活動の意義）、5. 大学生活をどのように過ごすか（進路選択＝職探しは自分探しである）。ゲスト講師による「キャリア・デザイン（人生設計論）」——前期3～4回、後期5～6回。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期・後期、それぞれ記述形式の試験を行います。各50点満点とし合算して100点満点とします。出席点と試験の結果を総合して評価します。

教科書

教科書は使用しません。

参考書等

講義のつど紹介します。

その他

1・2年次生のみ対象の科目です。3年次生以降は履修できません。

科 目 名**担 当 者 名**

経済理論 I A・資本の原理

おお いし ゆう じ
大 石 雄 爾**講義のねらい**

私たちが生活している資本主義社会は、利潤追求を目的とする資本が支配的な力となり、生産・分配・消費のあり方を規定している社会です。現代社会はますます複雑なものとなっているため、まず資本主義経済の一般的な仕組みや法則についてきちんと理解することが必要となります。この「経済理論 I A」では、科学的な方法に基づいて打ち立てられたマルクス経済学の理論を中心に講義していきます。

この講義では、経済理論と現実の経済問題との関連についてもできる限り触れてみたいと考えています。受講生の皆さんも、新聞・テレビ・ラジオなどの報道に注意を向け、世界や日本国内で生じている政治・経済問題について考えるように心がけていただきたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

この講義は次のようなテーマに沿って進められます。

1. 経済学とはどういう学問か
2. 商品の2要因と商品生産社会
3. 貨幣の本質と諸機能
4. 資本の一般的定式
5. 資本の生産過程
6. 貸金とは何か
7. 資本の蓄積過程
8. 資本の循環と回転
9. 社会的総資本の再生産と流通
10. 利潤と利潤率
11. 平均利潤率と生産価格
12. 資本主義経済の長期的傾向

履修上の留意点

経済理論 I A（資本の原理）は体系的なまとまりを持っているため、講義の全体を通して聞くことにより、初めてよく理解できるという性質の科目です。授業には、年間をとおして毎回出席することを勧めます。

成績評価の方法

授業時間中に小レポートを書き、提出することを求めることがあります。成績は、後期に実施される定期試験の点数を基礎に、小レポートの点数を勘案して評価します。

教 科 書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参 考 書 等

大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』（大月書店）3,400円

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
2. 国民経済計算と国民所得の考え方
3. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化とGDPの関係
5. 消費と投資
6. IS-LMモデルと財政金融政策
7. インフレとデフレについて
8. 国際貿易
9. 政府の経済的役割
10. 総需要と総供給
11. 貨幣とマクロ経済
12. 貨幣政策と金融政策
13. 為替市場と金融政策
14. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にすることで、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよい。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立ちおすすすめ。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門のコースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、以上厳守。

成績評価の方法

定期試験とレポートの成績を総合評価する。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）2004年。これは公務員試験の問題集だけど他の国家試験の受験対策にも十分通用する。できる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他

毎回の授業の内容や主なトピックスをKOMSYに掲載するから、必要に応じ参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、いつでも質問相談に応じます。オフィスアワーを設けていますのでご利用ください。

科目名**担当者名**

経済学史

ふくはらよし のぶ
福原好喜**講義のねらい**

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。経済学史が単なる訓誥学とならないために、極力現代の問題も取り上げる。

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語、居眠りは厳禁、ひどい場合は退場願う。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不屈きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみにとってほしい。数回レポートを課す。

教科書

福原好喜『総理に忠告す』、『銀八先生心の手紙』、『Warm Heart』、『我も生命 汝も生命』、『総理お間違えではありませんか?』

その他

経済に興味を持ってもらうために経済の今の問題にも言及する。一部で横道の話の方が面白いという風評がある。学生の次元で経済学の話をしようという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。ケイタイ PHS 禁止。

科目名

担当者名

応用ミクロ経済学

あらき よしひろ
荒木 勝 啓

講義のねらい

金融経済学、金融工学などに必要な最低不可欠な理論的フレームワークを基礎の基礎から教える。本来この分野の標準的な数居は非常に高く、学ばなければならない知識も膨大であるが、この講義では比較的易しい最低限度の6つのテーマに絞って講義する。将来銀行、金融、証券、貿易（為替）などの方面に進みたいと考えている学生はこの授業の内容が金融スペシャリストのほんの入り口にすぎないということをよく認識した上で、示される手法を完全にマスターして欲しい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 基礎となる数学の復習——解析と線形代数。基礎から図解入りで説明するので高校のときに数学をやっていなかった人でもよく理解できると思う。
2. 条件付き最適化問題（静学）
3. 最適制御問題
 - (1) 変文法とダイナミック・プログラミング
 - (2) 最大値原理
 - (3) 無限端点
 - (4) 確率制御問題
4. 資産選択・投資理論
 - (1) 静学的方法
 - (2) 動学的方法
5. 利子理論
 - (1) 債権価格とさまざまな利子率
 - (2) デュレーション
 - (3) イミュニゼーション
6. ブラック・ショールズ公式と派生商品の価格付け

履修上の留意点

ノートをとることを欠かさないこと。金融工学の手法のエッセンスが凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとするとう膨大な量になる。

成績評価の方法

定期試験、ただしノート持込可。コピー不可。授業に出ていればほぼ確実に解けるような簡単な問題を出すので安心して授業をとっていただきたい。

教科書

特になし。

参考書等

池田昌幸『金融経済学の基礎』（朝倉書店）2000年
板垣有記輔『動的最適化と経済理論』（多賀書店）1995年

科 目 名**担 当 者 名**

応用マクロ経済学

よし の 紀
吉 野 紀**講義のねらい**

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率はなぜ上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえは実際にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教 科 書

R.J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

そ の 他

本講は旧「国民所得論」からの名称変更である。

科 目 名**担 当 者 名****現代資本主義論**ながしませいいち
長 島 誠 一**講義のねらい**

第2次大戦以後の現代資本主義を国家独占資本主義と規定し、その概念・構造・循環・発展と今後の傾向について、戦後の日本資本主義社会を説明しながら理論的に考察する。人間の解放（自立した個の連帯する社会）の視点から企業と市場の社会（資本主義社会）を批判的に解明する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

教科書に沿って以下の順序で講義する。

- (1) 戦後復興過程
- (2) 戦後資本主義と日本の資本体制
- (3) 戦後日本資本主義の社会体制
- (4) 戦後日本資本主義の循環と発展
- (5) 高度成長期と景気循環
- (6) スタグフレーションと景気循環
- (7) バブルの高進と景気循環
- (8) バブルの崩壊と長期停滞
- (9) 日本資本主義の構造変化と構造危機
- (10) 日本社会の真の構造改革とは何か
- (11) 新しい社会経済システムに向けて（21世紀の社会主義像）

履修上の留意点

教室にできる限り出てくること。教科書を用意し、予習・復習すること。歴史としての現代社会に関心を持ってほしい。

成績評価の方法

前期（夏休み中）に中間試験を実施する。必ず受けること。後期は定期（教場）試験。成績は前期と後期の成績の総合的評価。

教 科 書

拙著『戦後の日本資本主義』（桜井書店）2001年 本体3,000円

参 考 書 等

拙著『経済学原論』（青木書店）1996年
拙著『経済と社会』（桜井書店）2004年

科目名**担当者名**

社会思想史

あべ 阿部 弘

講義のねらい

テーマ：市民と経済学

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。

この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこで講義体系の前半部分で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあったこの論の持つ意義を観ていく。

次に、「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1部：「経世済民」思想

第1章：古代中国での思想

第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」

第3章：「経世済民論」と現代

第2部：「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

一マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：現代の経済的諸問題

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる。

1 出席の確認（授業中に適宜実施される）

2 年間4～6回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書

教科書は次のものを批判的に用います。

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

参考書等

適宜授業中に指定する。

その他

〔連絡体制〕

講師の連絡先等を次に記載しておく。

TEL（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No.2538研究室）

03-3418-9343（経済学部事務室）

E-mail: xupabe@nifty.com

科目名	担当者名
経済史	やすもと 安元 稔

講義のねらい

この講義の目的は、社会科学のものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。今、『経済史』では何が問題になっているのか。先ず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパの中世以降における経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を自らのものとしてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年のヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げた1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていったのか。こうした点を具体的にみていきます。

最後に、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、さらにアジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明して行くつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------|--|
| 第1編 『経済史』とは何か | |
| I 『経済史』の対象と課題 | 1. 「経済的営為」の特色
2. 『経済史』の課題 |
| II 資源配分の文法 | 1. 市場経済と非市場経済（慣習・指令経済）
2. J. R. ヒックスの『経済史の理論』 |
| 第2編 外国経済史を学ぶ意味 | |
| I ヨーロッパとアジア | 1. 比較史の視点 |
| II 環境・政治支配の型と経済発展 | 2. E. L. ジョーンズの『ヨーロッパの奇跡』 |
| 第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展 | |
| I 中世の経済と社会 | 1. 農業生産と土地領主制
2. 中世都市と商業組織
3. 中世社会の変容 |
| II 近代の幕開け | 1. 農業革命・価格革命
2. 「長期の18世紀」の人口
3. プロト工業化 |
| III 最初の工業国家 | 1. 産業革命をどう捉えるべきか
2. 人口の動向と農業革命
3. 18・19世紀イギリスの経済変動
4. 都市化と工業化 |
| IV 工業化の伝播と拡大 | 1. ヨーロッパ大陸諸国の工業化
2. イギリス経済の退潮 |
| V 国際経済の生成と発展 | 1. 国際経済の構造
2. ヨーロッパとアジア |

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多くでてきますので、億劫がらずに調べ、理解して行くことが必要です。受講者は、授業スケジュール・講義資料（講義中に配布します）をいつも持参して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行なわない代わりに、夏休みに参考書 E. L. ジョーンズ『経済成長の世界史』（仮題）を読み、レポート（200字詰め原稿用紙20枚以上＝40点配点）を提出してもらい、後期試験（60点配点）と総合して成績を評価します。

参考書等

E. L. ジョーンズ『経済成長の世界史』（仮題）（名古屋大学出版会）

その他

授業の方法は、講義方式です。但し、OHP・ビデオ・資料を使って説明します。

科目名**担当者名**

日本経済史

わたなべ けい いち
渡 邊 恵 一**講義のねらい**

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのであろうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 両大戦間期の日本経済

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がなくなること留意されたい。

成績評価の方法

期末試験で評価する。小テスト等を行った場合には、その結果を加味する。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定である。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

科目名	担当者名
工業政策	おくやままさゆき 奥山雅之

講義のねらい

現在、わが国の工業は、生産の海外化等の影響で厳しい状況ですが、高い技術力を背景に国際競争力を発揮し、わが国の経済を支える主役でもあります。将来においても「ものづくり」は、産業として重要であることに変わりありません。この講義では、数多くの企業事例を取り上げながら、「ものづくり」産業の特徴を確認しながら、それに対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性について考察します。

前期では、日本社会を支える「ものづくり」の現状からみていきます。後期では、環境調和、CSR（企業の社会的責任）、産学連携、知的財産など、「ものづくり」をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期（1～3）わが国の工業の役割と特徴
（4～6）戦後における工業の発展と工業政策
（7～9）工場立地の変化と工業集積の効果
（10～13）生産の海外化と空洞化問題
- 後期（14～16）工業の業種別課題（自動車産業、繊維産業ほか）
（17・18）「ソフトなものづくり」産業（アニメーション産業ほか）
（19）産学連携 （20）知的財産の創造・保護・活用
（21・22）工業の環境調和とCSR
（23・24）資金調達が多様化とベンチャー・企業再生
（25）規制緩和と構造改革特区 （26）まとめ

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することが望まれます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書

特に指定しません。配布する資料によって講義を行います。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

科 目 名

担 当 者 名

財政学

ま ちゅう つかへ し
里 中 恆 志

講義のねらい

財政意志の形成、租税負担配分、歳出の効率と合理性等について基礎的な判断力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

(第1回) 年間授業計画の説明、(第2回) 公共財と公共部門、(第3回) 財政収入の歴史、(第4回) 予算編成と査定、(第5回) 予算編成と政党、(第6回) 予算政府案と議会審議、(第7回) 予算の執行と競争入札、(第8回) 予算の政治過程、(第9回) 租税原則学説、(第10回) 給与所得税、(第11回) 申告所得税と累進課税、(第12回) 法人税と徴税技術、(第13回) 国際化と移転価格税制、(第14回) 一般消費税と付加価値、(第15回) 地方税と地方歳出、(第16回) 地方財政調整の制度、(第17回) 機関費と純粋公共財、(第18回) 公共事業費と費用=便益分析、(第19回) 公共事業費と公共財産の形成、(第20回) 社会保障関係費と所得再分配、(第21回) 補助金とスビルオーバー、(第22回) 公債と公債費負担、(第23回) 総需要管理政策と国民所得、(第24回) 課税乗数と均衡予算定理、(第25回) 公債による財源調達と債券価格、(第26回) 大量国債の累積と限界、(第27回) 財政金融政策と国際収支、(第28回) 財政投融资と政府貯蓄、(第29回) 試験と評価についての説明、(第30回) 試験

履修上の留意点

関連科目として「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。

成績評価の方法

年度末テストとして行われる筆記試験による。試験は論述式による。自筆のノート持込可。

教 科 書

里中恒志 = 八巻節夫編著『新財政学』(文真堂) 3,200円 ISBN 4 - 8309 - 4195 - 2 C3303

参 考 書 等

北川力編『図説日本の財政』各年度版 (東洋経済新報社)
中谷巖著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

そ の 他

授業の方法は講義形式による。

科目名	担当者名
地方財政論	篠原章

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論とは何か
2. 財政の機能と地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄
4. 地方財政と都市計画・地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：「東京」

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『新版 地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メールでも受けつける。また、篠原ホームページにも講義関連の情報を掲示する予定なので活用してほしい。

科目名**担当者名**

国際金融論

たなか りょういち
田中綾一**講義のねらい**

国境を越えた金融取引が引き起こす様々な問題を取り扱うのが国際金融論である。前期では国際収支や国際決済、外国為替相場などの基本的な事項を取り扱い、後期では国際通貨体制の変遷や昨今の諸問題などの発展的な事項を取り扱う。新聞記事を読みこなせる程度の国際金融に関する知識を獲得してもらうことが講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1) 国際収支統計の基礎
 - ・構成項目の内容
 - ・国際収支の赤字と黒字
 - ・国民所得と国際収支
- (2) 国際決済と国際通貨
 - ・国際決済の方法
 - ・為替調整取引と為替媒介通貨
- (3) 外国為替市場と為替相場
 - ・外国為替市場の構造
 - ・外国為替相場の見方

後期

- (4) 国際通貨体制の歴史
 - ・国際通貨体制とは
 - ・IMF体制の成立
 - ・IMF体制の変容
- (5) 国際金融の諸問題
 - ・ドル体制の現状と課題
 - ・欧州通貨統合の歴史と現状

*なお、授業の進度は受講者の反応をみて調整することがある。

履修上の留意点

出席はとらないが、深い理解のためには毎回の出席が不可欠である。

成績評価の方法

学年末試験（60%）と夏休みのレポート（40%）の合計。なお、授業中の私語は減点対象とするので注意すること。

教科書

奥田宏司・横田綾子・神沢正典編『現代国際金融－課題と解明－』（法律文化社、2006年4月出版予定）

参考書等

講義中に適宜指示する。

その他

国際金融に関係のある（と自分が思う）TVニュースや新聞記事に日頃から関心を持っておくこと。

講義のねらい

社会政策は、資本主義社会の維持・安定化を図るために国家が労働力の担い手（労働者）が抱える労働・生活上の諸問題に対応して実施する公的政策（労働力政策）として展開してきた。その後、社会保障制度にみられるように、労働力政策の枠をこえて、国民全体の社会福祉と社会サービスの向上をめざす福祉国家の公共政策に発展していった。近年、各国の経済、財政事情から福祉国家の再編がすすみ、社会政策の総合化が試みられている。

さらに、現代の社会政策は、労働・生活上の諸問題を取りまく構造的環境の急激な変化によって、新しい局面を迎え、従来の枠組み・パラダイムの転換（全面的な労働改革）を迫られている。

講義では、まず、社会政策の本質、発生の必然性と変化の過程を明らかにする。ついで、現代日本の社会政策の実体に焦点をあてて、その特徴を主要な基本的政策に即して検討することにする。さいごに、社会政策のさまざまな考え方の流れを跡づけ、最近の新しい動向を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 社会政策の概念と分析視角——1. 社会政策とは何か、2. 労働問題研究と社会政策研究、3. 社会政策の問題領域 Ⅱ. 資本主義と社会政策の歴史的展開——1. 資本主義と賃金労働者、2. 生成期資本主義の社会政策、3. 産業資本主義段階の社会政策、4. 独占資本主義段階の社会政策。

後期は、Ⅲ. 現代日本の社会政策——1. 戦前日本の社会政策、2. 戦後日本の社会政策、①労使関係（労働組合）政策、②賃金政策、③労働時間政策、④労働市場（雇用・失業）政策、⑤労働者保護政策、⑥高齢化政策、⑦女性労働と社会政策、⑧ME・IT技術革新と社会政策、⑨国際化と社会政策、Ⅳ. むすび——現代社会における社会政策の意義、社会政策論の検討。

履修上の留意点

出席を重視する。教場での私語を慎むこと（退場を求めることもある）。毎回、講義についての感想文を書いてもらう。

成績評価の方法

成績は、①定期試験を基本に、②出席率、③授業に取り組む姿勢、④感想文を加味して、総合的に評価する。試験の採点は、設問の意味を正確に理解し、論証が論理的に展開されているか否かを重視して行う。評価基準は、①が70%、②③④が30%の割合とする。

教科書

石畑良太郎・牧野富夫編『新版社会政策——構造改革の新展開とセーフティネット』（ミネルヴァ書房）2003年 3,400円

参考書等

西村豁通^{ひろみち}・荒又重雄編『新社会政策を学ぶ』（有斐閣）1999年 2,000円

その他

講義形式。資料をできるだけ配付する。

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を説明するとともに、一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「学校の水準と枠組み法」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた経済界・産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化とリテラシー 1 「識字率と児童労働」
 - (2) 日本の産業化とリテラシー 2 「江戸時代－工業化の準備機能」
 - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - (4) レーガン政権の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
 - (5) レーガン政権の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
 - (6) ブッシュ政権の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
 - (7) ブッシュ政権の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
 - (8) クリントン政権の経済と教育 「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
 - (9) サッチャー政権の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
 - (10) ブレア政権の経済と教育 1 「福祉のニューディールとオペティングアウト」 (一部ビデオ)
 - (11) ブレア政権の経済と教育 2 「学校の水準と枠組み法とビーコンスクール」
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における経済と教育 1 「富国強兵・殖産興業」 (映画)
 - (13) 学制時代における経済と教育 2 「学制公布と行政管理学校」
 - (14) 教育令時代における経済と教育 1 「工場払下と産業の勃興」 (一部ビデオ)
 - (15) 教育令時代における経済と教育 2 「教育令公布と職工学校・機業地学校」
 - (16) 学校令時代における経済と教育 1 「産業革命と紡績業の発展」 (一部ビデオ)
 - (17) 学校令時代における経済と教育 2 「学校令公布と実業補習学校・徒弟学校」
 - (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 「重工業の発展と資本主義の確立」 (一部ビデオ)
 - (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 「実業学校令公布と委託教育・工場内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (20) 復興期の経済発展と教育 「産業教育振興法」 (一部ビデオ)
 - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布し、教科書とする。

参 考 書 等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP 新書）
ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
玉川寛治『製糸工女と富国強兵の時代』（新日本出版社）
猪木武

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像
 - (1) アジアの「多様性」
 - (2) 「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論
 - (1) 従来の経済理論
 - (2) 今日の経済理論
3. 東アジアの経済発展
 - (1) 工業化の「前史」
 - (2) 東アジアの経済発展過程
 - (3) 経済発展の特徴
4. アジアNIEsの経済発展
 - (1) 用語説明
 - (2) 経済発展の特徴
 - (3) 韓国の開発独裁体制

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済
 - (1) 主要各国の経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
6. アジア社会主義諸国の経済
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機
 - (1) 危機の背景・原因・特徴
 - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力
 - (1) 地域経済協力の歴史と現状
 - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本
 - (1) 東アジアと日本の関係史
 - (2) 東アジアと日本の展望

成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名**担当者名**

中国経済論

田中祥之

講義のねらい

いま中国は「社会主義市場経済」の建設を国の基本方針として掲げています。しかし、この「社会主義市場経済」とはいったい何でしょうか？ この場合、社会主義とは何を指しているのでしょうか？

たしかに、この政策のもとで飛躍的な経済発展が達成されてきました。けれども同時に、過剰生産からくる不況、大量の失業、労働と生活条件の悪化、環境破壊、さまざまな格差の拡大などに悩まされることになっています。貧困からの脱却を求めて、市場経済的な工業化の道を選択しながら、それがかえって新しい貧困を生んでいく、その矛盾にもがいている、それが今日の中国ではないのでしょうか？

どうしてこのようなことになっているのでしょうか？ 市場経済化とどう関係しているのでしょうか？ ほかに道はないのでしょうか？

本講義は、以上の問題に答えようとするものです。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1 現代中国に関する基礎知識
- 2 中国経済の現在
- 3 「社会主義市場経済」政策批判
- 4 日中経済関係のあり方
- 5 中国はどこへ行く

成績評価の方法

試験70% 出席30% 前期・後期とも試験あり

教科書

田中祥之著『現代中国の改革』（中央大学生協出版局）
田中祥之著『増補 現代中国の改革』（中央大学生協出版局）

その他

試験は「持ち込み可」ですが、講義を聴いていないと解けない問題です。毎回、受講生に質問・批判・感想を書かせますが、これが出席表になります。

科目名

担当者名

ロシア・東欧経済論

やまがたひろし
山 縣 弘 志

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることではできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入ってから、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) ブレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

科 目 名**担 当 者 名**

プログラミング論

はま もと がず ひこ
濱 本 和 彦**講義のねらい**

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンダードアローンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化する、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としては主にC言語を扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としては主にC言語を扱う。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メール（大学のメールアドレスを利用）による出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生はメール送受信などの基本的なコンピュータ操作についてのリテラシーが必要である。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。

教 科 書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

新訂新C言語入門 {スーパービギナー編, ビギナー編, シニア編}, 林晴比古著, ソフトバンクパブリッシング

そ の 他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクトで見せながら行う。

科目名**担当者名**

情報処理論

いわせひろかず
岩瀬弘和**講義のねらい**

高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス (CG) は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CG を作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。この講義では、CG の概要から始まり、CG 作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存の CG 作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG 理論の理解を深めていく。さらに、現在 CG が応用されている分野を知り、今後どのように CG が活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ コンピュータグラフィックスとその展開
 - ・ 2次元 CG の作成と変換理論の習得
 - ・ 3次元図形の表示技術 (投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など)
 - ・ 自由曲線の種類とその理論 (ベジエ曲線、B スプライン曲線など)
 - ・ 自由曲面の種類とその理論 (ベジエ曲面、B スプライン曲面など)
 - ・ 3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど
- 上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRML、Java Script などの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。

教科書

配布資料。

参考書等田中成典、小林孝史 (編) 『VRML の達人』 (森北出版)
黒瀬能幸 『3次元図形処理工学』 (共立出版)

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・
授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということがあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）前期 1,500円
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）後期 1,500円

講義のねらい

企業経営活動は、今や人々が日常生活を送る中でなくてはならないものとなっている。企業の利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。企業規模が拡大し、国際化し、その影響力は拡大しつつある。さらに今後、BRICsへの経済発展の波は、企業経営活動と国民生活、さらには地球環境問題等々の政策的解決をより複雑化していくことが予想される。こうした状況下において、企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って、特に経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール

前期の目標

経営学は企業経営活動を対象として、その行動様式を体系的に研究する学問である。この考え方に立って、前期では主として、企業経営活動を全般に渡って概観する。

企業を取り巻く環境は、21世紀に入って大きく変化してきている。それに伴って、企業の行動様式にも変革が求められている。同時に、様々な問題解決を迫られている。グローバル市場化のうねりは、国際社会化、情報社会化の展開とともに、一つ一つの問題をより複雑化し、難しくしている。たとえば、労働生産性の追求と超高齢社会、自然環境や生活圏の保全と物質的豊かさの追求問題等は、これまでの方法論的解決方法の限界が顕現化してきている問題でもある。世界標準と国内標準のジレンマにある今日のわが国の社会において、経営者行動は極めて責任重大である。前期はこうした企業経営の実態の理解を目指す。

後期の目標

後期は、前期で理解した現実の企業経営とそれに伴った諸問題の認識に立って、経営学の体系的理解を目指す。

経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的理解と統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるように努めたい。

企業による生産主体としての活動は、その構造的視点と行動的視点の統合において理解されなければならない。今日、企業経営活動は構造改革が展開され、またそれに伴ってさまざまな制度改革が進められている。20世紀の日本経済・産業の発展に大きな貢献をなした輝かしい「日本的経営」の優位性が変異し、従来とは大きく様変わりしてきている。双方の視点の総合化過程は、経営者・管理者の意思決定過程にある。

後期の授業は、学生自身が積極的に問題視角を形成していくよう、講義の進行に努めたい。

履修上の留意点

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくこと。
 受講生は、自ら積極的に自分自身の独自のノートを創ること。

成績評価の方法

受講態度・レポート・定期試験により評価する。

教科書

名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』（同友館）

参考書等

鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）

科目名	担当者名
会計学総論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二

講義のねらい

大学で会計に関する学習を進めるうえで、必要不可欠な基礎知識を獲得すると同時に、会計に関わる事象を分析するうえでの基本的な見方を養うことを最大の目的とする。また、2年生以降の会計専門科目をどのように学ぶのかということについて、専門科目間の関係性を踏まえつつ、説明を行う。そのことによって、より高度な学習内容を理解するための土台をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、会計を分析するための視点の獲得に重点が置かれる。言い換えれば、「社会科学」としての「会計学」における分析方法を学ぶことになる。そこでは、会計を単なる技術と捉えるのではなく、むしろ社会的に一定の目的を果たすための仕組みと捉え、その仕組みの機能を把握するための方法を取り扱うことにする。

後期においては、そのような視点を前提としながら、会計学における各専門分野を概略的に取り上げることにする。具体的には、財務会計論・管理会計論・会計監査論の各分野に関して、その基礎的な概念や意味を明らかにしていく。

履修上の留意点

会計学関連の最も基本的な科目であるため、1年次での履修が望ましい。

但し、基礎的科目であることから、2年次以降の学生で未だ履修済みでない学生に対しても、受講することを推奨する。

なお、本講義と同時に「簿記論」を履修するか、または「簿記論」を履修済・認定済であることが望ましい。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人個人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては、必要に応じて問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科 目 名**担 当 者 名****簿記論**すずき かつひろ
鈴 木 勝 浩**講義のねらい**

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

定期試験及び提出課題の総合評価で行う。

教 科 書

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）

参 考 書 等

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記ワークブック3級商業簿記』（中央経済社）

そ の 他

講義の際には、電卓を持参すること。

科目名**担当者名****貿易実務**あらはたほろお
荒畑治雄**講義のねらい**

貿易取引の基本は、どこで、何を、どのような方法で売買するかにある。企業が生産する製品は買手志向の観点から把握される傾向が強くなっており、相手市場の需要動向を正確に把握し、顧客のニーズに合致する商品の取引を行うことが必要となる。

近年、アジア諸国の経済発展、EUの拡大、電子商取引の進展等国際ビジネス環境の変化が著しくなってきた。そこで、本講において、変化しつつある取引方法を念頭に入れ、貿易実務を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 貿易実務の戦略
 - (1) 有力市場の選定
 - (2) 貿易戦略の設定
- 2 取引関係の創設
 - (1) 取引先の選定
 - (2) 信用調査
- 3 引合から成約までの実務
 - (1) 見本の価格表
 - (2) 一般的取引条件の協定
- 4 売買契約の成立に伴う実務
 - (1) 売買契約の確認
 - (2) 売主・買主の義務
- 5 通関・船積み・陸揚げ
 - (1) 輸出通関と船積み
 - (2) 陸揚げと輸入通関
- 6 貿易決済

履修上の留意点

国際ビジネスの変化に常に関心を持ち、国際的な視野を広げるように努力する。

成績評価の方法

授業への参加度、試験の結果等による。

教科書

荒畑治雄『現代 国際商取引』（慶應義塾大学出版会）

参考書等

授業開始時に指示する。

科目名**担当者名****通関実務**あらはるお
荒畑治雄**講義のねらい**

わが国は、世界の多くの国々と貿易を行っており、海外諸国との貿易を増大することにより、わが国の経済が発展してきたのである。

日本から外国へ、外国から日本へという国際的な商取引には、いくつかの規制があり、必ず税関を通ることになっている。貨物を輸出入する時には、税関に申告してその許可を受けることが必要である。

本講義では、輸出の許可、輸入の許可、関税の徴収、保税地域の許可等通関手続きの業務を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 通関業務の定義 | (2) 通関士の義務 |
| (3) 関税法 | (4) 関税額の確定の方式 |
| (5) 関税の納付・徴収 | (6) 保税制度 |
| (7) 課税価格 | (8) NACCS |
| (9) 輸出申告書 | (10) 輸入申告書 |

履修上の留意点

貿易実務講義を履修しておくことが望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、最終試験。

教科書

講義用プリントを配布する。

参考書等

『出る順通関士』2006年版 (株)東京リーガルマインド) 2,800円 ISBN4-8449-9270-2

科 目 名**担 当 者 名****憲法**うちだまりこ
内 田 真 利 子

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。

履修上の留意点

授業に毎週出席できることが履修の最低条件。また、単に教室に来るだけではなく、主体的に授業に参加できる人へのみ受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、テストを行う。このテストのほか、授業中の発言、授業後の質問、自主提出レポート等についても成績評価の対象とする。

教 科 書

授業で指示する。昨年度のテキストは、川人博編著「テキストブック現代の人権 [第三版]」（日本評論社）。

参 考 書 等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

そ の 他

追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

科目名	担当者名
民法一部	おだてるこ 織田 晃子

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - (1) 権利能力 (2) 意思能力、行為能力 (3) 不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - (1) 法人の意義・本質 (2) 法人格否認の法理 (3) 権利能力なき社団・財団
 - (4) 法人設立とその能力 (5) 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間 (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税
コンパクト六法（岩波）

その他

プリント配布

科目名	担当者名
民法二部	おのけんたろう 小野 健太郎

講義のねらい

債権法は、物権法と共に、市民生活のうち財産関係を規律する法で、財貨の移動関係を定めた法です。この債権法は、民法の条文構成からみると、第三編「債権編」がそれに該当し、399条から724条までを対象としています。そして、講学上、債権編第一章総則の部分で「債権総論」といい、そこでは、債権の目的、効力、多数当事者の債権関係、債権の譲渡、債権の消滅などが規定されています（399条～520条）。また、債権編第二章以降の部分で「債権各論」といい、契約、事務管理、不当利得、不法行為などが規定されており、これらは、債権発生原因と解されています。債権総論は、民法典がパンデクテン方式により規定されているため、抽象度が高く、わかりにくいとされています。そこで、本講では、講義の中で契約等の例示を多く登場させ、極力具体的な理論を説明するようにしたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期 (1)～(5) 後期 (5)～(8))
- (1) 民法の全体像
 - (2) 債権の意義及びその性質
 - (3) 債権の目的
 - (4) 債権の種類 (a 特定債権 b 種類債権 c 金銭債権)
 - (5) 債権の効力 (a 強制履行 b 債務不履行 c 第三者による債権侵害 d 責任財産の保全)
 - (6) 多数当事者の債権関係 (a 連帯債務 b 保証債務)
 - (7) 債権関係の移転 (a 債権譲渡 b 債務の引受)
 - (8) 債権の消滅 (a 弁済 b 供託 c 相殺)

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。六法持参すること。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

『民法（４）債権総論』（有斐閣双書）を使用する。

参考書等

授業のなかで紹介する。

科目名

担当者名

商法一部

しげ た まきこ
重 田 麻紀子

講義のねらい

現代の市場経済社会を支えるキーバンソンは会社である。その会社に関する法的ルールを定める会社法について全般的に学習し、株式会社法制を貫く法原理を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

現在、会社企業を取り巻く環境は多様化・国際化する等、急速な勢いで変化しており、これを受けて、今春から新たに「会社法」が施行される。これに伴い、わが国の会社法制は大きくその姿・内容を変えることになる。この新しい「会社法」の施行が会社の法務・会計・税務といった会社経営全般に与える影響は計り知れず、現在、企業実務からの関心も集めている法分野である。

会社法は範囲が広いので、組織法に関する説明に重点を置きながら、できるだけ会社法上の論点を広くカバーして講義することとしたい。具体的な項目としては、会社の意義、会社の種類、株式会社の設立、株主と株式、経営管理機構の仕組み、資金調達、企業結合などである。会社とりわけ株式会社における利害関係者間の利害調整の基本的なルールを学び、株式会社法制を貫く基礎理論を修得してほしい。

履修上の留意点

なるべく平易な解説をするよう努めるが、各自予習・復習を心がけてもらいたい。できれば、民法科目について事前に（少なくとも並行して）履修していることが望ましい。

成績評価の方法

前後・後期各1回ずつ試験を行い、評価する。

教科書

最新の六法（小型のものでよい）を用意すること。
丸山秀平『やさしい会社法』（法学書院）2,000円

科 専
目 門
目 教
育

科 目 名

商法二部

担 当 者 名なか はま よし あき
中 濱 義 章**講義のねらい**

手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡求
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので2006年版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『コンパクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教 科 書

濱田惟道『手形法小切手法』（文眞堂）

参 考 書 等

開講時に指示します。

『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集』（有斐閣）

科 目 名

担 当 者 名

経済法

あら い とし お
荒 井 登志夫

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・
授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教 科 書

法改正直後のため、教科書は当面指定しない。

参 考 書 等

根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）
白石忠志『独禁法講義』（有斐閣）

そ の 他

レジュメを配布する。六法を持参のこと。

講義のねらい

今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席、レポートなどとともに、総合的に評価します。追試験は実施します。

教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科目名**担当者名**

行政法

なか たく ひと
仲 田 孝 仁**講義のねらい**

「行政法総論」では、各種行政活動に共通する通則的な法理論を学ぶ。「行政法」は、公務員志望者のみが理解すれば良いといった発想は大きな誤解である。民間企業であっても行政による規制はあらゆる業種に及び、かかる規制行政の仕組みを理解することは、企業による経済活動上も必要不可欠である。さらに、日常生活上も、運転免許の取得や各種申請、警察・消防、教育、福祉、環境等、行政との関わりは生涯切っても切れない。従って「行政法」の基本的な体系を理解することの重要性は極めて高い。

本講義は、行政法の入門的な知識・考え方の修得を主目的とする。履修者諸君には、問題発見・解決能力や法的思考法（リーガルマインド）を十分に養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本構造・基本原理（憲法と行政法、法律による行政の原理）、行政の仕組み（1・2）—行政組織法・地方自治法概説、行政の基準設定作業（行政立法・行政計画）、行政作用法概説、行政裁量、行政行為論（1～5）—行政行為の概念・諸類型、効力、行政行為の瑕疵、職権取消と撤回、行政行為の附款（以上、前期）、行政手続き（1～4）、情報公開・個人情報保護、行政の実効性確保の手段（行政強制、行政罰、即時強制、行政調査）、行政契約、行政指導（以上、後期）

履修上の留意点

講義では、学生諸君との対話を重視する。また、パワーポイントのスライド等を用いて、視覚に訴えることで、より分かりやすい授業となるように心掛けたい。講義は、基礎的な事項を中心として進めるが、最新の理論や判例の動向も随時補足していく。また、講義では、可能な限り具体的な事例を取り上げる。

成績評価の方法

期末試験の成績（70%）及び平常点（出席点・発言点、レポート、30%）を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

参考書等

講義時に、個別に紹介する。

その他

講義においては、レジユメを配布する。

科目名**担当者名**

国際法

おうしあん
王 志安**講義のねらい**

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版 2006年）

参考書等

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科目名

担当者名

社会保障法

ほら だ けいいちろう
原 田 啓一郎

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論は、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。

六法は、『社会保障法令便覧』（労働調査会）を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科目名**担当者名**

保険・海商法

か せ こう
加 瀬 幸 喜**講義のねらい**

保険契約法および海商法の基礎的知識を修得することがこの講義の目的です。まず、保険法についてですが、私たちは、火災、自動車事故や病気といった様々な危険に囲まれて生活しております。これらの危険を予防・軽減することは可能ですが、それらをすべて除去することは不可能です。ここに保険制度が必要な理由があります。保険は、共通する危険をもつ者たちがあらかじめ掛け金を拠出し、その掛け金を損害を被った者の損害補填に充てる制度です。このように、保険制度は私たちにとって有用なものです。他面、これは濫用されるおそれの高いものでもあります。少額の保険料で多額の保険金を取得することが可能だからです。近年、しばしば新聞などで報道されている保険金殺人事件がこれの代表的なものです。この講義では、保険制度のもつこれら2つの側面を法的視点から解明しようと考えております。

次に、海商法ですが、海商法は船舶を手段とする海上企業活動に関する法です。船舶というと、時代遅れの交通手段に思われますが、物品の運送については依然として主役の地位にあります。また、海商法は、歴史的にいうとその起源を中性の慣習法に求めることができます。そのため、この分野には独特の制度がみられます。この講義では、海上物品運送契約を中心に概説する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険制度の仕組み、損害保険の法的仕組みを解説します。後期では、火災保険、自動車保険、生命保険を解説し、次いで海商法を概説します。

履修上の留意点

債権法の基礎知識を修得していることが望ましいです。

成績評価の方法

成績は、学年末試験の結果で判定します。試験は持ち込み不可で行います。出席は、7～8回とる予定です。これは成績評価の際に加算事由とします。

教科書

山野嘉朗・山田泰彦編『現代保険・海商法30講（第6版）』（中央経済社）4,000円（税別）

科目名

担当者名

商法総則・商行為法

かわぐちゆきみ
川口幸美

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法(商取引)を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

①～⑥は商法総則、⑦～⑩は商取引法(一部消費者保護法を含む)であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。
①商法総則(商法の意義) ②商法の適用(商行為概念・商人概念)
③営業譲渡(商号の保護) ④商号
⑤商業使用人(支配人・その他) ⑥商業登記(9条1項と2項の法的効力)
⑦商事売買取引(国際売買取引契約) ⑧運送契約
⑨仲立人・取次人・商事代理 ⑩その他(銀行取引・消費者取引・フランチャイズ)

履修上の留意点

教科書と最新の六法(判例付きのものは除く)を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目(特に民法総則と債権)を同時履修するか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

鴻常夫著「商法総則」(弘文堂)
江頭憲治郎著「商取引法(第三版)」(弘文堂)
鴻常夫, 竹内昭夫, 江頭憲治郎/編
別冊ジュリスト 「商法総則・商行為法判例百選(第4版)」

その他

(当然のことだが)授業中の私語・携帯の使用は厳しく注意する。場合によっては退室を命じる。

講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした。本年度、税法Ⅰ（前期）では個人を納税義務者とする相続税を中心に講義、計算演習を行う。相続税は、平成15年度、シャープ勧告以来の大きな改正があり、今後この新しい制度がどのように推移していくのか関心が寄せられている。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 財政の役割と租税 | 8. 贈与税の課税原因と納税義務者、課税財産 |
| 2. 税法の基本原則 | 9. 生前贈与と相続時精算課税制度 |
| 3. 租税の種類と分類 | 10. 相続税・贈与税の財産評価（1） |
| 4. 相続税の意義 | 11. 相続税・贈与税の財産評価（2） |
| 5. 相続税の納税義務者 | 12. その他の税（法人税概説1） |
| 6. 相続税額の計算（1） | 13. その他の税（法人税概説2） |
| 7. 相続税額の計算（2） | |

履修上の留意点

簿記の知識は必須ではないが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席状況、期末試験により評価する。

教科書

速水昇編著『政府の役割と租税』（学文社）2,800円

参考書等

授業を進める中で適宜紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした。本年度、税法Ⅱでは定率減税の廃止、税率など抜本の見直しが予定されている個人を納税義務者とする所得税を中心に講義、計算演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 所得の概念 | 8. 各種所得金額の計算（4） |
| 2. 納税義務者 | 9. 所得控除及び税額の計算（1） |
| 3. 課税所得の範囲等 | 10. 所得控除及び税額の計算（2） |
| 4. 各種所得の種類 | 11. 申告・納付、源泉徴収、その他 |
| 5. 各種所得金額の計算（1） | 12. その他の税法（消費税法概説1） |
| 6. 各種所得金額の計算（2） | 13. その他の税法（消費税法概説2） |
| 7. 各種所得金額の計算（3） | |

履修上の留意点

簿記の知識がある方がよいが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法

出席状況、期末試験により評価する。

教科書

速水昇編著『政府の役割と租税』（学文社）2,800円

参考書等

授業を進める中で適時紹介する。

その他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用する場合があるので毎回持参のこと。

講義のねらい

高齢化と情報社会

日本は、いま、高齢化とIT化によって大きく変わろうとしている。

1950年生まれの団塊の世代最終ランナーが65歳に到達する2015年には高齢者が人口の四分の一を超えるといわれている。

日本人は、世界のどこの国も経験したことのない「高齢国家」の下で暮らしていかなければならないのである。

同時に、国の内外を問わず、日本人は高度に情報化された新しい「ITネットワーク社会」に適応して生きていくことを求められてもいるのである。

本講義は、往々にして相容れないものと捉えられがちの高齢者とIT社会との関連性を各種白書データなどによって分析するとともに高齢者の視座から高齢生活者のIT社会参画の現状と課題に迫ることを狙いとしている。

講義の内容・
授業スケジュール

(毎週水曜日、第4限・第6限)

(第1回＝ガイダンス、第14回＝レポート提出)

(1) 高齢国家・日本：第2・3回

(2) 高齢者の生活実態：第4・5回

(3) 生活を変えるIT化：第6・7回

(第8回にアンケート実施)

(4) 「ITネットワーク社会」の到来：第8・9回

(5) 高齢者にとってのボランティア活動：第10・11回

(6) 自己実現社会への期待：第12・13回

(第14回定期試験にレポート提出)

履修上の留意点

特にない。

成績評価の方法

授業出席60%、レポート提出40%で評価。

教科書

使用しない。

参考書等

指定しない(参考文献は授業の進行に応じて都度情報提供する)。

その他

授業方法は講義形式(PPT使用、必要に応じプリント配布も併用する)。

科目名	担当者名
現代経済事情Ⅱ 〔少子高齢化と年金制度〕	いぐちなおま 井口直樹

講義のねらい	年金制度とりわけ公的年金制度についてその仕組み、機能を正しく理解することにより、今後社会人として高齢化社会のあり方や年金制度のあり方について主体的判断（とくにマスコミ報道に対し）ができる知的基盤を獲得してもらいたいと期待。
講義の内容・授業スケジュール	公的年金を中心とした年金制度について、単なる制度論だけでなく経済学的視点を踏まえた、分析的・体系的な講義を行いたい。合わせて現在の公的年金のホットな話題についても提供し共に考えていきたい。
履修上の留意点	若干のミクロ経済学的知識が必要。
成績評価の方法	期末試験のほか2度程度簡単な確認試験を行い、年金制度についての基本的知識の習得程度に応じた成績評価を行いたい。
教科書	今のところ考えていない。
参考書等	今のところ考えていない。
その他	毎回プリントを配布したい。

科目名	担当者名
現代経済事情Ⅲ 〔地球環境とエネルギー問題〕	かねまつみちひこ 兼松通彦

講義のねらい	(授業の主たる内容、基礎になる学問的傾向・問題意識) ① 人類はエネルギーを活用することによって、文明を発展させてきた。特に20世紀は頂点に達し環境破壊が急激に進んでいる。人類破滅を回避するためには、エネルギーを地球規模で賢明に利用することが不可欠になった。 ② 一方、エネルギー産業界は、1980年代以降の世界的な規制改革（規制緩和）の推進と、CO ₂ など温暖化ガスの排出を主とした地球問題への対応に迫られ、大きく変貌しようとしている。この実情を大きな流れとして把握する一方、重要問題について深く探求し、エネルギーに関連する最新の情報・知識を得る。
講義の内容・授業スケジュール	半期12回でエネルギー資源の変遷、今世紀中に化石燃料は枯渇する見通し、石油代替燃料(天然ガス、原子力発電)の特質、天然ガスへの期待、省エネルギー政策の推進、エネルギー市場の自由化、エネルギーの効率的利用を促進する技術開発の概要、温室ガス(気候変動の最大要因)削減への挑戦、新エネルギー(燃料電池、太陽光発電、バイオマス利用、風力発電など)の胎動、水素エネルギー社会実現への展望
履修上の留意点	京都議定書の2005年2月批准によりエネルギー関連情報が本年は質量ともに急増、激変する。新聞、月刊誌、テレビ報道特集に注目。
成績評価の方法	理解度、関心の度合いを試すために幅広いエネルギー関連問題を提起してペーパーテストを実施する。
教科書	植草 益編『エネルギー産業の変革』(NTT出版)
参考書等	毎回、要点をプリント配布しパワーポイントを使って講義する。

科目名**担当者名**

現代経済事情Ⅳ

とよ だ よし ひろ
豊 田 義 博

〔20代の仕事とキャリア〕

講義のねらい

経済、産業、教育、そして人口構成。全てが劇的に変化する21世紀初頭の社会にあって、大学等を卒業するなどして社会人としてデビューする20代を取り巻く環境(仕事内容、職場など)もまた激変し、彼らのキャリア、成長実感は、以前に比して様変わりしている。本講義では、学生の近未来の姿である「20代社会人」の実態(ミクロ)を知ることを通して、現在経済の構造変化(マクロ)を体感することを目的とする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

20代社会人の仕事とキャリアの実態を、ケーススタディとデータを通して学んでいく。ケースは「第二新卒」「派遣という生き方」「大卒職人」「転職を重ねるジョブホッパー」「雇われずに生きていく」「フリーター」「ニート」など。

履修上の留意点

授業においては、学生の自立的参加を期待する。自ら疑問、意見を持ち、積極的に質問などをする学生の受講を期待する。

成績評価の方法

出席回数(50点)と期末提出のレポート(50点)により評価を決定する。

教科書

なし。

参考書等

授業において、参考図書の指定を行う予定。

その他

授業方法は、各回毎にレジユメを配布しての講義形式を基本とするが、受講人数によってはグループディスカッションなどを織り交ぜることも検討する。

科目名	担当者名
現代産業事情 I	あべ 弘 阿部 弘

講義のねらい	<p>テーマ：グローバルな仕事 グローバルなキミ！！ ライブな授業をやろうよ！ この講義では、人間誰でも経験している「仕事」を軸にして、地球的・世界的規模で展開している私たちの毎日の生活を、皆さんの先輩講師からの新鮮な経験を通じて話をさせていただき、そして皆さんと一緒に話し合っていくことを目標にしています。 日本人は伝統的に自分の殻に籠もってしまう癖があります。昨今のグローバルな状態の中で、分単位・秒単位で展開している私たちの「頭」の中を整理し直して、「世界人」的に地球規模で展開している私たちの「仕事」とその「責任」を自覚していく時です。そのような能力を培うためにディベート方式をとるなどによって授業を進めていきます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>基本的に3人の講師がそれぞれ3回サブテーマを設定して、3課程の講義体系とします。受講生にはこの課程に沿ったレポート作成を通じて講師と交流をし、またディベートに参加するという形をとってもらい、授業を参加型の講座にしていきます。 最初に、ディベート形式で3人の講師からの問題提起を受けて講座は開始されます。次いで3人の講師から、各々、その問題提起に沿った講義をしてもらい、その後で再び総括を兼ねたディスカッションの後、第2回目の講座が始まり、同様にして第3回、そして最後に総括をするという形です。</p>
履修上の留意点	「定期試験」・「追試験」などはありません。
成績評価の方法	「レポート」によります。
教科書	原則として用いませんが、図書館で広く新聞などには目を通しておいください。
参考書等	原則として用いませんが、図書館で広く新聞などは目を通しておいください。
その他	<p>[連絡体制] 連絡をとりやすいようにするため、「講座担当者」の連絡先などを記載しておきます。 TEL（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No2538研究室） 03-3418-9343（経済学部事務室） E-mail: xupabe@nifty.com</p>

科目名	担当者名
現代産業事情 II	ともまつ よし ひこ 友松 憲彦

講義のねらい	<p>「新聞で学ぶ経済問題」をテーマとします。新聞記事を教材とする日本や世界の経済問題への入門講座です。日本経済新聞の編集委員、研究主管を務めたベテラン講師が担当します。経済問題への理解だけでなく、「新聞の読み方や利用法」「経済用語の解説」、「文章の書き方」など就職活動にとっての重要なツールを学ぶこともできます。マスコミ関係を志望する者にとっても最適な講座です。</p>
成績評価の方法	出席状態とレポートで評価します。
参考書等	講義中に紹介します。

科目名**担当者名**

会計資格特別演習

すずき かつひろ
鈴木 勝 浩**講義のねらい**

本講義は、特に税理士試験の法人税法について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結びついており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず課税所得と法人税の算定に至るまでの流れを、特に別表1及び4を利用して体系的に理解をしていく。その後、課税所得算定に必要な個別調整事項を対象に詳細な解説を行うと共に、具体的な計算問題を通じて理解を深めていく。また税理士試験は計算に加えて理論も出題されるため、計算の根底にある税法上の理論的裏付けを条文に照らし合わせながら確認していく。また法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り入れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。

履修上の留意点

本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。

成績評価の方法

出席率と講義中の演習で評価する。

教科書

社団法人全国経理教育協会編『演習法人税法』（清文社）

参考書等

渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成18年受験用〕』（中央経済社）
『法人税法 個別問題集〔平成18年度版〕』（TAC出版）
『法人税法 理論マスター〔平成18年度版〕』（TAC出版）

その他

法人税法は税理士試験の中でも特にボリュームの多い科目であり、難しいといわれています。しかし法理念と体系さえ把握できれば必ず理解できます。また実務上必ず必要となりますから、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしいと思います。疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決してください。

科 目 名**担 当 者 名****情報資格特別演習Ⅰ**

なが い 勇

講義のねらい

本講座は経済産業省「基本情報技術者試験」受験を希望する学生への対策講座です。同時に、情報処理技術（IT）の基礎的な知識・学力の習得を目的としています。当試験の合格を目指す学生はもとより、現在の社会で必要不可欠なITの基礎を学びたい学生が対象です。

「基本情報技術者」の資格はソフトウェア開発技術者、さらにはシステムアナリストなどの上級の情報関連技術者をめざすための登竜門的資格です。情報関連企業に限らず、金融期間、商社に至るまで、就職活動には非常に有利な資格となります。

講義の内容・授業スケジュール

前期では午前問題基礎対策講座として、主に午前問題のコンピュータサイエンス基礎とハードウェア/ソフトウェア基礎に力を入れて学習します。

後期では午後問題対策講座として、特にアルゴリズムの基礎の習得に力を入れ、その後に午後問題を中心に演習を行います。

ただし平成18年度秋期本試験の受験者を想定し、前期においても適時に午後問題や下記スケジュール範囲外の問題演習を前倒して実施します。

前後期ともに講義に加え、その時点における最新の午前午後問題を中心に演習を実施します。またコンピュータを利用したオンラインテストも適時併用します。

【前期】午前問題基礎対策講座の目安

第1回 ガイダンス

〔講義/演習〕

第2回 コンピュータ概論

〔講義/演習〕

第3回 アルゴリズムの表現法

〔講義/演習〕

第4～5回 コンピュータの基礎理論 その1

〔講義/演習〕

第6～8回 コンピュータの基礎理論 その2

〔講義/演習〕

第9～11回 ハードウェアの基礎

〔講義/演習〕

第12～13回 ソフトウェアの基礎

〔講義/演習〕

【後期】午後問題対策講座の目安

第1回 午後問題解説

〔講義/演習〕

第2～3回 基礎的なアルゴリズム

〔講義/演習〕

第4～6回 代表的なアルゴリズム

〔講義/演習〕

第7回 データ構造

〔講義/演習〕

第8～10回 プログラム設計と内部設計

〔講義/演習〕

第11～12回 総合演習

〔演習〕

(上記スケジュールは状況により変更することがあります)

履修上の留意点

「基本情報技術者試験」は、午後問題においてCOBOL、C言語、CASL、JAVA等の言語のうち少なくとも1ヶを習得していることが前提です。そのため高等学校等で何らかの言語を経験している学生以外は、「プログラミング論」の単位を修得していることが望ましい。また時間上の制約から、講義内容の一部（データベース、ネットワーク、システム開発）を情報資格特別演習Ⅱ（初級システムアドミニストラータ試験対応）で補うため、同講座を同時履修している事が望ましい。

今後の受験勉強に備え、平成18年度秋期の本試験を受験することが望ましい。特に後期後半はこの秋期本試験を受験したことを前提に講義を進める。

成績評価の方法

定期試験では、基本情報技術者試験の過去の問題から抜粋した模試を実施し、評価します。また講義への出席率も評価の対象となります。

科 専
門 教
育 目 録

教科書

『コンピュータシステムの基礎』(株アイテック) 4,000円 (予想値段)

参考書等

・基本情報技術者試験の過去の問題を適時に配布

その他

基本情報技術者試験の合格やITに興味のある人が望ましく、またパソコンを使用した講義があるため、履修制限を行なう場合もあります。

情報資格特別演習Ⅱは来期以降に履修することもできますが、内容的に本講座と補っているため((3)参照)、同時履修することをお勧めします。

科目名

担当者名

情報資格特別演習Ⅱ

井川俊実

講義のねらい

パソコンの普及により、誰でもがコンピュータを仕事や趣味に利用する時代になっています。「初級システムアドミニストレータ試験」は、コンピュータ（パソコン）を道具として利用し、事務作業の効率化を推進する人のためにできた国家試験であり、この試験に合格することは就職にも有利になります。

本講座は「初級システムアドミニストレータ試験」の合格を目指す人は勿論ですが、「基本情報技術者試験」受験でも必要になる「ネットワーク」、「データベース」、「システム開発」の分野も取り上げますので、その合格を目指す人も履修することが望めます。

講義の内容・授業スケジュール

講義は説明を行い、演習で講義内容の理解を確実にする形で進めていきます。演習は過去の情報処理技術者試験の午前問題、午後問題を取り上げ、本試験に対応できるようにします。表計算とデータベース（SQL）については、パソコン上でExcelとAccessを使った実習も行います。

また、10月上旬及び12月上旬に講義内容の理解度を確認するための小テストを実施します。

【前期】平成18年秋の本試験受験を考慮した講義を行います。

- 第1回 ガイダンス
- 第2～4回 利用者から見たハードウェア／ソフトウェア
コンピュータシステムの仕組み、OSの機能など
- 第5～7回 問題発見・解決技法
データの収集・整理、DFD、ER図、デシジョンテーブル
- 第8～12回 データベース
DBMS、関係データベース、データの正規化、SQL（Accessを使用した演習による確認も含む）

第13回 システム開発のプロセス

【後期】平成19年春の本試験受験を考慮した講義を行います。

- 第1～2回 システム開発手法とテスト手法
- 第3～7回 ネットワークとセキュリティ
ネットワーク概要、LAN、インターネット、セキュリティ
- 第8～10回 表計算
本試験に頻出する重点項目（Excelによる演習を含む）

第11～12回 午後試験問題対策（表計算、データベースなど）

（上記スケジュールは状況により変更することがあります）

履修上の留意点

本講座は主に「初級システムアドミニストレータ試験」を受験する人向けの講座であるので、ハードウェアやソフトウェアについてはコンピュータの利用者側の視点で講義を行います。コンピュータの基礎理論をじっくり学習するには、情報資格特別演習Ⅰの同時履修が望まれます。

成績評価の方法

主に初級システムアドミニストレータ試験の過去問題を使用したテスト及び講義への出席率によって評価します。

教科書

『完全合格初級シスアド対策テキスト&問題集2006年版』（アスキー）1,580円（予想価格）

参考書等

『初級シスアドパーフェクトラーニング過去問題集』（技術評論社）
『コンピュータシステムの基礎』（アイテック）
テキストを補足する資料を適時配布します。

その他

初級システムアドミニストレータ試験の合格を目指す人は勿論ですが、パソコンを利用する上でもっと知識を深めたいと望んでいる人にもお勧めできる講座です。
なお、本講座は応募人数によっては履修制限を行う場合があります。

講義のねらい

この講義は、教員採用試験を目指して努力している人に、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としている。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接、論作文、実技試験その他全般にわたって、さまざまな工夫がなされている。

そこで、本講は「今なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたいのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念の形成をはじめとして、教職教養、一般教養、専門教養の学習方法、面接・論作文演習などの試験対策、模擬授業実践、先輩教師との交流、学校見学、小・中学校学習支援ボランティア活動などさまざまな活動を通して将来の教師としての資質・力量の涵養につとめたい。模擬授業実践、ボランティア活動など実践経験を要するものはサブゼミでも行います。教職を目指す人ならば学部、学科を問わないので、いっしょに勉強し、教員志望者の夢を叶えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 教育の意義
2. 教師の資質と能力
3. 教員試験の心構えと学習計画
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 同和教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み法
13. 専門教養の取り組み法
14. 集団討論の実際（演習）
15. 個人面接の実際（演習）
16. 集団面接の実際（演習）
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業実践
19. 総合問題演習
20. 学校見学
21. ボランティア活動実践

履修上の留意点

講義問題演習、討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。

成績評価の方法

授業中実施する小テスト、討論の内容、小論文などを参考にすが、基本的には真剣さ、真面目さ＝出席状況なども加味して総合的に評価するので、追試験は実施しない。

教科書

必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。

参考書等

- (1) 『教育小六法』（学陽書房、三省堂など）
- (2) 小学校、中学校、高等学校の学習指導要領

科目名	担当者名
商業政策	いわした ひろ 岩 下 弘

講義の内容・ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造 <ul style="list-style-type: none"> 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造 ニ わが国の流通政策論 <ul style="list-style-type: none"> 1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論 4 流通革命論 三 流通ビジョンと流通政策 <ul style="list-style-type: none"> 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン 4 21世紀へ向けた流通ビジョン 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程 <ul style="list-style-type: none"> 1 百貨店法 <ul style="list-style-type: none"> 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法 2 中小小売商業振興法 3 小売商業調整特別措置法 4 大店法 <ul style="list-style-type: none"> 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法 5 凍結宣言、要綱及び条例 6 通産省による行政指導＝抑制措置 7 規制緩和 <ul style="list-style-type: none"> 1) 規制緩和の流れ―前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置 8 特定商業集積法 9 街づくりと都市計画 五 流通政策の転換 <ul style="list-style-type: none"> 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法 六 海外の流通政策 <ul style="list-style-type: none"> 1 イギリス <ul style="list-style-type: none"> 1) 出店調整政策―都市・農村計画法 2) 日曜営業問題―商店法 2 フランス―ロワイエ法 3 ドイツ―土地利用計画 4 アメリカ―ゾーニング規制
成績評価の方法	定期試験、レポート、出席により評価。
教科書	指定しない。
参考書等	その都度指示する。

科目名**担当者名**

商品学

けん むく よう
見 目 洋 子**講義のねらい**

「商品学」は、単なる個別の商品知識の習得を目的とするものではない。現代社会における、商品市場を成立させるための商品化政策ならびに商品に関する法・規制の下、商品の生産、流通、消費そして廃棄に関する市場化現象、さらに消費活動に着目し、商品・サービスに関する市場性と社会性を学習する。つまり、多様な商品化現象と消費現象を通して、今日の商品化政策の課題、商品化の課題や問題、消費の問題を抽出し、広く商品市場社会を考察することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

【前期は1～4講話、後期は5～8講話】

1. 商品学とは何か
 - ①商品学の学習・研究領域、②商品学の学問的展開
2. 現代の商品市場と研究フィールド
 - ①現代の商品市場社会、②商品の市場化と社会的規制、③市場活動と商品研究、④現代的消費スタイルと商品市場、⑤科学技術の進展と商品市場
3. 商品市場と商品化政策
 - ①商品の標準化と規格制度、②商品分類の市場機能、③商品の表示制度、④商品の安全性確保
4. 現代商品の品質構造と評価
 - ①現代商品・サービスの構造、②品質理解と品質要素、③商品特性と商品連関、④商品評価質的側面と価格側面
5. 調和志向の商品連関とビジネス
 - ①商品連関の発想、②商品連関型ビジネス、③商品開発と調和志向のビジネス
6. 少子高齢社会における商品市場
 - ①少子高齢社会の理解、②市場と準市場、社会的活動領域の理解、③少子高齢社会の商品問題・消費問題、④「生活福祉」型市場の分析
7. 地球環境問題と商品市場、消費行動
 - ①環境政策とパラダイム転換、②企業の環境主義経営と商品開発、③環境配慮型商品と消費行動、④企業の社会的責任と環境コミュニケーション活動
8. 調和価値社会と企業マーケティング
 - ①生活における商品インパクト、②ソシオ・エコロジカル・マーケティング志向、③企業の社会的責任とマーケティング、商品市場

履修上の留意点

商品を通して市場現象に関する観察力を研ぎ、今日の市場問題に関心のある者の参加を期待。授業の最後に簡潔なコメントを書く。履修者は、問題意識を持って参加して欲しい。

成績評価の方法

平常点50% 出席点30%、小テスト（前期・後期 各1回）20%、期末試験50%（なお、出席点として、授業終了後の「コメント」を評価する。）

教科書

片岡寛・見目洋子・山本恭裕編著『21世紀の商品市場—市場性と社会性の調和—』（白桃書房）3,500円

参考書等

見目洋子『「生活福祉」型市場創造—円熟社会の高質化のために—』（中央経済社）2,884円

その他

授業方法は、講義方式。教科書の内容を補充するプリントも配布する。

科目名	担当者名
交通論	きむ て ぎゅ 金 兌 奎

講義のねらい

交通サービス及び交通産業の概念・特徴・分析アプローチなどについて具体的かつ体系的に理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①交通論の概略：交通論を学ぶ目的、交通論の対象
- ②交通サービスの需要と供給の特性（2回）
- ③交通サービスへの規制（2回）
- ④運賃理論（2回）
- ⑤運賃政策（3回）
- ⑥交通投資の特徴（2回）
- ⑦前期のまとめ
- ⑧鉄道政策及び鉄道輸送事業の特徴（2回）
- ⑨国鉄の分割民営化、JR・民鉄の現状（2回）
- ⑩航空政策及び航空輸送事業の特徴（2回）
- ⑪航空輸送事業における規制緩和及びローコストキャリアの新規参入（2回）
- ⑫空港整備制度（2回）
- ⑬道路整備制度
- ⑭道路政策及び道路公団の民営化
- ⑮後期のまとめ

履修上の留意点

交通の様々な側面を正確に理解するためには、ミクロ経済の知識を必要とする。受講者は基礎的なミクロ経済学を理解していることが望まれる。

成績評価の方法

平常点（出席、レポートなど）と試験の成績による総合評価

教科書

なし

参考書等

藤井彌太郎・中条潮編『現代交通政策』（東京大学出版会）1992年
 山内弘隆・竹内健蔵『交通経済学』（有斐閣アルマ）2002年
 杉山雅洋他編著『明日の都市交通政策』（成文堂）2003年

その他

授業は、パワーポイントを使って進めるが、補助のプリントを配布する予定である。

科目名

担当者名

経営戦略論

たぶちやすお
田淵泰男

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになってきました。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとっても最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

経営戦略論の下記のような主要分野について、それぞれの理論を事例ないしフィールドリサーチによる最近の実例などをまじえて解説します。前期が企業戦略論、後期が競争戦略論を中心とした内容で授業を進めます。

・経営戦略論への招待

戦略とは何か、経営戦略とは何か、経営戦略論の発展過程と概念の構築、経営戦略の体系。

・企業が生存していくために選択・決定すべき「企業戦略としての事業領域（ドメイン）の定義

・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」

・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える『事業ポートフォリオ戦略』

・競合企業に対して競争上の優位な地位を獲得するための「競争戦略」

・その他

機能分野別の戦略（研究・技術開発戦略など）、経営戦略と組織、最新の経営戦略論の動向などについて、授業時間数の配分を考慮して取り扱います。

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

学年末の定期試験により評価します。出席は加点対象とします。ただし、受講者の学習意欲や出席状況を参考にして、レポートを加点対象とした総合評価とすることがあります。

教科書

開講時に説明します。

参考書等

開講時に説明した後、適宜紹介します。

その他

毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するとき、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名
企業統治論	いわ 岩 なみ 波 ふみ 文 たが 孝

講義のねらい

グローバル化の進行や敵対的買収の頻発など社会・経済的環境が著しく変化しており、企業と経営活動のあり方が問い直され始めています。日本やアメリカにおいても、一連の企業不祥事が表面化し、企業経営や経営者の行動に対するチェックあるいはモニタリングの強化が求められています。

本講義では、トップ・マネジメントの観点から企業の全体構造を捉え、株式会社の発展に伴う会社間ネットワークとトップ・マネジメント機能の考察を通じて、企業の公正かつ効率的な運営システムの構築、すなわち企業統治（コーポレート・ガバナンス）の構築について追究していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 企業統治論の対象
- 3 トップ・マネジメントの構造と機能
- 4 現代企業の株式所有と支配構造
- 5 株式所有・会社支配・戦略的管理
- 6 ガバナンスとエージェンシー問題
- 7 ガバナンス構造の変容
- 8 経営者インセンティブとガバナンス
- 9 組織変革とガバナンス
- 10 グループ経営とガバナンス
- 11 メインバンク制とガバナンス
- 12 機関投資家とガバナンス
- 13 社外取締役とガバナンス
- 14 ガバナンスとケープバリティ
- 15 コーポレート・ガバナンスをめぐる今後の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験により評価します。

教 科 書

仲田正機編著『比較コーポレート・ガバナンス研究—日本・英国・中国の分析—』（中央経済社）2005年

参 考 書 等

仲田・細井・岩波共著『企業間の人的ネットワーク』（同文館）1997年
仲田・夏目編著『企業経営革新の新世紀』（同文館）2002年

そ の 他

随時レジュメ等配布します。

科目名**担当者名**

会計監査論

もり た よし ひろ
森 田 佳 宏**講義のねらい**

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会计学総論または会计学基礎」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

山浦久司『会計監査論（第3版）』（中央経済社）
加藤恭彦、友杉芳正、津田秀雄編著『監査論講義（第5版）』（中央経済社）
石田三郎編著『監査論の基礎知識（5訂版）』（東京経済情報出版）
（財）財務会計基準機構監修『平成17年度版 企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名**担当者名**

会計情報論

いし かわ じゅん じ
石 川 純 治**講義のねらい**

時事で読み解く「会計ビッグバン」をテーマにする。会計学においては会計原則や個々の会計基準を学習することもむろん重要だが、それだけが会計学ではない。その基礎にあるものや、その背景からより深く理解することがいっそう重要である。とりわけ今日のように会計制度が大きく変容しようとしているときはそうである。本講義では、社会のなかの「生きた会計」、とりわけ90年代から今日に続く会計制度の大改革（会計ビッグバン）を政治経済学的に学習する。社会科学としての会計学の視点を養うことが目標となる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

会計ビッグバンを政治経済学的な視点から取り上げ、社会科学としての会計学習を行う。教科書にそって講義するが、最新の会計トピックスはホームページ掲載の「時事会計教室」から取り上げる。

履修上の留意点

会計の政治経済学的な学習をねらいにしているので、商学科のみならず経済学科の学生も意識した講義をする。細かな会計基準の知識は必要ないが、一応の会計学の基礎知識ないし関心をもっていることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験ないしはレポート。

教科書

石川純治『激動する会計』（日本評論社）2,000円程度（4月発刊予定）。

参考書等

講義で別途指示する。

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。ここでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科目名**担当者名**

上級簿記

福島 隆

講義のねらい

本講義は、簿記論での学習内容を基礎として、株式会社における簿記を学習します。具体的には、株式会社で必要な簿記技法について説明します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため授業中は、講義と問題演習を行います。レベルとしては、日商簿記2級の商業簿記を想定していますが、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。なお、工業簿記の講義は行わない予定です。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。

- (1) ガイダンス (2) 現金預金 (3・4) 有価証券 (5) 債権債務
 (6・7) 手形 (8) 引当金 (9・10) 商品売買 (11~13) 特殊商品売買取引
 (14) 固定資産 (15~18) 株式会社会計 (19) 税金 (20・21) 決算
 (22・23) 本支店会計 (24) 帳簿組織 (25) 伝票会計 (26) その他の論点

*授業内で中間試験を2回行います。

2005年度は1級の導入として、連結会計(2回)と現在価値計算(1回)をしました。11月の日商簿記2級の試験までに、2級の商業簿記の範囲を終わらせます。

履修上の留意点

簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに(つまり、日商簿記3級程度の知識があることを前提として)、講義を行います。講義では3級の復習は必要最低限しか行いませんので、各自復習しておいてください。10分以上の遅刻は欠席扱いとします。

成績評価の方法

評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。

- (1) 平常点重視型・・・出席20点、課題20点、中間試験20点×2回、定期試験20点。
 (2) 試験重視型・・・中間試験30点×2回、定期試験40点。

教科書

未定。第1回目の講義で指示します。

その他

授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

科目名

担当者名

証券市場論

ひろたまさと
広田真人

講義のねらい

ファイナンス理論の裏づけなくして証券制度の理解は在り得ない。そこで、講義の大部分はファイナンスの基礎理論の学習のために費やされる。最後に『金融ビックバン』の説明の際、“改革”の前提としての既存制度についても言及する。従って、本講義のキーワードは、“資本コスト” 発見の場としての証券市場の役割となる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①「出席表一同様な事業内容を持つ日米両企業の株価等を毎週提出」の説明
- ②株式市場の存在理由—資本コスト発見機能を中心に
- ③資産価値の評価—NPV・IRR、債券と株式の評価—
- ④株式投資におけるリスク— σ と β —
- ⑤資本コストの計測とEVA
- ⑥デリバティブの初歩—オプションを中心に—
- ⑦株価指数とインデックス運用
- ⑧金融ビックバンの評価からみた日本の証券市場の特色

履修上の留意点

最初の授業で「出席表」の説明を行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

期末レポート（中間は未定）

教科書

特になく、授業中にプリント配布

参考書等

井手・高橋『経営財務入門』・『証券投資入門』（日本経済新聞社）2001—2003年

科目名**担当者名**

保険論

みやちともか
宮地朋果**講義のねらい**

現代の複雑な社会において、企業と家庭は多様なリスクに直面している。本講義では、主として、企業におけるリスク処理の体系的な考え方であるリスクマネジメントについて検討する。また、リスクに対する有効な手段である保険の仕組みと機能を説明する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- ・リスクの概念
- ・リスクの分類
- ・リスクマネジメントの生成と目的
- ・リスクマネジメントのプロセス
- ・リスクコントロール
- ・リスクファイナンス
- ・リスクと保険（保険の概念）
- ・保険の生成
- ・保険の仕組み
- ・保険成立の条件
- ・保険の機能
- ・保険者の組織
- ・保険の分類
- ・保険の現状と将来

履修上の留意点

受講者の理解度を測るために、授業内レポートや小テストをしばしば行う予定です。試験は講義で話した内容を中心に出题するので、授業にはできる限り出席するよう心がけてください。

成績評価の方法

定期試験、出席状況、小テスト、授業態度による総合評価。

教科書

特に指定しません。授業中に適宜、参考文献を紹介します。

参考書等

堀田一吉『保険理論と保険政策』（東洋経済新報社）

その他

講義内容に関する質問を、授業終了後に受け付けます。

講義のねらい

この講義では、大企業、中小企業、ベンチャー・ビジネスの経営者、管理者などに、それぞれの企業について、経営について、業界について、あるいは特徴的なビジネスモデルや環境問題、企業倫理やCSRの取り組みについて、さらに人生観やビジネス観について、幅広く語ってもらいます。また、個人で活躍する自立した職業人やNPO・非営利組織で活躍されている人達も講師として迎え、その経験や自立に必要なことなどを語ってもらいます。駒大出身の人達もできるだけ多く迎えます。そうした人達の話から、社会人として成長するために必要な貴重なアドバイスや体験や経営知識を学び取ることができるでしょう。また、いろいろな科目の学習に有益な事例が提供されます。ビジネスの世界で活躍する人達の実践的講義から「生きた知識」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

隔週ごとに講師を迎えて体験的講義を受けます。過去2年間の講師は、金融、流通、商社、メーカー、情報、外食、ベンチャー、建設などさまざまな業界の経営者・管理者や、職業会計人(公認会計士、税理士)、フィナンシャル・プランナー、経済ジャーナリスト、アナウンサーなど自立した職業人と多彩です。本年度も多彩な講師を予定しています。講師の詳細は日程などが決定次第以下のホームページでお知らせします。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~hyakuta/>

履修上の留意点

講師の企業や職業に関する予備的講義と講演内容のフォローアップを隔週ごとに行いますが、履修する学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得し、質問ができるように準備して参加してください。講師の方には多忙な中を時間を割いて来ていただいています。遅刻、雑談、携帯操作などは厳禁です。

成績評価の方法

各講師の話について隔週ごとにレポートを提出してもらいます。それらのレポート評価と前期末、学年末の授業全体に関するレポートで総合的に評価します。学年末試験は行いません。

教科書

講師が準備するレジメや会社のパンフレット、あるいは担当者が必要に応じて作成したレジメなどを配布します。

参考書等

随時、紹介します。

科目名	担当者名
ビジネス英会話Ⅰ	清水絹代

講義のねらい

本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

講義 1 回目……………イントロダクション
 講義 2 回目……………個人目標の設定
 講義 3～6 回目……………プレゼンテーション練習
 講義 7～10 回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義 11～12 回目……………今期の総まとめ
 講義 13 回目……………テスト

履修上の留意点

上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。遅刻厳禁。携帯電話、PHS の電源は切ること（マナーモードは禁止）。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。

成績評価の方法

出席、参加態度、課題レポート等の提出物、プレゼンテーションなどを総合的に評価します。欠席は各学期、原則 2 回まで。体調その他特別な理由で 2 回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。

教科書

初回講義で案内します。

参考書等

初回講義で案内します。

その他

他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

科目名	担当者名
ビジネス英会話Ⅱ	清水絹代

講義のねらい

本講義では、ビジネスの現場で現在持っている英語運用能力を最大限発揮できるようになることを目標とします。目標を達成するために、履修者が発話している様子をビデオ・カメラで撮影し、それを見て分析する時間を作ります。

講義の内容・授業スケジュール

講義 1 回目……………イントロダクション
 講義 2 回目……………個人目標の設定
 講義 3～6 回目……………プレゼンテーション練習
 講義 7～10 回目……………シミュレーション・ゲーム
 講義 11～12 回目……………今期の総まとめ
 講義 13 回目……………テスト

履修上の留意点

上記講義内容にあわせて、様々な課題が出されます。遅刻厳禁。携帯電話、PHS の電源は切ること（マナーモードは禁止）。履修希望者は初回講義に必ず出席して下さい。

成績評価の方法

出席、参加態度、課題レポート等の提出物、プレゼンテーションなどを総合的に評価します。欠席は各学期、原則 2 回まで。体調その他特別な理由で 2 回以上欠席する可能性がある人は初回講義で必ず申し出て下さい。

教科書

初回講義で案内します。

参考書等

初回講義で案内します。

その他

他者との関わりから学ぶことを重視しています。そのため、他の履修者と話したり、互いに評価する時間を作ります。

科 専
門 教
育 目

科目名**担当者名**

インターンシップ

谷 敷 正 光
や しき ただ みつ**講義のねらい**

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や学校、教育委員会その他各種団体などで研修生として〈就業（現場）体験〉を積むための制度です。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- ・～4月——演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者間で実施についての基本的な合意
- ・4月——履修登録
- ・5月——事前研修
- ・8～9月上旬——就業（現場）体験（2週間程度）、通年の場合もあります。
- ・9～10月——事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- (1) インターンシップは目的意識を持って参加して下さい。
- (2) インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- (3) スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることや長期になる場合（通年）や短期の場合（一定期間）など時期、期間もいろいろです。
- (4) プログラムは大学（担当教員）が主体となる場合、企業や学校等が主体的に運営する場合があります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
インターンシップ	さいとう 齊藤 正

講義のねらい

社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。

講義の内容・授業スケジュール

4月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。
4月に履修登録。
7月に事前研修。
8月から9月上旬にかけて就業体験（2週間程度）
9月事後研修（レポート作成）など

履修上の留意点

受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
インターンシップ	しろた 代田 純

講義のねらい

対象は代田ゼミ所属の学生。税理士事務所、その他で夏季休暇等で補助業務に従事する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記、情報処理の基礎知識を生かした業務に従事する。

履修上の留意点

簿記、情報系の資格取得者が優先される。言葉使いなど、社会性を持つ学生に限定される。

成績評価の方法

出席、レポートで評価する。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
インターンシップ	ともまつ よしひこ 友松 憲彦

講義のねらい

インターンシップとは、学生が在学中に企業や各種団体で就業体験し、単位認定をする科目です。これによって実社会（現場）の実情を知り、自分の専攻分野や関心領域についての知識を豊富にしながら、大学で学んだ理論や知識を活かした実践的な能力を身につけます。それは将来の職業選択や人生設計、あるいは問題解決能力を高めることにもつながります。

講義の内容・授業スケジュール

企業や各種の団体や組織で2週間程度の就業体験をします。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告、事後研修で提出するレポート等で評価します。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
インターンシップ	徳永俊明

講義のねらい

インターンシップとは、学生が、在学中に、企業や各種団体などで〈就業（現場）体験〉をすることです。インターンシップによって、実社会＝現場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野についての具体的な知識を豊富にし、適性を的確に判断しながら、職業の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。大学での普段の学習方式とは異なる〈体験学習〉で得たものはきっと一つの貴重な生きた知識になるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- ・～4月—演習（Ⅱ）担当教員・受け入れ先・本人の3者の間で実施についての基本的な合意
- ・4月—履修登録
- ・7月—事前研修
- ・8～9月上旬—就業（現場）体験（2週間程度）
- ・9月—事後研修（レポート作成など）

履修上の留意点

- (1) インターンシップでは、「3者」の間の確実な信頼関係の構築が大前提になります。したがって、受け入れ予定先の判断などで実施できなくなる場合もあります。
- (2) スケジュールのうちとくに就業（現場）体験は、受け入れ先の都合で時期・期間が当初の予定と変わることがあります。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と事後研修で提出するレポートなどで評価します。

教科書

事前研修・事後研修に必要な資料などを配付します。
また、受け入れ先から必要な資料・文献などが配付されることもあります。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
インターンシップ	清水卓

講義のねらい

社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となるとを目的として行われます。

履修上の留意点

受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。
成績評価の方法

講義の内容・授業スケジュール

- 4月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。
- 4月に履修登録。
- 7月に事前研修。
- 8月から9月上旬にかけて就業体験（2週間程度）。
- 9月事後研修（レポート作成）など。

成績評価の方法

受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。

その他

3年次生のみ履修可能な科目です。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	大吹勝男

講義のねらい	<p>今年度のゼミは、『マーケティングにおける広告とブランド』をテーマに学習します。</p> <p>近年、驚くのは、おおよそマーケティングとは無縁であるとおもわれる、自治体のマーケティングであるとか、非営利事業組織のマーケティングなどと、マーケティングという「用語」が使用され、いささか乱用の感がある。そこで、真のマーケティングとは、なんであるのかという、基礎的なところから学習しようということである。</p> <p>それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。</p>
成績評価の方法	平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。
その他	<p><応募するにあたっての注意点></p> <p>個別説明会ははしませんが、諸君が聞きたいことを、予想して答えておきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 夏合宿はありません。 2. ゼミは休めません。当たり前のことですが、今日の学生はこのようなことを質問するのです。 <p><課題研究の有無></p> <p>義務ではありませんが、3年次および4年次には併せて開講します。</p>

科目名	担当者名
演習Ⅰ	百田義治
演習Ⅱ	

講義のねらい	<p>現代の日本企業の経営管理に関わる主要なテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。同時に、「社会から信頼される企業」に求められるものは何か、という視点から企業倫理や企業の社会的責任（CSR）について学びます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>次のようなテーマに取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？ (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？ 株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか？ 企業の社会的責任とは何か？ (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？ 日本的経営の何を残し、何を変革すべきか？ (4) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？ (5) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ ネットワーク経営とは何か？ などなど
履修上の留意点	経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。
成績評価の方法	出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。
教科書	<p>（前期）百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2006年</p> <p>（後期）小林俊治・百田義治編『社会から信頼される企業』（中央経済社）2004年</p>
参考書等	稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年
その他	「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学基礎、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、演習などです。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	
演習Ⅱ	やすもと 安元 稔
演習Ⅲ	

講義のねらい	初めて経済史を勉強する諸君に、「経済史」という学問領域の特色・経済史的なものの見方・経済史の面白さを知ってもらうことがこの演習の主なねらいです。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを選び、それぞれ分担して要約・疑問点・興味を持った点を報告してもらいます。学術用語・概念を調べ報告してもらうこともあります。
履修上の留意点	なじみのない学術用語・概念が多く出て来ますので、その都度億劫がらずに図書館で調べることが必要です。
成績評価の方法	日常の勉強態度・出席状況を見て成績を評価します。
教科書	川勝平太『経済史入門』（経済学入門シリーズ）（日経文庫888/F37）860円 ISBN4-532-10888-8
参考書等	適宜指示します。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	
演習Ⅱ	あさの 浅野 かつみ 克巳
演習Ⅲ	

講義のねらい	ゼミの目標は3つ ・はじめに経済学を基礎理論からしっかり勉強しよう ・新聞の事例などを参考に理論を現実の経済に応用してみよう ・練習問題を通して経済学をしっかりマスターしよう
講義の内容・授業スケジュール	1. マクロ経済学を基礎から学ぶ 2. ミクロ経済学を基礎から学ぶ 3. 経済学の理論を通して新聞や経済白書を読み経済学的に考える練習をする 4. インターネットで経済学を学ぼう 5. エクセルで需要曲線や供給曲線を描いてみよう 6. 国家試験などの過去問を実際に解いてみよう
履修上の留意点	演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習しておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。
成績評価の方法	なにより授業にまじめに出席することが前提だ。
教科書	経済学の入門書を授業の際に指示する。
参考書等	必要に応じて参考書その他の資料については授業の中で指示する。

科目名

担当者名

演習Ⅰ

演習Ⅱ

演習Ⅲ

い飯 だ やす ゆき
飯 田 泰 之

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
- ・Word,Excelの基本操作に関する講義
- ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

- ・ディベート大会

後期

- ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
- ・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読
- ・プレゼンテーション大会

履修上の留意点

「経済原論Ⅱミクロ経済学・マクロ経済学」「経済政策」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書

教科書は開講時に協議する。

参考書等

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他

演習Ⅲは課題研究を併置し、4年間の学習の成果を課題論文としてまとめる。履修の際に注意すること。なお本演習では「プラクティカル・エコノミクス専修」を設定する。「演習Ⅲ」+「ミクロ経済学・マクロ経済学・経済政策・中小企業論・財政学・金融論・日本経済論・情報経済ネットワーク論・ビジネス事例研究から5つ以上」によって認定する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	いし かわ じゅん じ 石川純治
演習Ⅱ	
演習Ⅲ	

講義のねらい	<p>企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。</p> <p>また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です。したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。</p>
履修上の留意点	<p>特にありませんが、将来、国家試験（税理士・会計士など）にも挑戦してみようとする意欲ある学生、あるいは世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生を歓迎します。</p>
成績評価の方法	<p>出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。</p>
教科書	<p>『日本の論点』（文藝春秋）、および会計の基本テキスト。</p>
参考書等	<p>その都度指示します。私のホームページ（http://www.komazawa-u.ac.jp/~ishikawa/profile.htm）も参考にしてください（大学のホームページの経済学部教員紹介にあります。写真やプロフィールなどがでています）。</p>

科目名	担当者名
演習Ⅰ	いわ なみ ぶん たく 岩波文孝
演習Ⅱ	
演習Ⅲ	

講義のねらい	<p>企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、不祥事の続出や経営不振などを解決するために経営システムの改革が企業に求められています。演習では、コーポレート・ガバナンスと経営システムを中核として、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関わり、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた公正・効率的な経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>経営学の基礎的な文献を用いて輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。</p>
履修上の留意点	<p>ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。</p>
成績評価の方法	<p>ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。</p>
教科書	<p>開講時に指定します。</p>
参考書等	<p>開講時に指定します。</p>
その他	<p>演習Ⅱまたは演習Ⅲに課題研究を併設しています。</p>

科目名	担当者名
演習Ⅰ	曾 我 信 孝
演習Ⅱ	
演習Ⅲ	

講義のねらい

本当の意味のマーケティングとは何かを段階的に学習すること。

講義の内容・
授業スケジュール

合併で授業を進めるが、平常は学年を混ぜてチームを作り、私が提出した課題をチームで調査、発表する形式で進める。前期は主にプレゼンテーションの能力を高めることを目的に、調査発表をしてもらう。後期はディベートの能力向上のためのテクニックなどを考慮に入れた討論形式で発表してもらう。後期には他学年を相手にしたディベート大会に参加する。(受講生の人数によって、方法は若干変わるかもしれないが、内容的には大きな変化はない)

履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な学生さんを求めています。

成績評価の方法

平常点(授業中の発表、レポート、チーム学習などから判断する。)
課題研究に関しては、論文の内容をもって評価する。

教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

その他

授業方法ーゼミ形式

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

演習Ⅱ

演習Ⅲ

こばやし まさと
小林 正人**講義のねらい**

テーマは「日本の経済社会の歴史と現状」であり、戦後の日本経済の発展の歴史と、その中で発生した諸問題について検討する。あわせて文献の読解力、発表力などの学生の思考力の向上をはかる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

ゼミ生による文献に関するレジュメの提出と発表、論点の提示と討論など、ゼミ生中心で進めていく（昨年度と同じ）。

昨年度のゼミでは、文献としてまず下記の1. を使って日本経済の現状について家計の視点から検討したのち、文献2. を使って人間生活の「豊かさ」や競争原理の功罪について議論を重ねた。

1. 橋本俊詔『家計からみる日本経済』（岩波新書）2004年

2. 暉峻淑子『豊かさの条件』（岩波新書）2003年

今年度は下記の文献を取り上げて、最近の政策論議について検討し（文献3.）、次に戦後日本の経済史を学び（文献4.）、それらを受けて経済学の理論的な問題を考える（文献5.）という順序で進む。

3. 川北隆雄『経済論戦－いま何が問われているのか－』（岩波書店）2005年

4. 中村政則『戦後史』（岩波書店）2005年

5. 神野直彦『人間回復の経済学』（岩波書店）2002年

履修上の留意点

ゼミ生の堅実な出席、分担部分のレジュメの提出と発表、ゼミ中の積極的な発言などを求める。

成績評価の方法

出席状況と、ふだんの発表やレポートによる総合評価。

教科書

上記のとおり。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	
演習Ⅱ	さいとう 藤 正
演習Ⅲ	

講義のねらい

「日本経済の構造改革の方向」をテーマとし、日本の「何を」「どのように」改革すべきなのかを主に新聞・雑誌記事を素材にしながら考えます。

講義の内容・授業スケジュール

世界経済は「大競争時代」といわれる激しい変化の時代にあります。それは一方では、ソ連・東欧型社会主義の崩壊によって「市場経済化」が急速に拡大したこと、他方では、情報通信技術の発展によって産業構造や経済取引のあり方が大きく変化していることに由来しています。

そうしたなかで、日本経済はバブル経済崩壊後の不況をいまだ克服できておらず、企業のリストラによって勤労者の労働条件（就業機会、賃金、労働時間）がますます厳しくなっています。戦後50年あまりにわたって展開され、世界から「脅威」とも目されてきた「日本的経営」のあり方が、根本的に問われているのです。「6大改革」に代表されるさまざまな改革論議が飛び交うゆえんです。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。そして、議論を通じて諸君が自らの「見解」を獲得することを大いに期待します。

成績評価の方法

年間を通じた、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

参考書等

日本経済新聞社『経済新語辞典』：毎年新版が発行されており、新聞記事を理解するために役立ちます。

科目名

担当者名

演習Ⅰ

演習Ⅱ

演習Ⅲ

しみず たくら

講義のねらい

フレックスAのゼミと全く同じように運営します。当ゼミは、ヨーロッパ経済を中心テーマとしたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、欧州憲法制定、加盟国拡大問題、欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会など興味はつきません。ですから、3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかり自己表現できるようになることを目指します。

2年次はディベート、3年次は専門書購読、4年次は論文作成が中心です。

担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行います。ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場にしたいと思います。

中・東欧諸国加盟による構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革、EU憲法制定への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰでは、ヨーロッパ経済とEUについての基礎的文献・資料をじっくりと学びます。自分なりの考えを分かりやすく他のメンバーに伝えられるようになるために、要旨を発表する形式で行います。見学（日本銀行貨幣博物館、TBS他）などの行事を行ったり、春と夏には、楽しい合宿をやりませう。

履修上の留意点

「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。何事につけ前向きに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

それと、昨年から、基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TOFRE、TOEICの資格に挑戦するように呼びかけています。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正『ヨーロッパ経済論』（ミネルヴァ書房）2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治『現代ヨーロッパ経済論』（有斐閣）2001年刊 2,500円

その他

「課題研究」併設。

ヨーロッパ経済論 専修課程。

ヨーロッパ経済論、清水演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、理論経済学ⅠA・ⅠB、国際経済論、日本経済論、経済史、西洋経済史

科目名	担当者名
演習Ⅰ	
演習Ⅱ	しろ 代 田
演習Ⅲ	じが 純

講義のねらい	金融についての研究
講義の内容・授業スケジュール	就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。
履修上の留意点	毎回、出席すること。
成績評価の方法	出席、発言によって評価する。
教科書	特に決めない。
参考書等	必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	
演習Ⅱ	すず き のぶ え
演習Ⅲ	鈴 木 伸 枝

講義のねらい	公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういう問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。
講義の内容・授業スケジュール	公共経済学のテキストの輪読を中心とします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。
履修上の留意点	ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。
成績評価の方法	出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。
教科書	受講者と相談して決定します。
その他	「課題研究」を併設します。

科目名**担当者名**

演習Ⅰ

演習Ⅱ

演習Ⅲ

せとおか
瀬戸岡ひろし
紘**講義のねらい**

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した経済・社会・経営などにかんする学習と研究。

講義の内容・授業スケジュール

「基礎はしっかり、研究は自由に」がこのゼミのスローガンです。
ゼミ開講直後は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたなどを習得します。
その後は、各自の自由研究の発表を恒常的におこないます。何を学習・研究するかは、かなり幅広くみとめます。4年生は卒業研究の報告を随時してもらいます。
そのなかで、思考に強くなるための方法、デジタル時代の学習と研究の方法、学ぶ者の社会的責任などが体得できるようにゼミ活動を展開します。

履修上の留意点

〈課題研究の有無〉
4年次生は課題研究論文を作成します。
〈専修課程認定の有無〉
新年度では考えておりません。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書

随時、有益な文献を紹介します。
アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことは、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役に立ちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

その他

〈卒業生の声〉
楽しいゼミだった。勉強もしたけど、何より厳しい社会でやっていく自信をあたえられた。
卒業後10年以上たっても、OB・OG会に馳せ参じて、先生と仲間のゼミ生に会うことが大の楽しみ。

当ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりするほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

科 目 名	担 当 者 名
演習Ⅰ	
演習Ⅱ	ちよん 鄭
演習Ⅲ	ちん よん 章 淵

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に戦後（第二次世界大戦）東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭にアジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）中国その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

また、夏期休暇にゼミ合宿をおこないます。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

教科書

小林英夫著『戦後アジアと日本企業』（岩波新書）2001年 780円＋税
北原淳・西澤信善編著『アジア経済論』現代世界経済叢書4（ミネルヴァ書房）2004年 3,200円＋税

その他

「課題研究」を併設します。
アジア経済論専修課程：系統学習に必要な科目
アジア経済論、演習Ⅱ・Ⅲ、国際経済論、中国経済論、日本経済論、国際金融論、アメリカ経済論

科目名

担当者名

演習Ⅰ

演習Ⅱ

演習Ⅲ

とく なが とし あき
徳 永 俊 明

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料を使ってすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「課題研究」としてまとめます。(希望者のみ)
〈現代国際経済〉専修課程認定に必要な科目——国際経済論、貿易論、アジア経済論、
中国経済論、日本経済論

科 目 名**担 当 者 名**

演習Ⅰ
 演習Ⅱ
 演習Ⅲ

とも まつ よし ひこ
 友 松 憲 彦

講義のねらい

現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに關心を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことは、現在の経済についての理解を深め、問題点を明らかにし、経済の今後の発展方向を考えることにつながります。経済学の基礎知識を学びながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容・授業スケジュール

2年次から3年間の継続履修を原則としますが、3年次からの参加もできます。
 2年次は、経済学や経済史の初歩的な概念や理論を説明しながら、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。
 3年次は、特定のテーマを決めて全員で本を講読します。今年度のテーマは「アメリカ経済史」でした。
 4年次は、自分でテーマを決めて課題研究をまとめます。
 また、ゼミでは大学や社会で必ず必要とされる技術である資料や文献の探し方、本や資料の読み方、レジュメやレポートの書き方、発表や討論の仕方などを習得します。

成績評価の方法

(1) 年度末のレポート (2) 平常点 (レジュメ、報告、討論の状態)、(3) 出席で評価します。

教 科 書

最初の授業で指示します。

参 考 書 等

演習のなかで紹介します。

そ の 他

(1) 課題研究を併設します。
 (2) 専修課程 (社会経済史専修) の認定をします。
 演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、経済史、西洋経済史、日本経済史、商業史、社会思想史、経済学史

演習Ⅰ

演習Ⅱ

演習Ⅲ

福原好喜

講義の内容・
授業スケジュール

(社会科学方法論研究)

このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスを行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。テニスは初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛練に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

履修上の留意点

「課題研究」併設。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートでつける。

科 目 名	担 当 者 名
演習Ⅰ	
演習Ⅱ	ほり 堀
演習Ⅲ	りゅう 龍 じ 二

講義のねらい

労務管理や人的資源管理に関する基本的知識の習得、現代の問題意識の喚起、それらに基づいてテーマを設定してアプローチすることなどをねらいとしている。現代の日本企業で働くとき、企業の働き方やねらいと自らの望む働き方をいかに調和させていくかを考えてもらいたい。雇用はどうあるべきか。賃金・処遇は何を基準にすべきか。仕事をする能力をどのように育成していくのか、企業が考える問題は、働く者の職業人生に大きく関係・影響する。労働のあり方を身近な問題として考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初は適当なテキストや資料を利用して、輪読や要旨報告の形で知識の習得と問題意識の喚起を図る。次にゼミ生の数にもよるが、グループ研究を行う。グループごとに小テーマを決めて、下調べをしてその成果をゼミで報告し、全員で討論する。適宜、統計資料の利用方法の実践、諸外国との比較、夏合宿（2泊3日程度）も行う。

履修上の留意点

テキスト・資料・新聞記事などを読んで、分かりにくいと感じたところをそのままにしないで、ゼミで疑問をぶつけるような積極的姿勢の持ち主を歓迎する。

成績評価の方法

ゼミへの出席・参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価する。

教 科 書

初回到相談して決める。

参 考 書 等

適宜、紹介する。

そ の 他

課題研究を併設する。
専修過程「企業労働」を認定する。系統学習に必要な科目は、社会政策、労働法、経営管理論、企業統治論、労務管理論、演習などである。

科 目 名**担 当 者 名**

演習Ⅰ

演習Ⅱ

演習Ⅲ

まつ い りゅう へい
松 井 柳 平**講義のねらい**

統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

ガイダンス ゼミの概要等説明 パソコンの使用方法 Excel の使用方法 データの要約と視覚化
基本統計量 確率分布 推定と検定 相関分析 回帰分析 集計表と適合度検定
数学モデル、確率モデルを視覚的に理解できることに重点を置く。

履修上の留意点

このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法

成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

基本的に、3分の2以上の出席があれば、授業態度にとくに問題がない限り、最低でも「可」の成績は与えられる。ゼミで学んだ内容を自分のものとして様々なデータに適用できるようになった学生には、「優」が与えられる。

教 科 書

開講時に、ゼミ生と面談の上、決定する。

参 考 書 等

鳥居『はじめての統計学』（日本経済新聞社）ISBN4-532-13074-3

縄田『Excelによる統計入門』（朝倉書店）ISBN4-254-12142-3

得津『はじめての統計』（有斐閣）ISBN4-641-08667-2

そ の 他

レポーターによる報告に基づいて進める。

科目名

担当者名

演習Ⅰ

演習Ⅱ

演習Ⅲ

や しき ただ みつ
谷 敷 正 光

講義のねらい

テーマ〔日本経済の発展過程と高度工業化社会の研究〕
2年生の演習は日本経済、日本産業の驚異的成長はいかにして可能だったのか、日本経済の発展過程と経済システムを明らかにしていきたいと思います。
3・4年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因、構造的特質を明らかにするとともに、戦後60年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程を基本文献や「学術論文」を使って明らかにします。

講義の内容・
授業スケジュール

〔2年生〕 日本経済発展の理解の手助けとして、例えば①和田英『富岡日記』、山本茂実『あゝ野麦峠—ある製糸工女哀史』、邦光史郎『トヨタ王国』などの小説、②「あゝ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、③「乗用車ゼロからの出発」などのビデオを教材、などを使用して課題発表で明らかにします。
〔3・4年生〕は戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造転換期、安定成長期、バブル経済期の各推進要因と各段階の構造的特質を明らかにします。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表や論文などで総合評価します。

教科書

山本弘文『近代日本経済史』（有斐閣）〔2年生〕
橋本寿郎『戦後の日本経済』（岩波書店）〔3年生〕
学術論文

参考書等

速水融、宮本又郎『日本史経済（全8巻）』（岩波書店）
『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）
参考文献などは必要に応じて適宜紹介します。

その他

課題研究有り。（4年生に併設）
＜専修課程認定の有無＞
有り……以下の科目の中から5科目履修すると「専修課程」修了を認定し、「教育経済研究 専修課程終了認定書」を授与致します。（「専修課程」は履修せず、演習だけの履修でもかまいません。）
教育経済論、日本経済論、日本経済史、西洋経済史、経済史、経済政策、社会政策、財政学、労働経済論、人口論。

科目名	担当者名
演習Ⅰ	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志
演習Ⅱ	
演習Ⅲ	

講義のねらい	比較経済論
講義の内容・授業スケジュール	テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実（リアリティ）とのギャップをいかに埋めるか、わたし達の知恵が問われている。20世紀に顕在化してはまだ未解決の課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。 2年次生は入門の文献、3年次生は専門の文献、4年次生は自主研究のそれぞれ発表によって授業を進める。
成績評価の方法	出席、発表、討論への参加を総合評価する。
教科書	相談の上決める。
その他	非喫煙者が望ましい。 「課題研究」有。 〔比較経済論〕専修課程 系統学習に必要な科目 ロシア・東欧経済論 ヨーロッパ経済論 アジア経済論 日本経済論 国際経済論 アメリカ経済論 貿易論 中国経済論

科目名	担当者名
演習Ⅰ	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾
演習Ⅱ	
演習Ⅲ	

講義のねらい	現在、日本の経済構造は大きく変化しつつあります。この変化は、70年代の国際通貨制度の崩壊、石油危機などとともに始まり、バブル経済とその崩壊を経て今日に至っています。この演習では、バブル経済がなぜ起こり崩壊したか、その原因について考えながら今日の日本経済の特質に迫ります。
講義の内容・授業スケジュール	今年度は、井村喜代子著『日本経済——混沌のただ中で』をテキストとし、日本経済の特質について理論と歴史の両面から学びます。また、環境問題、高齢社会のあり方、日本の開発援助など、今日の重要問題について学習します。
履修上の留意点	少人数で共通問題について学習するので、全員そろっていることが授業の前提となります。参加者はその点を自覚し、欠席や遅刻をしないよう心がけることが必要です。
成績評価の方法	平常点で評価します。
教科書	井村喜代子著『日本経済——混沌のただ中で』（勁草書房）2,800円
その他	①「課題研究」を併設します。 ②「専修課程」を開設します。 〈経済学と経済政策〉以下の科目の中から選択履修 経済理論ⅠA、経済理論ⅠB、経済理論ⅡA、経済理論ⅡB、経済学史、経済政策、社会政策、財政学、金融論、日本経済論、中小企業論、農業政策、現代資本主義論、人口論

科目名	担当者名
演習Ⅰ	
演習Ⅱ	わた なべ けい いち 渡 邊 恵 一
演習Ⅲ	

講義のねらい	本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行う。演習Ⅰでは、その入門編として比較的初学者にも取り組みやすい通史や概説書を輪読し、基本的事実や先行研究について理解することを目標にしたい。
講義の内容・授業スケジュール	学生が主体となったレポート（報告）&ディスカッション（討論）形式を基本とする。素朴な疑問などを遠慮なく出しあえる自由な雰囲気場にしていきたい。フレックスAゼミとの交流も随時行う予定である。
履修上の留意点	授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。
成績評価の方法	平常点。必要に応じてレポートを課すこともある。
教科書	開講時に受講生と相談のうえ指定する。
参考書等	演習の中で、その都度紹介する。
その他	演習Ⅱ、演習Ⅲに課題研究を併設する。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	あ べ ひろ 阿 部 弘
演習Ⅲ	

講義のねらい	文化経済学の実現をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	池上惇『情報社会の文化経済学』、その他を読み、これに対する論文を作成発表（ゼミ論集「アルファ」）することとします。 年間2回の合宿と11月末から12月初めにゼミ論発表会を予定しています。 「卒業研究」（4年次）を併設します。
履修上の留意点	「演習」ですから出席することは基本です。 4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。 合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。
成績評価の方法	総合的に評価します。「定期試験」はありません。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	いわ した ひろ
演習Ⅲ	

講義のねらい	ゼミでは流通政策を中心に研究を行う。
講義の内容・授業スケジュール	具体的な内容は開講時に相談して決める。
履修上の留意点	第1回目のゼミ時に名簿、資料等を作成するので必ず出席すること。なお、第1回目に欠席の者は原則としてその後のゼミへの参加を認めない。基本的に無断欠席は認めない。
成績評価の方法	演習の成績評価は出席状況、ゼミへの貢献度、研究状況等を合わせて総合的に行うが、課題研究の成績評価は提出された論文の内容に限定して行う。

科目名	担当者名
演習Ⅱ	おお ぶき かつ お
演習Ⅲ	大 吹 勝 男

講義のねらい	<p>今年度のゼミは、『マーケティングにおける広告とブランド』をテーマに学習します。</p> <p>近年、驚くのは、およそマーケティングとは無縁であるとおもわれる、自治体のマーケティングであるとか、非営利事業組織のマーケティングなどと、マーケティングという「用語」が使用され、いささか乱用の感がある。そこで、真のマーケティングとは、なんであるのかという、基礎的なところから学習しようということである。</p> <p>それでは、ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。</p>
成績評価の方法	平常点によるが、ときには感想文の提出がある。あとは諸君の勉強次第です。
その他	<p><応募するにあたっての注意点></p> <p>個別説明会はしませんが、諸君が聞きたいことを、予想して答えておきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 夏合宿はあります。 2. ゼミは休めません。当たり前のことですが、今日の学生はこのようなことを質問するので、 <p><課題研究の有無></p> <p>義務ではありませんが、3年次および4年次には併せて開講します。</p>

科目名	担当者名
演習Ⅱ 演習Ⅲ	みぞ 溝 手 芳 計

講義のねらい	食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。
履修上の留意点	ゼミは集団学習相互修練の場です。世の中答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い教えあい意見交換していくことを大切にしてください。ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。
成績評価の方法	出席状況、レポートと発表の内容・態度、ゼミ運営や議論への参加状況などを総合的に評価します。
教科書	ゼミ生と相談の上、決定します。
参考書等	食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。
その他	演習Ⅱ、演習Ⅲに、「課題研究」を併設します。

科目名	担当者名
演習Ⅲ	ひゃく た よし ぼる 百 田 義 治

講義のねらい	本演習は演習Ⅰ・Ⅱの継続として位置づけています。現代企業の経営管理に関わるテーマを中心に、演習Ⅱの夏休み後に決定した卒業論文の作成に取り組みます。
講義の内容・授業スケジュール	毎週2人ずつ卒業論文の取り組みを発表します。夏合宿では卒業論文の発表会を行います。
履修上の留意点	本ゼミは、2年次、3年次、4年次と継続的に履修することを前提にしています。
成績評価の方法	成績は出席、プレゼンテーションの内容、クラス・リーダーシップなどで評価します。課題研究は作成・提出した論文の内容で評価します。
教科書	未定
参考書等	未定

科目名	担当者名
演習Ⅲ	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏

講義のねらい	<p>会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。したがって、簿記と会計学とは表裏の関係にある。会計学の領域は、大きく財務会計と管理会計とに分けられる。財務会計とは、投資家、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。</p> <p>さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。こうした会計監査も、主として財務会計の領域に属するものである。</p> <p>本演習では、財務会計の基礎理論を学ぶことを目的とする。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>テキストをベースとして、財務会計(会計監査を含む)に関する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。</p>
履修上の留意点	<p>特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。</p>
成績評価の方法	<p>いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにレジュメや報告の内容等により、総合的に評価する。</p>
教科書	<p>最初の演習時に指示する。</p>
参考書等	<p>演習時に適宜紹介する。</p>
その他	<p>演習Ⅲに「課題研究」を併設する。</p>

科目名	担当者名
演習Ⅲ	よし だ けい いち 吉 田 敬 一

講義のねらい	<p>この演習では大学生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、「課題研究」の作成を行ないます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>演習Ⅲでは、これまでの共同研究を踏まえて、「課題研究」の作成に向かって、個別指導の形で演習を行います。</p>
履修上の留意点	<p>演習Ⅲは「課題研究」の作成を中心課題としているため、少なくとも演習Ⅱをすでに履修していることが前提となります。</p>
成績評価の方法	<p>出席状況、平常点(「課題研究」作成指導への対応姿勢など)、「課題研究」の内容を中心に総合的に評価します。</p>

Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.461)

※他学部履修科目は、3年次以上を対象とします。

Ⅲ. 他学部履修科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
国際紛争解決法	経A・商・経B	通年	4	王志安	707
法思想史	経A・商・経B	通年	4	高橋洋城	708
日本法制史	経A・商・経B	通年	4	茂野隆晴	709
西洋法制史	経A・商・経B	通年	4	休講	
国際関係論	経A・商・経B	通年	4	三船恵美	710
地方自治法	経A・商・経B	通年	4	富井幸雄	710
倒産処理法	経A・商・経B	通年	4	鈴木貴博	711
アメリカ経営学	経A・商・経B	通年	4	宮城徹	712
経営組織論	経A・商・経B	通年	4	休講	
公益企業論	経A・商	通年	4	菅谷実	713

科目名**担当者名****国際紛争解決法****おう 王 し 志 あん 安****講義のねらい**

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

**講義の内容・
授業スケジュール**

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから人手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

- [1] 法思想史講義の意義・注意事項等の説明、ヨーロッパ法思想の底流をなす問題視角についての概説。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心に検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響と、人格概念について、概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想を中心に、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。
- [12] 19世紀の歴史法学、概念法学および概念法学批判について概観する
- [13] 法実証主義の様々な潮流について概観する

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名**担当者名**

日本法制史

茂野隆晴

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。授業の進め方は時代区分に基づいて行うのがふつうである。

近年では近現代史のもつ重要性が強調されてきている。年間の授業では、こうしたことに配慮して、国初から近代に至るまでの時代を上古、中古、近世、近代の5期に区分し、各々の主要な法制の特色を講述していく。

年間の講義の受講をすることによって、日本の法文化への愛着が高まったといわれるようになればと思います。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 年間の授業方針及び日本法制史とその時代区分について
2. 国生みの神話他
3. 『魏志』倭人伝
4. 冠位十二階と憲法十七条
5. 律令刑罰体系と律令の司法制度
6. 戸令第八他
7. 三世一身法と墾田永年私財法
8. 御成敗式目
9. 甲州法度之次第と分国法
10. 武家諸法と自分仕置令
11. 五人組帳
12. 公事方御定書
13. 慶安の御触書
14. 近世の土地制度
15. 相对済し令、本公事と金公事、棄損令
16. 婚姻の変遷と「家」
17. 大津事件、登極令、治安維持法
18. 婚姻に関することわざと川柳

履修上の留意点

史資料に即して行う授業なので、テキストは必ず揃えて欲しい。

成績評価の方法

定期試験の評点70%、出席点30%として総合的に評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史』（高文堂出版社）2,857円

科目名	担当者名
国際関係論	三船恵美

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念とともに、現代の国際関係の枠組について講義します。国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・対立・危機を平和的に処理したり、国際平和を維持したりするためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益・パワーの概念、安全保障の概念と類型、現実主義、理想主義、構造主義、ゲーム理論、対外政策決定論、国内政治と国際関係のリンケージ・ポリティクスなど）について講義します。

後期は、日本にとって最も重要な2つの国家、米国と中国の安全保障戦略を基軸に、米国のアジア戦略、日米関係、米中関係、東アジア共同体構想、台湾問題、韓半島問題、米中EU関係、米中・中東関係、米中ロ・中央アジア関係、米中・アフリカ関係が日本の国益や外交に及ぼす影響、などを講義します。

履修上の留意点

配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。

成績評価の方法

試験（100%）。持込不可。授業中にうさくして退場を命じられた学生には、受験資格を絶対に与えません。テストを欠席した場合にレポートは課しません。

教科書

年間を通したサブテキスト『世界情報地図2006年版』（ちぶん）1,500円 後期教科書については、前期授業中に指示します。

科目名	担当者名
地方自治法	富井幸雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名**担当者名****倒産処理法**すずき たかひろ
鈴木 貴博**講義のねらい**

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

**講義の内容・
授業スケジュール**

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

履修上の留意点

民事法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『ブレップ破産法』第3版(弘文堂)2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣)2005年 2,100円
伊藤眞『破産法』第4版(有斐閣)2005年 4,200円
青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣)2005年 2,730円

科目名	担当者名
アメリカ経営学	宮城徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2006年度「アメリカ経営学」授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確認するために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., *Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., *Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schaffer - Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

科目名**担当者名****公益企業論**

すがや 実

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. オリエンテーション (1)
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益事業とは (2)
〈規制課題〉
4. 経済的規制と社会的規制 (2)
5. 公益事業規制の枠組 (2)
6. 規制緩和の促進 (2)
7. 政府規制の見直し (2)
〈規制緩和〉
8. ネットワークアクセス (1)
9. リストラクチャリング (1)
10. 民営化 (1)
〈個別事業〉
11. 個別事業総論 (1)
12. エネルギー・水道 (3)
13. 情報通信 (4)
14. 交通・運輸 (3)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教科書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年 5月

参考書等

講義の必要に応じて紹介する。

